

第七章 鑛山事業ノ概況

諸機械其他製鍊用藥品等海外ヨリ供給セラレタル鑛業用物資ハ戰局ノ進展ニ伴ヒ一層輸入困難ニ
 陷リ之カ價格ノ暴騰ト相俟ツテ事業上尠カラサル支障ヲ及ホス所アリシモ一方鑛產物ノ市況ハ内
 外共ニ益好況ヲ呈セシ爲事業上著シキ發展ヲ見ルニ至リタルハ寔ニ欣幸トスル所ナリ
 同年中新ニ事業ニ著手シタル鑛山ハ其數千五十四之ヲ前年ニ於ケル五百五十五ニ比シ四百九十九
 ヲ増加セリ

鑛種	鑛務署	金	石炭	石油	其他	計
札幌	三	三	一	三	八	三
仙臺	三三	三	五	二	二	二七〇
東京	二〇	一四	九	一五	一五	一五
大阪	四七六	六	一	四	四	四八八
福岡	九	五	一	一	一	一〇五
計	九二	六	二七	四	四	一〇四
前年	四二	二	八	二七	二	五五
比較	四〇	九	二	二	二	四九

此他既設鑛山ニ在リテモ概ネ其事業ヲ擴張シ又ハ設備ノ改良等ヲ爲シタルモノ尠カラス以下此等
 諸鑛山ニ於ケル事業ノ狀況ヲ概括説明スル所アルヘシ

鑛山ノ經營ニ當リ探鑛ニ重キヲ置ク傾向ハ逐年益々顯著ニシテ特ニ探鑛坑道ヲ開鑿スルアリ又試錐機ニ依ルアリ就中試錐機ニ依ルモノ著シク増加シ來リ從來使用セルモノハ其數ヲ増シ又新ニ之レカ使用ヲナスモノ亦尠ナカラス其ノ重ナルモノヲ舉クレハ静岡縣須崎鑛山ハ「ダイヤモンド」試錐及上總掘試錐ヲ開始シ北海道三井砂川炭鑛ニ於テハ上總掘、綱、索試錐機及ヒ「ダイヤモンド」試錐機ニ依リテ炭層ノ狀況ヲ審ニシ德島縣高越鑛山、愛媛縣二見鑛山亦「ダイヤモンド」試錐ヲ開始セリ探鑛ノ結果優良ナル鑛床又ハ富鑛帶ノ發見ニヨリ將來有望ノモノ福島縣勢至堂、柳澤、山形縣睦合、秋田縣大卷、大拔、北平、松葉、青森縣冷水ノ諸鑛山ノ如キアリ

鑛岩機モ亦鑛業ノ發展ニ伴ヒ益々其ノ利用ヲ促進シ或ハ坑道開鑿ニ或ハ探鑛ニ之レヲ使用スルモノ愈々増加シ秋田縣小坂鑛山、尾去澤鑛山、不老倉鑛山、日三市鑛山、岩手縣釜石鑛山、綱取鑛山、宮城縣高田鑛山、福島縣八莖鑛山、新潟縣持倉鑛山、茨城縣日立鑛山、栃木縣木戸ヶ澤鑛山、足尾銅山、岐阜縣神岡鑛山等ハ盛ニ之レヲ使用シ或ハ其數ヲ増加シ北海道三井砂川炭鑛、夕張炭鑛、秋田縣阿仁鑛山、太良鑛山、岩手縣水澤鑛山、大萱生鑛山、兵庫縣生野鑛山、岡山縣吉岡鑛山、德島縣三好鑛山、愛媛縣二見鑛山、出石寺鑛山、山口縣川井山鑛山、福岡縣三井田川炭鑛第一坑、伊田坑、大分縣鯛生野鑛山、鹿兒島縣德之島鑛山等ハ其使用ヲ開始セリ而シテ其種類ニツキテハ「ウオターライナー」式ヲ最多トシ「インガーソルランド」之ニ次キ「ジャックハンマー」、「ストーパー」、「ハイドロマックス」等亦使用セラレ探炭ニ於テハ「ビッククイク」截炭機ヲ用ヒラル、殊ニ「ハイドロマックス」鑛岩機ハ新ニ輸入セラレタルモノニシテ高田鑛山、鯛生野鑛山ニテ使用セルヲ嚆矢ト爲ス

石油坑ニ於テハ「ロータリー」式鑿井機ノ效果益々良好ニシテ廣ク之レヲ利用スルモノ多ク又網掘式「ロータリー」式ヲ併用セル「コンベネーション」式ヲ採用スルモノアリ本年ニ入り日本石油株式會社ハ秋田縣黒川鑛山ニ「ロータリー」式鑿井法ニヨリ二十八個ノ油井ヲ完成シ又同社新潟縣大面鑛山ニ於テハ深度四百七十五間餘ニシテ豐富ナル油層ニ會着シ強烈ナル瓦斯ト共ニ一時日産三百餘石ヲ自噴シタル如キハ特筆スルニ足ルヘシ其ノ他中外「アスファルト」株式會社ノ豐川鑛山、秋田石油鑛業株式會社ノ金足村試掘鑛區、小倉鑛業部、秋田縣豐川鑛山、槻木鑛山等何レモ之ヲ使用シ成功シタルモノ多シ、新ニ網掘式鑿井機ヲ試用シタルハ日本石油株式會社ノ秋田縣山本郡澤目村、寶田石油株式會社ノ山形縣飽海郡大澤村、秋田石油鑛業株式會社ノ秋田縣南秋田郡上新城村ニ於ケル試掘鑛區竝ニ秋田鑛油株式會社ノ同縣南秋田郡道川鑛山等ナリ

探鑛方法ニ關シテハ著シキ進步ヲ認メス石炭山ニ於テハ一般殘柱法ニ依ルト雖モ各炭鑛漸次長壁法ニ倣ハントスル傾向ヲ示シ夕張炭鑛、萬字炭鑛、新夕張炭鑛、三菱美唄炭鑛等ハ既ニ坑内一部ニ於テ本法ヲ採用シ豫期ノ成績ヲ收メツアリ又山形縣吉野鑛山及ヒ唐戸屋鑛山ニ於テ露天掘ヲ採用シ別子銅山ハ新ニ長壁法ヲ加味セル新法ヲ開始シ三井田川炭鑛第一坑ニ於テ「アイクホッフ」式電働切羽運炭機ヲ使用セルカ如キハ稍著シキモノナラン、石炭山ニ於テハ炭價好況ナルカ爲メ出炭ノ増加或ハ深部炭層探炭ノ目的ニ因リ開鑿ニ著手スルモノ或ハ探炭ヲ開始スルモノアリ其ノ重ナルモノヲ舉クレハ入山炭鑛第五坑、三星藤原炭鑛、内郷炭鑛第二斜坑、小野田第七坑、好間炭鑛北斜坑第六坑等ナリ

自然發火及ヒ陷落豫防ノ爲メ探掘跡ニ土砂充填法ヲ採用スルモノアリ即チ夕張炭鑛ニ於テハ其設備トシテ鐵管坑道煉瓦卷ノ工事中別子銅山ハ試驗的ニ之レヲ採用セントシ大浦炭鑛桐野坑ニ於テハ已ニ其作業ヲ開始シ三池炭鑛七浦坑宮浦坑ハ從來ノ規模ヲ擴張セントシ其ノ工事ニ著手セリ坑内運搬ニ電車ヲ使用セル處少ナカラサレトモ本年ニ入り三井登川炭鑛ノ電路ヲ坑内ニ延長シ運搬力ノ増大ヲ計リタル外著シキ發展ヲ見ス一般鑛山ニ於ケル坑内運搬ニハ堅坑ニ捲揚機ヲ使用シ特ニ石炭山ニ在リテハ「テールロープ」又ハ「エンドレスロープ」曳揚機ヲ使用スルハ從來ノ傾向ニシテ何レモ坑内ノ擴張スルニ從ヒ大規模ノ設備ヲ爲スニ至レリ即チ炭鑛ニ於テ之ヲ改造シ又ハ新設セルモノノ内重ナルモノハ新夕張、歌神、山口無煙、大夕張、入山、小野田、内郷、茨城、夕張炭鑛丁未坑ニ百五十馬力循環捲揚機ヲ新設シ三井本洞、大ノ浦菅牟田、忠隈、高松、方城、上山田、高島、彌瀬坑、崎戸等ニシテ以上諸炭鑛ハ何レモ捲揚機ヲ設置シ就中大夕張ノ百二十馬力、三井本洞ノ二百馬力、菅牟田ノ百馬力、忠隈ノ百五十馬力ヲ大ナルモノトス金屬鑛山ニ在リテハ足尾銅山、橫間步第二堅坑ニアル從來ノ捲揚機ヲ三百馬力ニ擴大シタル外秋田縣不老倉、朽木縣木戸ヶ澤、茨城縣久慈川、靜岡縣與山、岐阜縣惠比壽、愛媛縣高浦、市ノ川等ノ諸鑛山皆捲揚機ヲ設置セリ是等ノ設備ハ専ラ電力ニ依ルモノ多シトス

坑外運搬ニモ亦電車ヲ使用スル益々多キヲ加ヘ從來三池、夕張炭鑛ハ堅坑本坑選炭場間ニ電車ヲ使用スル目的ヲ以テ其ノ線路ノ橋梁及ヒ護岸工事ヲ了リ軌條布設ノ準備中ニアリ三池炭鑛大浦七浦間ニ電車ヲ使用シ土砂石炭ノ運搬ニ供シタルカ如キハ其ノ施設ノ重ナルモノトス其ノ他坑外運搬トシテ天鹽炭鑛ノ運炭用輕便鐵道ノ延長、國富、明治兩鑛山ノ斜面軌道ノ布設、茨城無煙炭鑛ノ單線軌

道ノ布設、日立鑛山ノ自働「インクラン」等ノ如キ其施設ノ稍著シキモノナラン

架空索道ノ使用モ亦益々盛ニシテ特ニ金屬鑛山ニ於テ著シ北海道木直鑛山ハ在來ノ自働鐵索ヲ玉村式索道ニ改修セントシ秋田縣四角鑛山ハ玉村式索道ヲ設置セントシ又青森縣西又、秋田縣不老倉、花岡、吉乃、下安久登澤、吉野、永松、福島縣山口、新潟縣大湯、蓮華妙高、群馬縣試掘登錄三百四十號、埼玉縣試掘登錄八十號、栃木縣足尾、西澤、茨城縣日立、兵庫縣明延、岡山縣佐野、和歌山縣飯盛、愛媛縣新王、高知縣白瀧等ノ諸鑛山ハ之ヲ設置セリ就中永松鑛山ノ七哩二分、吉野鑛山ノ四哩八分、新王鑛山ノ四哩六分ハ其ノ延長ノ大ナルモノナリ其種類ハ玉村、ハリデー、ブライヘルトノ諸式ノ如キ其ノ主ナルモノトス排水用唧筒ハ三聯、プランシャ「式」、タービン「式」ヲ用ユルモノ多ク其動力ハ概ネ電力ニ依ルモノナリ本年ノ新設ニ係ル主要ノモノハ東見初炭鑛ノ五十馬力二基、百二十馬力一基、崎戸炭鑛ノ六十馬力一基、福島炭鑛ノ四十馬力一基、久根鑛山ノ四十馬力一基、尾小屋大谷鑛山ノ五十馬力、竹野鑛山ノ五十馬力、力一基、三井鑛山ノ四十五馬力一基ニシテ其ノ他三菱美唄炭鑛、三井登川炭鑛、高田炭鑛、豐羽鑛山、佐渡鑛山、日立鑛山、與山鑛山、土肥鑛山、惠比壽鑛山、竹野鑛山、市ノ川鑛山等亦排水用唧筒ヲ設置シタリ

石炭ノ通風ニ關シテハ各炭鑛ノ事業進捗ニ伴ヒ坑内ハ漸次廣大トナリ通氣益々不足ヲ告クルニ至リ其結果新ニ通氣坑道ヲ開鑿スルモノアリ眞谷地炭鑛、姪ノ濱炭鑛、忠隈炭鑛、大浦炭鑛、滿ノ浦坑ハ其ノ坑道或ハ堅坑ノ開鑿ニ著手シ眞谷地炭鑛ノ風井百五十尺、目尾炭鑛第二目尾坑ノ排氣坑延長三百六十五間ヲ開鑿ノ如キハ其ノ重ナルモノナリ

又一面ニハ通氣機械ヲ設置スルモノ益々多シ若シ夫レ既ニ設置シタルモノニアリテハ更ニ效率良

好ナルモノヲ選ヒ逐次之レカ交換ニ努ムル傾向著シキモノアリ而シテ本年ニ入り夕張炭鑛丁末坑、幌内炭鑛、三井登川炭鑛ハ「チャンピオン」式扇風機ヲ設置シ而シテ幌内炭鑛ハ從來使用ノ「キーバル」式扇風機ヲ廢シ「チャンピオン」型ト爲シ幌内炭鑛、三菱美唄炭鑛、二瀬炭鑛、高雄坑ハ「キヤペル」式扇風機ヲ夕張炭鑛、大夕張炭鑛、足尾銅山又象坑、目尾炭鑛、忠隈炭鑛、大浦菅牟田坑ハ何レモ「シロツヨ」式扇風機ヲ設置シタリ就中大夕張炭鑛ノ二十萬立方尺、夕張炭鑛ノ十五萬立方尺、目尾炭鑛ノ二十萬立方尺ノ如キハ其ノ最モ大ナルモノトス而シテ其ノ原動力ハ主トシテ電力ニ依ルモノ多シ

鑛業發展ノ結果各種鑛山トモ極力増産ヲ企圖シ精鑛ノ品位ヲ良好ナラシムルハ勿論貧鑛ノ處理ニ就テノ苦心モ不尠ス從テ選鑛開設ノ場合ニハ必ス此目的ニ應シ諸機械ノ設備ヲ怠ラサルニ至レルハ鑛利保護上顯著ナル事實ト云フヘク又浮游選鑛法ノ利用漸次多キヲ加ヘ貧鑛ヲ處理シテ有利ニ操業シ得ルモノアルニ至レルカ如キハ頗ル注目ニ値ス

本年選鑛場ヲ開始シ又ハ擴張シタルハ廣尾、大江、豐羽、八盛、阿仁、秋津、尾去澤、小坂、荒川、松川、吉野、吉乃、唐戸屋、高田、中野、八總、赤山、八莖、蓮華、日ノ出、高取、引田、畑、高德、日光、奥山、惠比壽、神岡、大谷、尾小屋、大谷、遊泉寺、佐野、市ノ川、玖珂、喜和田等ノ諸鑛山ニシテ就中高田鑛山ハ一日四萬乃至四萬五千貫ノ粗鑛ヲ處理スル大規模ノモノナリ又浮游選鑛法ノ設備ヲナシタルモノハ大江、吉野、荒川、尾去澤、奥山、佐野、市ノ川等ノ諸鑛山ニシテ新ニ磁選機ヲ設備シタルハ豐羽鑛山、小坂鑛山、吉野鑛山、玖珂鑛山等ナリ、前年末完成シタル尾去澤鑛山新設選鑛場ノ本年九月火災ノ爲メ殆ント全部烏有ニ歸シタルヲ以テ更ニ應急設備トシテ一日百噸處理ノ機械選鑛場ヲ急設セルカ如キハ斯界ノ一恨事タリ

選炭ニ就テ本年選炭場ヲ新設又ハ工事中ノモノヲ舉クレハ眞谷地炭鑛、夕張炭鑛、幾春別炭鑛、三菱美唄炭鑛、歌神炭鑛、歌志内炭鑛、幌内炭鑛、油戸炭鑛、鯉田炭鑛、相知炭鑛、高島炭鑛等ニシテ就中夕張炭鑛ニ於ケルモノハ全部鐵筋混凝土ニテ規模大ナルモノナリ鯉田、相知、高島ノ三炭鑛ニ於テハ何レモ水洗機ヲ設置セリ

製鍊ノ規模ヲ大ニシ生産費ヲ遞減セントスルハ一般ノ傾向ニシテ銅價暴騰ノ結果小鑛山ニシテ自ラ製鍊ヲ行フモノ尠カラスト雖金銀ノ製鍊ニ至リテハ歐洲大戰勃發以來其ノ製鍊用藥品ノ拂底及價格ノ騰貴ニヨリ製鍊ノ規模ヲ縮少又ハ休止シタルモノ亦尠カラス秋田縣松岡鑛山ハ引續キ製鍊ヲ中止シ岩手縣大萱生鑛山ノ製鍊ヲ休止シ全部賣鑛シタル鷺ノ巢鑛山ノ第二青化製鍊場ヲ廢止シタル福島縣半田鑛山ノ主要製鍊ヲ廢止シ賣鑛ヲ行ヒタル如キハ其著シキモノニシテ從テ金産額ニ至リテモ前年ニ比シ稍減少ヲ來タセリ然ルニ銅製鍊ニ至リテハ時局ニ伴フ用品ノ騰貴材料ノ拂底等其事業ニ阻害スルモノアルニ關セス銅價ノ暴騰ハ之等ヲ償ヒ得ルヲ以テ事業ノ擴張ヲ行ヒ極力産額ノ増加ヲ圖ルニ至レリ從テ新ニ製鍊ヲ開始シ或ハ製鍊場ヲ擴張シタルモノ亦尠カラス

佐賀關鑛山ハ大規模ノ製鍊場ヲ設ケ二十六尺熔鑛爐四、眞吹爐三十五及電解裝置等ヲ設置シ自山産出ノ鑛石ト共ニ大ニ買鑛製鍊ヲ行ハントシ安部城鑛山ハ眞吹爐四、八盛鑛山ハ眞吹爐九、荒川鑛山ハ燒結爐二、熔鑛爐一座ヲ増設シ鷺ノ巢鑛山、大荒澤鑛山亦熔鑛爐各一座ヲ増設セリ綱取鑛山ハ丸型爐ニ代フルニ角型爐ヲ以テシ持倉鑛山ハ熔鑛爐一、眞吹爐一、引田鑛山ハ熔鑛爐一座ヲ増設シ日立鑛山ハ焙燒壺八臺ヲ設ケ第一製鍊所及電煉場ノ増築工事ヲ完成シ生野鑛山ハ熔鑛爐一、燒鑛壺二、眞吹爐

十四座ヲ増設シ又錫電鍊ヲ開始シ電解槽五十六個ヲ設置シ錫製鍊鑛滓中ノ「タングステン」ハ更ニ濕式法ニヨリ之レカ製鍊ヲ開始セリ吉岡鑛山ニ於テハ金銀銅鑛一箇月五千餘噸及鉛鑛三百噸ヲ處理スヘキ附屬製鍊所ヲ香川縣直島ニ設置セントシ其計畫中ニアリ吉岡鑛山電氣分銅所完成シ其ノ操業ヲ開始セリ其ノ他加納鑛山ニ於ケル亞鉛燒鑛爐ノ開設神岡鑛山ニ於ケル輸入銀鉛鑛處理ノ目的ヲ以テ燒鑛爐十四、精鉛爐五、バークス鍋四、流鉛爐一、蒸餾爐一座ノ増設及高田鑛山ニ於ケル同燒爐、反射爐、バークス鍋、灰吹爐、蒸餾爐等ノ設置等ハ其ノ事業ヲ擴張シタル主要ナルモノトス朝日鑛山ノ製鍊場ヲ兵庫縣家島ニ移シ蒸餾爐八、再餾爐四十、燒鑛爐三ヲ設置シ又島根縣窪田鑛山ハ圓形熔鑛爐一、燒鑛鍋三、真吹爐三ヲ建設シ製鍊ヲ開始シタル市ノ川鑛山ニ於テハ支那ヨリ輸入セル鑛石ヲ製鍊スル目的ヲ以テ焙燒爐二、反射爐一、精製爐一座ヲ設置シ太良鑛山亦反射爐四、熔鑛爐一座ノ建設ニ著セル三井串木野鑛山ノ熔鑛製鍊設備完成シ操業ヲ開始シタル等ハ重ナル事項ナリトス

硫黃ノ製鍊ニ就テハ其ノ市價前年ニ比シ著シク昂騰シタル結果各鑛山其ノ製鍊開始シタルモノ又ハ事業ヲ擴張シタルモノナリトス

製鍊窯ヲ設置シ若クハ増設シタル重ナルモノヲ舉クレハ岩雄登鑛山、幌別硫黃山、鹿部鑛山、熊泊鑛山、勝間鑛山、石倉鑛山、竹山鑛山、三盛鑛山、大梶鑛山、三室鑛山、大野鑛山、水無鑛山、赤井川鑛山、奥尻鑛山、跡佐登鑛山、千歲鑛山、泉澤鑛山、下北鑛山、恐山鑛山、八甲田鑛山、鶯澤鑛山、藏王鑛山等ナリトス

鐵ノ製鍊ニ就テハ釜石鑛山ニ於テ百二十噸熔鑛爐一基、附屬熱風爐四個、シンジャ式燒鑛爐二十一基ヲ建設シ本年末工事完成シ尙ホ製鋼場ノ擴張工事ヲ行ヒ、シーメンス式八噸爐二基ヲ増設シ一箇月

製鋼二千噸ヲ產出スルニ至レリ尙將來製鋼場ヲ増設スル計畫中ニテ其準備中ニ屬ス
其他栗木鑛山ニ於テハ在來豫備熔鑛爐ナリシ五噸爐ノ使用ヲ開始セリ

製鍊ノ方法ニ至リテハ院內鑛山ノ貧鑛處理ノ目的ヲ以テ在來ノ製鍊場ヲ撤廢シ更ニ大規模ノ青化泥鑛製鍊ヲ開始セントシ其工事ヲ起シ鯛生野鑛山モ亦既述セル如ク泥鑛製鍊法ニヨル裝置ニ改造セントシテ其ノ工事中、屬ス釜石鑛山ニ於テハ在來ノ骸炭爐ノ一部ヲ「コッパース」式ニ改造ヲ計リ副產物トシテ硫酸安母尼亞ヲ採取セントス石油ニ在リテハ日本石油株式會社土崎製油所ハ露國式連續蒸餾法ニヨリ良好ノ效果ヲ收メ又同會社黒川鑛山ニ於テハ天然瓦斯ヨリ揮發油製造ヲ開始セントシ柏崎製油所ニ於テハ化學研究所ヲ特設シ米國技師ヲ聘シ製品ノ改良ヲ企ツル等ハ稍顯著ナル事項ナリトス

製鍊用諸機械ノ内送風機ニ「ターボ」式ヲ用キルモノ益多ク豐羽鑛山、安部城鑛山、八盛鑛山、小坂鑛山、生野鑛山ニ之レヲ新設シ多クハ「ラト」式ニシテ就中小坂鑛山ノ三百八十馬力三臺、豐羽鑛山ノ百馬力一臺、生野鑛山ノ五十馬力一臺ヲ大ナルモノトス尙「ルーツ」式送風機ヲ使用スルモノ尠シトセス豐羽鑛山、日立鑛山、幸鑛山、山口鑛山、窪田鑛山等亦之レヲ使用セリ

買鑛製鍊ハ益發達シ日立鑛山ニ於テハ本年金八百六十貫、銀一萬三千四百貫ヲ產シタルカ其ノ多クハ買鑛ニ依リテ產出シタルモノナリ其ノ他ノ大鑛山モ亦買鑛ニヨリ益製鍊場ヲ擴張シ產額ヲ増加セントセリ

煙害豫防ニ關シテハ佐賀關鑛山ニ於テ鑛煙稀釋ノ目的ニヨリ高サ五百五十尺ノ大煙突ヲ建設シ煙

害ノ幾分ヲ減セントシ神岡鑛山ハ大ナル垂簾煙塵室ヲ設置シ除塵ヲ行ヒ、別子銅山ハ從來ノ「コット
レル」式電氣除塵裝置ノ規模ヲ大トシ鑛煙一萬立方尺ヲ處理スヘキ設備ニ改メ引續キ試驗ヲ續行シ
タル外金屬鑛業研究所ニ於テモ一分間三千立方尺ノ鑛煙ヲ處理シ得ヘキ「コットレル」式裝置ヲ足尾
銅山ニ設置シ其ノ效果ニ付研究ヲ開始シタル等ハ斯界ノ一進歩ト云フヘシ

鑛山用動力トシテ石炭山ニ在リテハ蒸氣力ヲ使用スルモノ多シト雖モ金屬鑛山ニ在リテハ特殊ノ
場合ノ外水力及瓦斯機關ヲ使用スルモノ益々多ク而シテ特ニ注目スヘキハ一般電力事業ノ發展ト
共ニ電力賣買ノ隆盛トナリシコトニシテ鑛山ニ在リテモ電力會社ヨリ其ノ供給ヲ受クモノ益々増
加セルコトナリトス而シテ電力ヲ使用シ傳導法ノ輕易、動力消耗ノ遞減ヲ計ルカ如キハ年來ノ傾向
ニシテ變化アルコトナシ本年ニ入リテ汽罐、汽機ヲ新設シ又ハ増設セルモノハ大夕張、三菱美、唄幾春
別、山口無煙歌神、空知、好間、茨城、茨城無煙、釜石、高田、葡萄、日ノ出、高德、別子、三井田川、福岡第二坑、姪ノ濱、崎
戸、吉隈等ノ諸鑛山ニシテ其ノ多クハ主ニ發電用トシテ使用セラルルモノナリ、發電機ヲ設置シタル
モノ亦尠カ、ラス内郷、好間、崎戸、日立、引田、奥山、惠比壽、大夕張、幾春、別、八盛、尾去澤、小坂、吉野、高田、生野、竹野、
山手ノ諸鑛山ハ之レヲ設置セリ就中内郷炭礦ノ千キロワット三相交流發電機一、崎戸炭礦ノ千キロ
ワット一、大夕張炭礦ノ五百キロワット一座ハ其ノ大ナルモノナリ

内燃機關ハ主ニ金屬鑛山ノ原動力トシテ用ヒラル、本年瓦斯機關ヲ設置セルハ高田、幸、蓮華、久慈川、下
津原、日立、奥山、土肥、惠比壽、大谷、竹野、尾小屋、大谷、山手、坂田、龍王、佐野、三好、高浦、金越、玖珂、德ノ島、三井田川
等ノ諸鑛山ニシテ就中佐野鑛山ノ百五十馬力、竹野鑛山ノ百馬力、三井田川ノ千五百馬力ハ大ナルモ

ノナリ

電力會社ノ發達ニ伴ヒ電力ヲ購入スルモノ益々多シ其ノ主ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

縣	名	鑛山名	電力會社名
秋	田吉	乃	増田水力電氣株式會社
山	形吉	野	山形縣東置賜郡營電氣部
岩	大萱	生	盛岡電燈株式會社
同	鷲ノ	巢	黑澤尻電氣株式會社
福	大寺製鍊所	川	猪苗代水電株式會社
同	松	倉	二本松水力電氣株式會社
新	持	澤	新潟水力電氣株式會社
枋	木戸ケ	待	鬼怒川水力電氣株式會社
兵	庫鹽	米	猪名川電氣株式會社
岡	山久	田	備作電氣株式會社
島	根窪	山	出雲電氣株式會社
山	口井	西	山口電燈株式會社
德	島中		四國水力電氣株式會社

福岡山下田九州水力電氣株式會社

石炭坑ニ於ケル瓦斯炭塵ノ爆發ハ鑛業變災中慘禍最モ甚シキモノニシテ斯業ノ發達上頗ル緊要ノモノナルカ故ニ政府ハ疊ニ石炭坑爆發取締規則ヲ制定シ更ニ爆發ノ原因及其ノ豫防法等ヲ調査研究スル爲メ筑豐石炭鑛業組合ト協力シテ福岡縣鞍手郡直方町御館山ニ其ノ調査所ヲ設ケ之レカ調査研究ヲ開始スルニ至レリ而シテ各炭鑛ニ於テモ亦タ變災豫防ニ專ラ意ヲ用ヒ夫レカ施設ヲ爲スモノ多ク其ノ施設ノ主ナルモノハ三菱美唄炭鑛ニ於テハ炭塵發生ノ豫防トシテ各切羽ニ撒水シ或ハ岩粉粘土ヲ撒布シ專ラ炭塵ノ飛散ヲ防止シ將來岩粉棚ヲ作ル計畫ヲナシ又夕張炭鑛ハ撒水用トシテ各切羽ニ至ル鐵管ヲ敷設ス其延長二萬尺以上ニ及ヘリ新夕張炭鑛モ亦同シク撒水ノ目的ニヨリ坑内ニ木樋二千餘尺鐵管一萬尺以上ヲ敷設セリ自然發火及地表陷落ニ對スル豫防法トシテ土砂填充法ヲ採用スルモノ多ク本年ニ至リ夕張炭鑛第一斜坑ニ於テ其ノ設備トシテ鐵管坑道ノ掘鑿完成シ目下煉瓦工事中ニ屬シ大ノ浦炭鑛桐野坑ニ於テハ填充設備完成セルヲ以テ其ノ作業ヲ開始シ三池炭鑛七浦坑ハ從來ノ土砂填充口狹隘ナリシヲ以テ其ノ注入口ノ開鑿工事ヲ起シ土砂破碎機ヲ設置シ又宮浦坑注入口ノ開鑿ヲ萬田坑亦充填作業ヲ開始セントス

一、新ニ事業ニ著手シタル鑛山

江差鑛山 金銀銅亞鉛 鑛業權者 遠藤國天鹽郡遠別村

事業ニ著手シ舊坑ノ取明ニ努メ更ニ舊坑内ニ於ケル含銀銅亞鉛鑛脈ニ沿フテ鑛押探鑛ヲ行ヒ且

ツ諸所ニ堅入坑道ヲ開鑿ス坑外設備トシテハ鑛石貯藏所坑夫飯場事務所鍛工場浴場及雜倉各一棟ヲ建設セリ

試掘權登錄 石 油 鑛業權者 遠藤國天鹽郡遠別村

八月試掘坑井ノ位置ヲ選定シ十月第一號井ノ開坑掘鑿ニ著手シ「ロータリー」式米國索繩式ヲ併用セル「コンベネーション」式ニ依リ掘進中ニシテ深度千四百四十四尺ニ達セリ

北湧鑛山 金銀銅 鑛業權者 北見國紋別郡上湧別村

既知ノ鑛床ハ走向九十度傾斜北方八十度其幅一尺内外ニシテ平均品位ハ銅百分ノ六(粗鑛)ナリ目下盛ニ探鑛中ニシテ堅坑ハ其深サ八十尺ヲ算シ其間ニ二箇ノ鑛押坑道アリ第一坑道ハ堅坑五十尺ノ個所迄掘進シ延長二百四十尺ニ及ヒ又第二坑道ハ堅坑八十尺ノ個所ヨリ鑛脈ニ沿ヒ掘進シ其延長百十尺ニ達シ兩者共ニ尙掘進中ナリ

幌去鑛山 格魯謨鐵 鑛業權者 日高國沙流郡幌去村

當初河床ニ散在セル格魯謨鐵鑛ヲ採取シタリシカ其ノ後探鑛ノ結果地表下十尺乃至十五尺ノ箇所ニ塊狀及小岩脈狀ヲナセル鑛床數個ヲ發見シタルヲ以テ專ラ鑛石ノ探掘ニ從事ス

上岡鑛山 鐵 鑛業權者 福島縣双葉郡上岡村

本山ハ富岡町ヨリ郡山町ニ通スル縣道ニ當リ小市街地ヲ爲ス上手岡ノ西南方約半里ノ山地ニ位ス而シテ上手岡ヨリ富岡町ニ至ル行程約二里ニシテ交通至便ナリ鑛床ハ約南北ノ走向ニテ片麻花崗岩中ニ扁豆狀ヲ爲シテ連互シ東方ニ急斜セリ其厚サ露頭ニ於テ最モ廣キ處約十間ニ及フ主鑛物ハ磁鐵鑛ニシテ石英ヲ伴ヒ又少量ノ硫化鐵及輝銅鑛ヲ夾雜ス十一月ヨリ露天掘ニ著手ス大笹生鑛山 金 銀 鑛業權者 福島縣信夫郡大笹生村

舊記ニヨレハ今ヲ距ル八百年以前ノ開山ニ係リ降テ徳川幕府上杉伊達ノ兩藩又ハ個人ニヨリテ盛ニ稼行セラレタル如ク現ニ無數ノ舊坑多量ノ廢鑛及鑛滓ヲ存ス附近地質ハ第三紀凝灰岩及凝灰岩質泥板岩ノ交層ニシテ該岩層ハ鑛區ノ西方ニ於テ片麻花崗岩ヲ被覆シ其附近ニ於テ石英粗面岩ノ露出アリ鑛床ハ第三紀層中ニ石英ヲ脈石トシテ東西或ハ南北ノ走向ヲ以テ生成セル鑛脈ニシテ其主脈ニ伴フニ無數ノ枝脈ヲ以テシ或部分ニ於テハ網狀ヲ爲セリ脈幅ハ三寸乃至二尺アリ鑛床上部ハ酸化帶ニ屬シ單純ナル金鑛ヲ産シ底部ニ至ルニ從ヒ金銀鑛トナリ少量ノ硫化鐵ヲ隨伴セリ

福茂鑛山 金銀銅鐵 福島縣伊達郡茂庭村外一箇村
合名會社 藤田組

本山ハ伊達郡飯坂町ヲ距ルコト約六里半ニ位シ山形縣ニ通スル里道ニ當ル附近地質ハ主トシテ凝灰岩及石英閃綠岩安山岩等ヨリ構成セラレ鑛床ハ是等岩石ノ接觸部ニ近ク生成スル合金銀黃銅鑛脈ニシテ少量ノ石英及硫化鐵ヲ伴フ其主要ナルモノ五條アリ其幅小ナルハ數寸大ナル四尺又ハ七尺ニ及フ八月事業ニ著手シ專ラ探鑛ニ從事セリ

茂庭鑛山 金銀銅 福島縣伊達郡茂庭村
代表者 石部泰藏

福島市ヨリ米澤市ニ向テ國道ヲ進ムコト四里半之レヨリ北方約二里ノ山路ヲ經テ當山ニ達ス主要ナル鑛床ハ本鑛ト稱スル鑛脈ニシテ石英閃綠岩中ニ胚胎シ黃銅鑛ヲ主鑛物トシ黃鐵鑛ヲ伴ヒ且金銀ヲ含有ス其幅六尺餘アリテ走向ハ三十五度ヲ示シ東方ニ七十度斜下ス

銅屋澤鑛山 金銀銅鉛
福島縣安積郡月形村
代表者 肥田金一 耶

地質ハ主トシテ凝灰岩石英粗面岩及安山岩等ヨリ成リ鑛區ノ中央ニ位スル舊坑内ニ凝灰岩ヲ母岩トシ黃銅鑛閃亞鉛鑛及黃鐵鑛ヲ散介スル細脈ノ縱橫不規則ニ交錯セルモノアリ其東北方百數

十間ニ粘土ト共生セル石膏體アリ七月右舊坑ノ取明及新坑開鑿ニ著手シ專ラ探鑛ニ從事セリ

田良尾鑛山 銀銅亞鉛
福島縣南郡湯本村
代表者 石井敬之助

久シク休業中ナリシカ十月操業ヲ開始ス鑛床ハ主要ナルモノ二條ニシテ其一ヲ赤石鑛ト稱シ平均二尺ノ幅ヲ有シ他ノ一ヲ烏燒澤鑛ト稱シ其幅約一尺アリ其他細脈數條アリ何レモ第三紀層硬砂岩及粘板岩ノ互層中ニ胚胎セル石英脈ニシテ黃銅鑛ヲ主鑛物トシ少量ノ金銀及黃鐵鑛閃亞鉛等ヲ混有ス

黒岩鑛山 金銀銅
福島縣南郡加納村熱鹽村
代表者 宮森良三

九月事業ニ著手シ露頭ヨリ直ニ横坑ヲ開キ探鑛ニ從事ス鑛床ハ石英粗面岩ヲ母岩トセル裂罅充填鑛床ニシテ東北ニ走リ西北ニ斜下スルコト八十度其幅八寸乃至一尺五寸アリテ黃銅鑛ヲ主鑛物トシ硫化鐵及閃亞鉛鑛ヲ伴ヒ又少量ノ金銀ヲ含有ス

尻高鑛山 銀銅鉛
福島縣河沼郡下谷村
代表者 日本鑛業合資會社

往時銀鑛ヲ探掘セリト傳フル舊坑數個アリ八月是等舊坑取明ニ著手セリ舊探掘跡ニ就テ鑛床ノ狀態ヲ見ルニ凝灰岩ト石英粗面岩トノ接觸部ニ近ク生成セル鑛脈ニシテ其走向ニ百三十九度傾斜南方ヘ六十度ニシテ脈幅一尺内外アリ

館之澤鑛山 銅 福島縣大沼郡川口村
代表者 佐藤銀五郎

元玉梨鑛山ト稱シ久シク休業中ナリシカ八月事業ニ著手ス鑛床ハ石英粗面岩中ニ生成セル裂罅充填鑛脈ニシテ其脈幅狭キモ五尺内外廣キハ十二尺ニ及フ走向百度乃至百十五度ニシテ北方ニ斜下スルコト五十度乃至六十度ナリ上磐ニ白粘土脈ヲ負ヒ鑛床中ニハ大小ノ黃銅鑛塊ヲ介在ス

沼澤鑛山 硫黃 福島縣大沼郡沼澤村
合資會社 中村商會

舊噴火口タル沼澤湖ノ北方只見川ノ沿岸ニ在リ該川ヲ隔テテ岩越線野澤驛ニ通スル縣道ニ對シ鑛山ヨリ該縣道ヲ經テ野澤驛ニ至ル行程ハ約七里ナリ

鑛床ハ凝灰岩中ニ生成セル鑛染鑛床ニシテ大略南北ニ走り東方ニ急斜セリ其厚サ未タ判明セサルモ七尺ヲ下ラス而シテ硫黃含有量ハ約二十パーセントナリ

三月採掘ニ著手四月製鍊ヲ開始シ釜十二個ヲ以テ一基トセル燒取窯十基ヲ設置セリ

沼ノ平鑛山 硫黃 位 置 福島縣耶麻郡吉妻村 鑛業權者 日本硫黃株式會社

沼尻鑛山ノ東方約二十丁ニ位シ沼ノ平ト稱スル舊噴火口ヲ擁シ東南ニ安達太郎山ヲ控エ海拔四千七百餘尺アリ

鑛床ハ火山灰砂及礫等ノ集合シテ層狀ヲ爲シ各所ニ露出シ平均三十五パーセントノ硫黃ヲ含有ス五月事業ニ著手シ露天掘ニ依リ採鑛シ且ツ製鍊場ヲ新設シ七月燒取法ニ依ル製鍊ヲ開始セリ其窯數四基ニシテ一晝夜ノ處理鑛量六千貫ナリ

土畑鑛山 金銀銅 位 置 岩手縣和賀郡湯田村 鑛業權者 田中鑛業株式會社

明治三十三年ノ發見ニ係リ其後搗鑛青化製鍊ヲ行ヒタルコトアルモ好果ヲ收ムルヲ得ス屢々休山セシカ大正五年中元金鑛露頭タリシ下部ニ於テ一大良鑛床ニ逢著セリ

地質ハ第三紀層及石英粗面岩ヨリ構成セラレ第三紀層ハ頁岩並ニ石英粗面岩質凝灰岩ヨリ成リ主トシテ鑛床ノ西南方ニ發達シ石英粗面岩ハ前者ヲ貫通畑平山ヲ中心トシ北東ニ多ク頒布セラレ本山ノ大部ヲ領セルモノナリ

鑛床ハ畑平山鑛床及ヒ黑鑛々床ノ二トス

畑平山鑛床ハ斑銅鑛及ヒ黃銅鑛ヲ附隨セル無數ノ細微ナル石英脈縱橫ニ走り網狀ヲ呈シ以テ鑛

體ヲ形成ス其優良ナルモノニ至リテハ金銅品位百分ノ八以上ヲ認ムルモ貧鑛ハ千分位ヲ免カレ

ス而シテ鑛體ノ範圍ハ未タ測知シ難シ

黑鑛々床ハ畑平山ノ東方約四丁ニ位シ(ホンニウ)澤及畑ヶ澤ノ分水嶺ヨリ以來白土澤ニ面セル地ニ分布セラレ石英粗面岩及第三紀層(頁岩)中諸所ニ露頭點在ス露頭ハ酸化作用ノ爲メ表面黃灰色ノ土鑛ト化シ厚サ約一尺ヨリ十五六尺ニ及フモノアレトモ一般ニハ土鑛化セシ部分僅少ニシテ著シク重晶石ニ富ミ閃亜鉛鑛亦少カラス其他方鉛鑛黃鐵鑛黃銅鑛及金銀等ヲ含有シ露頭ニ於ケル含銅甚タ稀少ナリ

黑鑛々床方面ハ主トシテ上總掘試錐ヲ行ヒ其狀態範圍ヲ確知スルニ勉メ畑平山方面ハ主トシテ坑道ニヨリテ探鑛ノ歩ヲ進メツツアリ

探鑛ハ畑平方面ヲ主トスルモ探鑛ノ進捗ニ從ヒ漸次黑鑛方面ニ及フヘク而シテ開坑或ハ土取作業ニヨリ鑛石ニ逢著セル部分ニ對シ坑内ニアリテハ掘進掘上リ掘下リ柱房法及ヒ階段法等ニヨリ探鑛シ支柱或ハ土砂磐石ノ充填ニヨリ探鑛スルモノトス坑外ニアリテハ將來兩者共露天掘ヲ行フ計畫ニシテ現在掘探セル鑛石ハ青森縣安部城鑛山ニ送り合併製鍊ヲ行ヒツツアリ

試掘鑛登錄 石油 位 置 山形縣飽海郡大澤村外二 鑛業權者 白崎良彌

當山ハ酒田港ノ東北方三里餘ニ在リ道路平坦交通至便ナリ一月下旬網掘鑛井ニ著手五月上旬掘進百五十間ニ達シ尙掘進中ナリ而シテ三十三間ノ個所ニ於テ多量ノ瓦斯ヲ發散シ少シク油氣ヲ帶ヘル地層ニ會セリ

本事業ハ當地方ニ於ケル機械鑛井ノ嚆矢ナリ

扇田炭鑛 石炭 位 置 秋田縣北秋田郡七日市村外二村 鑛業權者 扇田炭鑛株式會社

炭層ハ第三紀層中ニ介在シ上下二層アリ其厚サ各五尺乃至二十尺ニシテ後期迸發火山岩ノタト著シク變動ヲ受ケ殆ント無煙炭ニ近キモノトナリ發熱量多クシテ發煙セス動力用竝ニ薪炭代用トシテ一般使用ニ適セリ久シク休業中ナリシカ九月ヨリ事業ニ著手シ主ニ採炭準備及鑛區附近一帯ノ測量ニ從事シツツアルモ將來ハ明リ又丹瀨二方面ニ採炭場ヲ設ケ其間ニ約三千間ノ架空鐵索ヲ架設シ全部ノ石炭ヲ明リ又ニ集メ更ニ明リ又ヨリ奥羽線ノ鷹巢驛ニ達スル輕便鐵道約十七哩ヲ布設シ奥羽官設鐵道ニ連絡セシメントシ之レカ計畫中ニアリ

中ノ臺鑛山 金銀銅 鑛業權者 秋田縣北秋田郡大葛村 加賀谷 龍松

久シク休業中ナリシカ二月瀧ノ澤坑ノ探鑛ニ著手シ五月良鑛ニ逢著引續キ田茂ノ木澤鑛ヲ發見シ開掘中ナルモ現今ハ瀧ノ澤坑ノ探掘ヲ主トス鑛床ハ正規鑛脈ニシテ黃銅鑛ヲ主トシ數條アルモ稼行中ノモノハ前記二條ニシテ前者ハ鑛幅四尺乃至十二尺金銅品位四%内外後者ハ鑛幅一尺乃至二尺金銅品位一%内外ヲ有ス

大卷鑛山 銀銅 鑛業權者 秋田縣北秋田郡西館村 泉茂 家

七月ヨリ探鑛竝ニ採鑛ニ著手シタルカ鑛床ハ黑鑛々床ト銅鑛染鑛床ノ二種アリ目下稼行中ノモノハ銅鑛染鑛床ニシテ石英粗面岩中ニ胚胎スル網狀鑛脈ニ屬シ金銅品位五乃至六%アリ幅員廣キモノノ如シ

北平鑛山 金銅 鑛業權者 秋田縣北秋田郡大葛村 竹内鑛業株式會社

久シク休業中ナリシカ五月事業ニ著手シ目下主トシテ坑内擴張ニ從事ス鑛床ハ安山岩中ニ胚胎スル石英質鑛脈ニシテ主ナルモノ二條アリ各幅一尺内外ニシテ自然金、黃銅鑛ヲ産シ平均金十萬分ノ二、銀十萬分ノ一、五、銅百分ノ七ヲ含有ス

長部鑛山 銅、銀 鑛業權者 秋田縣北秋田郡大葛村 雨宮 正太 郎

五月探鑛ヲ開始シ間モナク新鑛床ヲ發見セリ該鑛床ハ安山岩中ニ胚胎スル鑛脈ニシテ幅八尺乃至十四尺アリ鑛ハ多量ノ雲母鐵鑛中ニ黃銅鑛ヲ染充シタルモノニシテ平均含銅品位二乃至三%ヲ有ス

澤目鑛山 石油 鑛業權者 秋田縣山本郡橋川村 外二村 日本石油株式會社

十一月新ニ事業ニ著手シタルカ其施設機械ハ外焚多管式汽罐一、單胴不凝式汽機一、可搬式鑿井機一ナリ

地質ハ粘土質頁岩及褐色頁岩ヨリ成リ露面數箇所アリテ常ニ「ボーメー」二十度ノ原油ヲ湧出シ鑿井豫定深度ハ二百間トシ掘下中ナルカ十一月中六十餘間掘進シタル坑井ハ其深度十四間ニシテ「ボーメー」二十度日産一石ノ油層ニ會セリ

小倉豐川鑛山 石油 鑛業權者 秋田縣南秋田郡豐川村 代表者 小倉 常吉

十一月「ロータリー」式鑿井一個ノ掘進ヲ開始シタルニ十二月深度百九十四間ニテ成效シ引續キ二坑井ノ掘鑿中ニシテ「ロータリー」式鑿井機二、外焚多管式汽罐二、單筒橫置式汽機二、石油發動機一、蒸氣唧筒四ノ諸機械ヲ新設ス

送油設備ハ槻木鑛山ト共用ニシテ送油場ヲ本鑛區内ニ設ケ三聯式機力唧筒一臺ヲ設ク

道川鑛山 石油 鑛業權者 秋田縣南秋田郡上新城村 秋田鑛油株式會社

一時休業中ナリシカ新ニ網堀式鑿井ヲ企圖シ四月第一號井、十月第二號井ノ開坑ニ著手セリ而シテ第一號井ハ九月深度百七間ニシテ日産八石(「ボーメー」十八度)ノ油座ニ會シタルヲ以テ一時掘進ヲ中止シテ探油ヲ試ミタリ然ルニ十二月ニ入り產油量減少シタル爲メ追掘シタルニ深度百十七間ニシテ更ニ新油層ニ當リ日産十六石油量(「ボーメー」十八度)アルヲ以テ目下吸取準備中ニアリ第

二號井ハ十一月深度九十九間ニシテ日産十三石ノ油座ニ會シタルヲ以テ掘進ヲ中止シテ採油シタルモ十二月ニ至リ又産油量ヲ減少シタルニヨリ追掘準備ニ著手セリ本鑛井地ノ油層ハ日本石油株式會社所有旭川鑛區ヨリ來レル背斜軸上ニアリ地質ハ灰色及褐色頁岩ヨリ成リ多數ノ土瀝青及石油ノ露頭存在スルヲ以テ地下深ク良好ナル油層ヲ藏スルモノトシテ一般ニ囑望セラル而シテ既設若クハ工事中ノ主ナル設備ヲ示セハ左ノ如シ

既設ノモノ 鋼堀式鑛井機三、外焚多管式汽罐一、單筒不凝式汽機二

工事中ノモノ 外焚多管式汽罐一、單筒不凝式汽機一

探掘機登録 石油 鑛業權者 秋田縣南秋田郡旭川村 助

久シク休業中ナリシカ採油ヲ處理スル目的ヲ以テ十二月中秋田市ニ製油所ヲ開設シ蒸餾釜十石入二、冷却槽三、洗滌槽十石入一、コルニツシユ式汽罐一、單筒橫置式汽機一、鐵槽五十石入二、同十五石入一、同十石入四、同六石入一、ヲ設置ス其處理原油量ハ一箇月四百石ニシテ燈油二十石輕油百三十石、ビツチ十二萬六千斤ヲ産出スル豫定ナリ

試掘機登録 石油 鑛業權者 秋田縣南秋田郡金足村外一

十一月、ロータリー式第一號井ノ開坑ニ著手シ現時深度二百五間ニ達シタリ其間ノ地質ハ灰色頁岩及ヒ砂混リ頁岩ノ互層ナルモ未タ油層ニ逢著セス施設機械ハ「ロータリー」式鑛井機一、外焚多管式汽罐一、「ウルフ」式汽機一、蒸氣唧筒三ナリ

岩瀨鑛山 石油 鑛業權者 秋田縣南秋田郡金足村外一

十二月ヨリ網掘式第一號井ノ開坑ニ著手ス地質ハ主トシテ粘土質褐色頁岩ニシテ未タ油層ニ會セサルモ主ナル新設機械ハ網掘式鑛井機一、外焚多管式汽罐一、單筒橫置式汽機一、石油發動機一、蒸

氣唧筒一ナリ

試掘機登録 石油 土瀝青 鑛業權者 秋田縣南秋田郡金足村外一村

十一月、ロータリー式第一號井ノ開坑ニ著手シ十二月末深度百八十五間ニテ成功シ尙ホ目下鑛井増加計畫中ナリ新設シタル設備ハ「ロータリー」式鑛井機二、外焚多管式汽罐二、單筒橫置式汽機二、蒸氣唧筒二ナリ

試掘機登録 石油 鑛業權者 秋田縣南秋田郡上新城村

十月ヨリ網掘式第一號井ノ開坑ニ著手ス地質ハ主ニ褐色頁岩ニシテ深度九十間ノ處ニ多少ノ油氣ヲ存ス而シテ新設機械ハ網掘式鑛井機一、「ウルフ」式汽機一、外焚多管式汽罐一ナリ

日ノ出鑛山 金銀銅 鑛業權者 新瀉縣東部郡日出谷村外一

七月操業ニ著手シ專ラ探鑛中ナリ鑛山附近ノ地質ハ古性層及第三紀層ヨリ構成セラレ往々石英粗面岩又ハ安山岩等ノ噴出岩岩脈ヲナシテ露出セルヲ見ル古性層ハ主トシテ粘板岩ニシテ硅岩砂岩等ヨリ成リ第三紀層ハ頁岩砂岩、燧岩、凝灰岩等ヨリ成ル、稼行鑛床ハ二條アリ一ハ太師鼻坑ヨリ稼行シ第三紀層ヲ母岩トシ他ハ深谷坑及川前坑ヨリ稼行スルモノニ係リ古性層ノ粘板岩ヲ母岩トス而シテ前者ハ裂罅鑛床ニシテ零度乃至三十度ノ走向ヲトリ東ニ傾斜シテ八十度ヲ示ス同一露頭中二條ノ鑛帶ヲ存シ相互ノ間隔約十餘尺アリ現在ニ於テハ上盤脈ヲ稼行セリ其幅二尺内外アリ主トシテ黃銅鑛ヲ包含シ多少ノ硫化鐵鑛ヲ伴フ後者ハ變質交代鑛床ニシテ約三百四十度ノ走位ヲトリ川前坑ヨリ深谷坑ニ延互シ其ノ間約二千四百尺アリテ幅四五十尺ヨリ七八十尺ニ至リ東ニ傾斜ス本鑛ハ雲母鐵鑛ヲ主トシ之レニ不規則ニ黃銅鑛、硫化鐵鑛結晶ヲ伴ヒ又一部ニ於テ閃亞鉛鑛ヲ産出シタルコトアリ隨伴鑛物トシテハ「ヘデン」パールジャイト、石榴石、方解石、石英等ア

リ川前坑方面ニ於テハ砒灰鐵鑛著シク發達シ柘榴石モ亦其量ヲ増加シ又磁鐵鑛ヲ伴フ
倉谷鑛山 金銀銅 鑛業權者 新瀉縣東部原郡西川村 代表者 落合民助

九月ヨリ操業ニ著手シ魚止澤水準ヨリ五百尺ノ高處ニアル走向南北傾斜西へ三十五度ノ鑛脈ヲ
露頭ヨリ開坑シ十一月下旬迄探鑛ノ傍探鑛セシモ同月下旬現鑛主讓受後ハ專ラ探鑛ヲ主トシ該
坑道ノ南向鈍押及西向鑛入ノ開鑿竝ニ下底探鑛ノ爲メ前記坑道ノ下部百十二尺ノ地竝ヨリ西向
坑道ノ開鑿中ナリ

鑛床ハ石英粗面岩及其附近ニ胚胎セル網狀脈ニシテ走向ヲ異ニスル多數ノ細脈アルモノノ如キ
モ開發日尙ホ淺キヲ以テ其ノ狀況未タ詳ナラス鑛物ハ酸化銅鑛及黃銅鑛中微量ノ金銀ヲ含有ス
蓮華鑛山 銀銅鉛 鑛業權者 新瀉縣西頭城郡小瀧村 蓮華鑛山合資會社

八月操業ニ著手シ探鑛ト同時ニ左記設備ノ工事中ナリ

選鑛場 五番形ブレーキ式碎鑛器一、七百ポンド十本立鐵製搗鑛器一、同五本立鐵製搗鑛器一、ウキ
ルフレー淘汰盤三

燒鑛場 橫置反射爐

運搬設備 單線式鐵索 延長三萬四千五百尺

此外選鑛場及架空鐵索原動用トシテ二十五馬力石油發動機各一臺、二十馬力二臺竝ニ電燈用八馬
力ノモノ一臺ヲ設置セントス

金満壽鑛山 水 重 鉛 鑛業權者 山梨縣北巨摩郡菅原村 代表者 石黒健

五月操業ニ著手ス本山ノ位置ハ駒ヶ嶽ノ中腹ニ近ク諸鑛山中稀ニ見ル交通困難ノ地點ニアリ
鑛床存在ノ狀態モ亦珍シキ現象ヲ呈セリ即チ鑛區内ノ小溪流ヲ隔タル兩岸山脚ノ急斜面ハ全部

花崗岩ノ風化セルモノニシテ重石鑛ハ此ノ部分ニ於ケル一寸乃至五寸ノ幅ヲ有スル石英脈ノ或
ハ竝行或ハ交叉セルモノヲ中心トシ其周圍ニ存在シ或ハ結晶形ヲ爲シ又ハ粒狀ヲ呈ス探掘ニハ
坑道ノ開鑿サレタルモノナク僅二三尺位ヲ掘進セルモノ一個所アルノミニシテ餘ハ皆隨處露天
作業ナルカ故ニ其鑛床ノ狀況ヲ判定スルコト能ハス而シテ又鑛區内ニ水鉛鑛ノ點在セル所アリ
ト雖モ未タ探鑛ニ著手セス

探鑛ハ露天掘ニシテ鑛物ノ存在セル部分ヲ風化シタル母岩ト共ニ剝キ崩シ其ノ粗鑛ハ塊粉ニ別
チテ塊鑛ハ木製水車ヲ原動力トナセル三本ノ木製杵ヲ以テ搗碎シ粉鑛ト共ニ更ニ各種ノ大サニ
篩分シ之ヲ箆揚盆汰リ流シ舟等ニヨリ選鑛ヲ施シ五十%内外ノ精鑛ヲ得

鳳鑛山 重石 鑛業權者 山梨縣東部山梨郡西保村 大日本重石鑛業社

鳳鑛山 重石 鑛業權者 山梨縣中部山梨郡宮本村 大日本重石鑛業社

鳳鑛山 水 重石 鑛業權者 山梨縣東部山梨郡西保村 同 西山梨郡千代田村 同 中巨摩郡宮本村 同 大日本重石鑛業社

本山ハ投資者ノ關係上内實ニ於テ三鑛區ノ合併施業ニシテ内二鑛區ハ明治四十年ノ設定ニ係リ
乙女坂水晶ノ產出地トシテ夙ニ世ニ知ラレタルモノニシテ他ノ一ハ大正二年七月試掘權ヨリ探
掘權ニ移リタルモノニシテ互ニ相隣接セリ從來ノ操業狀態タルヤ休暇常ナク時ニ水晶ノ採取ヲ
主トシ傍ラ重石鑛ヲ掘探シタルノ時期アリシモ何等設備ノ見ルヘキモノナク推移シタリ時恰モ
時局ノ爲メニ重石鑛ノ市價暴騰シタルヲ以テ茲ニ重石鑛ノ探掘ヲ目的トシテ大正五年二月横濱
市増田合名會社鑛業部ノ出資ノ許ニ秩序アル操業ニ著手シ爾來探鑛ニ努ムルト同時ニ選鑛方法
ノ改善ヲ企畫シ現ニ機械選鑛場ノ設置工事中ニ屬ス

鑛床ハ花崗岩ヲ母岩トセル石英脈中ニ胚胎セララル重石鑛ノ外水晶、黃鐵鑛、黃銅鑛、輝鉛鑛、閃亜鉛鑛、水鉛鑛及毒砂ヲ其産ス現在稼行中ノ鑛床ハ金山坑、乙女本坑、白岩坑、倉澤通洞、閉岩坑等ノ數條ニシテ其幅二尺乃至五尺ヲ算シ其他舊時水晶ヲ掘採シタル舊坑各所ニ散在セルヲ以テ是等各鑛床ノ探鑛進捗スルニ至ラハ大ナル發展ヲ見ルニ至ルヘシ

大谷鑛山 重石 鑛位 置 京都府南桑田郡神野村 敏 顯

附近ノ地質ヲ構成スル岩石ハ花崗岩ニシテ鑛床ハ其裂隙ヲ填充シタル四條ノ鑛脈トス何レモ石英脈ニシテ相竝行シ走向北五十度乃至四十度東ニシテ北西ニ斜下スルコト七十度内外ナリ其ノ幅ハ肥厚部ニアリテハ優ニ五尺ヲ算シ縮少部ト雖モ尙五寸ヲ降ラス而シテ其平均品位ハ二乃至三%ノ間ニアリ此等各鑛脈ヲ横貫シテ西向ニ進メル通洞坑ノ開鑛ハ大正四年四月以後ノ繼續事業ニシテ大正五年末ニ於テ既ニ六百二十尺ノ延長ニ達セシモ尙竝行脈ノ發見ヲ目的トシテ之ヲ掘進シツツアリ又前記ノ四鑛脈ニ對シテハ何レモ鑛押ニ掘進シ其延長第一番鑛ハ目下南向三百五十尺北向三百尺第二番鑛ハ北向五十尺南向六十尺第三番鑛ハ北向三百八十尺南向五十尺第四番鑛ハ北向二十五尺ニシテ其鑛幅ハ第一番鑛平均三尺第二番鑛一尺五寸乃至五尺第三番鑛約二尺第四番鑛約二尺五寸ヲ示セリ坑外ニ於テハ前年中起工セシ選鑛場ハ七月下旬之カ竣成ヲ見、ドツチクラツシャー、一、クロームロール、一、コルニツシユロール、一、デツカー、六、ハンチントンミル、一、ポインテッドボックス、十一、水壓分粒器、三、ウキルフレ、汰盤八、グラインデングバン、二、デヨンストン、汰盤三、大型エレベーター、一、小型エレベーター、一臺ヲ備フ

右運轉動力トシテ吸入瓦斯發動機二十五馬力、五十馬力及百馬力各一臺設置セリ

朝日鑛山 銀銅鉛 鑛位 置 兵庫縣出石郡合橋村 久原鑛業株式會社

數百年前盛大ニ稼行シ主トシテ銀ヲ産セシト云フ明治四十年頃稼行セシモ微々トシテ振ハサリシカ再ヒ事業ヲ開始シ舊坑ヲ取明ケ專ラ探鑛ニ從事ス鑛床ハ石英質ノ鑛脈ニシテ花崗岩中ニ胚胎シ概シテ走向ニ短ク傾斜ニ長ク産出ノ狀態甚タ不規則ナリ、附屬家島製鍊所ハ前年京都府海谷鑛山附屬トシテ製鍊場ヲ飾磨ニ又燒鑛場ヲ家島ニ設置セシカ本鑛山ノ附屬ニ變更ノ上更ニ製鍊ヲ家島ニ移シ設備ノ全部ヲ改築シタリ其主要ナルモノハ半瓦斯式蒸餾爐八座、同再餾爐四十座、燒鑛爐三座等ニシテ五月製鍊ヲ開始ス

右製鍊場ノ動力及電燈用トシテ五月瓦斯力六十、キロワット、發電機一臺ヲ設置セルカ十一月蒸餾爐ノ餘熱ヲ利用シ汽力五十五、キロワット、發電機一臺ヲ設置シテ之ヲ常用トナシ前者ヲ豫備用ニ供スルニ至レリ

夏梅鑛山 銀銅砒 鑛位 置 兵庫縣養父郡口大屋村 合名會社 藤田組

明治四十一年以來休山中ノ處八月稼業ヲ開始セリ鑛床ハ蛇紋岩ノ岩體分漿作用ニヨリテ生成シ塊狀ヲナシ黃銅鑛、磁硫鐵鑛、紅、ニッケル鑛及其他ノ、ニッケル鑛ヲ産ス其目的ハ主ニ、ニッケル鑛ノ採掘ニアルモノノ如キモ未タ特記スヘキモノナシ現ニ二坑道ヲ開坑シ專ラ探鑛ニ從ヒツツアリ

(ニッケル製鍊ハ小坂鑛山ニテ研究中ナリトイフ)

試掘權登錄 第七二二號 金銀銅 鑛位 置 兵庫縣城崎郡三方村 安木 宅 藏

慶長年間一時盛ニ稼行シタリト云フ明治年間ニ至リ屢々操業ニ著手セシカ何レモ失敗ニ終リ爾來休止ノ處七月事業ニ著手シタリ鑛床ハ閃綠岩中ニ生成セル石英質鑛脈ニシテ脈幅十尺内外ニ達ス鑛物ハ黃銅鑛、方鉛鑛、閃、亞鉛鑛等ニシテ多少ノ銀ヲ含メルモ其品位何レモ甚タ高カラズ目下横坑ヲ開鑛シテ專ラ探鑛中ニ屬セリ

試掘機登録 銀銅鉛 鑛業權者 西兵庫縣朝來郡山口村
第七六三號

五月操業ヲ開始セリ母岩ハ粘板岩内ニシテ鑛床ハ石英質鑛脈ヨリ成リ東西ニ走レル竝行脈二條アリ一ハ四尺他ハ一尺内外ノ鑛幅ヲ有シ黃銅鑛方鉛鑛等ヲ産ス鑛石ハ分解作用ヲ受ケ俗ニ素灰鉛ト稱シ粉鑛多ク含銀量尠カラス

赤目鑛山 銅 鑛業權者 石川縣能美郡金野村
鑛業權者 高橋七衛

久シク休業中ナリシカ九月再ヒ稼業ヲ開始セリ鑛床ハ凝灰岩ノ裂罅ヲ填充シタル鑛脈ニシテ其數二個相竝行シ走向北二十度西傾斜北東七十度内外ヲ示シ鑛幅狹小ナルモ品質良好ニシテ黃銅鑛斑銅鑛ヲ混在ス現ニ主トシテ舊坑ノ取明ニ從ヘルモ又別ニ堅坑ヲ開鑿シ十二月十五馬力コルニツシユ式汽罐一臺及六馬力ウオーシントン式唧筒二臺ヲ設置スルニ至レリ

八頭鑛山 金銀銅 鑛業權者 鳥取縣八頭郡牟村
鑛業權者 弓削田千吉

數百年前盛ニ稼行セシコトアリトイフ明治年間數度ノ探鑛ヲ試ミシモ何レモ失敗ニ終リ遂ニ現鑛主ニ至リ探鑛ニ著手スルニ至レリ鑛床ハ粘板岩珪岩等ノ互層中ニ生成シタル石英質鑛脈ニシテ主脈一條アリ走向南北傾斜西七十度脈幅二尺乃至五尺ニシテ其中ニ少量ノ黃鐵鑛ヲ産スルノミ前鑛主時代延長二十七間ノ鑛押坑道ヲ開鑿セルカ今回ハ之カ下部探鑛ノ目的ニテ目下大切坑ノ開鑿中ナリ

窪田鑛山 銀銅 鑛業權者 島根縣簸川郡窪田村
鑛業權者 前川健吉

久シク休業中ナリシカ一月操業ニ著手シ先ツ疏水坑道ヲ取明ケ鑛床ノ概況ヲ探リ以テ嚆望ノ價値アルヘキヲ感知シタルヲ以テ進ンテ堅鑛ヲ取明ケ下底ノ探鑛ヲ爲セルニ地表下約四十尺準ノ舊坑道ニ於テ鑛幅約五尺走向延長約三百尺ニ互ル優良ナル銅鑛床ヲ發見セシカハ尙其引立及下

底ノ探鑛ヲ繼續シ一方疏水坑道引立ニ於テ益々優良ナル鑛帶ニ逢著セリ其他別ニ南北鑛ヲ探鑛セシニ鑛幅約一尺ニシテ所々ニ優良ナル鑛石ノ存在セルモノアルヲ發見セシヲ以テ走向ニ沿ヒ專ラ探鑛ヲ進メツツアリ

堅坑排水ノ爲メ七月中十馬力吸入瓦斯發動機一臺五キロワット直流發電機一個及五馬力電働タービンポンプ一臺ヲ設置セルカ更ニ製鍊ヲモ開始センカ爲メ内徑三尺高サ十三尺ノ圓形熔鑛爐一基輕便燒鑛鍋三個眞吹床三座三番型ルーツ送風機一臺ヲ有スル製鍊場ノ新設ヲ企テ建設中ナリ

尙原動機トシテハ新ニ製鍊場内送風機用トシテ十五馬力モーター及ヒ既設排水用瓦斯機關ニ更フヘキ五馬力モーター各一個ヲ設置シ出雲電氣株式會社ヨリ動力ノ供給ヲ仰ク豫定ナリ

高盛鑛山 銅 鑛業權者 岡山縣英田郡大原村
鑛業權者 金澤利助

六月事業ヲ開始シ本坑竝ニ排水坑道ヲ設ケ鉋追ヒ探鑛シ更ニ八月ヨリ本坑ノ下底百五十二尺ノ處ニ大切坑道ヲ開鑿セルカ延長三百尺内外ヲ以テ著鑛ノ見込ナリトス坑外設備トシテハ探鑛中ニ探鑛セシ鑛石ヲ選鑛セン爲メ排水坑地竝ニ手選鑛場一棟ヲ建設セリ

久米鑛山 銅 鑛業權者 岡山縣久米郡久米村
鑛業權者 山下松代

津山藩主操業ノ時代ニ在リテハ非常ノ盛況ナリシトイフ明治年間屢々稼行ヲ試ミシモ多クハ失敗ニ終リ爾來十數年間全ク休山中ナリシカ四月ニ至リ操業ヲ開始セリ鑛區内ニハ三箇ノ鑛床アリ東方ヨリ順次久米榮光眞經ト稱ス何レモ粘板岩中ニ生成シタル石英質正規鑛脈ニシテ互ニ相竝行ス走向南北傾斜東七十度脈幅一二尺ノ間ニアリテ黃銅鑛黃鐵鑛方鉛鑛等ヲ産シ銅鑛ハ其品位甚良好ニシテ金銀亦尠カラストイフ各鑛脈ハ夫々別箇ノ坑道ヲ有スルモ多年休業ノ爲メ其

大部ハ現ニ埋没シアルヲ以テ今回先ツ榮光坑ノ取開ニ著手セリ坑内ハ嘗テ其延長南北●押一
尺掘リ下リ約二百五十尺ニ達シタリト云フ

排水運搬用トシテ三馬力單線式捲揚機十五馬力タービン唧筒各一臺ヲ設置シ電力ハ之ヲ備作電
氣株式會社ヨリ購入ス

都窪鐵山 錫重石 位 置 岡山縣都窪郡菅生村 鐵業權者 瀬良 隆 藏

倉敷町ヲ距ルコト一里半坑口マテ縣道ヲ通スルヲ以テ交通運搬共ニ甚タ便ナリ、鑛床ハ花崗岩中
ノ裂罅ヲ充填セル石英脈ニシテ鑛脈ハ大小數十條アリ鑛石ハ石英中ニ存在シ狼鐵鑛ニシテ結晶
質トシ他ニ何等隨伴鑛物ヲ認メス現時十一箇所ニ坑口ヲ有シ何レモ露頭附近ヲ稼行ス

現在ノ選鑛ハ専ラ手選鑛ノミナルモ近ク新ニ機械選鑛場ヲ起シ粗鑛約三百噸ヲ處理シテ平均品
位六〇、バアーセントノ精鑛約五噸ヲ得ヘキ見込ナリ今其選鑛設備ノ大要ヲ示セハ「ブレーキク
ラシャー」(一時間取扱)、「ロー」(二十四時間取扱)、「ロー」(十七噸)、「打拔鑛板」(同)、「木梓」(同)、「
ル」(二、三段式ハルツデッガー) (二十四時間取扱)、「四、ウイルフレーター」(同)、「三、バケットエレベーター」
(三十噸)、「一、バケットエレベーター」(二十噸)、「一、サクシヨンガスエンジン」(馬力)一ナリ

八阪鐵山 銀銅 位 置 廣島縣御調郡西野村 鐵業權者 稻垣 平太郎

廣島縣御調郡三原港ヲ距ル約二里坑口ハ殆ント縣道ニ沿ヒ交通至便ノ地ナリ、本鐵山ハ其起源詳
ナラサルモ近ク明治三十二年頃一時探鑛ニ從ヒ爾來休山中ナリシカ更ニ探鑛ニ著手シ以テ今日
ニ到レリ鑛床ハ石英粗面岩中ニ胚胎シ數多ノ鑛脈ヲ存スレ共現時探鑛中ノモノハ本鐵天福鑛及
天堂鑛ノ三條トス

本鐵ハ走向北五十五度、東傾斜八十五度、北面幅員二尺含銅品位三、パーセント、含銀品位萬分ノ四ニ

シテ天堂鑛ハ走向北五十五度東傾斜七十度南東幅員一尺含銅品位二、パーセント、含銀品位萬分ノ
三、五天福鑛ハ走向北五十五度東傾斜六十度幅員二尺含銅品位四、パーセント、含銀品位萬分ノ四、三
ナリ

脈石ハ方解石、石英ノ外ニ螢石ヲ伴ヘル處アリ而シテ鑛石ハ黃銅鑛ヲ主トシ其他硫化鐵、閃亞鉛鑛
及方鉛鑛ヲ伴フ

試掘權登錄 石炭 位 置 佐世保市中通免外一 鐵業權者 木崎 ミ

五月開坑以來坑道ノ掘進十五日間ニシテ著炭シ引續キ該炭層ノ位置ヲ追及シテ走向傾斜ヲ探リ
中通リ炭ナルコトヲ確メ探炭ヲ開始セリ

試掘權登錄 石炭 位 置 山口縣美祿郡於福村外一 鐵業權者 代表者 白石 董

四月炭層露頭部二箇所ニ坑口ヲ穿テ掘進ヲ開始シタルモ五月更ニ一箇所ヲ開坑シ前者ノ内第一
坑ハ掘進九十尺ニテ稍ヤ良好ナル(俗稱マテ)塊炭ニ會シ第二坑三百六十尺餘ノ地點ニ達シテ頗ル
良好ナル塊炭ニ會シタリ而シテ後者即チ第三坑亦露頭ヨリ炭層ノ傾斜ニ沿フテ掘進スルコト百
五十尺ニシテ著炭セリ

試掘權登錄 石炭 位 置 福岡縣早良郡姪濱町 鐵業權者 福岡鐵業株式會社

試掘事業中上層ヨリ四尺層、六尺層、二尺層、三尺層ノ四層順次存在スルヲ確メタルヲ以テ十二月採
掘ニ轉願スルト共ニ坑道ノ開鑿ヲ始メ左記工程進捗ト共ニ「ランカシャー」式汽罐三基捲揚機十二
吋一基、排水唧筒八吋乃至十六吋ノモノ四基ノ据付ケヲ了セリ

一本卸坑道 高七尺 幅十五尺 二百二十間 坑口ヨリ八十八間ニシテ四尺層
一、達卸坑道 高七尺 幅十五尺 二百間 坑口ヨリ七十四間ニシテ四尺層ニ
八十六間ニシテ六尺層ニ著炭ス

第五十八號
試驗權登錄
金銀
鑛業權者
代大分縣速見郡立石
表者山田武

第五掘九六號
銀銅、鉛、錫
亞鉛、重石、砒
鑛業權者
大分縣大野郡小野市村
代表者 米田友八

鑛脈ヲ追フテ掘進シ、第三號坑ノ掘進ニ依リ重石鑛脈ノ存在確實ナルヲ認メタリ

四月事業ニ著手シ大字三壽利ノ舊坑ヨリ四十餘尺ノ低地通洞坑一箇所ヲ設ケ三百三十尺掘進シ又字「サカシ」ニ於テ二箇坑口ヲ開キ掘進延長三百二十尺ニシテ鑊幅二尺アリ十二三尺ニ膨縮スル單鑊脈ノ存在セルヲ認メタリ

鑛山名	鑛種	位置	鑛業人	備考
福島鑛山満	俺	渡島國松前郡福島村	杉林庄七	坑内ニ在リテハ四番坑堅入ト連絡セシムル爲メ一番坑道ヨリ堅入坑道掘鑿中ニシテ運搬及採鑛準備トシテ中切坑ヲ掘進中ナリ坑外ニ設備シテハ中切坑又奥山坑ト選鑛場間ニ軌道及ヒ鐵索ヲ布設セリ
石倉鑛山硫	黃同	茅部郡森村	大橋織太郎	製鍊窯一基ヲ開設ス

[illegible]

十一月事業ニ著手
九月中旬第一號并開坑掘鑿ニ著手シ「ロ
ンバリー」式ト米國索繩式トヲ併用セル
「コンベネンシヨン」式ニ依リ掘進シ深度
五百四十八尺ニ達セリ
十一月ヨリ第三號掘試錐ノ運轉ヲ開始
シ僅少ノ瓦斯油氣ヲ認メタルモ出油スル
ニ至ラズ尙ホ掘進中ニシテ深度千四百十
尺ニ達セリ

十月事業ニ著手
四月事業ニ著手シ坑道ニ箇所ヲ開鑿シ其
延長二百尺乃至三百尺ニ達ス
六月事業ニ著手シニ箇ノ坑道ヲ開鑿シ其
延長百尺乃至七十尺ニ達ス
四月事業ニ著手

御嶽鐵山ノ一部トシテ十一月ヨリ探鑛ニ
著手

一七九

第五試掘二號	清水澤鑛山	同	炭	宮城縣加美郡小野田村	工藤重助	四月事業ニ著手
第二試掘一號	第二鳥澤鑛山	同	炭	名取郡茂ヶ崎村	今野爲之助	九月事業ニ著手
第三試掘一號	三寶鑛山	同	炭	栗原郡萩野村	石橋昌榮	試驗ニ依リ鑛床ノ存在ヲ認メタルヲ以テ鑛坑ノ開鑿ヲ行ヒ探掘ニ著手セリ
第四試掘一號	柱田鑛山	同	炭	福島縣双葉郡大堀村外一	森助十郎	六月事業ニ著手
第五試掘一號	同	同	炭	新山村外一	同	十一月事業ニ著手
第六試掘一號	同	同	炭	石城郡入遠野村	釘宮徳次郎	八月事業ニ著手
第七試掘一號	同	同	炭	伊達郡柱澤村	日本鑛業開拓合名會社	久シク休業中ノ處十月事業ヲ開始セリ
第八試掘一號	同	同	炭	富成村外一	安孫子平三郎	三月事業ニ著手
第九試掘一號	同	同	炭	小坂村外一	鈴木花	五月事業ニ著手
第十試掘一號	同	同	炭	茂庭村	野村賛朗	三月事業ニ著手若干ノ鑛産アリ
第十一試掘一號	同	同	炭	信夫郡瀬上町	石部泰藏	五月探掘ニ著手
第十二試掘一號	同	同	炭	安達郡玉ノ井村外一	早田喜代松	三月事業ニ著手
第十三試掘一號	同	同	炭	信夫郡松川村外一	小松長次郎	九月事業ニ著手
第十四試掘一號	同	同	炭	田村郡瀧根村外一	小松長次郎	十月探掘ニ著手
第十五試掘一號	同	同	炭	安積郡月形村	箭内孫四郎	一月事業ニ著手
第十六試掘一號	同	同	炭	多田野村外一	肥田金一郎	十二月事業ニ著手
第十七試掘一號	同	同	炭	同	金子伊太郎	十月事業ニ著手

第一試掘一號	岩代鑛山	同	炭	岩瀨郡湯本村	中村房次郎	五月事業ニ著手
第二試掘一號	同	同	炭	收本村	鈴木倉藏	三月事業ニ著手
第三試掘一號	同	同	炭	岩瀨郡白方村	白石長松	一月事業ニ著手
第四試掘一號	同	同	炭	安積郡三和村	池上爲之助	九月事業ニ著手
第五試掘一號	同	同	炭	岩瀨郡大屋村	羽田彦四郎	四月事業ニ著手
第六試掘一號	同	同	炭	耶麻郡熱鹽村外一	三宅豹三	四月事業ニ著手
第七試掘一號	同	同	炭	熱鹽村	海野虎之助	八月事業ニ著手
第八試掘一號	同	同	炭	加納村	山瀬幸人	十一月事業ニ著手
第九試掘一號	同	同	炭	檜原村	芥川盛志知	八月事業ニ著手
第十試掘一號	同	同	炭	岩月村	橋口六郎	九月事業ニ著手
第十一試掘一號	同	同	炭	奥川村	金山誠二	九月探掘ニ著手
第十二試掘一號	同	同	炭	北會津郡東山村	井上鑛業合資會社	十月事業ニ著手
第十三試掘一號	同	同	炭	河沼郡下谷村	水谷徳太	四月事業ニ著手
第十四試掘一號	同	同	炭	正中村外一	鈴木鐵次	七月事業ニ著手
第十五試掘一號	同	同	炭	飯谷村	肥田金一郎	九月事業ニ著手
第十六試掘一號	同	同	炭	寶坂村外一	小原要之助	十月探掘ニ著手
第十七試掘一號	同	同	炭	下谷村外一	黒鳥岩松	四月事業ニ著手

第採 五掘 一登 號錄	土場鑛山銅	金銀銅同
平ノ松鑛山銅鉛金銀亞鉛	湯田村	橫川目村
第試 二掘 〇五 號錄	金銀銅同	下閉伊郡大川目村
第採 二掘 六六 號錄	銅	和賀郡湯田村
中澤鑛山金	銀銅同	二戸郡田山村
天笠森鑛山銅	同	和賀郡湯田村
第試 一掘 四八 號錄	金	九戸郡大野村外一
第試 一掘 四八 號錄	同	氣仙郡竹駒村
第試 一掘 四七 號錄	金	下閉伊郡山口村
第試 一掘 四五 號錄	金	紫波郡乙部村
第試 一掘 四三 號錄	金	東磐井郡矢越村外二
第試 一掘 四二 號錄	金	上閉伊郡大槌町
第試 一掘 四一 號錄	金	下閉伊郡有藝村
第試 一掘 三七 號錄	金	和賀郡澤内村
第試 一掘 三七 號錄	金	上閉伊郡甲子村外一
第試 一掘 三一 號錄	金	氣仙郡日頃市村
第七章 續山事業ノ概況 (新ニ事業ニ著手シタル鑛山)		
千澤平三郎	五月事業ニ著手	
小林辰治	十月事業ニ著手	
田沼勝之助	四月事業ニ著手	
嶋澤恆	五月事業ニ著手	
長澤民得	八月事業ニ著手	
根市勇右衛門	五月事業ニ著手	
藤澤嘉兵衛	一月事業ニ著手	
村田政吉	十月事業ニ著手	
石川啓次郎	十月事業ニ著手	
皆川長平	五月事業ニ著手	
木村金次郎	十二月事業ニ著手	
合資會社高田商會	十二月事業ニ著手	
齋藤盛	八月事業ニ著手	
坪井美雄	十一月事業ニ著手	
荒木泰治	六月事業ニ著手	
木村謙之助	十一月事業ニ著手	
飯塚力藏	十一月事業ニ著手	

小田吉次	高橋半兵衛	赤間源助	菊池千代吉	照井淺千代	郡司半助	戸田濱次	田中銀之助	千澤平三郎	下山田爲助	黒子富之丞	古河合名會社	中村正修	長澤民得	茂木惣兵衛	共立鑛業株式會社	同
七月事業ニ著手	五月事業ニ著手	五月事業ニ著手	一月事業ニ著手	十一月事業ニ著手	二月事業ニ著手	四月事業ニ著手	十月事業ニ著手	十一月事業ニ著手	八月事業ニ著手	十月事業ニ著手	九月事業ニ著手	七月事業ニ著手	十一月事業ニ著手	十二月事業ニ著手	六月事業ニ著手	六月事業ニ著手

佐藤	宇三郎	十月事業ニ著手
三井	德寶	六月事業ニ著手
青山	勇太郎	事業ニ著手シ一箇月續量約八萬貫處理ノ 目的ニテ燒取製煉釜三基開設ニ著手シ年 末ニ基工事完成使用ヲ開始セリ
寺田	省歸	八月事業ニ著手
梅村	米松	八月探鑛ニ著手
代表者	田中銀之助	十月探鑛ニ著手
同		十月探鑛ニ著手
同		十二月探鑛ニ著手
同		十一月探鑛ニ著手
同		十一月探鑛ニ著手
代表者	八重樫源太郎	二月探鑛ニ著手
田中	鑛業株式會社	十月探鑛ニ著手
同		十月探鑛ニ著手
代表者	田中銀之助	五月事業ニ著手
同		十一月探鑛ニ著手
同		十二月探鑛ニ著手
同		十二月探鑛ニ著手

鐵山)

一八五

矢田鑛山	金銀銅鉛亜鉛	青森縣東津輕郡野内村	大正鑛山合資會社	七月探鑛ニ著手
茂浦鑛山	金銀銅鉛	西平内村外一	會田長六	一月探鑛ニ著手
千歲鑛山	金銀銅鉛	東岳村	忠谷久五郎	三月探鑛ニ著手
馬ノ上鑛山	金銀銅鉛	新城村	鳴海久兵衛	八月探鑛ニ著手
碓ヶ關鑛山	金銀銅硫化鐵	今別村	山口萬之助	九月事業ニ著手
戸和田鑛山	金銀銅鉛	大鰐村	三菱合資會社	十月探鑛ニ著手
永昌鑛山	金銀銅鉛	大鰐村外一	伊澤せむ	八月事業ニ著手
虹貝鑛山	金銀銅鉛	大鰐村	木下新三郎	十月探鑛ニ著手
第試七掘二權八登號錄	同	同	尾崎テイ	十二月探鑛ニ著手
第試八掘四權八登號錄	同	同	成田寛藏	四月探鑛ニ著手
第試九掘二權四登號錄	同	同	勝又啓司	十一月探鑛ニ著手
第試七掘四權〇登號錄	同	同	甲田作二	四月探鑛ニ著手
大瀧又鑛山	金銀銅鉛	三戸郡上郷村	矢島甚左衛門	十月探鑛ニ著手
押立鑛山	金銀銅鉛	中津輕郡西目屋村	小越幸助	九月探鑛ニ著手
第試七掘九權三登號錄	同	同	忠谷久五郎	六月探鑛ニ著手
同	同	同	山本彦市	五月探鑛ニ著手
同	同	同	高谷市太郎	一月探鑛ニ著手

第試九掘四權三登號錄	同	同	宮本茂一	十月探鑛ニ著手
第試七掘九權五登號錄	同	同	横山久太郎	一月探鑛ニ著手
第試八掘二權六登號錄	同	同	小西伊兵衛	四月探鑛ニ著手
第試九掘二權七登號錄	同	同	坪谷忠三	十月探鑛ニ著手
第試八掘九權一登號錄	同	同	忠谷ムツ	六月探鑛ニ著手
第試一掘〇權一登號錄	同	同	佐々木吉三郎	十一月事業ニ著手
第試九掘四權一登號錄	同	同	吉田金三郎	十月事業ニ著手
正一鑛田鑛山	同	同	鎌田善三郎	六月事業ニ著手
泉澤鑛山	同	同	立花富三郎	八月事業ニ著手
下北鑛山	同	同	佐々木市造	十月事業ニ著手
恐山鑛山	同	同	喜谷錦	六月事業ニ著手
八甲田鑛山	同	同	渡島鑛業合資會社	十月事業ニ著手
第試九掘一權四登號錄	同	同	田中銀之助	六月事業ニ著手
第試七掘九權〇登號錄	同	同	八木梅吉	三月探鑛ニ著手
第試八掘二權二登號錄	同	同	河野助三郎	十月探鑛ニ著手
第試八掘四權〇登號錄	同	同	吉田章	六月探鑛ニ著手
第試八掘五權四登號錄	同	同	望月顯	十月探鑛ニ著手

代表者 佐藤	代表者 奧山	代表者 佐藤	代表者 遠藤	代表者 佐藤	代表者 北村	代表者 福澤	代表者 竹內	代表者 森	株式會社 水谷鑛業	代表者 細矢	代表者 佐藤	代表者 奧山	代表者 村
啓	太郎	衛	藏	喜	め	郎	郎	郎	所	之助	兵衛	太郎	寅藏
十月探鑛ニ著手	四月探鑛ニ著手	八月探鑛ニ著手	十一月探鑛ニ著手	九月探鑛ニ著手	八月探鑛ニ著手	三月探鑛ニ著手	十一月探鑛ニ著手	一月探鑛ニ著手	十月探鑛ニ著手	十一月探鑛ニ著手	八月探鑛ニ著手	四月探鑛ニ著手	二月探鑛ニ著手

株大	武	八	矢	日	石	村	中	神	山	橫	合	有	小	橫	合	白	吉
式	田	鍬	口	向	渡	井	本	木	田	山	資	本	川	山	名	石	田
會	恭	德	宇	豐	幸	健	英	信	善	鑛	會	永	平	鑛	會	隆	虎
社	作	藏	吉	作	之	次	七	次	作	業	社	壽	助	業	社	一	六
業					助	郎	郎	郎		部	會						
十一月探鑛ニ著手	十一月探鑛ニ著手	十一月探鑛ニ著手	八月探鑛ニ著手	九月探鑛ニ著手	十二月探鑛ニ著手	七月探鑛ニ著手	八月探鑛ニ著手	十二月探鑛ニ著手	五月探鑛ニ著手	七月探鑛ニ著手	十二月探鑛ニ著手	十一月探鑛ニ著手	十一月探鑛ニ著手	十月探鑛ニ著手	八月探鑛ニ著手	十一月探鑛ニ著手	十一月探鑛ニ著手

十二月探鑛ニ著手
獅子澤上流ニ位スル第一號坑ト稱スル坑
道掘進探鑛中ニシテ鑛床ハ第三組層ノ凝
灰岩中ニ胚胎セル正規脈ナリ

金山澤鑛山	金	銀	銅	秋田縣北秋田郡長木村	武藤 與作	十月事業ニ著手
大比立内鑛山	金銀銅鉛亞鉛硫化鐵	同	同	早口村	小林 要助	二月探鑛ニ著手
沼館鑛山	金銀銅鉛亞鉛	同	同	山瀬村外二	久保宗三郎	十月探鑛ニ著手
館岡鑛山	金	同	同	南秋田郡上新城村	白井 五郎	五月探鑛ニ著手
外記鑛山	金	銀	銅	面瀉村	下村 耕吉	六月探鑛ニ著手
田子ノ木鑛山	金	銀	銅	仙北郡檜木内村	門脇源五郎	四月探鑛ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	西明寺村	早川 昇策	九月探鑛ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	生保内村	小野田泰助	六月探鑛ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	長信田村	關東酸曹株式會社	八月探鑛ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	荒川村	飯田延太郎	九月探鑛ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	荒川村外一	福田 秀一	十月探鑛ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	南秋田郡豐川村外一	佐々木國松	四月探鑛ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	仙北郡荒川村外一	三菱合資會社	四月探鑛ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	西明寺村	刈田 義門	八月事業ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	河邊郡船岡村外一	赤松 孫助	八月探鑛ニ著手
新盛鑛山	金	銀	銅	雄勝郡山田村	飯塚彌三郎	八月探鑛ニ著手

增田鑛山	金銀銅硫化鐵	同	同	三裂村	星 藤太	九月探鑛ニ著手
陸羽鑛山	金	銀	銅	平鹿郡增田町外一	吉田 虎六	七月探鑛ニ著手
兩國鑛山	金	銀	銅	鹿角郡宮川村外一	關 利三郎	二月事業ニ著手
日出谷鑛山	金銀銅鉛亞鉛水鉛	同	同	南秋田郡馬場村外一	秋田石油株式會社	十月ヨリ第一號上總式鑛井ノ開坑ニ著手
大江鑛山	銅	同	同	南蒲原郡森町村	加納鑛山株式會社	二月探鑛ニ著手
大湯鑛山	鉛	同	同	北魚沼郡湯谷村	水谷 德次郎	八月探鑛ニ著手
妙高硫黃山	黃	同	同	中頸城郡關山村	星 順介	八月探鑛ニ著手
二寶鑛山	銅	同	同	三島郡大津村	鈴木 精次	八月探鑛ニ著手
二寶鑛山	銅	同	同	東蒲原郡東川村	寶田石油株式會社	八月探鑛ニ著手
二寶鑛山	銅	同	同	三川村	高野 誠亮	九月著手
二寶鑛山	銅	同	同	岩船郡關谷村	安部 兵惠	七月著手
二寶鑛山	銅	同	同	西頸城郡青海村	伊藤 永三郎	十月著手
二寶鑛山	銅	同	同	南魚沼郡三俣村	野口 憲造	五月探鑛ニ著手
二寶鑛山	銅	同	同	古河吉次郎	古河吉次郎	九月探鑛ニ著手

三月探鑽ニ著手
本礦山ノ鑽床ハ粘板岩及花崗岩ノ接觸部ニ生成せる探鑽中ニシテ八月操業ニ著手シ目下セラル

十月探鑽ニ著手シ既ニ坑道掘進十二尺ニ達セリ

久シク休業中ナリシカ四月事業ニ著手ス

六月著手
久シク休業中ナリシカ十二月事業ニ著手シ舊坑ノ修理中ナリ九月ヨリ發行中ニ著手シ

九月六十百ポンド鐵製搗礦器十五本一、搗動鉢盤一臺、攪拌器(三尺四尺)一臺、ウギルフレン・汰盤二臺、横流式ノ幅六尺長十八尺ノ篩二、二十五馬力ナシヨナル式吸入瓦斯機關一臺ヲ新設ス

十一月探鑽ニ著手以來坑道ノ掘進中

十一月探鑽ニ著手
四月探鑽ニ著手シ同時ニ石油發動機ヲ原動トセル小規模ノ器械選礦場設置中

七月探鑽ニ著手
十一月探鑽ニ著手
一、鑄鐵用杆二本、一石臼二臺ヲ新設ス
鐵床ハ脈幅四尺面若中ニ胚胎セル變態鐵床ニシテ脈幅四尺ニ達シ鑛物ハ金銀ヲ主トシ重石ヲ隨伴ス
十一月舊坑ノ取明ニ著手シ舊坑下底探鑽ノ目的ヲ以テ堅固な坑道ヲ掘鑿ス鐵床ハ英粗面岩及凝灰岩中ニ胚胎セル變態鐵床銅鐵ヲ主トシ少量ノ輝鉛鐵、閃亞鉛鐵ヲ夾雜セリ

四月採集ニ著手シ探鑛準備トシテ水没セ
ル爲堅坑(八十尺)ノ排水ヲ目的トシ五馬
力蒸氣唧筒ヲ新設シ堅坑下底坑ノ取明セ
鑛床中ニシテ新ニ選鑛場及汽鑛ヲ設置ス
鑛床ハ石英粗面岩及凝灰岩中ニ胚胎セル
正規鑛床ニシテ鍾幅一尺乃至三尺ヲ示セ
ル

九月著手
設置シ専ラ探鑛中

九月著手
五月採集ニ著手シ探鑛準備トシテ水没セ
ル爲堅坑(八十尺)ノ排水ヲ目的トシ五馬
力蒸氣唧筒ヲ新設シ堅坑下底坑ノ取明セ
鑛床中ニシテ新ニ選鑛場及汽鑛ヲ設置ス
鑛床ハ石英粗面岩及凝灰岩中ニ胚胎セル
正規鑛床ニシテ鍾幅一尺乃至三尺ヲ示セ
ル

十一月事業ニ著手
十一月事業ニ著手シ探坑夫長屋三棟選鑛場一
棟ヲ建設ス

五月探鑛ニ著手
五月探鑛ニ著手シ探坑夫假場一棟ヲ建設ス

八月採集ニ著手
八月採集ニ著手シ目下探鑛中

四月探鑛ニ著手
四月探鑛ニ著手シ目下探鑛中
屋二棟ヲ新築ス

三月探鑛ニ著手
三月探鑛ニ著手シ目下探鑛中

二月採集ニ著手
二月採集ニ著手シ五箇ノ坑道ヲ設ケ目下
探鑛中

十一月ニ著手
十一月ニ著手シ舊坑ノ取明ニ從事中

八月採集ニ著手
八月採集ニ著手シ目下探鑛中

二月採集ニ著手
二月採集ニ著手シ目下探鑛中

一月事業ニ著手
一月事業ニ著手

一九七

芳田三五郎	若林丑次郎	大葉久吉	橫塚彌藏	室井平七	同	山上清八	石田清松	三邨貞吉	可兒吉左衛門	石田清松	名木元平	渡邊平四郎	瀧浪信治	本社庫市郎
-------	-------	------	------	------	---	------	------	------	--------	------	------	-------	------	-------

依田新四郎	山本駿郎	松浦鐵藏	伊藤金平	柳原松五郎	依田新四郎	福田秀一	小島謙三	山下知七	久原鑛業株式會社	成瀬タケ	小西宗七	寶田石油株式會社	桑原莊吉	田中長兵衛
-------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	----------	------	------	----------	------	-------

上城光治郎	星野順吉	井澤駿太郎	田中長兵衛	平田篤松	丸地榮次郎	竹田與三	多田貴之助	矢島浦太郎	矢島浦太郎	大岩岬	川上俊介	佐橋德次郎	水谷眞一郎
七月試掘機ヲ設定シ直ニ小規模ノ製鐵場設置セリ 鐵製者手シ内徑二尺五寸高十二尺ノ一座 木製水車ヲ原動トセル扇風機一基及其他 ノ附屬工事ヲ完成ス 六月探鑛兼採鐵ノ著手シ同時ニ小規模ノ器械選鑛場ヲ設置ス 崗岩中ニ號鐵三號及四號鐵ノ四條ヲ知ノ鑛脈數ハハル含重石ハ石英斑岩及花 ノハ一號鐵二號鐵三號鐵及四號鐵ノ四條 ニシテ就中二號鐵三號鐵及四號鐵ノ四條 五月探鑛ニ著手シ小規模ノ假選鑛場ヲ設置ス 置ス鐵床ハ花崗岩及石英斑岩中ニ介在セル含重石石英脈ニシテ若鉛ヲ隨伴ス	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手	七月操業ニ著手 八月事業ニ著手 九月探鑛ニ著手 七月事業ニ著手 一月事業ニ著手 七月事業ニ著手 七月事業ニ著手 十一月事業ニ著手 三月十日事業ニ著手 五月著手 九月操業ニ著手 中ニ胚胎シ脈輻四五寸ヨリ二尺ニ至ル 六月事業ニ著手		

佐藤正夫	布留川尙	西川龜次郎	小島定七	和田岩太郎	坪谷忠三	矢島浦太郎	坪田十郎	同	同	同	鹿毛甲	野田藤次郎	山口恒太郎	加藤作市	富倉好吉
十一月事業ニ著手	六月事業ニ著手	五月事業ニ著手	八月事業ニ著手	六月事業ニ著手	一月著手	五月事業ニ著手	八月探鑽ニ著手	七月探鑽ニ著手	七月探鑽ニ著手	七月探鑽ニ著手	七月事業ニ著手	十月探鑽ニ著手	九月著手	八月事業ニ著手	二月ヨリ探鑽ニ努メ引續キ探鑽抵深嶺中ニシテ現ニ砂ヲレタル胎セリ裂綫ハ安山岩中ニ至ルハ何ヒモ百七十度ヲ以テ南ニ傾斜ス

[illegible][illegible]

[illegible]

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
大野村	船井郡梅田村		胡麻郷村	質美村	胡麻郷村					
五ヶ莊村	北桑田郡平屋村	南桑田郡本梅村	北桑田郡宮島村	何鹿郡奥上林村	北桑田郡宮島村	船井郡高原村	北桑田郡山國村	葛野郡嵯峨村外一郡一	北桑田郡平屋村外一	
松本芳松	武藤亮	阪口彦三郎	中岡吉兵衛	福島初松	藤岡フデ	藤林吉次郎	西田梁助	着能米太郎	中島敬治郎	橋津彦藏
二月事業ニ著手	二月事業ニ著手	二月事業ニ著手	一月事業ニ著手	二月事業ニ著手	十一月事業ニ著	七月事業ニ著手	二月事業ニ著手	二月事業ニ著手	三月事業ニ著手	五月事業ニ著手
上野五三郎	田邊藤治郎	木戸強平	吉田孝重郎	水谷真一郎	與瀬與平					
三月事業ニ著手	三月事業ニ著手	三月事業ニ著手	三月事業ニ著手	四月事業ニ著手	四月事業ニ著手					

[illegible]

[illegible][illegible]

第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳	第貳
六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲	六擲
三權	三權	三權	三權	三權	二權	二權	二權	二權	二權	一權	一權	一權	一權	一權	一權	一權	○權
八登	七登	二登	一登	○登	九登	三登	二登	一登	○登	八登	七登	五登	四登	三登	二登	九登	九登
號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄	號錄
同	同	同	同	同	同	同	同	滿	銅	同	滿	銀	同	同	同	同	同

土井新右衛門	八月事業ニ著手
小島勝太郎	七月事業ニ著手
中村信太郎	七月事業ニ著手
代表者 木村久吉	七月事業ニ著手
代表者 久保政次郎	七月事業ニ著手
稻葉正綱	十一月事業ニ著手
木戸強平	七月事業ニ著手
上坊末太郎	七月事業ニ著手
西田治右衛門	九月事業ニ著手
西田元二郎	九月事業ニ著手
代表者 小林主計	八月事業ニ著手
與瀬與平	八月事業ニ著手
同	八月事業ニ著手
小室末吉	八月事業ニ著手
川本勝太郎	八月事業ニ著手
渡邊周市	九月事業ニ著手
奥野鹿藏	九月事業ニ著手

代著者 中村利右衛門	九月事業ニ著手
林秀太郎	十一月事業ニ著手
代著者 田寺重三郎	十月事業ニ著手
代著者 笠松奈良三郎	十二月事業ニ著手
代著者 廣田作右衛門	十月事業ニ著手
川添武右衛門	十一月事業ニ著手
水谷眞一郎	十月事業ニ著手
與瀬與平	十月事業ニ著手
畑中鶴藏	十一月事業ニ著手
竹岡初太郎	十一月事業ニ著手
川本勝太郎	十一月事業ニ著手
川添武右衛門	十二月事業ニ著手
同	十二月事業ニ著手
與瀬與平	一月事業ニ著手
同	六月事業ニ著手
糟谷鹿次郎	一月事業ニ著手
美馬清太郎	十一月事業ニ著手
續山	

猪ノ鼻鑛山	滿	俺	京都府船井郡三ノ宮村	西村數之助	十二月事業ニ著手
切明鑛山	同	同	世木村	與瀬 與平	六月事業ニ著手
青野鑛山	同	同	南桑田郡宮前村	坂口彦三郎	八月事業ニ著手
大城山鑛山	同	同	稗田野村	大石猪太郎	一月事業ニ著手
奥ノ原鑛山	同	同	船井郡摩氣村	西村 榮助	一月事業ニ著手
湯屋鑛山	同	同	高原村	福本久太郎	四月事業ニ著手
豐谷鑛山	同	同		小森伊三郎	七月事業ニ著手
木代鑛山	同	銅	大阪府豐能郡東能勢村	天川利三郎	三月事業ニ著手
第試 六權 八登 號錄	亞	炭	三島郡清溪村	中村 眞一	三月事業ニ著手
第試 七權 三登 號錄	金	銀	南河内郡高向村	辻之上高太郎	十二月事業ニ著手
第試 七權 一六登 號錄	同	同	兵庫縣城崎郡奥竹野村	藪田忠二郎	二月ヨリ創業ス鑛床ハ石英粗面岩内ニ生成セル石英脈ニシテ主脈一條東向ニ新ニ四箇ノ坑口ヲ開鑛押探鑛中
赤松鑛山	同	銅	川邊郡中谷村外一	山田惣兵衛	七月事業ニ著手
琢美谷鑛山	同	銀銅鉛硫化鐵砒	安栗郡下三方村外一	石原久之助	三月事業ニ著手
福本鑛山	同	銅	神崎郡栗賀村	前田 勳一	七月事業ニ著手
永盛鑛山	同	同	川邊郡多田村	竹内龜之丞	五月事業ニ著手
第採 一權 三登 號錄	金	銀	美方郡射添村	芝野禎治郎	三月事業ニ著手
第採 一權 四登 號錄	銀銅硫化鐵	同	神崎郡長谷村	西崎 三郎	六月事業ニ著手

明愛鑛山	銀	銅	神崎郡越知谷村ノ内福畑村	丸岡熊太郎	三月事業ニ著手
三方鑛山	同	同	水上郡葛野村外一	藤岡 芳藏	十一月事業ニ著手
第試 五權 七登 號錄	同	同	多可郡野間谷村	中村 賢吉	三月事業ニ著手
第試 六權 〇登 號錄	同	同	赤穂郡矢野村	石戸 要助	七月事業ニ著手
第試 六權 〇登 號錄	水鉛銅亞鉛	同	安栗郡下三方村	鷺山 成美	七月事業ニ著手
第試 六權 一登 號錄	金銀銅硫化鐵	同	城崎郡八代村外二	宮崎 周藏	一月事業ニ著手
第試 六權 三登 號錄	金銀銅重石	同	安栗郡西谷村	橋本 博行	十二月事業ニ著手
第試 六權 三登 號錄	亞金銀銅鉛砒	同	有馬郡有馬町山口村	石原久之助	九月事業ニ著手
第試 六權 八登 號錄	金	銀	朝來郡山口村	兒玉 磐藏	三月事業ニ著手
第試 六權 八登 號錄	銀	銅	美方郡射添村	清水幸次郎	二月事業ニ著手
第試 六權 八登 號錄	銀	銅	川邊郡東谷村	天谷 庄八	五月事業ニ著手
第試 六權 九登 號錄	金	銀	養父郡關宮村	野木 佐吉	二月事業ニ著手
第試 六權 九登 號錄	銀	銅	神崎郡福崎村	石原 光二	一月事業ニ著手
第試 七權 〇登 號錄	同	同	多可郡杉原谷村	森 藤 榮藏	三月事業ニ著手
第試 七權 一登 號錄	同	同	城崎郡竹野村	丸岡熊太郎	一月事業ニ著手
第試 七權 一登 號錄	同	同	奥竹野村	大原小四郎	七月事業ニ著手
第試 七權 一登 號錄	同	同		藪田忠次郎	二月事業ニ著手

安木宅藏	宮尾文龜	岩谷鷹藏	高橋重太郎	九合秋一郎	中村節	西垣貞藏	吉武宗一	代 表 者 村上治作	和田岩太郎	堀淵幸次郎	井澤龍藏	井澤駿太郎	開坂松次郎	湯口彌藏	合名會社藤田組	西井喜藏
七月事業ニ著手	三月事業ニ著手	九月事業ニ著手	五月事業ニ著手	十二月事業ニ著手	八月事業ニ著手	五月事業ニ著手	九月事業ニ著手	九月事業ニ著手	十月事業ニ著手	九月事業ニ著手	九月事業ニ著手	九月事業ニ著手	十月事業ニ著手	十二月事業ニ著手	休山中ノ處六月再操業開始	年末取關ニ著手

山内 主一	十月水銀ノ熔燒爐、蒸餾爐各一箇ヲ開設シ、製鍊ヲ開始ス
森 佐五右衛門	八月事業ニ著手
林 平造	四月事業ニ著手
中 元 藤 浩	四月事業ニ著手
池田伊三郎	七月事業ニ著手
矢野莊三郎	一月事業ニ著手
岩 城 卯 吉	五月事業ニ著手
樽 井 藤 吉	十一月事業ニ著手
中 村 由 松	二月事業ニ著手
山 本 幸 吉	九月事業ニ著手
泥 藤 一 茂	三月事業ニ著手
木本平兵衛	十月事業ニ著手
林 樽 藏	六月事業ニ著手
南 楠 太 郎	九月事業ニ著手
神末吉太郎	九月事業ニ著手
來住泰二郎	九月事業ニ著手
北村邦太郎	三月事業ニ著手

續山)

二二五

赤目鑛山銅	石川縣能美郡今野村	高橋七衛	地質ハ第三紀凝灰岩ニシテ其裂隙ハ其裂隙ニ充テタル鑛脈ナリ約五十尺ノ間隔ヲ以テ二脈並行シ走向南北ニシテ第一脈ハ東ニハ細ナルモ品位良好ニシテ平均一〇〇%ノ銅ヲ含有ス本年一月事業ニ著手シ舊坑ヲ探鑛中
第貳試 三掘 四登 號錄 燐	同 鹿島郡西島村	安宅次吉	七月事業ニ著手
第貳試 三掘 五登 號錄 同	同 羽咋郡東土田村	北陸人造肥料株式會社	九月事業ニ著手
第貳試 三掘 六登 號錄 銅	同 能美郡國府村	伊關與吉郎	地質ハ第三紀凝灰岩ニシテ其裂隙ニ充テタル鑛脈ナリ約五十尺ノ間隔ヲ以テ二脈並行シ走向南北ニシテ第一脈ハ東ニハ細ナルモ品位良好ニシテ平均一〇〇%ノ銅ヲ含有ス本年一月事業ニ著手シ舊坑ヲ探鑛中
第貳試 三掘 七登 號錄 石	同 新丸村	中川歲太郎	七月事業ニ著手
第貳試 三掘 九登 號錄 金銀銅鉛	同 大杉谷村	井澤忠平	十二月事業ニ著手
第貳試 三掘 八登 號錄 亞	同 河北郡宇氣村	島喜久男	十二月事業ニ著手
長棟鑛山銀銅鉛	富山縣上新川郡福澤村	廣岡良	十二月事業ニ著手
大黑鑛山金銀銅亞鉛	下新川郡船見村外二	傍士榮吉	八月事業ニ著手
採掘二七號錄 金銀銅	同	同	八月事業ニ著手
立山鑛山硫黃同	立山村	酒井時次郎	八月事業ニ著手 本山ノ硫黃ハ鑛區内一體ニ分布シ表土ト雖モ湧出毎ニ硫黃ヲ昇華シツツアリ目下採鑛蒸餾法ニヨリ製煉ヲ行フ
第貳試 一掘 四登 號錄 金銀銅鉛亞鉛	同	藤田久信	五月事業ニ著手
第貳試 一掘 五登 號錄 黑鉛	同 東礪波郡利賀村	木谷ちよ	七月事業ニ著手
第貳試 一掘 五登 號錄 金銀銅水鉛	同 下新川郡松倉村	渡邊關次郎	九月事業ニ著手
第貳試 一掘 六登 號錄 金銀銅水鉛	同 舟見町外二	坪田十郎	九月事業ニ著手

[illegible]

日笠鑛山金銀銅	三國鑛山銅	田地子鑛山同	大園鑛山銀	金堀鑛山銅	芦谷鑛山同	皆畑鑛山同	金山鑛山銀	福徳鑛山同	都鑛山銅	志藤鑛山銀	探一掘八〇號錄亞鉛同	探一掘九二號錄銅同	布瀬鑛山銅硫化鐵同	福谷鑛山銅同		
岡山縣和氣郡日笠村	眞庭郡富山村 落合町	和氣郡三國村	御津郡上達部村	赤磐郡五城村外一	英田郡江見村	苦田郡中谷村	眞庭郡美和村	苦田郡久田村	英田郡江見村	上道郡古都村外一	川上郡富家村	久米郡倭大西村	英田郡江見村	川上郡富家村	眞庭郡勝山町	
藤内保房	酒井榮藏	松野伊勢太郎	兒島兵吉	山口文衛	小林春召	橋本與平	岡義多	藤島伊八郎	西岡龜四郎	豐福一馬	古西金三郎	佐藤林平	水島頼助	末宗芳助	片山淺治郎	八木信吉
八月ヨリ事業ニ著手シ二條ノ鑛脈ヲ探鑛中	四月事業ニ著手ス鑛床ハ粘板岩及蛇紋岩中ニ胚胎シ鑛區内ニハ數箇所ノ露頭アリ鑛床ハ古生層下部ノ粘板岩中ニ生成シタル石炭質鑛脈ニシテ主トシテ黃銅鑛ヲ産シ多少ノ閃亜鉛鑛ナ付フ	六月事業ニ著手	十二月事業ニ著手	五月事業ニ著手	九月事業ニ著手	八月事業ニ著手	十月事業ニ著手	一月事業ニ著手	五月事業ニ著手	七月事業ニ著手	七月事業ニ著手	七月事業ニ著手	十月事業ニ著手	三月事業ニ著手	八月事業ニ著手	六月事業ニ著手

[illegible]

平	周	三	郎	五月事業ニ著手
本	間	吉	次郎	八月事業ニ著手
瀬	良	隆	藏	九月事業ニ著手
横	田	龜	之助	五月事業ニ著手
村	上	壽	太郎	六月事業ニ著手
代 表 者	島	村	喜代二	七月事業ニ著手
近	藤	梅	松	七月事業ニ著手
米	田	富	太郎	九月事業ニ著手
松	下	廣	三郎	八月事業ニ著手
三	宅	喜	六	八月事業ニ著手
堀	口	留	吉	十月事業ニ著手
荒	谷	靖		十月事業ニ著手
代 表 者	玉	木	半次郎	九月事業ニ著手
小	谷	延	藏	十月事業ニ著手
佐	伯	莊	之輔	十月事業ニ著手
石	飛	大	次郎	九月事業ニ著手
代 表 者	寺	見	友次郎	九月事業ニ著手

中村ミヨ	阿部倉吉	村上米松	柳生兵次	眞島福松	佐伯莊之輔	和泉金兵衛	小野荒太郎	和泉金兵衛	山本乙治郎	周藤千太郎	坂田靜治	森下林三郎	下山たか	武川長平
七月事業ニ著手	三月事業ニ著手	七月事業ニ著手	東城町ヲ距ル西方約一里半車ノ便アリ一月ヨリ事業ニ著手ス 鑛床ハ粘板岩中ニ胚胎セル層狀鑛脈ニシテ厚ク約二三尺トス其品位ハ二酸化滿俺トシテ上鑛八〇%以上並鑛六五内外ナリ	等ヲ伴フ 南北傾斜東八十度脈幅一尺乃至二尺ニシテ鑛物ハ黃銅鑛ヲ主トシ閃亜鉛鑛方鉛鑛等ヲ伴フ	二月事業ニ著手 廣島縣府中町ヲ距ル北方約二里ニシテ其多クハ以テ車ヲ通スヘシ九月ヨリ事業ニ著手ス鑛脈ハ粘板岩中ニ存在シ走向大約南北傾斜東八十度脈幅一尺乃至二尺ニシテ鑛物ハ黃銅鑛ヲ主トシ閃亜鉛鑛方鉛鑛等ヲ伴フ	十月事業ニ著手	十二月事業ニ著手	十二月事業ニ著手	十一月事業ニ著手	十月事業ニ著手	十月事業ニ著手	九月事業ニ著手	十月事業ニ著手	十月事業ニ著手

橫山鑛山銅	寶岩鑛山銀	平野鑛山銅	第貳試 三掘一權 號錄	第貳試 三掘一權 號錄	第貳試 三掘四權 號錄	第貳試 三掘五權 號錄	第貳試 三掘六權 號錄	第貳試 三掘七權 號錄	第貳試 三掘八權 號錄	第貳試 三掘九權 號錄	第貳試 三掘十權 號錄	第貳試 三掘十一權 號錄	第貳試 三掘十二權 號錄	第貳試 三掘十三權 號錄	第貳試 三掘十四權 號錄	第貳試 三掘十五權 號錄	廣島縣高田郡上入江村
同	同	同	銀銅亞鉛	銀銅亞鉛	銀銅	金重石	銀銅	石炭	銅	金重石	金重石	金重石	金重石	金重石	金重石	金重石	廣島縣高田郡上入江村
御調郡山中村	深安郡御野村	高田郡市川村	御調郡西野村	比婆郡下高野山村	御調郡深田村	雙三郡和田村	御調郡大濱村	山縣郡戸河内村	豐田郡田野浦村	佐伯郡水内村	深安郡廣瀬村	高田郡鄉野村	安佐郡深川村	飯室村	高田郡長田村	同	廣島縣高田郡上入江村
增本定三郎	石原豐藏	山田純精	濱野永吉	古川與吉	坂口豐藏	井上鑛業合資會社	丸本儀十郎	藤吉禮重郎	高市盛清	井上鶴吉	西崎善五郎	弓戸佐助	着月熊平	福田正太郎	森田傳次郎	泉吉次郎	九月事業ニ著手
一月事業ニ著手	六月事業ニ著手	二月事業ニ著手	七月事業ニ著手	五月事業ニ著手	三月事業ニ著手	十一月事業ニ著手	一月事業ニ著手	五月事業ニ著手	十二月事業ニ著手	四月事業ニ著手	四月事業ニ著手	四月事業ニ著手	八月事業ニ著手	九月事業ニ著手	十月事業ニ著手	九月事業ニ著手	九月事業ニ著手

[illegible]

那智臺鑛山銅	和歌山縣東牟婁郡那智村	中川 伊 助	九月事業ニ著手
藏土鑛山同	尾川村	横山 長次郎	四月事業ニ著手
大和鑛山同	有田郡岩倉村	高橋 龜太郎	九月事業ニ著手
喜多鑛山石炭	東牟婁郡三津野村	木田 定太郎	一月事業ニ著手
第貳 二掘六登號錄	三尾川村	山本 自知亮	二月事業ニ著手
第貳 二掘六登號錄	高池町外一	宇井 源兵衛	五月事業ニ著手
第貳 二掘六登號錄	日高郡川上村	島 田 太 郎	一月事業ニ著手
第貳 二掘六登號錄	東牟婁郡上太田村	桐本 伸一郎	三月事業ニ著手
第貳 二掘七登號錄	三津野村	上 松 壽 郎	一月事業ニ著手
第貳 二掘八登號錄	同	谷口 文次郎	六月事業ニ著手
第貳 二掘九登號錄	同	植野 元太郎	八月事業ニ著手
池野山鑛山同	高池村	川 保 咲	五月事業ニ著手
小坂鑛山同	色川村	横山 久太郎	三月事業ニ著手
島津鑛山同	玉置村	岩崎 榮太郎	三月事業ニ著手
長峯鑛山銅硫化鐵	那賀郡長吉毛原村	植野 元太郎	八月事業ニ著手
第貳 一掘一登號錄	東牟婁郡明神村	原 庄右衛門	九月事業ニ著手
第貳 一掘一登號錄	西牟婁郡鮎川村	濱 田 賢 隆	三月事業ニ著手
第貳 一掘一登號錄	東牟婁郡四村		

東南鑛山金銀銅	色川村外一	和田 宇一郎	五月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	四村	溫 水 嘉 吉	十月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	那賀郡西貴志村	平 林 甚 輔	五月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	伊都郡見好村	吉川 健次郎	八月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	東牟婁郡上太田村	岡本 茂八郎	六月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	請川村	宇 惠 勝 彦	七月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	小川村	中谷 伊之助	九月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	那智村	北 菊 太 郎	九月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	七川村	濱 田 甚四郎	八月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	北山村外一	鈴 木 は つ	九月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	同	土 井 留 助	九月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	同	仲 尾 留 吉	九月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	西牟婁郡和染村	岡田 徳次郎	九月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	德島縣美馬郡一字村外一	山 積 萬 助	三月ヨリ坑内ノ取開ケニ著手シ七月ハ「キロワット」瓦斯力發電機及八馬力電力「タービン」式唧筒一臺ヲ設置シ坑内ノ排水ヲ開始ス
第貳 三掘二登號錄	美馬郡半田村	西 垣 貞 藏	一月事業ニ著手ス鑛床ハ結晶片岩中ニ生成セル層狀鑛脈ナリ
第貳 三掘二登號錄	三好郡三繩村	橋本 半次郎	十二月事業ニ著手
第貳 三掘二登號錄	美馬郡西祖谷山村	荒田 萬太郎	四月事業ニ著手

金山	德島縣那賀郡鷲敷村	東 明 子	七月事業ニ著手
二堀	美馬郡西祖谷山村	林 勇 吉	一月事業ニ著手
三堀	麻植郡東山村	中川 幸太郎	四月事業ニ著手
三堀	三好郡井内谷村	荒田 萬太郎	四月事業ニ著手
三堀	美馬郡端山村	原田 善三郎	四月事業ニ著手
三堀	三好郡山城谷村	田 中 實 治	一月事業ニ著手
三堀	美馬郡一宇村	林 勇 吉	七月事業ニ著手
三堀	海部郡川上村	山本 幾之助	四月事業ニ著手
三堀	那賀郡延野村	滝 芳 太	三月事業ニ著手
三堀	三好郡山城谷村	菊 池 國 光	七月事業ニ著手
三堀	海部郡日和佐村	立 井 勤 藏	十一月事業ニ著手
三堀	三好郡山城谷村	岩 城 卯 吉	十一月事業ニ著手
三堀	美馬郡端山村	西 垣 貞 藏	十二月事業ニ著手
三堀	愛媛縣北宇和郡下灘村	井澤 光三郎	一月事業ニ著手
三堀	西宇和郡三机村	矢野 莊三郎	五月事業ニ著手
三堀	宮内村外一	同	五月事業ニ著手
三堀	喜多郡豐茂村	矢野永製合名會社	三月事業ニ著手

大 奧	同	西宇和郡四ッ濱村	白石 裕一郎	三月事業ニ著手
柳 谷	同	喜須來村	矢野 莊三郎	三月事業ニ著手
大 久	同	四ッ濱村	菊 池 サ ダ	五月事業ニ著手
大 川	同	宇摩郡金砂村	田中 榮八郎	一月事業ニ著手
富 川	同	富郷村外一	鹿兒 島 萬 吉	九月事業ニ著手
第試	同	周桑郡千足山村外一	進 藤 正 吉	一月事業ニ著手
第試	同	西宇和郡川ノ石町外二	宇都宮鑛業本部	三月事業ニ著手
第試	同	伊豫郡佐禮谷村	森 本 長 三 郎	四月事業ニ著手
第試	同	喜多郡瀧川村	安 藤 狂 四 郎	四月事業ニ著手
第試	同	宇摩郡別子山村外一	荒 井 辰 藏	五月事業ニ著手
第試	同	北宇和郡旭村	宇宝合名會社	十一月事業ニ著手
第試	同	喜多郡平野村	同	七月事業ニ著手
第試	同	菅田村	太 田 信 三	一月事業ニ著手
第試	同	西宇和郡日土村	宇都宮鑛業本部	一月事業ニ著手
第試	同	喜多郡出海村外一	大塚 吉 太 郎	二月事業ニ著手
第試	同	西宇和郡三机村外一	富 樫 國 彦	四月事業ニ著手
第試	同	宇摩郡寒川村	河本 榮三郎	六月事業ニ著手

第貳試	第九掘	二登	號錄	金	銅	愛媛縣宇摩郡新立村	眞鍋悅太郎	二月事業ニ著手
第貳試	第九掘	六登	號錄	銅		新居郡大保木村	小山判四郎	七月事業ニ著手
第貳試	第九掘	一登	號錄	同		上浮穴郡杣川村	宇宝合名會社	十一月事業ニ著手
第貳試	第九掘	八登	號錄	同		喜多郡瀧川村	安藤狂四郎	四月事業ニ著手
第貳試	第九掘	〇登	號錄	滿	俺	西宇和郡三瓶村外一	品原照吉	五月事業ニ著手
第貳試	第九掘	五登	號錄	銅	鐵	宮内村外二	浦尾惟正	四月事業ニ著手
第貳試	第九掘	六登	號錄	銅	同	三崎村	植田誠一	十一月事業ニ著手
第貳試	第九掘	九登	號錄	銅	同	上浮穴郡浮穴村	都築宗壽郎	五月事業ニ著手
第貳試	第九掘	七登	號錄	銅	同	喜多郡南久米村外一	丸又坂男	十月事業ニ著手
第貳試	第九掘	一登	號錄	滿	俺	東宇和郡下字和村	小野與八	七月事業ニ著手
第貳試	第九掘	三登	號錄	安質母	尼	溫泉郡三内村	渡部愛藏	十月事業ニ著手
第貳試	第一〇掘	一登	號錄	滿	俺	喜多郡宇和川村	岩崎一高	九月事業ニ著手
第貳試	第一〇掘	三登	號錄	銅	同	西宇和郡矢野崎村外二	宇都宮鑛業本部	十月事業ニ著手
第貳試	第一〇掘	五登	號錄	同	同	新居郡大保木村外一	進藤正吉	十一月事業ニ著手
第貳試	第一〇掘	四登	號錄	同	同	喜多郡立川村	池田德藏	十二月事業ニ著手
足谷鑛山滿	同	同	同	同	俺	高知縣長岡郡天坪村	一圓萬吉	四月事業ニ著手
寶藏鑛山銅	同	同	同	同	同	安藝郡東川村	檜垣正治	二月事業ニ著手

大賀鑛山	安質母尼同	幡多郡上山村	小笠原福太郎	四月事業ニ著手
第貳 二掘 五權 號錄 銅	同	畠川村	代著者 鶴岡延齡	六月事業ニ著手
第貳 二掘 七權 號錄 滿	同	長岡郡上倉村	鈴木録之助	六月事業ニ著手
第貳 二掘 七權 號錄 銅	同	高岡郡上津野村	矢野好太郎	三月事業ニ著手
第貳 二掘 六權 號錄 滿	同	長岡郡上倉村	吉川季次郎	六月事業ニ著手
第貳 二掘 八權 號錄 金	同	香美郡東川村	代著者 山内伊之助	四月事業ニ著手
第貳 二掘 一權 號錄 銅	同	長岡郡上倉村	代著者 山内初助	五月事業ニ著手
第貳 二掘 九權 號錄 滿	同	長岡郡上倉村	竹内勝次郎	四月事業ニ著手
第貳 三掘 〇權 號錄 同	同	天坪村	濱田博	十月事業ニ著手
第貳 三掘 〇權 號錄 同	同	高岡郡下平山村	代著者 山名正義	六月事業ニ著手
第貳 三掘 一權 號錄 格魯謨	同	土佐郡初月村外二	鈴村守之	六月事業ニ著手
第貳 三掘 二權 號錄 銅	同	吾川郡小川村外一	中川喜義	九月事業ニ著手
第貳 三掘 二權 號錄 銅	同	長岡郡天坪村	井上楠馬	十一月事業ニ著手
第貳 三掘 二權 號錄 格魯謨	同	土佐郡十六村	合名會社藤田組	十月事業ニ著手
第貳 三掘 四權 號錄 銀	同	長崎縣下縣郡檜根村外一	代著者 永木石藏	七月事業ニ著手
第貳 一掘 四權 號錄 銀	同	西彼杵郡茂木村	吉松萬吉	一月事業ニ著手
第貳 一掘 一權 號錄 金	同	北松浦郡大野村	石本イソ	八月事業ニ著手

竹川信吉	木崎ミツ	宮崎逸丸	三菱合資會社	中村長吉	代著者 岩永丈一	福智久繼	益森吉之助	川口嘉吉	竹谷源治郎	市川綠馬	藤山佐登馬	合名會社 字都宮鑛業本部	同	宮本高次	藤山佐登馬	林安次郎
三月事業ニ著手	六月事業ニ著手	十一月事業ニ著手	四月事業ニ著手	六月事業ニ著手	十月事業ニ著手	十月事業ニ著手	十月事業ニ著手	九月事業ニ著手	五月事業ニ著手	五月事業ニ著手	七月事業ニ著手	六月事業ニ著手	一月事業ニ著手	二月事業ニ著手	七月事業ニ著手	十一月事業ニ著手

友 弘次郎	林 嘉 內	高 田 卯 助	薦 田 信 次郎	林 安次郎	河 谷 又 次郎	田 淵 庄 助	入 江 慶 治	兒 玉 佐 一 郎	中 田 數 之 介	猪 野 鑛 業 株 式 會 社	加 來 庄 市	東 宇 五 郎	行 木 熊 治	藤 澤 七 三 郎	堀 鑛 業 株 式 會 社	古 賀 春 一
十月事業ニ著手	十月事業ニ著手	六月事業ニ著手	十一月事業ニ著手	七月事業ニ著手	八月事業ニ著手	九月事業ニ著手	八月事業ニ著手	十月事業ニ著手	九月事業ニ著手	五月事業ニ著手	十一月事業ニ著手	四月事業ニ著手	六月事業ニ著手	七月事業ニ著手	一月事業ニ著手	五月事業ニ著手

[illegible]

木村 伊八	鹽見茂三郎	時任 又作	瀧 信四郎	代役者 向坂田久馬	代役者 青木 茂雄	德永 三吉	松藤 和四郎	猿橋 巧一	山口 榮藏	代役者 米田 友八	代役者 牧詩 歌人	谷 五兵衛	菅野 眞俊	代役者 佐藤 年保	香村 文之助	代役者 大島 誠之助
二月事業ニ著手	八月事業ニ著手	一月事業ニ著手	七月事業ニ著手	二月事業ニ著手	一月事業ニ著手	四月事業ニ著手	二月事業ニ著手	七月事業ニ著手	四月事業ニ著手	九月事業ニ著手	五月事業ニ著手	十二月事業ニ著手	二月事業ニ著手	一月事業ニ著手	一月事業ニ著手	三月事業ニ著手

二、事業ヲ擴張シ又ハ擴張ニ著手シタル鑛山

矢野力治	八月事業ニ著手
太田佐七郎	八月事業ニ著手
辻想市	八月事業ニ著手
猿橋巧一	七月事業ニ著手
塚本八曾吉	七月事業ニ著手
鴨打サク	一月事業ニ著手
木戸正三	四月事業ニ著手
郡山巖	一月事業ニ著手
三島利豊	四月事業ニ著手
岸本信太郎	七月事業ニ著手
飯田鹿太郎	十月事業ニ著手
住友吉左衛門	二月事業ニ著手
吉村武夫	七月事業ニ著手
谷村彦熊	十月事業ニ著手

龜田鑛山

金銀銅 鑛業權者 渡島國龜田郡湯ノ川村
硫化 鑛業權者 久原鑛業株式會社

探鑛ニ在リテハ前年來ノ稼業ノ鑛床ハ近ク探掘終了ノ豫定ナルモ探鑛中ノ四號坑及新坑ノ作業著シク進捗シ其結果現稼業鑛床ニ優ルヘキ新鑛床ヲ發見スルニ至レリ製煉ニ在リテハ夏季製煉ハ全ク之レヲ廢止シ冬季間(自十一月一日)ノミ製煉作業ヲ行フコトトシ十一月熔鑛爐一座(長サ八尺幅四尺)ヲ増設セリ

鹿部鑛山

硫 黃 鑛業權者 渡島國龜田郡軍川村外一
末富孝治郎

近年坑内ノ狀況漸次不良トナリ產額激減シ加フルニ前年ノ如キハ時局ノ影響ヲ受ケ著シク悲境ニ陥リシカ硫黃市價ノ昂騰ニ伴ヒ銳意探鑛ニ努メタルト從來探鑛シツアリシ未著手鑛床ヲ探掘シタルトニ因リ漸ク盛運ニ向ヒ現時新坑及三番坑ノ掘進並ニ探鑛ニ從事シ又製煉窯四基ヲ増設シ製品ノ產出増加スルニ至レリ

熊泊鑛山

硫 黃 鑛業權者 渡島國茅部郡白尻村
目實禮三

時局ノ影響ヲ受ケ販路縮少シタル爲メ探鑛制限ヲ爲シタル結果產出額著シク減少セシカ硫黃市價ノ昂騰ニ伴ヒ銳意探鑛ニ努メ製煉窯八基ヲ増設シ其他諸般ノ設備ヲ擴張セリ現時稼業シツアルハ五番坑及大盛坑ノ二坑道ニシテ延長前者ハ一千九百尺後者ハ一千三百尺ニ達セリ

水無鑛山

硫 黃 鑛業權者 渡島國龜田郡樺法華村
石黒龜太郎

從來ハ鑛石ノ探掘ノミヲ爲シ原鑛ノ儘函館肥料會社ニ販賣シツツアリシカ五月製煉窯二基ヲ新設シテ製煉ヲ開始シタリ

赤井川鑛山

硫 黃 鑛業權者 渡島國茅部郡樺法華村
三井鑛山株式會社

製煉窯三基ニテ製煉ヲ行ヒツツアリシカ更ニ製煉窯一基ヲ増設セリ稼業坑道ハ大切坑(延長四百二十尺)及本坑(延長三百尺)ノ二個所ナリ

木直鑛山

硫 黃 鑛業權者 渡島國茅部郡尾札部村
三井鑛山株式會社

上總掘試錐ヲ開始シ銳意探鑛ニ努メタル結果稍々有望ナル鑛床ノ存在ヲ確メタルヲ以テ探鑛ニ著手セリ現時稼行シツツアルハ一號坑及五號坑ノ二坑ニシテ毎月二萬四千貫内外ノ鑛石ヲ探掘シ之ヲ自動鐵索及軌條ニ依リ青盤製煉所ニ送り燒取窯二基ニテ製煉ス

大梶鑛山

硫 黃 鑛業權者 渡島國茅部郡尾札部村外一
長谷川藤三郎

前年來七箇所ニ試錐探鑛ヲ爲シ稍有望ナル鑛床ニ著鑛シタリ其層ノ厚サハ十八尺乃至二十四尺ニシテ畧鑛床ノ狀態ヲ確知シ得タルヲ以テ十月墜入坑道ヲ開鑿シ其延長九十尺ニ達セリ尙百九十二尺掘進シテ著鑛ノ見込ナリ

竹山鑛山

硫 黃 鑛業權者 渡島國龜田郡湯ノ川村
白石喜代治

五月ヨリ二坑道ノ掘鑿ニ努メ探鑛ノ傍ハラ探鑛ニ從事ス九月製煉窯二基ヲ建設シ製煉ニ著手セリ

三盛鑛山

硫 黃 鑛業權者 渡島國龜田郡湯ノ川村
三浦次

一月ヨリ松倉川支流寅ノ澤サカサ川附近ニ四箇ノ坑道ヲ開鑿シ探鑛ニ努メ又一部ヲ露天掘ニ依リテ探鑛シ九月製煉窯三基ヲ据附ケ内一基ニテ製煉ヲ開始ス

大野鑛山

硫 黃 鑛業權者 渡島國龜田郡大野村外一
水島鉦四郎

從來稼行ノ二號坑道ノ探鑛ニ努ムルト同時ニ本年二月三號坑道ヲ開鑿シ四月製煉窯三基ヲ新設シ製煉ヲ開始ス

廣尾鑛山

金銀銅鉛 鑛業權者 後志國壽都郡壽都町
鉛硫化鐵 鑛業權者 高田商會

工事中ナリシ水選鑛場及磁選鑛場完成ヲ告ケ水選鑛ハ三月磁選鑛ハ五月夫々操業ヲ開始シ選鑛ノ改善ニ努メタルト鉛鑛及亞鉛鑛ノ採收ニ意ヲ注キタル結果近來漸ク好況ヲ呈スルニ至レリ其設備次ノ如シ

捲揚機一臺、クローム、ロール一臺、碎鑛機(ブレイキ式、ドッチ式)各一臺、バランス、ロール一臺、ハンチントン、ミル二臺、トロンメル五臺、水壓分類機三臺、ハルツ、ジッガー十二臺(内三臺休轉)ウキルフレ、テーブル二十臺、ワイラリス、テーブル四臺、廻燒爐一基、磁選機二臺
而シテ亞鉛精鑛ハ福島縣大寺製鍊所ニ、鉛精鑛ハ宮城縣高田鑛山ニ送致シ又硫化鐵鑛ハ國富鑛山ニ販賣ス

現時坑内ハ一坑道ヨリ八坑道ニ達シ一、二坑道ハ其稼業ヲ中止シ三坑道ハ二千六百尺、四坑道ハ二千九百尺、五坑道ハ一千八百尺、六坑道ハ一千百尺、七坑道ハ一千尺ニ及ヘリ、八坑道ハ本年開鑿シタルモノニシテ其延長未タ二百尺ヲ出ラス而シテ前記ノ各坑道ハ主トシテ本鑛ノ採鑛ヲ爲シ尙一部永盛、大盛及向盛ノ三鑛ヲ稼行ス

國富鑛山

金銀銅鉛 鑛業權者 後志國岩内郡小澤村
鑛業權者 田中鑛業株式會社

本山柏谷坑方面ノ露天掘作業著シク進捗シ稼行箇所大ニ發展セリ製鍊ニアリテハ採鑛量ノ増加ニ伴ヒ從來使用ニ係ル小型ノ熔鑛爐ヲ廢シ之ニ代フルニ大型ノモノ(長サ十四呎、幅三呎六吋)一座ヲ設置シ從來ニ比シ其處理鑛量約三割五分ヲ増加セリ尙自家用電燈及動力用トシテ發電機交流五十キロワット)一臺ヲ据付ケ又鑛石及鑛運搬用トシテ斜面軌道ヲ敷設セリ其他自動製團機杵六本、打拔杵一本(一臺及スタンブ式製團機)各一臺ニ杵二十本(二臺ヲ設置セリ

明治鑛山

金銀銅鉛 鑛業權者 後志國余市郡赤井川村
鑛業權者 田中鑛業株式會社

百五十米突坑ノ採鑛著シク發展セルノミナラス本鑛床上部ヲ採掘センカ爲メ露天掘ヲ開始シ其鑛石運搬用トシテ百三十米突坑道水準面ヨリ百米突坑道水準面ニ至ル間ニ斜面軌道ヲ開設シタル

大江鑛山

金銀銅鉛 鑛業權者 後志國余市郡大江村
鑛業權者 久原鑛業株式會社

採鑛ニアリテハ千歲、萬歲、吉野、百代及砥川ノ五坑ニシテ其主ナルモノヲ千歲坑トシ其他ハ坑道ノ取明及掘進ヲ行ヒ専ラ採鑛ニ從事シツツアリ又十月機械選鑛場ヲ開始ス而シテ新設シタル建物其他ノ設備ヲ示セハ左ノ如シ

(イ)建物 碎鑛場一棟、手選場一棟、比重選鑛場一棟、浮揚選鑛場一棟、倉庫一棟
(ロ)設備 グリイズ、ソー一個、碎鑛機一臺、トロンメル一個、手選帶一個、クローム、ロール一臺、ハンチントン、ミル一臺、細粒ジッガー二臺、ウキルフレ、テーブル二臺、バットル一臺、ミネラル、セパレーター、シヨ式浮揚選鑛機二臺、クラシ、フアイヤー一個、カロー、コン一個、三相式交流電動機三臺(十馬力一臺、五十馬力一臺、五馬力一臺)

美利加鑛山

滿 僱 鑛業權者 後志國網走郡利別村
鑛業權者 杉林庄七

探登第三十七號鑛區ニ於テ新鑛床ヲ發見シ目下其探掘準備中ナリ又第四號鑛區ニ於テ八番坑ヲ開鑿シ明年四月著鑛ノ豫定ナリ從來當鑛山ト國縫間ニ軌道ヲ敷設シアリシモ三股、國縫間ノ軌道使用期限滿了ノ爲メ本年十一月中其間ノ軌道ヲ取外シ之レニ代フルニ車馬ヲ以テセリ之レカ爲メ三股ニ中繼倉庫ヲ建設中ナリ

目津府鑛山

滿 僱 鑛業權者 後志國網走郡利別村
鑛業權者 石塚彌太郎

前年度ニ於テ專ラ準備作業ニ從事セシカ漸ク探鑛ヲ開始スルニ至レリ即チ八月一號澤新坑ヲ開坑シ掘進七十尺ニ達シ又一時作業ヲ中止シタル參號澤元坑及新坑ハ五月ヨリ再ヒ稼行ヲ開始セリ

事業ノ擴張ニ伴ヒ元山ヨリ國道ニ通スル運搬道ノ開設ヲ始メトシ事務所、飯場、選鑛場、鑛石置場各一棟及鑛夫長屋四棟ヲ建設セリ

岩雄登鑛山 硫 黃 鑛業權者 後志國磯谷郡南尻別村外二
三井鑛山株式會社

第一岩尾澤ノ探鑛ヲ中止シ第二岩尾澤ニ於ケル露天掘作業ニ從事スルト共ニ坑内ノ掘進ニ努メタル結果從來二個ノ鑛床ナラムト想像セシモノハ連續セル一個ノ鑛床ナルコトヲ確メタルモ其ノ存賦鑛量ハ尙未タ判明セサルモ其豐富ナルコト疑ナキモノノ如シ又例年十一月以降ハ積雪ノ爲メ稼業中止ノ狀態ニアリシモ本年ハ坑外防雪輸車路ヲ改善シ冬季間ノ作業ヲ繼續シタルノミナラス燒取製煉窯十二基、鑛夫長屋四棟、合宿一棟、社宅三棟等設備ノ擴張ヲ爲シタルヲ以テ其ノ產額前年ニ比シ四割七分強ヲ増加シタリ

奥尻鑛山 硫 黃 鑛業權者 後志國奥尻郡奥尻村

前年來著手セシ露天掘作業ハ大ニ進捗シ又從來ノ「インクライン」ニ於ケル運搬力ヲ補充シ下磐付鑛石ヲ採掘センカ爲メ新タニ運搬坑道五十二間ヲ掘鑿シ著シク探掘個所ヲ擴張シタルノミナラス從來原鑛ノ儘專ラ販賣シタル四分目以下ノ粉鑛ヲ「スタンブ」式團鑛法ニ依リ塊狀ト爲シ製煉ニ付シ以テ製品ノ增收ヲ圖リツツアリ

豐羽鑛山 金銀銅鉛亞鉛硫化鐵 鑛業權者 石狩國札幌市豊平町
久原鑛業株式會社

探鑛ニアリテハ從來「ダイヤモンド」ボーリングニ依リ主要鑛脈下部ヲ探鑛スルト同時ニ鑛床分布

ノ狀態ヲ精査センカ爲メ探鑛的ニ坑道ヲ掘鑿シツツアリシカ前年末操業方針確立スルト共ニ主トシテ長門播磨ノ兩鑛ヲ探鑛シツツアリ今年末現在稼行坑道ノ延長及明年度ノ豫定延長ヲ示セハ次ノ如シ

坑道名	現在延長	豫定延長
通洞坑	一、七七四 ^R 六	二、四九四 ^R 六
長門川下坑	七六四、〇	八六四、〇
播磨大堅坑掘下	二〇七、三	四〇七、三
播磨七十尺坑	八八一、一	一、三四一、一
中切坑	七四五、八	一、七一〇、〇
播磨二百二十尺坑	—	一、七一〇、〇
長門川下二番坑	—	七七〇、〇
通洞諸脈鉋押	三一〇、〇	一、二七〇、〇

製鍊ニアリテハ前年起工ニ係ル水松ノ澤製鍊場製團機三臺、乾燥爐一座、燒粉爐二座、熔鑛爐一座、十六尺八尺、分銀爐一座、反射爐一座、ラトー式ターボ送風機百馬力一臺、ルーツ式送風機五十馬力一臺、複胴捲揚機五馬力一基、工事ノ完成ヲ見タリ

當初鑛石中ヨリ鉛、亞鉛ヲ採收スルト同時ニ金、銀ノ乾式製鍊ヲ爲シタルモ鉛、亞鉛ノ含有率比較的貧劣ナリシノミナラス選鑛ノ結果良好ナラサリシト金、銀ノ乾式製鍊ニ於テモ硫化鐵鑛ノ熔鍊ニ依ル鐵鉋收銀法ハ當初ノ豫期ニ反シ其結果甚タ不良ナリシトニ因リ本年九月其ノ操業方針ヲ變更シ鉛、亞鉛ノ採收ハ一時之レヲ廢止シ選鑛裝置トシテ「ドッチ」式碎鑛機一臺、クローム、ロール「一臺

ハンチントンミル二臺、ハルツ式細粒ジツガー一臺、ウキルフレー、テーブル三臺、自然分類機二臺、水壓分級機二臺、バケット、エレベーター三基、磁選機一臺、沈澱池二個ヲ設置シ主トシテ金、銀、鐵ノ品位ノ向上ヲ圖ルト同時ニ鐵鍍收銀法モ亦之レヲ銅鍍收銀法ニ改メ專ラ銀ノ生産ニ意ヲ注キタル結果近時漸ク好成績ヲ見ルニ至リ産額一躍重要鐵山ノ資格ニ達シタリ又最近第三選礦場(ブレーキ式碎礦機一臺、トロンメル二臺、手選帶二臺)ヲ増設シ又原動機トシテハ選礦場用電動機(三相式交流五十馬力)一臺、製鍊場捲揚機用電動機(三相式交流五馬力)一臺及播磨大堅坑捲揚機用電動機(三相式交流二十五馬力)一臺並ニ播磨七十尺坑ニ二十五馬力タービン、ポンプ一臺、十馬力ブランジャーパーンブ一臺ヲ新設セリ

夕張炭礦 石炭

位置 石狩國夕張郡登川村
鐵業權者 北海道炭礦汽船株式會社

本坑々内ニ於テ新ニ著手シタルモノハ第一斜坑ニ於ケル採炭跡土砂充填設備トシテノ鐵管坑道ノ掘鑿ハ十月完成シ目下煉瓦積工事中ナリ又排水ニ要スル第一斜坑東三番唧筒座ノ設備ハ十二月完成セリ

丁未坑々内ニ於テハ八月ヨリ第四斜坑左風坑(人道坑口ノ煉瓦捲工事)延長七十九尺ニ著手シ十一月完成セリ一番坑下層堅入斜坑ハ採炭準備ノ爲メ八月迄坑道ヲ掘進セシモ事業上ノ都合ニ依リ九月中止シ目下風道ノミヲ掘進シツツアリ

本坑選炭機据付工事ハ十二月其ノ基礎工事ヲ終了シ目下其上家建築中ナリ

丁未坑第四斜坑々内炭車運搬用百五十馬力循環捲揚機据付工事ハ五月ヨリ著手シ十月完成セリ採掘石炭搬出用炭車ハ從來ノ扉付ヲ改良シ二月之レカ製作ニ著手シ木製炭車三百五十九臺及鐵骨板製炭車五百臺ヲ製作シ十一月堅入新坑ニ於ケル百臺ヲ除クノ外全部前記炭車ニ改良セリ

丁未坑方面通行道路延長(幅員二間七百四間、橋梁三十一間)ハ四月工事ニ著手シ十月竣工セリ一番坑第三風井「チャンピオン」式扇風機風量五萬立方尺据付工事ハ十一月全部完成シ十二月之レカ運轉ヲ開始セリ第四斜坑右風坑「シロッコ」式扇風機(風量十五萬立方尺)風道開鑿ハ九月中竣工シ十月運轉ヲ開始セリ

本坑第一斜坑及丁未坑第二斜坑ハ著シク坑内乾燥シ炭塵發生ノ虞レアルヲ以テ前年ヨリ引續キ坑道及各切羽ニ撒水ヲ行ヒタリ其方法トシテハ坑内排水管若シクハ坑内湧水ヲ鐵管ニテ片磐坑道ニ導キ必要ニ應シ各個所ニ活栓ヲ裝置シテ鐵管ヲ分岐シ之ニ「ホース」管ヲ連結シ人夫ヲシテ日々撒水ヲ爲サシム本坑第一斜坑ニテハ右風坑唧筒押上管ヨリ三時乃至四時ノ鐵管ヲ敷設シ分岐鐵管ハ一時半ノ瓦斯管ヲ使用シ二時ノ「ホース」管ヲ連結シテ撒水ヲ爲ス既設主要鐵管ハ左ノ如シ

設置個所	徑	延長
西一番第一唧筒押上管ヨリ西二番四十五號迄	三吋	三九八〇 ^尺
西二番第二唧筒押上管ヨリ西二番三十五號迄	三吋	二三五〇
西三番東第三唧筒押上管ヨリ西三番三十八號迄	四吋	二六二〇
西二番第二唧筒押上管ヨリ東三番二十號中切二十七號斜坑上迄	三吋	三〇三〇
「ホース」管五十尺ノモノ約四十本		

丁未坑第二斜坑ニテハ北二番二坑道三號上部ニ水槽ヲ据付ケ坑内湧水一分間約十五立方呎ヲ之レニ流入シ一時乃至四時ノ鐵管ニ依リ運搬坑道ニ分流シ各要所ニ活栓ヲ附シ之レニ半時乃至四分ノ三時ノ「ホース」ヲ連結シテ各切端ニ導キ撒水ヲ爲ス
既設主要鐵管ハ左ノ如シ

設置個所	徑	延長
北二番二坑道三號ヨリ北五番迄	四吋	三〇〇〇 _R
北二番二坑道四號ヨリ同三十六號迄	一時	二四〇〇
北二番一坑道	一時	四五〇
北二番一坑道橫風坑	一時	二六四
北二番二坑道	一時	四八〇
北三番一坑道	一時	一四四〇
「ホース」管	二分ノ一時	三〇〇
同	四分ノ三吋	五〇〇

以上ノ鐵管ハ坑道ノ延長スルニ伴ヒ漸次増設シ不便ノ個所ニアリテハ水槽ヲ設ケテ撒水ヲ爲シ若クハ岩粉ノ撒布及炭塵ノ掃除ヲ爲ス

尙當礦ニ於テハ鑛夫不足ノ爲メ十月及十一月鮮人四十餘名ヲ採炭夫ニ採用シ目下本坑五斜坑ニ三十二名、丁未坑一番坑ニ八名入坑稼行セシム

新夕張炭礦 石炭 鑛業權者 石狩國夕張郡登川村

本炭礦ハ東京瓦斯株式會社ノ鑛區ナリシカ十二月現鑛業權者之レヲ讓リ受ケタルモノニシテ八月第一坑七番坑ニ三十馬力電氣捲揚機一臺、同五番坑ニ十五馬力電氣捲揚機ヲ新設シ第二坑ニアリテハ變災復舊工事大部分完成ヲ告ケ西斜坑ノ如キハ掘進ヲ開始スルニ至レリ又前年來掘鑿中ナル同西一番坑大風道ハ其延長八百尺ニ達シ又本年四月鑿岩機動力用トシテ空氣壓搾機ヲ設置シ第二坑ニアリテハ八月斜坑本卸ニ二十馬力電氣捲揚機ヲ設置セリ

此外第二坑ニ於テ乾燥炭塵發生豫防トシテ西一番坑十尺層ニ方五寸木樋二千二百二十尺(坑外溪流ヲ水溜マテ引用シタルモノ)六吋鐵管千七百五十五尺、四吋鐵管六千三百尺及一時二分ノ一鐵管二千八百八十五尺(十六個所ノ切羽ニ分岐セシメ「ホース」管ニテ撒水セリ)ヲ布設セリ

大夕張炭礦 石炭 鑛業權者 石狩國夕張郡登川村

從來稼行セシ第一坑ノ外下層ノ十尺層及ヒ六尺層ヲ採掘スル目的ヲ以テ新ニ第二坑及ヒ第三坑ノ開坑ヲ企畫シ十二月ヨリ事業ニ著手セリ完成ノ上ハ第一坑ヲ合シ一日六百噸ヲ出炭スル豫定ナリ又六月選炭機動力用トシテ「コルニ」シユ汽罐一基ヲ増設セリ

真谷地炭礦 石炭 鑛業權者 石狩國夕張郡登川村

前年來開鑿中ノ堅坑ハ年來ニ於テ已ニ七百十尺ニ達シ又新ニ堅坑ノ南部ニ掘鑿セル風井ハ其ノ延長百五十尺ニ達セリ坑道ノ主ナル掘進ハ南一番坑千三百三十三尺、南二番坑千八百尺、南三番坑千五百尺、北二番坑二千尺、北三番坑ハ千三百尺ナリ尙坑内ハ一般ニ乾燥シ炭塵發生ノ虞アルヲ以テ本年十月ヨリ本澤北二番坑人道ヨリ南三番南二番坑道ニ鐵管ヲ敷設シ以テ本澤ノ水ヲ唧筒ニテ注入シ「ホース」ニテ各採炭切端ニ撒水ヲ行ヒ居レリ又本澤坑ニテハ從來使用シ來リタル「クラン」ニ「式安全燈ヲ全部「ウオルフ」燈ニ變更セリ坑外ニ於テハ事務所、社宅、鑛夫長屋、安全燈室、發電所、木工場等ヲ新築セリ目下工事中ノモノトシテハ本澤坑地竝ヨリ選炭場ニ至ル運搬用三十馬力ノ循環機及同輸車路約三百間竝ニ前年來計畫ノ選炭機ノ据付ニシテ即チ回轉手働「チツブラ」三臺、オートマテイク、フイノダー二個、チンマー、セーキングスクリシ二臺、大塊炭「マーカス」ビスグコンベヤー二臺、同上中塊炭「マーカス」ビスグコンベヤー二臺、小塊「チンマー」コンベヤー一臺、粉炭「チンマー」コンベヤー二臺、未選小塊炭「チンマー」コンベヤー一臺、小塊炭「ブラツケント」洗炭機一臺、小塊

バケットエレベーター「一臺、大中小塊炭、バンドコンベヤー」一臺、粉炭バンドコンベヤー一臺、
 幌内炭、石炭 鑛業權者 石狩國空知郡幌内村 鑛業權者 北海道炭礦汽船株式會社

坑内ニ於テハ著シキ變化ナシ坑道ノ延長ハ堅坑四千〇十四尺本坑一千八百十三尺ヲ算ス坑外設
 備ニ在リテハ多少ノ擴張改良ヲ見タリ今本年中ニ工事完了シタルモノ及工業中ノモノヲ舉クレ
 ハ左ノ如シ

(一) 工事完了シタルモノ

鑛夫長屋五棟、役宅二棟、火藥庫一棟、キャベル扇風機(徑八呎、一分間ニ排氣量三萬五千立方呎)一臺、
 選炭用引水木管延長七百八十間ノ敷設

尙龍ノ澤、キーバル扇風機ヲ廢シ本坑中ノ澤、チャンピオン扇風機排氣量一分間四萬立方呎ヲ移設
 セリ

(二) 工事中ノモノ

選炭機一臺、選炭用水道貯水池一

其他ポンポロナイ排氣堅坑(約三百尺)ノ開鑿準備ニ著手セリ

幾春別炭、石炭 鑛業權者 石狩國空知郡幾春別村 鑛業權者 北海道炭礦汽船株式會社

前年來工事中ナリシ「ハイネ」式汽罐四臺、發電機(三百キロ)二臺、選炭機一臺竝ニ之レカ附帶工事竣工
 シ前者ハ九月後者ハ十一月ヨリ夫々運轉ヲ開始シタリ

前記發電機ノ完成ト共ニ電力ノ一部ハ之ヲ幌内礦ヘ送電シ其餘ハ電燈用及選炭機動力用ニ供セ
 リ坑内、ポンプ其他ノ動力モ電力ニ變更スル豫定ナルモ設備未タ完成セス明年度ニ於テ完成スル
 見込ナリ尙事務所一棟、役宅三棟ヲ新築シ又長屋二棟新築中ナリ

三 菱美唄炭、石炭

鑛業權者 石狩國空知郡沼貝村 鑛業權者 三菱合資會社

五月二區二番層ノ開坑ニ著手スルト同時ニ從來中止シアリシ一區二番層ノ探掘ヲ開始シ銳意採
 炭ニ努メタル結果本年ニ於テハ一日千噸ノ出炭ヲ見ルニ至レリ又九番層一中切ノ掘進ニ依リ同
 層ノ將來有望ナルヲ確メタリ斯ク坑内ノ擴張發展ニ伴ヒ五片磐舊坑々口ニ「キアペル」式扇風機徑
 五呎風量十萬立方尺ヲ新設シ以テ通氣ノ改善ヲ計リ又乾燥炭塵發生豫防ノ爲メ四月中二區斜坑
 方面ニ撒水管ヲ布設シ爾來各切羽ニ於テ撒水ヲ勵行シ又十二月以來各坑道ニ亘リテ粉炭掃除ヲ
 行フト同時ニ岩粉又ハ粘土ヲ撒布シ又處々ニ岩粉棚ヲ作ルノ計畫ヲ爲シ極力變災豫防ニ努メツ
 ヲアリ

排水ニ於テハ六月右十八片二卸ニ蒸汽ポンプヲ据附ケ十一月更ニ之レヲ電氣ポンプニ改メタリ、
 運搬ニ於テハ本年三月第一斜坑々内ニ三十五馬力蒸汽捲揚機一臺ヲ同左一卸ニ三十馬力蒸汽捲
 揚機一臺ヲ据附ケ十二月同本片磐新卸ニ十五馬力電氣捲揚機一臺ヲ新設シ又工事中ナリシ北部
 輸車路及インクラインハ設備完成シ七月其運轉ヲ開始セリ

九月第一及第二斷層ト一ノ澤間ニ亘レル方面即チ九番層下部探鑛ノ目的ニテ試錐ヲ行フ爲メ其
 準備工事ヲ終ハレリ坑外ニ於テハ八月鑛業特設電話竣工ヲ告ケ又前年來工事中ナリシ發電所ハ
 十月完成シ運轉ヲ開始スルニ至リ尙三月起工ニ係ル機械選炭場ハ十二月略落成ヲ告ケタリ其ノ
 設備次ノ如シ

調帶傳導「チッブラー」二臺、フンボルト「式」チャネル、バースクリン「一臺、塊炭用、ビツキング、バン
 ドコンベヤー」一臺、中塊炭用、ビツキングバンド、コンベヤー「一臺、粉炭用、マーカスコンベヤー
 」一臺、粉炭用、バケット、エレベーター「一臺、電動機(實馬力三十馬力)一臺

尙前記諸設備ノ動力用トシテ多火管式汽罐二臺、バツブコック式汽罐二臺ヲ増設シ又工作場用トシテ多火管式汽罐一臺ヲ増設セリ

上志歌内炭礦 石 炭 鑛業權者 石狩國空知郡歌志内村 坂太郎

斜坑第一坑道著シク發展シタル結果九月以降ニ於テハ出炭額一箇月六千噸ヲ超過スルニ至レリ又第二坑道水準下ノ炭層ヲ採炭スル爲メ十月第二堅坑(幅十七尺長十九尺)ノ開鑿ニ著手シ深度三十尺ニ達セリ之レカ完成ノ曉ニハ出炭額激増スルニ至ルヘシ尙ホ八月坑夫長屋(六十八戸)及ヒ石炭積込場(間口三十二間)ヲ増設シ事業ノ發展ヲ圖レリ

將來ノ計畫トシテハ第二堅坑ノ深度六百尺ノ個所ニ第三坑道ヲ八百尺ノ個所ニ第四坑道ヲ開鑿シ又八百尺以下ニ於テハ坑内斜坑ヲ掘下ケ向斜層ノ東側ニ對シテハ西側ヨリ堅入坑道ノ掘鑿ヲ爲ス豫定ナリ

空知炭礦 石 炭 鑛業權者 石狩國空知郡歌志内村 北海道炭礦汽船株式會社

開鑿準備中ナリシ西山堅坑ハ五月著手シタルモ準備等ニ時日ヲ要シタルヲ以テ工事進捗セス年末迄ニ漸ク八十尺ノ掘進ヲ見タリ中ノ澤斜坑ハペンケ堅坑第一坑道地竝マテ完成シ從來右堅坑ニヨリテ捲揚ケタル第一坑道以上ノ出炭ヲエンドレスニ依リ搬出スルニ至レリ尙ペンケ堅坑ノ電氣捲揚機ヲ廢シテ之レニ代ルニ蒸氣捲揚機ヲ以テスヘク之レカ準備中ナリ又發電所ニハ新ニ凝縮機二基及シンクロナス電動機二基ヲ設置シ又從來ノ「ランカシャー」汽罐三基ヲ「ハイ」式汽罐一基ニ變更セリ

明年ニ於テ西山堅坑ヲ三百尺掘下ケ神威大坑道ト連絡セシメ目下使用中ノ架空索道ヲ廢シ西山坑全部ノ出炭ヲ神威坑ニ搬出スル豫定ナリ尙ペンケ堅坑三百尺ヲ更ニ百尺掘リ下ケ第二坑道ト

連絡セシメ採炭ヲ繼續シ更ニ適當ノ位置ヲトシ「ペンケ」第二堅坑ヲ開鑿スル計畫ナリ

歌神炭礦 石 炭 鑛業權者 石狩國空知郡歌志内村 濱田浩一

從來水準上ノ採炭ヲ主トシタリシモ前年來水準以下ノ採炭ヲ計畫シ斜坑ノ開鑿ニ著手シタルカ引續キ其掘進ニ努メ目下多少ノ出炭ヲ見ルニ至レリ設備ノ完成シタルハ「チンマー」式スクリーン一臺同「コンベヤー」三臺、手選「バンド」二臺、「バンド」コンベヤー一臺、選炭場原動用汽機(三十馬力)一臺積込場選炭場一棟、蒸氣捲揚機一基、デュール式汽罐二基、多管式汽罐一基ナリトス

明年ニ於テ扇風機ノ据附ヲ爲シテ通氣ノ完全ヲ圖リ捲揚車道ヲ複線ト爲シ以テ出炭ヲ増加スル計畫ナリ

歌志内炭礦 石 炭 鑛業權者 石狩國空知郡歌志内村 佐々木慎思郎

大正三年九月起工シタル機械選炭場ハ完成ヲ告ケ十二月ヨリ操業ヲ開始セリ明年ノ計畫トシテハ「ブラケット」洗炭機ヲ新設シ七月竣工ノ豫定ナリ

奔別炭礦 石 炭 鑛業權者 石狩國空知郡三笠山村 奔別炭礦株式會社

四月新ニ選炭場ニ「エレベーター」ヲ設置シ又十一月手選鑛場ヲモ増設セリ尙中ノ澤斜坑ニ捲揚機据付ケ工事中ナリ

明年ニハ新ニ發電所ヲ設ケテ坑外ニハ電車ヲ以テ現在ノ馬匹ニ代フル計畫ナリ其ノ原動力トシテ汽罐三臺(多管式二臺)ヲ増設中ナリ

三井登川炭礦 石 炭 鑛業權者 石狩國夕張郡登川村 三井鑛山株式會社

坑内ノ發展ニ伴ヒ諸般設備ノ増設改廢セルモノ尠カラス三月從來使用ノ二十三立方呎ノ三聯式唧筒ヲ五立方呎三聯式唧筒ニ改メ水準下ノ排水ニ供シ又鑿岩機用トシテ四十馬力空氣壓搾機ヲ

新設セリ五月徑四呎「チャンピオン」式扇風機(風量三萬二千立方尺)ヲ設置シ尙更ニ十萬立方尺「チャンピオン」式扇風機増設ノ工事中ナリ運搬機ハ從來使用ノ三十馬力曳揚機ヲ百馬力曳揚機ニ取り代ヘ目下工事中ニテ略完成ヲ見ントス電車ハ從來坑外運搬用ノミニ使用シタリシモ進ンテ本坑奥部ニ通スル目的ニテ目下四十五號附近迄運轉ヲ爲シツツアリ
 明年ニハ水準下探炭ノ目的ヲ以テ第二斜坑ノ開鑿ニ著手スル豫定ナリ又各坑道ノ延長長クシテ維持困難ナルヲ以テ主トシテ一坑道ニ力ヲ集中シ之レニ電車ヲ通シ運搬能力ヲ増大スル計畫ニテ目下準備中ナリ

三井砂川炭礦 石 炭

位 置 石狩國空知郡砂川村
鑛業權者 三井鑛山株式會社

大正二年以降上總掘「ロープボリリング」「ダイヤモンドボリリング」ニ依リ或ハ坑道掘ニ依リ專ラ探鑛ニ從事シタル結果各炭層ノ狀況稍々明瞭トナリタルモ探炭ノ運ヒニ至ラス左記坑道ヲ掘鑿シ探鑛ヲ續行セリ

坑 名	延 長	坑 名	延 長
八番層坑道	百七尺	同 中切坑道	千 尺
同 斜 坑	二百八十尺	同 斜坑第一坑道	九百三十四尺
十番層坑道	千七百三十尺	同 中切坑道	千三十尺

將來ノ計畫トシテハ砂川驛ヨリ山元ニ至ル約五哩間ノ岐線ヲ敷設スルト共ニ探炭ニ著手シ又融雪後ハ更ニ奥部探鑛ヲ開始スル豫定ナリ

天鹽炭礦 石 炭

位 置 天鹽國留萌郡留萌町
鑛業權者 天鹽炭礦株式會社

上半期ハ主トシテ探鑛ニ努メタルニ七月現鑛業權者之ヲ讓リ受クルヤ隣接鑛區ト事業ヲ合併ノ

目的ニテ漸ク平澤ニ新坑道ヲ開鑿シ坑道ノ掘進ニ全力ヲ注キ寶坑ニ選炭場一棟ヲ建設シ運炭用輕便鐵道千餘間ヲ延長セリ而シテ一方販路ノ擴張ニ努メ輪西製鐵所ニ賣炭ノ契約ヲ締結シ出炭ノ増加ヲ圖リツツアリ

將來ノ計畫トシテハ鑛夫長屋ヲ増築シ又機關車購入ノ見込ナリ

留萌鑛山 石 油

位 置 天鹽國留萌郡留萌町
鑛業權者 日本石油株式會社

四月探掘權ヲ設定シ石狩石油山ヨリ試錐機ヲ全部移轉シ二號井三號井ノ開鑿ヲ始メタリ第一號井ハ大正四年十月開鑿シタル網掘井ニシテ深度九十八間ヨリ二百十八間ニ至ル間屢瓦斯及滲出油アリタルモ其量少ク追掘スルコト三百四十一間餘ニ及ヒタルモ地質惡シク網掘ニテハ掘進困難ノ爲メ四月廢坑ト爲セリ第二號井網掘式ハ本年五月開鑿シタルモノニシテ其地質ハ第一號井ニ類似シ深度約五十七間ヨリ三百五十間ニ至リ瓦斯及滲出油アリ殊ニ三百四十五間ノ處ニテ原油浮揚シタルニ依リ試驗的ニ採取シタルモ其量僅少ナリシヲ以テ更ニ追掘ヲ爲シ現今深度四百二十間ニ達セリ

稚內鑛山 石 油

位 置 北見國宗谷郡稚內村
鑛業權者 村井吉兵衛

前年來掘鑿中ナリシ第一號井ハ十二月深度三千百五十六尺ニシテ灰色頁岩及白色細粒砂岩混リノ含油層ニ達シ噴油ヲ見タルヲ以テ前後二回探油ヲ爲シ第一回ニハ二石五斗第二回ニハ二十三石ヲ得タリ目下鑿井上部ノ水止及探油準備中ナリ噴油當時ノ狀況ヲ示セハ坑底溫度攝氏四十度油質「ボーマー」二十三度攝氏十六度油座附近ノ鹽水「ボーマー」三十五度攝氏十度瓦斯減退セシ際其壓力ハ密閉後一時間ニシテ十八封度ナリシ又第二號井ハ挿入鐵管不足ノ爲メ十月其掘進ヲ中止セリ

幌別鐵山

金銀銅鉛

鐵位業權者

置 瞻振國幌別郡幌別村

主要坑タル旭鐵方面ニ於テ鑛石ノ品位下降シタル爲メ一時悲境ニ陥リシカ岩ノ崎坑方面ノ發展ヲ圖リタル以來漸次好況ニ向ヒツツアリ同坑方面ハ金銀ノ含有量多カラサルモ含銅品位稍々優良ナル結果金産額ニ於テ減少シタルモ銅産額ニ於テ四割二分ノ増加ヲ見タリ十二月燒結爐二基ヲ増設シ益々事業ノ發展ヲ圖リツツアリ

蛇田鐵山

鐵位業權者

置 瞻振國蛇田郡蛇田村

北海通炭礦株式會社

十月現鑛業權者ノ有ニ歸シタル以來坑内外ニ於ケル諸般ノ設備ヲ擴張シ明年ニ於テハ新ニ本鑛山ノ南東蛇田市街地ヨリ東方約十五丁ノ丘陵地ニ存在スル鑛床ノ探掘ニ著手シ年産額約五萬噸ヲ產出スル豫定ナリ

佐々木鐵山

鐵位業權者

置 瞻振國室蘭郡室蘭町

佐々木市造町

八月ヨリ露天掘ニ依リ約百噸ノ出鑛ヲ見タルモ未タ探鑛中ニ屬ス

幌別硫黃山

硫黃位業權者

置 瞻振國有珠郡壯瞥村

小田良治

坑内外ノ施設著々進捗シタルノミナラス新ニ南盛坑ヲ開鑿シ銳意探鑛ニ努メタル結果探鑛量増加シタルヲ以テ二月製煉窯十五基(元山ニ十五基)ヲ増設シ七月全部ノ完成ヲ告ケタリ

樣似鐵山

水銀位業權者

置 日高國樣似郡樣似村

朝倉夕滿

製鍊場ノ新設ニ著手セリ

跡佐登鐵山

硫黃位業權者

置 釧路國川上郡屈斜路村

山田朔郎

硫黃ノ噴出量増加シタルニ因リ其製煉窯一基ヲ増設シ尙製鍊場一棟貯鑛場一棟及製品倉庫一棟ヲ新設セリ

千歲鐵山

硫黃位業權者

置 釧路國川上郡屈斜路村

長井太作

再ビ製煉ヲ開始シタルノミナラズ更ニ製煉窯一基ヲ増設ス

三井釧路炭礦

石炭位業權者

置 釧路國釧路郡釧路町

三井鐵山株式會社

三月現鑛業權者ノ有ニ歸シタル以來坑内外施設ノ改善ニ努メ出炭額ノ増加ヲ企圖シツツアリ尙本年度ニ於テ從來掘採ノ儘堆積シタル粉炭ヲ選炭シ搬出シタル結果其産額一躍重要鑛山ノ資格ニ達セリ

明年ニ於テハ廢坑ノ取明ヲ行ヒ探鑛ニ努ムルト同時ニ坑内ノ整理ヲ續行シ事業ヲ擴張スル豫定ナリ

高田鐵山

銀銅鉛亞鉛安寶母尼

鐵位業權者

置 宮城縣栗原郡鷹澤村

合資會社高田商會

探鑛ニ於テハ大正四年取明ヲ爲シタル大鑛土堅坑部ハ爾來橫坑ノ掘進ニ移リ銳意作業ノ進捗ヲ謀リ年末ハイドロマックス鑛岩機四臺ノ使用ヲ開始セントテ之カ準備工事ニ著手シタリ

二貫目堅坑部ハ豫定ノ通り作業進捗シ著シク操業ノ進展ヲ見タルカ前途尙開掘ヲ要スルモノ多キヲ以テ更ニウオーターライナー鑛岩機一臺ハイドロマックス鑛岩機二臺ノ使用ヲ開始セリ選鑛ニ於テハ前年建設ニ着手シタル新選鑛場ハ三月落成シ操業ヲ開始セリ其結果選鑛廢水ハ從來ノ沈澱設備ニテハ不十分ナリタルヲ以テ「ドーアー」シツクナリ「徑五十尺深十尺」一臺ヲ設置シ尙將來二臺ヲ増設スル計畫ナリ

新選鑛場設備ノ主ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

「ブレイ」キクラツシヤ

二

手選臺

一

「クロームロー」ル

四

「チエンエレグエーター」

二

圓 節		立 網	
水壓分類器	一二	捲揚機	二
「デスク」式給鑛機	四	「ハルツ」式跳汰器	一
「ハンチントン」ローラーミル	六	「ウキル」フレイ淘汰盤	一六
木製「バッドル」	四	尖 函	二四
「カロー」コーン	四	三相交流誘導電動機七十五馬力	一〇
三相交流誘導電動機三十五馬力	一		二

新選鑛場完成後ハ一晝夜粗鑛四萬乃至四萬五千貫ヲ處理スルニ至レリ然レトモ尙操業上ニ不便ヲ感スルモノアルヲ以テ更ニ之ヲ擴張シ舊選鑛場ヲ撤廢スル計畫ニテ既ニ工事ニ著手シタルモ未タ完成スルニ至ラス

製鍊事業ニ於テハ操業ノ擴張ニ伴ヒ同燒爐二臺、反射爐五座及ビ熔鑛爐一臺ヲ増設シタル外精鉛爐「パークス」鍋灰吹爐、乾餾竈ノ開設ヲ見タリ又亞鉛製鍊ニ對シテハ在來ノ電解裝置ヲ倍加スルコト、シ年末ニ於テ殆ント工事ヲ完成セリ
是等事業ノ擴張ノ爲メ動力ニ不足ヲ生ジタルヲ以テ蒸氣發電所及瓦斯發電所ヲ開設シ前者ニ七十五馬力「ランツ」過熱蒸汽機關及交流發電機一臺竝ニ百六十馬力「ロベ」同式機關一臺、同三相交流發電機一臺ヲ設置シ後者ニ「ブレミヤ」吸入瓦斯機關二百五十馬力二臺及同三相交流發電機二臺ヲ設置セリ尙運搬設備トシテ若柳石越間約二哩ノ軌道ヲ完成セリ
福島縣耶麻郡磐梯村ナル大寺分工場ニテハ專ラ工事ノ進捗ヲ謀リタル爲メ前年著手シタル設備ハ三月竣成シ更ニ其後増設シタルモノモ完成ヲ告ケタルヲ以テ取扱鑛量一晝夜二十五噸乃至三十噸、亞鉛製品十噸ヲ產出スルニ至レリ其設備ノ大要次ノ如シ

「ロール」ジョウクラッシャ	一	「クラッ」シグロール	二
「バケットエレベーター」	一	反射爐	一〇
溶解槽	一〇	沈澱槽	一〇
「オリバー」式濾過機	三	粗液槽	八
精製槽	五六	砂濾槽	四
精製液貯藏槽	四	給液槽	一五
電解槽	七一二	洗滌槽	二〇
排液槽	一二	空氣壓搾機	三
壓搾空氣溜	二	真空唧筒	三
真空槽	一	揚液槽	一九
熔融爐	一	「コルニツ」シユ汽罐	一
百五十馬力三相誘導電動機	一	五十馬力三相誘導電動機	一
四十馬力 同	一	四百キロワット同期電動發電機	三

尙九月同工場内ニ亞鉛製鍊ニ必要ナル硫酸製造工場ノ開設ニ著手シ十二月完成セリ一晝夜ニ含銅硫化鐵鑛千貫乃至千二百貫ヲ處理シ「ボ」メ五〇度硫酸二千貫乃至二千五百貫同六〇度硫酸千二百貫乃至二千貫產出ノ豫定ニシテ其設備ノ大要左ノ如シ

焙燒爐	一〇	硝石爐	一
「グラバー」塔	一	鉛 室	三
「ゲーリ」ユサツク塔	一	養詰竈	二四

「フエリスポンプ」

「マルセラールセンターリフューガル」ポンプ

旋風機

新月鑛山 金銅

鑛業權者 宮城縣本吉郡新月村
田中長兵衛

疏水坑道開鑿ニ當リ本鑛ニ平行セル相當稼行ニ堪ユル鑛脈九枚ヲ縫貫シタルニ九番目ニ當レル九號鑛最モ優良ニシテ品位脈勢共ニ本鑛ニ劣ラサルニ依リ大正四年十二月ヨリ探掘ニ著手シ現時全產鑛量ノ七割以上ヲ產スルニ至レリ斯ノ如ク益々事業伸展ノ域ニアルヲ以テ八月隣接セル數鑛區ヲ買收シ區域内松岩村地内ニ六十「キロワット」最高電壓三千三百「ボルト」ノ火力發電所ヲ設置シテ坑内排水及ヒ捲揚原動力ニ使用シ尙坑外運搬トシテハ松岩村ヨリ新月鑛區ヲ經テ神山川右岸ニ沿フテ前川海岸ニ至ル全長五哩ノ軌道ヲ敷設シ益々事業發展ニ資セン計畫ニテ何レモ其擴張工事ニ著手セリ

宮城鑛山 金

鑛業權者 宮城縣本吉郡御嶽村
代表者 村上濱吉

從來上盤及ヒ下盤ノ二鑛脈ヲ探掘シツツアリシカ大正四年八月下旬偶然山鳥鑛ト稱スル新鑛脈ヲ發見シタルヲ以テ十二月ヨリ探掘ニ著手シ目下之レニ全力ヲ傾注シツツアリ即チ全產鑛量ノ七割ヲ該鑛脈ヨリ三割ハ上盤下盤ノ二鑛ヨリ探掘シツツアリ特ニ山鳥鑛ハ走向約百五十度傾斜東三十度ニシテ平均合金品位十萬分ノ一、五ナルノミナラス其鑛量豐富ナルヲ以テ今後數年間ノ探掘ニ堪ヘ得ヘキヲ以テ本山ノ將來ハ刮目ニ値スルモノアラン

新川鑛山 金銀銅亞鉛

鑛業權者 宮城縣名取郡秋保村
德之助

從來探掘シツツアリシ扇澤方面ニ於ケル第一、第二、及ヒ第三號鑛ハ上部ハ鑛況慨シテ佳良ナルヲ以テ鑛押坑道ヲ延長シ更ニ是等鑛脈ノ下底部ニ於テ夫々第一及ヒ第二通洞ヲ開鑿シ

態ヲ探求スルト共ニ併セテ坑内ノ擴張ヲ圖リ探掘操業ヲ圓滑ナラシメ又金井澤、拾白澤及ヒ四ノ澤方面ニ互リテ露頭探掘ヲ行ヒシ結果比較的良好ナル數脈ヲ發見シ之レカ新規探掘ヲ開始シ他日ノ事業發展ニ資セントス選鑛ハ前記ノ如ク主トシテ探掘中ニシテ未タ鑛量確定セサルタメ姑息ナル手選鑛ニ依レリト雖トモ上記探掘ノ結果如何ニ依リテハ將來相當ノ發展ヲ期スルヲ得ヘシ

鳴子鑛山 硫黃

鑛業權者 宮城縣玉造郡溫泉村
押野常松

近時硫黃價格好況ナルヲ以テ七月區域内潟沼北岸ニ燒取釜十二枚二列ノモノ一基(釜直徑三尺五寸、長九尺)ヲ有スル製煉場ヲ設置シ毎月四千八百貫内外ノ硫黃ヲ製出シツツアリ

三井荒雄嶽鑛山 硫黃

鑛業權者 宮城縣玉造郡鬼首村
三井鑛山株式會社

新規發見ニカカル湯ノ澤坑ハ十月ヨリ探掘ニ著手シ露天掘及ヒ坑道探掘ヲ併用シツツアリ從來ノ時田坑、木直坑、大正坑等ニ於テハ露天掘ヲ採用シ其階段切り崩シハ二段トナシタルモ製煉擴張ニ伴ヒ近ク三段掘ニ變更シ各段ニ軌道ヲ敷設シ以テ事業ノ發展ヲ期シツツアリ
前年迄ハ燒取製煉釜四基(一基十二枚外徑三尺八寸、深二尺三寸)ヲ以テ作業セシモ更ニ六基ヲ増設シ現時十基ヲ以テ稼行シツツアリ近ク尙ホ七基ヲ増設シ合計十七基ヲ以テ作業スル計畫ナリ
運搬ハ從來元山、鳴子間四哩餘ノ鐵索ヲ架設シテ製品ノ搬出竝ニ用品供給ノ便ニ供シツツアルモ更ニ一哩強ノ薪炭搬出用鐵索架設ノ計畫ナリ

勢至堂鑛山

鑛業權者 福島縣岩手郡長沼町外一
福島縣岩手郡長沼町外一

當山ハ須賀川町ヨリ若松市ニ通スル縣道ニ接シ須賀川町ヲ距ルコト約六里ニ在リ現鑛業權者ノ有ニ歸セシ以來銳意探掘ノ結果有望ナル鑛床一條ヲ發見シ探掘中ナリ該鑛床ハ凝灰岩及石英粗

面岩ノ接觸部ニ近ク成生セル正規脈ニシテ走向三百四十五度傾斜東方へ八十度ヲ示シ脈幅普通三尺内外アリ而シテ錘ハ粘土脈ニシテ其ノ間ニ薄キ硅石脈及黃鐵鑛脈ヲ挿介シ其粘土中ニハ黃鐵鑛及黃銅鑛粒ヲ散介シ往々扁豆伏ヲ爲ス黃銅鑛塊ヲ夾有ス而シテ其硅石脈及黃鐵鑛脈ニモ黃銅鑛ヲ隨伴スレトモ其量比較的少シ本鑛床探鑛ノ爲メ開鑿セル坑道ヲ上部ヨリ順次數フレハ不動舊坑及不動一號坑同二號坑ニシテ不動舊坑及不動二號坑間ノ高差ハ約百八十尺アリ而シテ不動一號坑ハ四年十一月同二號坑ハ當年三月著脈シ爾來北方ニ向テ錘押中ニシテ尙其下底探鑛ノ爲メ坑内掘下及坑外ヨリ觀世坑ト稱スル堅入坑(不動二號坑水準以下約六十尺ニ位ス)ノ開鑿及前記鑛床ノ西部ニ位スル一鑛床ヲ探クル爲メニ不動二號坑ノ堅入掘進ニ從事セリ尙二月手選鑛場ヲ十二月器械選鑛場(ブレーキ式嚙鑛機一、トロンメル一、跳汰器三、ウキルフレ一、汰盤二、五馬力石油發動機一ヲ備フ)ヲ開設シ年末ニ至ル間ニ含銅品位約五%ノ精鑛約二十八萬貫ヲ產出セリ近ク從來ノ選鑛場ヲ廢止シ更ニ「ブレーキ」式嚙鑛機一、「ローラ」デヨ、「ラッシャー」一、「クロム、ローラ」一、「トロンメル」三、跳汰機六、「ウキルフレ一」汰盤四、二十七馬力吸入瓦斯發動機一、五馬力石油發動機二ノ設備ヲ有スル選鑛場ヲ開設シ日々一萬二千貫ノ粗鑛ヲ處理スル計畫アリ

八莖鑛山 金銀銅水鉛 鑛業權者 福島縣石城郡大野村 八莖鑛山株式會社

採鑛及ヒ買鑛ノ發展ニ伴ヒ近ク製鍊ニ水套式熔鑛爐一基、採鑛ニ鑿岩機用空氣壓搾機一基ヲ増設セントシ且從來人力ノミニ依ル選鑛作業ニ器械力ヲ適用シ「ブレーキ」式嚙鑛機二、圓錐篩四、手選圓盤五ヲ有スル選鑛場ヲ新設セントシ既ニ其一部ノ工事ニ著手シタリ尙是等諸設備ノ原動力トシテ二百馬力ノ電力供給ヲ夏井川水電株式會社ニ契約セリ

柳澤鑛山 金銀 鑛業權者 福島縣伊達郡小坂村 敏章

當山ハ半田鑛山ノ北部ニ位シ國有鐵道東北本線藤田驛ノ西方二里弱ニアリ主要鑛床ハ石英粗面岩中ニ胚胎セル正規脈ニシテ走向約南北傾斜ハ西方三十五度乃至四十五度ヲ有シ其脈幅ハ三尺ヨリ十三尺ニ達スル處アレトモ六尺ヲ以テ普通トス下盤ハ堅硬ナレトモ上盤ハ粘土化シテ軟弱ナル鑛床露頭ヨリ高差約百尺ヲ有スル三個ノ水平坑道ヲ開鑿シ階段法ニ依リ採鑛シ其鑛石ハ乾燥ノ上粉碎シ青化法ニ依リ粗金銀ヲ抽出セリ其設備ノ主要ナルモノハ乾鑛爐一、嚙鑛機一、クローム轉碎機一、溶解槽二、「ペルトン」水車一ニシテ尙同様に製鍊場ヲ増設中ナリ

八總鑛山 銅亞鉛 鑛業權者 福島縣南會津郡岩村外一 池上 三郎

從來ノ手選鑛場機械選鑛ニ改メテ新タニ選鑛場ヲ設ケ且ツ製鍊ニ變更ヲ加ヘ以テ鑛產ノ増加ヲ圖レリ而シテ選鑛場ハ一箇月十六萬貫ノ粗鑛ヲ處理スル計畫ニシテ其設備ハ「ブレーキ」式嚙鑛機一、「ハルツ」式跳汰器一、鐵製搗鑛機一、尖函一、「ウキルフレ一」淘汰盤一、上射式木製水車三馬力一、吸入瓦斯機關五馬力一ニシテ製鍊設備ハ從來ノ吹床ヲ半爐ニ改メ鞆ニ代フルニ送風機ヲ以テシ一箇月三萬貫ノ燒鑛ヲ處理シ二千貫ノ粗銅ヲ產出スル豫定ナリ

山口鑛山 金銀銅 鑛業權者 福島縣河沼郡下谷村外一 日本鑛業合資會社

新大功坑水準以下探掘ノ目的ヲ以テ坑内堅坑ノ開鑿ニ著手シ又採鑛場及選鑛場間延長約二千尺竝ニ製鍊場及出ケ原延長三千七百餘尺ニ互リ「ハリヂー」式單線架空索道ヲ架設シ其原動機トシテ前者ニハ十馬力直流電動機一臺後者ニハ二十四馬力吸入瓦斯機關一基ヲ設置セリ而シテ前年來工事中ノ銅鑛製鍊場ハ十一月ヲ以テ落成シ使用ヲ開始シタリ其設備ハ「ルーツ」型送風機三、圓型水套式熔鑛爐一、真吹爐三、燒壺二、「コルニツ」型汽罐一、橫置式雙汽笛膨脹凝結機關一ニシテ尙明年度ニ於テ亞鉛鑛ノ製鍊ヲ開始スル計畫ナリ

加納鑛山 金銀銅鉛亞鉛 位 置 福島縣耶麻郡加納村
鑛業權者 加納鑛山株式會社

前年來改造中ノ長方形水套式熔鑛爐ハ四月ヲ以テ落成シ使用ヲ開始シ更ニ眞吹爐ヲ改築シタリ
當山所產ノ亞鉛鑛ヲ焙燒ノ上加納電氣亞鉛株式會社ニ販賣スル目的ニテ十月亞鉛焙燒場ノ開設
工事ニ著手セリ其設備ハ反射爐一「モーターミル」二「トロンメル」一、廿五馬力電動機一、等ニシテ一日
一千五百貫ヲ處理スル計劃ナリ其操業ノ概略ハ油選鑛及水選鑛ヨリ得タル亞鉛鑛ヲ一旦既設回
燒爐ニ於テ自燒シ後之ヲ前記設備ノ許ニ粉碎篩別シ而シテ五十目以下ノ粉鑛ヲ得テ之ヲ反射爐
ニ裝入焙燒スルニアリ

赤羽根鑛山 金銀銅鉛亞鉛 位 置 福島縣河沼郡下谷村外二
鑛業權者 帷子吉正

本山ハ元ト銀鉛澤、赤羽根及五萬洞ノ三鑛山(三鑛區)ニ分立セシカ六月現鑛業權者之ヲ讓受ケ一鑛
山トシテ施業スルニ至レリ

五萬洞鑛區ハ其東部ニ於テハ亞鉛及鉛鑛ヲ西部ニ於テハ金及銅鑛ヲ產シ其鑛床ハ前者ハ細脈ナ
レトモ良鑛ヲ出シ後者ハ幅一寸乃至五寸ノ網狀脈ヲ爲セリ赤羽根鑛區幅三寸乃至三尺ノ主脈ア
リテ金銀銅鉛及亞鉛ヲ產シ銀鉛澤鑛區ニ於テハ新坑(市二寸乃至一尺五寸)本坑奥部及本坑前部
(兩坑共巾一尺乃至三尺)等アリテ金銀銅鉛及亞鉛ヲ含有セリ

元ト五萬洞鑛區ハ久シク休業中ナリシカ現鑛業權者ニ至リ同區域内二箇所ニ於テ舊坑取明ニ著
手シ尙從來稼行セル他ノ兩鑛區ニ於テハ更ニ其下底探鑛ノ爲メ新坑道ノ掘鑿ヲ開始セリ又三月
銀鉛澤鑛區ニ二箇ノ選鑛場ヲ増設シ且ツ碎鑛作業ヲ器械的ニ改メ「ローレルデヨ」嚙鑛機二臺及水
車ヲ設置シタリ

中野鑛山 銅 位 置 福島縣信夫郡中野村
鑛業權者 三有鑛業株式會社

水拔坑水準以下約百五十尺ニ位スル通洞坑(竈入)ハ曾テ水拔坑ニ於テ探掘セル當山ノ主要鑛床タ
ル山神鑛ニ到著シタルヲ以テ兩坑間ニ於テ更ニ探鑛ヲ開始シ又笹ノ平鑛床ノ下底探鑛ニ著手セ
ルト共ニ四月新選鑛場ヲ完成シ尙坑外設備ノ改善ヲ計リタル等茲ニ面目ヲ一新シタリ新選鑛場
ハ一日粗鑛一萬五千貫ヲ處理スル計畫ニシテ其設備ハ「トロンメル」三、跳汰器六、ウキルフレー
淘汰盤二、尖函一、手選臺二、瓦斯發動機(廿馬力)一

上倉鑛山 銅 位 置 福島縣南會津郡大川村
鑛業權者 代表者 澁谷嘉助

當山ハ元ト上ノ山鑛山稱セシモノニシテ鑛床ハ花崗岩ニ接觸セル古生層ニ胚胎シ概ネ石灰岩ヲ
上磐トシ粘板岩ヲ下磐トセリ走向ハ略南北ニシテ西方ニ急斜シ其幅一尺乃至六尺アリ主鑛物ハ
黃銅鑛ニシテ之レニ少量ノ閃亞鉛鑛及黃鐵鑛ヲ夾雜シ又往々石英及柘榴石ヲ隨伴セリ

十一月山許ヲ距ルコト約一里ニ位スル檜枝岐川及館岩川ノ落合附近ニ於テ製鍊場ノ開設工事ニ
著手セリ其設備ハ熔鑛爐内徑二尺高サ十尺一、眞吹爐一、ルーツ式送風機二、水車一ニシテ一箇月約
六萬貫ノ精鑛ヲ處理シ約一萬七千斤ノ荒銅ヲ製出スル計畫ナリト云フ

松川鑛山 金銀 位 置 福島縣信夫郡松川村外一
鑛業權者 株式會社 橋本店

鑛業事務所役宅等ヲ新築シ又選鑛場ヲ改築シ山神坑水準以下ノ探鑛ヲ開始セリ且ツ熊ノ田新坑
ノ取明ニ從事シ其三號坑道水準以下約八十尺ニ位セル最下部坑道ニ向ヒ豫定延長百五十尺坑外
斜坑ノ開鑿ニ著手シ其豫定延長ノ半ヲ掘進セリ尙ホ三號坑中段坑道以下排水ノ爲メ電氣唧筒一
臺ヲ設置シタリ(電力ハ二本松水力電氣會社ヨリ供給ヲ仰ク)

安川炭鑛 石炭 位 置 福島縣東白川郡金山村外一
鑛業權者 安川榮次郎

休業中ノ處白棚輕便鐵道ノ開通ニ際會シタルヲ以テ四月事業ニ着手シ捲揚機一、唧筒一、汽罐二ヲ

設置シ斜坑ニ依リ探炭ヲ開始セリ炭層ハ厚サ平均二尺六寸、走向百五十度傾斜北方へ約二十度ナリ

多喜炭礦 石炭

鑛業權者 福島縣石城郡上遠野村 磐城探炭株式會社

四月五號坑水準以下ノ探炭ヲ企畫シテ一番層内ニ豫定延長約百間ノ斜坑本線及連卸ノ開鑿ヲ開始シ直働式單汽笛雙鼓胴拽揚機一、コルニシユ型多管式汽罐一、及四吋、ウオーシントン唧筒一ヲ設置セリ斜坑ノ左右ニハ約二十間ヲ隔テテ水平坑道ヲ設ケ且ツ一番層ノ下部約十尺ニ位スル二番層ハ同坑内ヨリ横坑ヲ掘鑿著炭ノ後何レモ殘柱法ニ依リ探炭セリ

鹽澤炭礦 石炭

鑛業權者 福島縣石城郡山田村 松本俊吉

從來稼行セル舊斜坑ノ北部ハ探炭終了シタルヲ以テ二月其南部ヲ探掘スルタメ新ニ豫定延長二百間ノ斜坑開鑿ニ著手シ掘進既ニ百五十餘間ニ達シ長壁法ニ依リ探炭ニ從事セリ現在設備器械ノ主要ナルモノハ雙汽笛單鼓胴拽揚機一、コルニシユ型汽罐一、及十二吋、スペシャル唧筒一等ナリ

三星藤原炭礦 石炭

鑛業權者 福島縣石城郡磐崎村 三星炭礦株式會社

當山ハ常磐鐵道湯本驛ヨリ須賀川町ニ通スル縣道(御齋所街道ト稱ス)ノ衝ニ當レリ小野田炭礦ノ南隣ニ位シ湯本驛ヲ距ルコト約一里ニ在リ

炭層ハ上層本層及下層ノ三層アリテ上層ハ本層ノ上部約百六十尺ニ下層ハ其下部約三十尺ニ位シ走向二十度乃至三十度傾斜東方へ十度乃至二十度ナリ而シテ本層ハ厚サ七尺餘夾岩甚タ少ク質亦佳良ニシテ稍硬質ノ頁岩ヲ下磐トシ薄キ頁岩ヲ隔テテ脆弱ナル中粒砂岩ヲ上磐トセリ大正三年試錐ヲ施スコト八箇所ニ及ヒ炭層ノ狀態ヲ確知シタルヲ以テ同四年一月斜坑ノ開鑿ニ

著手シ八月延長二千尺(傾斜二十度)ニテ本層ニ著炭殘柱法ニ依リテ探炭シツツアリ尙ホ選炭場ノ開設及山許湯本驛間延長約四哩ノ專用鐵道敷設工事ニ著手セリ現在設備ノ主要ナルモノハ斜坑運搬用ニ二十四吋拽揚機一臺、ランカシャ一型汽罐三基、坑内排水用、スペシャル唧筒六臺ナリ

小野田炭礦 石炭

鑛業權者 福島縣石城郡磐崎村外一 磐城炭礦株式會社

前年末開鑿ニ著手セル第五斜坑ノ進捗及第四斜坑々内ノ發展ニ伴フ動力補足ノタメ二月、コルニツシユ型汽罐一基ヲ増設セルヲ始メトシテ同月長倉坑内南右斜坑ニ十五馬力、ギーヤ式單胴電氣拽揚機一臺ヲ六月ニハ小野田墜坑左坑内上層探炭場ニ屬スル電氣卸ニ三十馬力ノ單胴電氣拽揚機一臺ヲ設置セリ又長倉坑南斜坑方面通氣補助ノタメ舊試錐坑ノ利用ヲ試ミテ良果ヲ舉ケ第四斜坑内ニシロツコ式扇風機(每分排氣量五千立方呎)一臺ヲ設ル等作業ノ擴張ニ伴ヒテ各種ノ施設ヲナセリ尙十一月小野田第一斜坑左大延坑奥部探掘ノタメ新ニ第七斜坑ノ開鑿ニ著手シ以テ出炭ノ増加ヲ圖レリ

入山炭礦 石炭

鑛業權者 福島縣石城郡湯本村外三 入山探炭株式會社

第三坑本坑ハ六月末全部ノ探炭ヲ終了シ同時ニ川平堅坑、枋窪斜坑、新斜坑等モ亦休止セリ而シテ前年來開鑿中ノ川平新斜坑ハ七月ニ至リ上層ニ著炭シ其探掘ヲ開始ス是ヨリ先キ從來稼行中ノ川向風坑ヨリ當斜坑ヲ經テ川平選炭場ニ至ル延長二百餘間ノ間ニ運搬軌道(一部インクグラ)ヲ敷設シ同インクグライン用トシテ二十六馬力蒸氣曳揚機一臺及壓型汽罐一基ヲ設置セリ而シテ斜坑々外ニハコルニツシユ型汽罐及ランカシャ一型汽罐各一基並ニ四十七馬力及七十九馬力蒸氣曳揚機各一臺ヲ設置シ又川向風坑外ニ二十馬力蒸氣曳揚機一臺ヲ設置セリ第四坑ニ於テハ運搬設備ヲ改メランカシャ一型汽罐三基ヲ増設シ本層ノ外下三尺層ノ探炭場ヲモ擴張シタリ然レトモ出炭

額ハ第三坑廢坑ノタメ前年ニ比シ約二割ノ減量ヲ示シタリ第五坑ノ掘進ハ通氣排水運搬ノ施設上遺漏ナキヲ期シ著々進行中ニシテ明年三四月頃ニハ著炭ノ豫定ナリ

内郷炭礦 石炭

鑛業權者 福島縣石城郡内郷村外三
磐城炭礦株式會社

豫テ工事中ノ千「キロワット」ラト一式ミツキスド、スチーム「タービン」一臺ノ設置ハ六月完成シ使用ヲ開始シタリ當地方ニ於ケル本機ノ使用ハ當山ヲ以テ嚆矢トス尙同時ニ之ニ伴フ千「キロワット」三相交流發電機一臺ノ外更ニ四百「キロワット」三相交流發電機及其原動機タル「ベリス」直立複式不凝縮汽機各二臺ノ設置ヲ完成セリ次ニ廣畑風井ニ於ケル扇風機ノ設置モ六月完成シタリ又人ノ昇降ニ供スル第一斜坑人道内曳揚機ノ設置ハ九月之ヲ完成シ使用ヲ開始セリ而シテ町田第二堅坑三卸ニハ七月三十馬力單胴電氣曳揚機ヲ新設シ綴坑ニ於テハ現在稼行炭層ノ上部採掘ノ目的ニシテ九月現在斜坑ノ西方二十餘鎖ノ山腹ニ新斜坑ノ開鑿ヲ開始シ該新斜坑ト現選炭場トノ間ニ延長約六鎖ノ墜道ヲ有スル運搬軌道ヲ敷設セリ新斜坑ハ其傾斜二十五度延長一千尺ニテ著炭ノ豫定ナリ

綴坑ハ十月不測ノ出水ニ遭遇シ一時採炭場ヲ水沒セシメ十二月ニ至リ之ヲ恢復シタルカ如キ打撃ヲ蒙レルニ拘ハラス當山一般作業擴張ノタメ出炭額ハ前年ニ比シ約一割ノ増加ヲ見タリ

好間炭礦 石炭

鑛業權者 福島縣石城郡好間村外二
古川合名會社

坑内外ノ改善ト共ニ本層及第一斜坑下部下層採掘作業ノ順調ニ進ミツツアリ而シテ年末第一斜坑區域ニ屬スル下層ノ採掘ヲ擴張シ新ニ北斜坑及横六坑ノ開鑿ニヨリ第一斜坑五坑道水準以上ノ炭層ヲ採掘シ其以下ノモノハ第一斜坑内ヨリ堅入坑道ヲ設ケテ採炭スル計畫ニシテ既ニ其堅入坑道二個ノ掘進ニ著手セリ又豫テ企畫中ノ火力發電所ヲ起工シ之レニ七百五十「キロワット」三、

相交流發電機竝ニバーン式スチーム、タービン二臺ヲ据付ケ且ツ之レカ原動機トシテハ「ハイネ」型過熱式水管汽罐四基ヲ開設スル豫定ナリ

大家吾妻鑛山 硫黃

鑛業權者 福島縣信夫郡土湯村外一
大家七平

硫黃ノ市價騰貴セルヲ以テ從來願ミサリシ百足鑛區ノ掘採ヲ開始シ薰昇製煉場ニ在來使用ノモノト同型ノ窯一基ヲ増設シ一日ニ付元鑛三百餘貫ヲ處理シ約五百斤ノ硫黃ヲ產出スル豫定ナリ

沼尻鑛山 硫黃

鑛業權者 福島縣耶麻郡吾妻村
日本硫黃株式會社

採鑛ニ於テハ南鑛床ノ疏水坑タル第二水拔坑準及其上部ノ採掘ヲ開始シ尙其東南方ヨリ該鑛床ニ達スル目的ニテ瀧ノ下坑ノ掘進ニ著手シ更ニ北鑛床ノ殘柱採掘(土砂充填法ニ依リ)ヲ行ヘリ又選鑛ニ於テハ從來堆積セル粉鑛ヲモ處理シ大ニ製煉原鑛ノ増加ヲ圖ラントシ製煉ニ於テハ休止中ノ燒取窯八基ヲ復活スルト同時ニ更ニ同型ノ窯十二基ヲ増設シタリ而シテ新ニ需用ヲ充サシカタメ創始セル事業ノ好果ヲ收メツツアルモノハ粉末及棒狀硫黃ノ製造ナリトス其設備ヲ示セハ左ノ如シ

粉末硫黃製造場

「チューブミル」

一 嚙鑛機

「エレヴェーター」

一 吸入瓦斯機關(二十五馬力)

棒狀硫黃製造場

棒狀硫黃製造機(特許出願中)

一 硫黃熔解爐

硫黃粉碎機

一 「エレヴェーター」

石油發動機(四馬力)

一

鷺ノ巢鑛山 金銀銅 位 置 岩手縣和賀郡湯田村 鑛業權者 共立鑛業株式會社

一月本山松蔓中切坑ノ下底約二百七十尺ノ探鑛ト運搬ヲ目的トシ鷺ノ巢川方面ヨリ八千代坑總延長二千一百尺ノ開鑿ニ著手シ專ラ掘進中ニシテ十二月末七百三十尺餘ニ達セリ探鑛ニ於テハ總テ坑内掘トシ著々含金銀銅鑛ノ探鑛量ヲ増加シ且ツ硫化鑛ノ買鑛ニ努メ選鑛及製鍊設備ノ整頓ト相俟テ漸次事業ノ進展ヲ見ルニ至レリ製鍊ニ於テハ舊來ノ熔鑛製鍊場ハ著シク朽廢セルヲ以テ大正四年七月改築ニ著手シ二月竣工シタリ該製鍊場ハ一晝夜取扱鑛量三千貫乃至四千貫ニシテ其ノ主要設備ハ丸型鑛爐一、真吹床四、四番型送風機二、スラグポット四、マツトポット三、ベルトン「水車(五十馬力)一ニシテ其他第二鐵索一基、鑛舍三棟、竝ニ電力及ヒ電燈ノ企畫ヲ了セリ

松川鑛山 金銅 位 置 岩手縣和賀郡澤内村 鑛業權者 小栗

探鑛ノ主ナルモノハ光盛坑、昌榮坑及大正坑ニシテ前二者ハ何レモ有望ナルヲ確メ探掘ニ著手シ鑛況良好ニシテ大ニ出鑛ヲ増加セリ就中昌榮坑ハ掘下リニ於テ鑛幅三尺以上ニ達セリ選鑛ハ從來殆ント手選ニヨルノ有様ナリシカ粗鑛產出高増加シタルヲ以テ三月機械選鑛所二棟ノ建設ニ著手シ十月是レカ完成使用ヲ開始セリ而シテ第一選鑛場ハ一日粗鑛一萬五千貫、第二選鑛場ハ一萬貫ヲ處理スルノ豫定ニテ其設備次ノ如シ

第一選鑛場

上射式木製水車(幅三十尺)	一	「グリズリ」	一
回轉圓形手選臺	一	「トロンメル」	三
ブレーキ式嚙鑛機	一	搗鑛機(三百二十寸封度)	一
「ベツドヂツガー」	五	小型ウキルフレ「汰盤」	四

「ポインテットボックス」 二

第二選鑛場

上射式木製水車(幅十六尺)	一	「グリズリ」	一
「トロンメル」	三	回轉圓形手選臺	一
「ポインテットボックス」	一	ブレーキ式嚙鑛機	一
「ベツドヂツガー」	五		

水澤鑛山 金銀銅鉛 位 置 岩手縣和賀郡岩崎村 鑛業權者 古河合名會社

前年ニ於テ前鑛ヲ貫通セシ第二通洞坑ハ本年ニ入り奥鑛ニ逢著シ鑛幅平均二尺ニ達シ何レモ鑛況有望ナルヲ以テ兩脈ノ中間地點ヲトシ捲揚ヲ行フ目的ニテ第一及第二通洞間ニ鑿坑開鑿ノ爲メ三月インガールソルランド會社製三十馬力空氣壓搾機一臺ヲ設置シ「レーアーインガール」鑿岩機ヲ使用シ三百十二尺ニテ貫通セリ尙ホ三十馬力電氣復働捲揚機ヲ設置スル計畫ニシテ六年五月竣成ノ見込ナリ

又露頭鑛脈探鑛ノ目的ニテ前年ヨリ著手セシ字岩澤ノ大盛坑及ヒ字川平鑛入ハ何レモ三四ノ鑛脈ニ會シタレトモ尙ホ掘進ヲ繼續セリ

二月和賀川附近ニアル四鑛區ヲ合併施業トシ探鑛ニ著手シ之ヨリ一箇年粗鑛二萬四千貫ヲ產出スル豫定ナリ同年五月ニ至リ第二通洞坑ヨリ探掘スル鑛石ヲ處理スル目的ニテ臨時ニ手選及箆場各一棟ヲ建設シ一日粗鑛六千貫ヲ處理スルニ至レリ而シテ其片及鑛泥鑛類ハ他日本選鑛場ニ送り處理スル豫定ニテ之ヲ貯藏シツツアリ

斯ノ如ク各所探鑛ノ結果鑛量多量ナルヲ確メタルヲ以テ選鑛場ノ改築ヲ行ハントシ其設計中ニ

屬セリ製鍊ニ於テハ現在ノ設備ニテハ規模狹少ヲ感スルニ至リタルヲ以テ從來ノ丸型爐ヲ廢シ之レニ代フルニ幅三尺長八尺ノ角型爐一臺、ボット一座ヲ設置スル豫定ニテ十月製鍊場ノ改築工事ニ著手シ六年春竣工ノ豫定ナリ

大荒澤鑛山 金銀銅鉛水鉛

鑛業權者 岩手縣和賀郡湯田村
合名會社 藤田組

前年來引續キ鑛押探鑛セシ元荒澤一號鑛ハ殆ント目的地點ニ到達シ相當良鑛ヲ探掘シツアリ又本山主要鑛脈ナル高柴澤鑛ハ從來通洞以下百五十尺迄ノ探掘ヲ行ヒシモ更ニ之ヲ掘下ケ通洞以下二百五十尺準ニ下二番坑堅入及ヒ鑛押坑道ヲ開鑿シ相當良鑛ノ存在ヲ確メ尙ホ以下掘下探鑛ヲナサントス其他高柴澤鑛及同下磐一號鑛ヲ縫貫スヘキ下一番坑準堅入モ既ニ著脈シ下磐一號鑛ノ如キハ特ニ優勢ニシテ既ニ三百尺以上鑛押ヲナセリ尙卯根倉安久登澤各支山ノ鑛況亦良好ナルモノアルノ外附近小鑛山ノ買鑛ヲ獎勵シ製鍊ノ豫定能力ヲ發揮シ間斷ナク一爐ノ製鍊ヲ持續セシモ尙ホ貯鑛ノ餘裕ヲ見ルニ至レルニヨリ七月角型熔鑛爐(幅三呎六吋長八呎四吋)一座ノ増設ヲ行ヒタリ

從來取扱ヒシ自山鑛及買鑛ハ粉鑛量次第ニ増加セルヲ以テ曾テ製團機ヲ設ケシモ豫期ノ成績ヲ舉クルニ至ラサルカ故ニ更ニ燒結爐三基増設ノ計畫ナリ

卯根倉鑛山 銅

鑛業權者 岩手縣和賀郡湯田村
合名會社 藤田組

主要鑛脈ナル子午鑛ハ通洞以下二百尺間ヲ探掘ノ傍ヲ探鑛セシニ益々好況ナルヲ以テ下三番坑ノ開鑿ヲ急キ十一月著脈目下銳意鑛押坑道開鑿中ニアリ尙ホ將來ハ堅坑ヲ二百尺掘下ケ第四、第五番坑道ヲ開設セントスル計畫ナリ

下安久登澤鑛山 銅

鑛業權者 岩手縣和賀郡湯田村
合名會社 藤田組

主脈奥鑛西向鑛押ヲ延長セシニ下磐及上磐ニ優勢ナル支脈ヲ發見シ是等ノ鑛押ヲ急キ益々探掘ノ範圍ヲ擴張シツツアリ坑外設備トシテ本山ト下安久登澤間ニ玉村式單線架空索道ヲ設ケ當山產出鑛ヲ全部本山ニ搬送シ選鑛スルニ至レリ

大石岱鑛山 銅

鑛業權者 岩手縣和賀郡湯田村
合名會社 藤田組

配電ノ設備完成セルヲ以テ小捲揚機ヲ設置シ本鑛富鑛部ノ下底ヲ探鑛スルノ目的ニテ堅坑ノ開鑿ニ著手シ七十五尺ヲ掘下セシニ湧水次第ニ増加シ排水設備缺陷ノ爲ノ事業困難トナリ一時中止スルノ止ナキニ至レルモ掘下唧筒ノ到著ヲ待チ更ニ之ヲ繼續セントシ又貳號鑛大坑坑モ鑛況良好ナルヲ以テ前記同様堅坑ヲ掘下ケ下底ノ探鑛及探鑛ヲナサントシ既ニ掘下ニ著手セリ

赤金鑛山 銅

鑛業權者 岩手縣江刺郡伊手村
合名會社 藤田組

一時中止セシ低品位ノ硫化鑛モ熔劑トシテ利用センカ爲メ探掘セシニ鑛床ハ尙ホ下底ニ彌蔓セルヲ確メシヲ以テ十二月八十尺下底ヨリ通洞ノ開鑿ニ著手セリ

網取鑛山 金銀銅

鑛業權者 岩手縣和賀郡橫川村
合名會社 三菱會社

坑内掘鑿ト共ニ硅鑛部探鑛ノ爲メ坑外數箇所ヨリ上總試錐ヲ行ヒ相當ノ效果ヲ收メタリ製鍊ハ從來ノ丸型高爐ニ代フルニ八尺ノ角爐ヲ以テシ尙ホ眞吹床一座、ルーツ四番型送風機一基ヲ増設シ煙道煙突ヲ改造シテ煙塵ノ飛散ヲ防止シタルノミナラス粉鑛ノ處理量ヲ多カラシムル爲メ「ボット」一臺ヲ増設シ足尾式團鑛機一臺ヲ新設シタル等擴張ニヨリ產銅ハ倍加スルニ至レリ尙將來專ラ探鑛ニ努メ其結果ニヨリ更ニ計畫スル處アルヘク目下選鑛法研究中ナリ

釜石鑛山 銅鐵

鑛業權者 岩手縣上閉伊郡栗橋村
合名會社 兵衛

歐洲戰亂ノ影響ニヨリ漸次鐵類ノ市價奔騰シ高價ヲ示シタルヲ以テ前年末ヨリ事業ノ擴張ヲ行

ヒ極力產額ノ増加ヲ謀レリ即チ採鑛場ニ於テハ年末百二十馬力「ハイネー」水管式汽罐一臺鐵製煙突高七十五尺口徑三十吋「百馬力」レーナー式空氣壓搾機一臺及ヒ同式鑿岩機四臺ノ増設使用ヲ開始シ從テ採掘鑛量ハ前年ノ二倍ニ達スルニ至レリ

製鉄事業ニ於テハ前年ヨリ休止中ナリシ第四鑛爐ニ三百馬力橫置複式蒸汽送風機二臺ヲ設置シ在來ノ送風機ニ換ヘ更ニ「シレシヤ」式燒鑛爐(底部徑八呎九吋、頂部徑十二呎六吋高十六呎七吋)三基ヲ増設六月操業ヲ開始シ尙ホ三月第八鑛爐(高百五呎三吋最大直徑二十呎最小直徑十二呎一日製鉄百二十噸)一基附屬熱風爐(高八十六呎徑十九呎四個同上附屬高百七十呎ノ角型煉瓦煙突口邊六呎二吋)一基「シレシヤ」式燒鑛爐(上部徑十五呎底部徑十呎七吋高十七呎)二十一基、裝入用直動蒸汽捲揚機九十馬力一臺、橫置複式雙汽笛蒸汽送風機四百八十馬力一臺、鑛滓運搬用玉村複線式鐵索ヲ始メトシ之レカ原動用トシテ二百馬力「バブコック、エンド、ウキル」コックス「水管式汽罐七臺」同上附屬高サ百五十尺ノ角型煉瓦煙突(口邊七呎四吋)一基ヲ新設シ年末是等ノ工事完成其使用ヲ開始セリ斯ク著々擴張工事ノ進捗ヲ謀レル傍ラ各鑛爐共全力ヲ擧ケテ操業シタル結果本年度ハ著シキ製鉄量ノ増加ヲ見ルニ至レリ

製鋼業ニ於テハ引續キ順調ナルヲ以テ大正四年末製鋼場内ニ「シーメンズ」八噸吹キ平爐及再熱爐一基、三噸吹「ベッセマー」轉爐二基ヲ開設シ本年二月更ニ「シーメンズ」八噸吹平爐一基ヲ増設シ以テ產額ノ増加ヲ計レリ然レトモ「ベッセマー」爐ハ鉄ノ需要ニ追ハレ單ニ試驗的操業ヲ行ヒタルニ止マリ其後使用スルニ至ラザリシカ歐洲大亂ノ餘響ハ製鋼品ノ需要益々急ヲ告クルモノアルヲ以テ更ニ大擴張ヲ行ハントシ先ツ大正六年内ニ於テ「シーメンズ」二十五噸爐三基ヲ設置シ一箇年鋼鐵八萬乃至九萬噸ノ製出ヲ爲サン計畫ニテ專ラ工事ノ進捗ヲ計リツツアリ

製鋼場擴張ノ爲メ年末更ニ新洗炭工場ヲ開設シ「バブコック、エントウキル」コックス「水管式二百馬力汽罐二臺、原動機トシテ三百八十馬力橫置複式汽機一臺」ヲ設置シ在來ノ洗炭工場ヲ撤廢セリ

其他擴張工事トシテハ十月鈴子工場内ニ蒸汽發電所ヲ開設シ百二十「キロワット」交流三相二千二百ボルト發電機及同原動力用直立複式汽機二臺ノ新設ヲ了リ電燈及各工場内ノ一部原動力ニ供給ス又買鑛ニ係ル銅鑛運搬用トシテ釜石港棧橋ヨリ製銅場間ニ於テ玉村式單線鐵索ヲ架設セントシ工事中ニ屬セリ尙ホ大正六年ニ於テ七百「キロワット」發電機一臺ヲ増設スルノ計畫ヲ建テ且ツ釜石港ニ一組ノ棧橋ヲ増設シ燃料及製品積卸ヲ便ニシ在來ノ「コークス」窯ノ一部ヲ「コッバス」式ニ改造ヲ計リ副產物トシテ硫酸「アムモニヤ」ヲ採取セントスル等益々其面目ヲ改ムルモノ多カルヘシ

仙人鑛山 鐵銅水鉛硫化鐵

鑛業權者 岩手縣和賀郡湯田村外ニ株式會社 仙人製鐵所

鐵鑛ハ從來選鑛ヲ爲シタルコト無カリシカ貧鑛處理ノ目的ニテ嚙鑛機ノ試驗ヲ行ヒタルニ結果良好ナルヲ認メタルヲ以テ近ク選鑛設備ヲ爲サン計畫ナリトス製鉄及製銅ニ於テハ別ニ規模ヲ變セスト雖トモ從前一箇年中八箇月位ノ操業ニ止マリシカ一箇年中繼續操業シタル爲メ其產額ヲ増加セリ尙ホ銅鑛ノ探鑛ハ未タ目的箇所ニ達セス引續之レヲ繼續セントス

栗木鑛山 銅鐵

鑛業權者 岩手縣江刺郡米里村外ニ株式會社 栗木鐵山株式會社

大ニ探鑛ニ努メ探鑛確實ト認メルモノ多ク之レ等ノ個所ニハ軌道、自動鐵索等ヲ布設センカ爲メ之レカ工事ニ著手シタリ製鉄事業ニ於テハ在來豫備熔鑛爐ナリシ五噸爐ノ使用ヲ開始シ以テ増產ヲ企テ木炭ノ運搬ヲ便ニスル爲メ二箇所ニ自動鐵索ヲ架設シタリ尙銅鑛ニ對シテハ製銅事業開始ノ計畫ニテ目下頻リニ探鑛中ナレハ遠カラス之レカ著手ヲ見ル

ニ至ルヘシ

松尾鑛山 硫黄

位 置 岩手縣岩手郡松尾村
鑛業權者 松尾鑛業株式會社

主要探鑛場タル東雲坑ノ下底ニ向ツテ開掘シタル大通洞坑ハ鑛況良好ナルヲ以テ大ニ作業ノ進歩ニ努メツツアレハ將來著シク探鑛量ノ増加ヲ見ルニ至ルヘシ

製鍊ニ於テハ從來使用セシ自燃爐ハ其成績良好ナラサルト岩鑛ヨリモ著シク沈澱鑛ノ產出ヲ増加セルヲ以テ是レカ處理ヲ佳良ナラシムル爲メ舊自燃爐ヲ廢シ之レニ代フルニ燒取爐ト改良式自燃爐ヲ使用スルニ至リ

運搬ハ從來鑛山ヨリ大更迄鐵索及軌道ニヨリタルモ更ニ大更好摩驛間(約二里半)ニ軌道ヲ布設セントシ專ラ其準備ニ著手セリ

鶯澤鑛山 硫黄

位 置 岩手縣鶯澤郡湯口村
鑛業權者 小田良治

二月現鑛業人ノ有ニ歸セシ以來大ニ事業ノ擴張ニ著手シ坑内ノ整理、鑛山ヨリ鉛村ニ至ル山道ノ修繕及鐵索ノ架設並ニ燒取製鍊爐六基ヲ増設シ一箇月處理鑛量十三萬貫ヲ増加スルニ至レリ之等ノ原動力トシテ多管式汽罐二臺ヲ設置シ尙附帶設備トシテ鐵工、鑄物、木工場ヲ開設セリ將來ニ於テハ更ニ製鍊所ノ擴張ヲ行ヒ益々鑛產ノ増加ヲ計ラントシ既ニ増設ニ著手セリ

碓ヶ關鑛山 硫黄

位 置 青森縣南津輕郡碓ヶ關村
鑛業權者 關三郎

本鑛山ニテハ從來燒取製鍊ヲ行ヒ其製品ハ二硫化炭素製造原料ニ供シツツアリタルカ四月更ニ濕式硫黄製鍊場建設工事ニ著手シ十二月竣成セリ其處理原鑛ハ一日ニ付八百貫ニシテ製品二百四十貫ヲ產出スル豫定ナルカ主要設備左ノ如シ

原液槽

二

溶解槽

一

分離器

一

冷却器

三

「コルニツシユ」式汽罐(十馬力)

「ウカーシント」式蒸汽唧筒

一

湯ノ澤鑛山

金銀銅鉛亞鉛硫化鐵 鑛業權者 青森縣南津輕郡碓ヶ關村
柳瀬萬吉

本鑛山稼行ノ基礎ヲナセル黑鑛々床ハ輝銀鑛ヲ主トシ多量ノ重晶石ヲ含有セリ其鑛石品位銀萬分ノ二五重晶石百分ノ四十五内外ニシテ銀鑛トシテ經營容易ナラサリシカ歐洲戰亂ノ影響ハ著シク重晶石ノ需用ヲ増加スルノ機運ニ達シタルタメ鑛石ヲ選鑛ニ付シテ品位ヲ昂メ含銀重晶石トシテ販賣スル計畫ヲ立テ九月ヨリ十一月ニ至ル間ニ於テ選鑛場ヲ開設セリ其主要設備左ノ如シ

手選臺

一

鐵製スタンブ二本立

一

「ウキルフレー」淘汰盤

一

木製水車(十馬力)

一

上磯鑛山

金銀銅鉛亞鉛 鑛業權者 青森縣東津輕郡一本木村
田中鐵業株式會社

原鑛取扱量一箇月三萬貫ニ對シ精鑛一萬二千貫銀萬分ノ五重晶石百分ノ八十内外ヲ產出スル豫定ニシテ精鑛ハ「バリユーム」製造工場ニ販賣スルコトニ契約成立セリ

二月新タニ四百七十尺鑛床ト命名セル主要鑛體ヲ發見シ又年末ニ至リ第二風坑附近ニ於テ新鑛體ニ逢著シ鑛況益々良好ニシテ五月通洞坑内斜坑ニ五馬力石油發動機ヲ原動力トナス捲揚機一臺及複式「プランチャ」唧筒一臺ヲ設置セリ又更ニ運搬用トシテ深サ百尺ノ坑外豎坑ヲ開鑿シ捲揚機並ニ十二馬力「タービン」唧筒揚水量毎分三十立方尺一臺ノ設置工事中ニシテ六年三月完成ノ豫定ナリ

安部城鐵山 金銀銅硫化鐵 位 置 青森縣下北郡川内村 鐵業權者 田中鐵業株式會社
年內ニ於ケル新試錐井ハ二十四本ニシテ其内大同坑及竹坑方面ニ於テ著鑛セルモノ四井アリテ
此方面ノ探掘準備トシテ堅坑開鑿ヲ企テ目下其設計中ナリ又釜疏水坑ハ掘進千四百二十尺餘ニ
及ヒ近ク主要鑛體ノ下底ニ至ルヘキヲ以テ適當ナル位置ニ捲揚堅坑ヲ設クル豫定ナリ本坑道ハ
將來釜坑櫻坑等ノ探鑛採鑛竝ニ通氣疏水ニ便ナラシムル目的ニシテ延長約二千百尺櫻鑛通洞準
以下八十尺餘ノ下部ニ到達セシムルモノトス
製鍊ハ漸次操業ノ方法ヲ改良シ且ツ五月本山西又鐵山間ノ架空鐵索竣工シ處理鑛量増加シタル
結果増設ヲ行ヒタルコト左ノ如シ

鐵索用鑛倉(百三十坪) 一棟 ラト一式ターボローマ一(九十番型) 一臺

眞吹爐 四座 スタンブ式製團機(百封度) 二臺

尙ホ鼓風量ノ不足ナル爲メ送風機動力用トシテ百馬力汽機竝ニ百二十馬力汽罐設置中ニシテ又
燈火用三十基火力發電所及燒鑛爐四座ノ増設ノ外本山川内港間單線軌道ノ複線工事ニシテ之等
完成ノ曉ハ毎月粗銅五十萬斤以上ヲ製出スルノ豫定ナリ

西又鐵山 金銀銅 位 置 青森縣下北郡川内村 鐵業權者 田中鐵業株式會社

蠣崎通洞ハ西又堅坑下ニ到達シ且ツ斜坑ニ依リ西又通洞ニ貫通セリ西又通洞準以上ニ於テハ二
坑及三坑ヲ開坑シ是等ノ各主要坑道ヨリ探鑛及開坑ノ爲メ適宜分岐シテ坑道ヲ開鑿ス其延長一
萬千百〇四尺ニ達セリ露天掘ハ西又澤方面ニ土石ヲ放棄スルコト能ハサルニ至リタルヲ以テ蠣
崎與次郎澤方面ニ凡テ搬出堆積スル計畫ニテ西又通洞準以上三十尺毎ニ三箇ノ隧道開鑿ニ著手
シ既ニ最上部四百八十尺ノモノハ五月中貫通シ下部七百尺及七百七十尺ノモノハ最近全通ノ豫

定ナリ

前年五月著手シタル本山安部城鐵山間ノ鑛石運搬用距離三萬四千七百尺、ブライハルト複線式架
空鐵索ハ五月竣工シタルヲ以テ爾來送鑛ヲ開始セリ

將來ノ計畫トシテハ下部探鑛ノ目的ヲ以テ西又堅坑ヲ更ニ百尺掘下ケ又西又堅坑ハ露天掘ノ爲
メ西又通洞以上ノ部分自然廢止セラレタルヲ以テ他ニ適當ナル地ヲ選定シテ探鑛及主要運搬ヲ
兼テ一大坑外堅坑ヲ開鑿シ尙ホ本山宿野邊間ニ單線軌道ヲ敷設シ更ニ海上ヲ經テ川内港ニ達シ
安部城鐵山專用軌道ニヨル連絡運送ヲモ開始スル豫定ナリ

大正鐵山 金銀銅 位 置 青森縣下北郡川内村 鐵業權者 大正鐵山合資會社

盛坑ニ於ケル堅坑ハ地盤柔軟ニシテ一部崩壞ノ厄ニ遭ヒ使用スルコト能ハサルタメ更ニ盛坑及
天守坑ノ各坑内ニ於テ現水準以下ヲ探鑛スル目的ニテ合計三箇所ニ坑内堅坑ヲ開鑿セリ而シテ
上總掘試錐ハ北方旭坑方面ニ於テ多ク著鑛セシノミナラス天守坑、盛坑ノ下部ノ鑛況益々良好ナ
リ

從來本山ハ賣鑛ノミヲ以テ稼行シ來リタルモ含銅品位三%以下ノモノハ經濟上販賣スルコトヲ
得スシテ其處理ニ窮シツツアリシカ近時探鑛ノ結果鑛量豐富ナルヲ認メ且ツ銅價ノ昂騰ニ刺戟
セラレテ五月製鍊場開設ニ決シ目下製鍊所同見張所、分析所、眞吹所、燒鑛場、原動機室、團鑛場及ヒ倉
庫等九棟八百六十四坪五合ノ建設準備ニ著手シタリ其主要設備左ノ如シ

燒結爐 徑八尺七百貫入 三 熔鑛爐 角型 三尺六寸二十尺 工程 一晝夜一萬八千貫乃至二萬五千貫 一

煉鐵爐 角型 三尺四寸二十四尺 工程 一晝夜三千五百貫乃至五千貫 一 眞吹爐 徑四尺深サ一尺六寸 七

送風機 ラト一式ターボローマ一(九十番、百五十番) 二 吸入瓦斯機 附屬瓦斯發生機 百二十五馬力 一

大鳥鑛山

銀銅

位 置 山形縣東田川郡大泉村
鑛業權者 古河合名會社

探鑛作業擴張ノ結果鑛產額前年ニ比シ増加セルヲ見ル尙將來ノ發展ヲ企圖シ三年計畫ニテ現設備ノ大改革ヲ行ハント著々其工事進捗中ナリ今其梗概ヲ記スレハ從來探鑛場選鑛場及製鍊場等遠ク相隔離シ且鑛夫住宅等ノ如キハ地形上不適當ノ地ニ在ルヲ以テ其不便ヲ避ケ且ツ探鑛ノ目的ヲ以テ現製鍊場所在地ヨリ現探鑛場タル通洞坑ニ向テ約一千三百間ノ通洞ヲ設ケ以テ通行運搬ニ便スルノミナラス之ヲ延長シテ大床川ニ達シ而シテ該河水ヲ製鍊場所在地ニ導キ此處ニ水力發電所ヲ設ケ約二百キロワットノ電力ヲ得之ヲ全山ノ動力及點燈ニ使用シ而シテ現選鑛場及鑛夫住宅等ハ悉ク現製鍊場所在地ニ移設セントスルニ在リ而シテ其新通洞掘鑿ニハ主トシテ鑿岩機ヲ使用スル計畫ニシテ之レカ爲メ現通洞坑内及新大通洞坑口ニ壓氣機及電動機ヲ又製鍊場所在地ニ百馬力吸入瓦斯機關竝ニ發電機ヲ設置シタリ

吉野鑛山

金銀銅鉛亞鉛

位 置 山形縣東田川郡吉野村
鑛業權者 久原鑛業株式會社

本山ハ前年九月現鑛業權者ノ有ニ歸シテ以來銳意探鑛及開坑ニ努メ且ツ探鑛方法ニ改善ヲ加ヘタリ即チ黑鑛々床ニ對シテ本年八月以降露天掘ヲ應用セルヲ初メトシ坑内作業ヲモ擴張セル結果前年ニ比シ著シク產鑛量ヲ増加セリ又大黑方面ヨリ探掘スル硫化鑛硅鑛ニ對シテハ昨年開設セル試驗選鑛場ニ於テ選別ヲ施コシ一箇月平均品位銀〇・〇〇五%銅三・五%亞鉛一%ノ精鑛十三萬貫内外ヲ產出シツツアリ而シテ黑鑛ニ對シテハ新ニ大規模ノ機械選鑛場ヲ設ケテ銅及亞鉛ノ精鑛ヲ選別セントシ本年九月末竣成使用ヲ開始セリ一箇月ノ處理粗鑛量四十五萬貫ニシテ其主要設備左ノ如シ

四吋水平鐵格子

一 圓形洗鑛機

二

「グリズリー」

二

「トロムメル」

三

「ロツグワツシャ」

一

「エコノミックロール」

一

手選臺

一

「ハンチントンミル」

二

「ブレーキ」式嚙鑛機

一

「カローコーン」

七

水壓分級器

二

細粒跳汰機

四

「エヴァンステール」

一

「ウィルフレードテーブル」

四

油選鑛用木槽

七

揚鑛帶

三

「ヘレスホッフ」式回燒爐

一

鑛石放冷機

一

「ディンクス」磁選機

二

磁選機用發電機

一

松田式高壓「タービン」唧筒

一

油選鑛用多管式汽罐

一

之カ原動及起電用トシテ三相交流誘導電動機五十馬力一臺五馬力三臺十馬力一臺ヲ設置セリ本選鑛場ノ製產量ハ一箇月合銅品位三乃至三・五%ノ銅鑛七百六十噸竝ニ含亞鉛品位四〇%ノ亞鉛鑛三百噸ニシテ銅鑛ハ茨城縣日立鑛山ニ輸送シ精亞鉛鑛ハ兵庫縣家島製鍊所ニ販賣シツツアリ猶鑛石輸送竝ニ諸物資運搬ノ目的ヲ以テ鑛山上ノ山停車場間ニ四哩八分ノ單線架空索道ヲ架設シ本年八月竣成セリ其ノ最大運搬量一日八時間約一萬貫ニシテ之カ原動用トシテ山許ニ二十五馬力三相交流誘導電動機一臺ヲ設置セリ而シテ本山原動用電力ハ凡テ其供給ヲ東置賜郡々營電氣部ヨリ仰キ總計百七十五馬力ニシテ鑛山ニハ百〇五キロヴォルトアムペア「受電設備」ヲ有セリ

唐戸屋鑛山

銀銅亞鉛

位 置 山形縣南置賜郡三澤村
鑛業權者 唐戸屋鑛業株式會社

第七章 鑛山事業ノ概況 (事業ヲ擴張シ又ハ擴張ニ著手シタル鑛山)

本山ハ歐洲戰亂ノ影響ヲ受ケ各作業ハ一時休止ノ狀態ナリシカ漸次鑛價恢復ノ順調ニ伴ヒ再ヒ各般ノ事業ヲ開始シタルモ專ラ鑛石ノ採掘ニ急ニシテ探鑛作業ハ等閑ニ附セラレタルノ傾向アリキ然ルニ七月唐戸屋鑛業株式會社ノ經營ニ歸シテヨリ採掘ヲ主トスルノ外傍ラ探鑛ニ著手シ現時坑内ニテ三個坑外ニテ一個ノ上總掘式試錐ヲ續行シテ鑛床ノ廣袤ヲ確ムルト共ニ新鑛塊ノ發見ニ努力シツツアリ

採鑛ハ露天掘ト坑内掘ヲ併用スルモ露天掘作業ハ鑛床ノ南部及ヒ舊二番坑方面ニ於テ掘割又ハ表土ヲ排除シ殘鑛石ヲ採取スルニ止マリ坑内掘ハ主トシテ一番坑以下五番坑中段ニ至ル約八十尺ノ間ニ於テ拔掘採鑛ヲ行ヒ一箇月約五十六萬七千貫ノ粗鑛(平均含銅品位約〇・八%)ヲ產出スルニ至レリ斯ク產出高ノ増加ニ伴ヒ從來ノ第一、第二、第三選鑛場ニテハ不足ナルヲ以テ五月初メ是等各選鑛場ヲ第三選鑛場ニ合併シ大規模ノ機械選鑛場ヲ開設スルノ計畫ヲ立テ十一月ヨリ一部使用シツツアリ其ノ精鑛量ハ一箇月約八萬貫(品位平均四・%)ナリ擴張選鑛場ノ主要設備ハ左ノ如シ

「ハルツ」式跳汰器 (大粒)	三	同 (中粒)	二
同 (細粒)	四	「トロンメル」 (七分目乃至七厘目)	六
嚙鑛機	一	「ハンチントン」ミル	一
「グリズリー」	一	搗鑛機(三本立)	三
「オーバーストローム」淘汰盤	三	「ウキルフレー」淘汰盤	七
「リッケンバツ」式分離機	二	「スピッツカステン」	三
尖函	二	吸入瓦斯機關 (十二馬力)	一

「エレベーター」

二

「ペルトン」水車五馬力

一

永松鑛山 銀銅

鑛位 置 山形縣最上郡大藏村外一
鑛業權者 古河合名會社

前年五月製鍊場ノ改築完成シ更ニ十一月選鑛場ヲ増設セル結果甚シク鑛產額ヲ増加セリ即チ大正五年度ノ產額ハ銀三一三四五八匁銅一三三七九一八斤ニシテ前年度ニ比シ銀二四分銅五分ノ増產額ヲ示スニ至レリ從テ探鑛量ノ増加ニ伴フ運搬施設ノ改善ヲ畫シ先ツ坑内ノ軌道ヲ複線トナシ更ニ坑外運搬施設トシテ從來當鑛山ト白岩町間ヲ荷馬車ニヨリ運搬シ來リシモ冬季ハ非常ノ惡路ニ變シ交通運搬困難ヲ極メ事業上ノ支障尠カラサルヲ以テ幸生鑛山白岩間ニ延長七哩二分ノ玉村式單線架空索道(最大運搬量ハ一日十時間上荷四十噸下荷二十噸搬器ノ自重十八貫積載重量八分ノ一噸)ヲ架設シ之カ原動用トシテ六十五馬力吸入瓦斯機關ヲ設置セリ

赤山鑛山 金銀銅

鑛位 置 山形縣南村山郡木庄村
鑛業權者 小野鑛業合資會社

本山ハ鑛床ハ數條アルモ其ノ主要ト認メラルヘキハ前鑛仲鑛、奥鑛ノ三條ニシテ目下前鑛、奥鑛ハ坑道掘進探鑛中ナリ又仲鑛ノ鑛況ハ粗鑛トシテノ品位含銅一・五%内外ナルモ鑛幅膨大セル所ハ十餘尺ニ達シ益々有望ナルカ如ク現時上下向階段法ニヨリ盛ニ採掘シツツアリ從テ鑛產額著シク増加シ一箇年間粗鑛採掘豫定高二百四十萬貫ナリ
斯ノ如ク漸次盛況ニ伴ヒ選鑛場及坑内ヨリノ捨石ヲ堆積場ニ揚送スル目的ヲ以テ四月一分間十七貫ノ捲揚能力ヲ有スル「ウオター」バランズ一基ヲ設置シ尙選鑛作業ノ完全ヲ期スル爲メ十月更ニ選鑛場ノ増築ヲ計畫セリ其設備ノ大要左ノ如シ

「スクリーン」

一

「ブレーキ」式嚙鑛機

一

「打拔製トロンメル」

一

「ハルツ」式「マツト」ヤツガ

二

「ウキルフレー」汰盤(一臺新設) 一 「ハンチントンミル」(徑三尺) 二

水壓分類器(徑四尺) 一

油戸鑛山

石炭

鑛業權者

山形縣西田川郡加茂町外二
三 菱合資會社

當山ノ石炭ハ從來佐渡鑛山ノ專用ニ供シタリシニ同山ニ於テ水力電氣ヲ使用スルニ至リタル爲メ其需要減シタルヲ以テ更ニ他ニ販賣ノ途ヲ開キ且ツ骸炭製造ヲ企畫シ新ニ水選法ニ依ル機械選炭場ヲ開設セリ其設備左ノ如シ

「ブレイキ」式「クラッシュヤー」 一 「トロンメル」 四
「ダッガー」 六 「ガット」式吸入瓦斯機關 (四十五馬力) 一

而シテ骸炭製造ハ當初四基ノ窯ヲ以テ試験的ニ之ヲ行ヒシニ好成績ヲ得タルヲ以テ更ニ十基ヲ増設シ產出粉炭全部ヲ處理スル計畫ナリ

尙近ク現在堅坑ヲ更ニ百尺掘下ケ又坑内排水ノ動力トシテ電力ヲ使用スル計畫ナリ

板谷鑛山

硫黃

鑛業權者

山形縣南陽郡山上村外一
箕田定吉

坑内探鑛ノ歩武ヲ進メ且ツ從來ノ薰昇製鍊場ヲ全廢シテ新ニ二箇ノ製鍊場ヲ開設シ(其一ハ堅釜製鍊場ニシテ一箇ニ付キ裝入鑛量六十貫釜十四箇ヲ一基トセルモノ四基ヲ有シ其二ハ燒取釜製鍊場ニシテ一箇ニ付キ容量四十五貫ノ釜六箇ヨリ成ルモノ一基ヲ有ス後者ニテハ前者ニ於テ產出スル一部ノ不純品竝ニ屑硫黃ヲ精製スルモノトス且ツ坑内外ノ設備ヲ改善シテ專心鑛產ノ増加ヲ圖リタル爲メ當年ハ一躍シテ重要鑛山ノ列ニ入レリ

藏王鑛山

硫黃

鑛業權者

山形縣南村山郡中川村
藏王鑛業株式會社

本山ハ現今需要増加市價順調ニ向ヒタル爲メ作業方法ニ改良ヲ加ヘ鑛產額ヲ増加スルノ傾向ア

リ即チ從來特ニ鑛量ノ豊富ナルニ甘ンシ等閑ニ附セラレ事業ノ發展遲々タリシモ藏王鑛業株式會社ノ經營スルニ及ヒ露天掘及ヒ坑内掘ヲ併用シ漸次鑛產額ヲ増加セル結果八月堅窯式製鍊爐二基ヲ増設シ九月ヨリ使用スル機運ニ達シ製品一日約七千斤ヲ產出シツツアリ

八盛鑛山

銀

鑛業權者

秋田縣山本郡八森村
大日本鑛業株式會社

本鑛山ハ前年一月以來鑛石ノ大部分ヲ小坂鑛山ニ賣鑛シ傍ラ同會社所有吉野鑛山銅鑛ニ自產鑛ノ一部ヲ加ヘ合併製鍊スルコトトシタルモ吉乃鑛山探鑛額増加シタルカタメ本年ヨリ賣鑛ヲ中止シテ鑛石全部ヲ自山ニ於テ製鍊スルコトニ改メ四月ヨリ五月ニ至ル間ニ於テ本間選鑛場ヲ新設シ六月ヨリ製鍊場ノ擴張工事ニ著手シ大部分ヲ完成セリ其ノ主ナル設備ヲ舉クレハ左ノ如シ

新設シタルモノ

本間選鑛場

一寸同斜面篩

圓篩

「バケット」付揚鑛機

離心唧筒三馬力

増設シタルモノ

製團搗鑛機六本立

真吹爐

三相交流式電動機 七十五馬力

増設工事中ノモノ

一 四寸同鐵格子

一 「ハルツ」式跳汰機

三 三角箱

一 沈澱池

一 三相交流式電動機 三十馬力

六 燒結壺

九 「ターボ」式九十番型送風機

一

「ターボ」式五百五十番型送風機 一

最近十月中ノ製鍊處理鑛量ハ自産額二十六萬三千五百四十八貫吉乃鑛三十六萬九千四百八貫、買鑛十六萬三千八百五十七貫合計七十九萬六千八百十三貫ニシテ此等鑛石中ヨリ産出セル鑛産額ハ金二百四十三匁、銀百五十八貫二百一匁、銅十七萬二千七百七十斤ナリトス尙處理鑛量増加シツツアルヲ以テ既設直徑二尺五寸ノ丸型熔鑛爐ヲ廢シ更ニ直徑三尺五寸ノモノ一基新設工事中ニアリ

太良鑛山 銀銅鉛亞鉛 鑛業權者 秋田縣山本郡藤琴村 古河合名會社

前年十月以來工事中ナリシ鑛岩機ニ關スル設備ハ四月選鑛廢水及捨石處理工事ハ十月竣成シタルカ更ニ鉛鑛及亞鉛鑛處理方法ノ改良ヲ計リ亞鉛鑛ニ對シテハ反射爐四基ヲ新設シ鉛鑛製鍊トシテハ山下爐ニ代ユルニ徑三尺ノ水套式圓筒型熔鑛一基及附屬鑛煙裝置据付工事ニ著手セリ又本鑛山原動機ハ從來瓦斯力ニ依リ運轉セシモ將來ハ全部水力電氣ニ依ル目的ヲ以テ鑛山ヨリ一里上流ノ川水ヲ引用シ來リテ發電所ヲ設ケ「タービン」式水車二百五十馬力二臺、三相交流式電動機二臺ノ据付計畫中ニアリ

阿仁鑛山 銀銅 鑛業權者 秋田縣北秋田郡阿仁合町外一 古河合名會社

萱草坑掘進用トシテ前年十一月起工セル「ジャックハンマー」鑛岩機二臺、インガンロープラー型空氣壓搾機一臺、電動機七十五馬力一臺ハ二月据付ヲ終リ運轉ヲ開始シタルカ更ニ小澤坑内ニモ同様ノ工事ヲ起サントシテ目下計畫中ニアリ其他三枚坑内子午鍾斜坑及極印澤坑内堅坑ニ各輕便單胴捲揚機一臺、電動機五馬力一臺ヲ施設セリ

選鑛ニアリテハ萱草手選鑛場内ヲ變更シ乾式機械選鑛ニ改メントシテ十二月左記諸機械ヲ据付

工事ニ著手セリ

「スクリン」

二 「ブレイキ」式嚙鑛機

三

手選臺

四 三聯式圓篩

二

自動捲下機

一 「ペルトン」式水車五十馬力

一

該選鑛場ニテハ一箇月粗鑛三十萬貫ヲ處理シテ精鑛十九萬貫(含銅品位七%以上)片及鑛六萬貫(含銅品位一%以上)ヲ採收シ片及鑛ハ之ヲ小澤選鑛場ニ送り更ニ選鑛スル豫定ナリ

土深井鑛山 金銀銅 鑛業權者 秋田縣鹿角郡錦木村 代理表 乳井良三

大正二年現鑛業人ノ所有トナリテ以來坑内擴張ニ努力シ本年ニ入り取明工事著シク進捗シタル結果採鑛額頗ニ増加シタルカ更ニ大切坑準以下ノ採掘ヲ企畫シ十二月堅坑開鑿ト共ニ坑内用電氣原動所建設工事ニ著手セリ而シテ堅坑ハ深サ二百尺マテ開鑿シ之ニ電氣捲揚機及電氣唧筒ヲ設置シ一箇月精鑛六萬貫ヲ産出スル豫定ニシテ工事ハ六年六月竣成スル見込ナリ其ノ主要設備左ノ如シ

輕便單胴捲揚機

一 電動機十馬力

一

直立三聯式

一 電動機十二馬力

一

吸入瓦斯發動機四十馬力

一 同上瓦斯發生器

一

三相交流發電機

一

金畑鑛山 金銀銅亞鉛 鑛業權者 秋田縣鹿角郡小坂町 板垣三郎

鑛床ハ小川水準以下益々良好ナルヲ以テ十一月左記工作物据付工事ニ著手シ六年一月中ニ竣成セシメ二月ヨリ運轉スル豫定ナリ

輕便單胴捲揚機

一

直流式電動機五馬力

一

「タービン」唧筒

一

同 上七馬力

一

吸入瓦斯發動機二五馬力

一

同上瓦斯發生器

一

直流式發電機

一

荒川鑛山 銀銅

位 置 秋田縣仙北郡荒川村
鑛業權者 三合資會社

一月以降日三市鑛山ノ鑛石全部ヲ舉ケテ當鑛山ニテ合併製鍊スルコトニ改ム二月ヨリ五月ニ至ル間ニ於テ燒結臺二臺ヲ増設シタルカ八月ヨリ買鑛ヲ勵行シテ產額ノ増加ヲ計ルト同時ニ直徑三呎六吋ノ水套式圓型熔鑛爐一基ノ新設工事ニ著手シタリ

秋津鑛山 金銀銅亞鉛

位 置 秋田縣北秋田郡矢立村外二
鑛業權者 合名會社 藤田組

從來ノ選鑛ハ人力ニ依リ碎鑛及淘汰シタルモ八月中之ニ代フルニ機械選鑛場ヲ設ケ左記機械ヲ据付ケタリ

二寸目「グリズリ」

二

五分目可動篩

二

七厘目水平篩

一

四分目水平篩

一

「ブレイキ」式嚙鑛機

一

跳汰機

四

三分一分五厘目連續圓篩

一

水壓分類器

一

「フエラリス」式淘汰盤

二

「バケットエレベーター」

二

石油發動機

一

五馬力

鑛石處理成績ハ一日ニ付原鑛約一萬八千貫銅〇・八%、亞鉛九・〇%ヲ取扱ヒ精鑛三千貫銅二・五%、亞鉛三四・〇%ヲ產出ス而シテ此精鑛ハ小坂鑛山ニ輸送シテ銅鑛、亞鉛鑛ノ二種ニ選別シ合併製鍊ニ

付スルモ亞鉛鑛ノ一部ハ大阪亞鉛鑛業株式會社ニ販賣ス

大拔鑛山 金銀銅鉛亞鉛

位 置 秋田縣北秋田郡真中村外一
鑛業權者 西村準三郎

從來採鑛ノ基礎ヲナセル京都坑鑛ハ鑛石幅三尺乃至五尺ニシテ黃銅鑛、方鉛鑛及閃亞鉛鑛ヲ混淆シ其ノ品位百分中銅一・四亞鉛六・二鉛五・四内外ナリシ爲メ經營容易ナラサリシカ下底ハ七月以來黃銅鑛ヲ主トシ加フルニ鑛石幅モ漸次増大シ十一月ニ至リテハ五尺乃至九尺トナリタル結果著シク採鑛額ヲ増加シテ一箇月合銅五%以上ノ銅鑛五萬貫以上ヲ產出シ事業頓ニ發展セリ

不老倉鑛山 銅

位 置 秋田縣鹿角郡大湯村外一
鑛業權者 古河合名會社

採鑛ノ結果細地舊坑、地森澤、金堀澤、本鉋、大切坑下一號等ノ各坑内ノ鑛況頗ル佳良ナリシヲ以テ著シク採鑛區域ヲ擴張シ且ツ產額ヲ増進セリ從テ開坑、探鑛、採鑛等ノタメ鑿岩機ノ使用ヲ増加シ亦鑛石運搬ノ設備ヲ改善セリ其増設シタルモノヲ示セハ左ノ如シ

種類

位置

設置ノ月

「ライナー」式空氣壓搾機五十馬力

一

金堀澤

九月

附屬吸入瓦斯機關(五十馬力)

「インガソル」ランド「複式」汽笛空氣壓搾機(百馬力)

一

大切坑々口前

十二月

附屬複式汽笛吸入瓦斯機關(二百馬力)

複胴捲揚機(四十馬力)

一

本鉋大切坑下一號

十一月

井口式「タービン」唧筒(二十三馬力)

一

同

點燈用發電機(六十基)

一

同

附屬「オート」式瓦斯發動機

一

同

「ハリヂ」式架空索道 延長二千二百五十尺 大切坑細地澤坑間 同

尙ホ地森澤ト大切坑選鑛場間ニ架空索道架設ノ設計中ナリ又大切坑準以下二百尺ノ處ニ至ル大通洞坑ヲ開鑿スルコトニ決定シ著手準備中ナリ本坑道ハ阿久谷川水準ヨリ高距八十尺ヲ有スル先達澤ノ溪間ヨリ開坑シ延長四千二百二十尺ニシテ久七坑々口下部ニ達スルモノニシテ大切坑々口前ノ既設五十馬力ノ空氣壓搾機ヲ移轉シテ鑿岩機ヲ以テ掘進スル豫定ナリ而シテ將來通洞坑貫通ノ曉ニハ本坑道ニ電車ヲ運轉セシメ鑛石全部集合搬出シ阿久谷川先達澤落合ニ工程一晝夜約五百噸ノ機械選鑛場ヲ開設セントシ之等ノ原動力供給ノ目的ヲ以テ既ニ岩手縣二戸郡石切所村地内馬淵川ノ水利權ヲ獲得シ二千馬力ノ水力發電所建設ノ計畫ナリ

四角鑛山 銅 鑛業權者 秋田縣鹿角郡柴平村外二
合名會社 藤田組

奥坑及卯酉坑ノ鑛況漸次良好トナリシヲ以テ十月本山不老倉鑛山間ニ延長一萬九百二十二尺ノ玉村式單線架空鐵索ヲ架設シテ鑛石ノ運搬ヲ便ナラシメ尙機械選鑛場ヲ設置セントシ目下計畫中ナリ

尾去澤鑛山 金銀銅鉛亞鉛 鑛業權者 秋田縣鹿角郡尾去澤村外一
三菱合資會社

本鑛山ニテハ前年十一月竣成シタル新設選鑛場ニ依リ一日ニ付從來ニ二倍スル粗鑛量(含銅品位一・三%)ヲ處理シテ精鑛量約百五十噸(含銅品位五%内外)ヲ採收スルコトヲ得タルタメ貧鑛處理上及ホシタル效果多大ナリシモ大正五年九月二十四日選鑛場建坪約二千五百二十坪ノ内スライマ一室、唧筒室、附屬家屋合計建坪三百五十坪ヲ除ク以外ノ工作物烏有ニ歸シ事業上受ケタル打撃抄カラス之カ應急策トシテ坑内ハ比較的良鑛部分ヲ採掘シ一日ノ採掘粗鑛量六百噸ノ内含銅品位三%ノ粗鑛約二百五十噸ヲ假設手選鑛場ニ供給シ產出精鑛百五十噸(含銅品位四%)ニ寶鑛山其他

ヨリ買入レタル鑛石ヲ調合シテ製鍊ヲ繼續シ從來ノ產額ヲ維持スルニ勉メ時々手選鑛場ヨリ生スル片及鑛一日百噸含銅品位一%ヲ處理シ精鑛十二噸(含銅品位六七%)ヲ採收スル目的ヲ以テスライマ一室ヲ改造シテ機械選鑛場ノ工事ニ著手シ十一月完成運轉ヲ開始セリ其ノ機械選鑛主要設備ヲ示セハ左ノ如シ

「ブレイキ」式嚙鑛機	一	「クローム」式轉碎機	二
「ピースタイル」式轉碎機	一	「アブロン」式給鑛機	一
「ウキルフレ」式淘汰盤	三	「ハーデンチ」式ボールミル	一
「バケットエレベーター」	五	運鑛帶	一
浮遊選鑛機	二		

堅形水管式汽罐	五馬力	一 (浮遊選鑛用)
三相交流式電動機	高壓三千「ヴォルト」 八十五馬力	一 (原動用)
同	上 低壓二百二十「ヴォルト」 三十馬力	一 (同上)

採掘粗鑛中含銅品位三%以下ノモノハ更ニ計畫セントスル選鑛場ノ竣成マテ坑内ニ貯藏スル豫定ナリ

院內鑛山 金銀銅鉛 鑛業權者 秋田縣雄勝郡院內町
硫磺 鐵 古河合名會社

本鑛山ニテハ經費ノ關係上從來良鑛ノミヲ採掘シ之ヲ賣鑛シタルカ大正三年十一月貧鑛處理ヲ目的トシテ開設セル青化製鍊場ノ成績ハ其後營業トシテ稼行シ得ル用途立テタルヲ以テ取扱原鑛量ヲ十倍トシ一箇月約百萬貫ノ舊鑛滓ヲ處理スル目的ヲ以テ大青化製鍊場建設計畫中ノ處九月ヨリ之カ新設ニ著手シ目下工事中ニアリ其主要設備左ノ如シ

「ウオーター・バランス」	一	鑛舎	「ベルトエレベーター」	一
「トロムメル」	一		「ミツキサ」	一
「ウオーター・シックナ」	七		「チューブミル」	一
「ドール」式分級機	四			二
攪拌槽	八	原液槽		一
澄液槽	一	廢液槽		二
「オリグアー」式濾過機	二	「メリル」式濾過機		一
真空唧筒	二	離心唧筒		二
「フランジャー」唧筒	一	空氣壓搾機		一
三相交流式電動機(三百馬力)	一	「ランカッシャー」式汽罐用(液混用)		一
乾燥爐	一	熔解爐		一

製產品ハ一箇月金一貫百匁銀九十七貫匁ノ豫定ナリ而シテ此ノ工事著手ト共ニ將來坑内外ニア
ル多大ノ廢鑛ヲ稼行基礎トスルノ方針ヲ取り坑内ハ専ラ其保全ヲ計リ傍ラ探鑛ヲ行ヒ之ヨリ生
スル鑛石ハ從來ノ選鑛場ニ供給スルコトトシタルタメ著シク探鑛額ヲ減少シタリト雖青化製鍊
完成後收支關係如何ニヨリテハ貧鑛ヲ目的トシテ再ヒ坑内探鑛ニ著手スル計畫ナリ

小坂鑛山 金銀銅鉛 鑛業權者 秋田縣鹿角郡小坂町 組合名 會社 藤田組
所屬鑛山及買鑛ニ依ル鑛石量著シク増加シ來レルヲ以テ主トシテ製鍊設備ノ改良及擴張ヲ行ヘ
リ即チ熔鑛場ニ於テハ熔鑛爐全部ノ使用ヲ開始シ熔鑛爐用トシテ六月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ
「ラト」式「ターボ」横臥送風機(三百八十馬力)電動機直結三臺ヲ増設スルト同時ニ從來使用「ルー」送

風機八番型二臺、同十番型一臺、高壓送風機一臺ヲ廢セリ又銅電鍊場ニアリテハ二月ヨリ五月ニ至
ル間ニ於テ電解槽百個、電動直流發電機七十五「ヴォールト」百五十「キロワット」一臺、同上七十五「ヴォ
ールト」二百二十五「キロワット」一臺、同期三相交流式電動機三千「ヴォールト」二百四十馬力一臺、同上
三千「ヴォールト」三百六十馬力一臺、配電盤五組ヲ増設シ其結果電解精鍊中生スル屑銅(一箇月約十
萬斤)處理トシテ十二月熔銅反射爐二基新設工事ニ著手シ近ク三月中ニ竣成セシムル豫定ナリ
鉛鑛製鍊ニ於テハ二月同製鍊場ノ擴張工事ニ著手十月焙燒爐一基、南蠻爐二基ヲ増設シ原鑛運搬
用單胴式電氣捲揚機一臺、直流電動機三馬力一臺ヲ新設セリ
其ノ他亞鉛選鑛用トシテ二月「デイング」式磁氣選鑛機一臺ヲ増設セリ
又本鑛山原動力ハ從來第一ヨリ第四ニ至ル水力發電所及第一火力發電所ヨリ供給シタルモ三月
ヨリ第二火力發電所ノ起工ニ著手十一月「バブコック・エン・ドゥイル」コックス水管式汽罐二基、堅
型「カーチス」二段卷「タービン」式汽機七百五十馬力二基、三相交流式發電機五百「キロワット」二臺及附
屬施設ヲ竣工シ主トシテ電氣製鍊用ニ供給スルコトトセリ

花岡鑛山 金銀銅鉛 鑛業權者 秋田縣北秋田郡花岡村外一組

前年以來著手セル坑内整理ハ略終了シタルヲ以テ五月ヨリ新方面ノ探鑛ヲ目的トシ堂屋敷方面
ニ忠節鑛坑及橋鑛坑ハ觀音堂方面ニ櫻鑛坑ノ開鑛ニ著手シタルニ忠節鑛坑ハ深サ七十尺ニテ新
鑛床ニ當リ以下四十尺間ニ含銅五%乃至三〇%ノ黑鑛ヲ存在シ橋鑛坑ハ深サ七十尺ニテ石膏質
黑鑛々床ニ當リ以下八十尺間含銅品位一%内外ヲ有スルカ故ニ引續キ掘下中ナルカ以上二箇ノ
鑛坑ノ鑛床ヲ相連互スルモノノ如ク認メラルヲ以テ十一月連絡坑道開鑛ニ著手セリ
坑内擴張ノ結果探掘粗鑛量ヲ増加シタルヲ以テ元山方面ニアリテハ第二選鑛場ハ移轉増築シ觀

音堂方面ニ選鑛場一棟ヲ増設セリ共ニ大規模ノ手選場ニシテ特殊ノ施設ナシ
元山方面中央堅坑捲揚設備ハ二月竣成シタルヲ以テ同坑内ノ運搬ハ主トシテ之ニ依ルコトトシ
第三斜坑ニ使用シタル雙胴式電氣捲揚機一臺、直流電動機二十五馬力一臺ハ堂屋敷方面忠節堅坑
ニ轉設工事中ナリ又觀音堂ヨリ花岡停車場ニ至ル間ノ鑛石運搬ハ從來荷馬車ニ依リタルモ不便
尠カラサルヲ以テ七月延長五千三百三十尺ノ玉村式單線架空索道ヲ開設セリ

吉乃鑛山 金銀銅鉛 位 置 秋田縣雄勝郡西成瀬村
鑛業權者 大日本鑛業株式會社

前年十一月以來工事中ニアリシ新設選鑛場ハ四月竣成シタルカ五月更ニ山元、十文字停車場間ニ
「ハリヂー」式鐵索三哩六分原動用電動機十五馬力一臺ヲ架設シテ鑛石及物資ノ運搬ニ供シ且瓦斯
力發電所ヲ新設シ晝間増田水力電氣株式會社ヨリ購買スル電力ト合セテ坑内外諸機械ノ原動用
トナシタルタメ事業進捗上ニ及ホシタル影響多大ナリ就中瓦斯力發電所ノ主要設備左ノ如シ

「グロスレー」式吸入瓦斯發動機 (二臺合計二百三十馬力) 二

同 瓦斯發生器 二

三 三相交流式發電機 二千五百「ヴォルト」

直流式發電機 百二十「キロボット」

五百「ヴォルト」

一

鑛床ハ黑鑛々床ト銅鑛染鑛床ノ二種ヨリ成リ黑鑛々床ハ從來稼行セラレタルモノニシテ頁岩ト
石英粗面岩ノ接觸部ニ存在シ大小ノ鑛塊ヲナシテ南ヨリ北ニ連亘シ多量ノ重晶石ヲ含有セリ其
鑛石品位ハ萬分中金、〇二乃至〇六、銀一、六乃至二、八百分中銅〇、五乃至一、〇ヲ有ス後者ハ大正四年
中ノ發見ニ係リ石英粗面岩ト角礫凝灰岩ノ間ニ存在スル無數ノ裂罅ニ黃銅鑛及黃鐵鑛ヲ浸染シ
テ集合セル網狀鑛脈ニ屬シ東西ノ幅約三百尺、南北ノ延長約六百尺、上下高低二百七十尺迄開鑿シ

タルモ未タ走向ノ延長及傾斜ノ深度ヲ知ルコトヲ得サル一大鑛床ニシテ百分中銅二、〇内外ヲ含
有シ鑛量頗ル豊富ナリ將來モ鑛石全部ヲ八盛鑛山ニ輸送シ合併製鍊ニ附スル豫定ナリ

豐川鑛山 石 油 位 置 秋田縣南秋田郡豐川村外三
土 瀝 青 鑛業權者 中外石油アスファルト株式會社

年内掘鑿セシ坑井ハ眞形尻方面網掘式五號、七號、豐川方面、ロータリー式九號乃至十二號、保龍田方
面、ロータリー式三號乃至六號ノ多數ヲ算シ内眞形尻五號井ヲ除ク外ハ何レモ深度百七十八間乃
至二百八十九間ニテ成效シ最初日產額四十石乃至五百石ヲ採取シ得ルノ好成績ヲ呈シ著シク事
業ノ發展ヲ促シタルカ就中豐川十二號井ハ十一月開掘シタルニ一箇月間ニ深度百七十七間ニテ
良好ナル油座ニ達シ成效當時日產五百石ヲ自噴スルノ盛況ヲ呈セリ該井ノ油座ハ四個アリ何レ
モ頁岩中ニ存在シ淺層ハ深度百十九間、第一層同百三十三間、第二層同百四十二間、第三層ハ同百七
十七間ニ位スルモノニシテ豐川、保龍田及槻木各方面採油井ハ皆此脊斜軸中ニ存在シ大體ニ於
地質及油座ノ狀態ヲ等フスルモノ、如シ

現時操業中ニ屬スル坑井ハ採油井十一、此日產額百五十八石、汲取休止、淺澤採油準備中ノモノ三、此
日產額六十三石ノ豫定掘鑿中ノモノ、ロータリー式二井ニシテ本年中増設シタル諸機械ハ左ノ如
シ

外焚橫置多管式汽罐

四

單筒橫置式汽機

四

石油發動機

四

蒸氣唧筒

一一

ロータリー式鑿井機

三

送油設備トシテハ千石入鐵槽二、五百石入鐵槽一、四百石入鐵槽一、二百石入鐵槽一、九十石入鐵槽一
ヲ増設シ尙保龍田ヨリ大久保停車場ニ至ル間ニ二吋送油鐵管六千八百九十二尺ヲ敷設シテ從來

ノ送油鐵管ト併用シ外ニ七噸油槽車五輛ヲ増設シタルモ採油全部ヲ處理スルコト能ハサルヲ以テ目下製油設備ヲ擴張シ一日三百石内外ノ原油ヲ處理セントシテ計畫中ニアリ

黒川鐵山 石油 土瀝青 鐵業權者 秋田縣南秋田郡金足村外一日本石油株式會社

年内掘鑿セシ坑井ハ「ロータリー」式三十三號乃至六十四號ニシテ何レモ深度二百間乃至二百五十間ニテ成效セリ目下採油量一日約二千石ニシテ常ニ「ロータリー」式三坑井宛ヲ掘鑿シツツアルモノトス尙本年中坑井掘鑿採油送油其他ノタメ増設シタル諸機械ハ左ノ如シ

外焚多管式汽罐

九

單筒橫置式汽機

二一

石油發動機

一八

蒸汽唧筒

二二

汽力三聯式唧筒

一

唧筒「ロータリー」式鑿井機

一

旭川鐵山 石油 鐵業權者 秋田縣南秋田郡旭川村外一日本石油株式會社

土崎港所在ノ鐵山附屬秋田製油所ニ於テハ十一月新ニ大規模ノ製罐場製品用鋸力罐製造場及製函場(製品荷造函製造場)建設工事ニ著手シ十二月完成シタルヲ以テ從來ノ製罐場及製函場ヲ廢止セリ新設製罐場ハ總建坪百六十坪アリ一日十時間内ニ五千五百罐ヲ製造シ得ルモノニシテ其主ナル設備ハ左ノ如シ

天板切斷機

一

地板切斷機

一

銅板切斷機

一

銅板緣切機

一

銅板型附機

一

銅板接合機

一

天地板接合機

一

天地機

一

橫ハンダ附機

六

口金プレス

二

口金捻子立機

一

原動機トシテハ横置無點火式石油發動機十五馬力一臺ヲ据付タリ又製函場ニ於テモ函板印刷機用トシテ同型石油發動機二馬力一臺ヲ新設セリ

其他送油唧筒用トシテ外焚多管式汽罐一臺ヲ増設シ蒸汽唧筒二臺空氣唧筒一臺ヲ廢止セリ而シテ現時工事計畫中ノモノハ直流發電機十七「キロワット」一臺點燈用及動力用電動機七馬力半一臺(製罐場用)ニシテ共ニ六年三月中ニ据付工事完了ノ豫定ナリトス

槻木鐵山 石油 土瀝青 鐵業權者 秋田縣南秋田郡豐川村代表者日本アスファルト工業株式會社

本鐵山ハ從來土瀝青ヲ以テ營業ノ目的トセシモ三月以來石油ヲモ併セテ稼行スル計畫ノ下ニ諸般準備ヲ整ヘ六月「ロータリー」式第一號井ノ開鑿ニ著手シタルニ七月深度二百七十三間ニシテ良好ナル油層ニ逢著シ俄然日産二百石ヲ噴油ヲ見タルタメ世人ノ注目スル處トナリ附近一帶油田ノ開發ヲ促カセリ其後九月第二號井ヲ掘鑿シタルニ十月深度二百十六間ニテ成效シ日産百石ノ出油ヲ見目下第三號井ノ掘進中ニアリ而シテ現時ノ採油量ハ日産五十餘石(ボーラー十一度内外)ニシテ原油ノ儘東京方面ニ輸送販賣シツツアリ鑿井開始以來新設シタル諸機械類ハ左ノ如シ

「ロータリー」式鑿井機

二

外焚多管式汽罐

二

單筒橫置式汽罐

二

蒸汽唧筒

四

石油發動機

二

貯油及送油設備ハ小倉豐川鐵山ト共用ニシテ鐵製油槽七個(總容積二千百石内徑四吋ノ送油管鑿場ヨリ大久保停車場ニ至ルモノ)延部約八千尺ヲ新設セリ

浦山鐵山

石油 土瀝青 鐵業權者 秋田縣南秋田郡金足村外一日本石油株式會社

第七章 鐵山事業ノ概況 (事業ヲ擴張シ又ハ擴張ニ著手シタル鐵山)

坑井掘鑿ハ從來網掘式ニ依リタルモ二月ヨリ新ニ「ロータリー」式ヲ併用シ掘鑿シタル坑井ハ網掘式三號「ロータリー」式一號乃至五號ナリ網掘式三號ハ五月深度二百五十三間ニテ成效シ最初ノ日産探油量十四石(ボーマー)十六度「ロータリー」式一號ハ深度三百九十六間迄掘鑿シタルニ深度七十八間ニテ最初日産二石五斗ノ油座アリタルモ其以下ニ湧出油ナカリシヲ以テ七月深度九十間以下ヲ充填シテ探油井トナセリ「ロータリー」式三號井ハ十月深度二百四十五間ニテ成效シ最初日産探油六十石(ボーマー)十八度アリタルヲ以テ其後探油シツアルモ同式二號及四號ハ湧出油ナキヲ以テ廢坑トセリ而シテ同式五號井ハ深度二百間以下ヲ網掘式ニ變更シタルニ深度二百一十一間ニシテ一時間産油量一石内外アリタルヲ以テ引續キ掘進シ又網掘式二號井ハ目下追掘計畫中ニアリ

現時探油井ハ網掘式二個「ロータリー」式二個ニシテ探油量日産十三石ニ達シ「ロータリー」式三號井成效當時ノ成績良好ナリシヲ以テ十一月浦山ヨリ福田ニ至リ黒川鑛場土崎製油所間ニアル八時送油鐵管ニ合スル四吋鐵管延長千八百四十間ヲ敷設シ送油ニ供スルコトトセリ

其他増設シタル主ナル設備ヲ示セハ左ノ如シ

- | | | | |
|-------------|---|---------------|---|
| 「ロータリー」式鑿井機 | 一 | 外焚多管式汽罐 | 二 |
| 單胴橫置式汽機 | 四 | 石油發動機 | 三 |
| 蒸汽唧筒 | 三 | 直流發電機六「キロワット」 | 一 |

佐渡鑛山 金銀銅 位 置 新潟縣左波郡相川町 鑛業權者 三菱合資會社

青化製鍊場ニ於ケル前年末ヨリ續行中ノ「シツクナー」二個新設工事ハ本年一月末完成シテ泥流ヲ濃厚ナシシムルニ便シ同年九月更ニ一個ヲ増設シテ泥液ヲ濃厚ナラシメ金液ヲ分離セシムルニ

供ス構造ハ各直徑三十尺高サ八尺圓錐底セメント造ニシテ「ドール」式ニ則リ濃泥ハ離心唧筒ニヨリ濾過器ニ送ル裝置トス

鑄鑄製鍊場ニ於テハ從來据付ノ鑄鑄爐ハ徑三呎深七尺羽口六個ナリシカ本年九月徑四呎深九尺羽口八箇ニ變更セリ之ニ伴ヒ五番形「ルト」送風器一臺ヲ増設セリ

坑内ニ於テハ左記排水用唧筒ヲ増設シタリ

設置場所	種類	個數	馬力數	揚水高	排水量	目的
高任六番坑	タービンポンプ	一	一一	一五〇	二〇	五番坑ニ揚水
大立三番坑	同	一	三〇	一六〇	五〇	二番坑ニ揚水
同	シンキングポンプ	一	三〇	一六〇	四〇	同

猶大正六年度ニ於テ高任六番坑ノ鑛況ニ鑑ミ更ニ七番坑ヲ開鑿シ又搗鑄製鍊法ノ改良ヲ行ハシガ爲メニ「チューブミル」及分水器等ヲ据付實驗中ニシテ且夏時動力ノ不足ヲ補ハシカ爲メニ戸地第二發電所ヲ設置シ五百基ノ發電機ヲ増設スルノ計畫ヲ有ス

葡萄鑛山 銀銅鉛亞鉛 位 置 新潟縣岩船郡鹽野町村 鑛業權者 代表者土屋龜太郎

本鑛山ノ鑛床ハ石英粗面岩ニ類以セル石英斑岩中ニ胚胎スル正規鑛床ニシテ殆ント正西ヨリ正東ニ走り六十度乃至七十五度北ニ傾斜セル數條ノ竝行脈ヨリ成リ各脈ノ間一百尺乃至三百尺ニ過キサルモノ之ヲ甲トス他ノ一ハ之レト殆ト二十度ノ交叉ヲ有シ北七十度西ニ走レル一群ノ竝行脈トヨリ構成セラル而シテ通常乙ハ甲ニ對シテ一種ノ斷層作用ヲ呈ス甲乙何レノ鑛脈モ既知ノ程度ニ在リテハ一種ノ粘土脈ニシテ亞鉛鑛及鉛ヲ包藏シ銅鑛ハ極メテ少ナシ脈幅ハ各脈一樣ナリサレトモ各平均一尺ヲ出ツルモノ稀ニシテ上下左右共一定規律ノ下ニ膨縮シ一ノ扁豆狀組

織ヲナスヲ常トス
本山ハ今ヨリ八年前長谷川久太外二名ノ稼行ニ係リ爾後試掘權ヲ繼續シ大正四年十一月土屋龜太郎加名シ事業ノ經營ハ舉ケテ之ヲ合資會社高田商會ニ一任シ以テ現今ニ至レルモノニシテ水準以上ハ往古既ニ掘採シ盡シ長谷川時代ニ於テモ運搬坑道準以下ノ探掘ヲナシタリ然レトモ坑水ノ爲メニ見ルヘキノ稼行ヲナシ得サリシカ高田商會經營以來「ウオシントンポンブ」ニヨリテ排水ノ便ヲ謀リ運搬坑道準以下五十尺ノ位置ニ鈎押坑道ヲ設ケ之ヲ五十尺坑ト命名操業シ猶運搬坑ノ上部二十八尺ノ地點ニ於テ本坑ヲ開鑿シ其奥部ニ縱橫共七尺九寸ノ堅坑ヲ設ケ深サ百二十尺ニテ現在探掘シツアル鑛脈ト相會合セシムル豫定ヲ以テ目下四十六尺ヲ掘下ケタリ
又運搬坑内ノ唧筒ト本坑内ノ捲揚裝置トヲ運轉セシムル目的ヲ以テ五十馬力「タクマ」式水管汽罐一臺ヲ設置シ更ニ補助トシテ三十五馬力同式汽罐一臺ヲ増設スルノ計畫中ナリ

烟鑛山 銅 鑛業權者 新鴻縣岩船郡關谷村 代表者 關東鐵道株式會社

本鑛山ノ稼行鑛床ハ奥鈎及新盛鈎ノ二條ニシテ此二條ノ中間ニ中鈎アルモ細脈ニシテ稼行セス而シテ此等ノ諸脈ハ第三紀凝灰岩頁岩ノ累層中ニ胚胎シ共ニ走向百十度乃至百三十度ニシテ南ニ約七十度ノ傾斜ヲナシ脈幅ハ奥鈎ニ於テハ膨大シテ二三十尺ニ達スルコトアリ新盛鈎ハ最大二三尺トス其包含鑛物ハ黃銅鑛ヲ主トシ輝銅鑛及硫化鐵鑛ヲ伴ヒ青地中ニ散散セリ
本山ハ曩キニ寶田石油株式會社ノ經營セシ所ニシテ稍見ルヘキノ稼行ヲナシタレトモ其後久シク休業シ大正三年十二月後更ニ一二鑛業者ヲ經テ大正四年十二月現鑛業權者代表者加名以來其管理ノ下ニ事業ヲ經營シ爾來舊坑ノ取明探掘坑道ノ掘進選鑛法ノ改善運搬道路ノ改修其他坑外諸設備ヲ施シ今ヤ二百名内外ノ鑛夫ヲ使役全ク面目ヲ一新スルニ至レリ

舊坑取明探掘坑道ノ掘進ハ左記ノ如ク總延長五千八百三十八尺ニ及ヒ漸ク探鑛ノ準備成ルニ至リタルヲ以テ向後猶其產額ヲ増大スルニ至ラン

坑 名	延 尺	坑 名	延 尺
二番坑	四百八十尺	三番坑	六百九十九尺
四番坑	七百七十三尺	新盛坑	千百一十一尺
步銅坑中段	五百二十三尺	步銅坑	千百尺
中切坑	千百五十二尺		

選鑛法ハ從來ノ手選法ニ加フルニ更ニ左記設備ヲ有スル選鑛場ヲ設置シ精鑛品位ヲ高ムルニ至レリ

グレット(一寸目)	一臺	手選臺	二臺
鐵製搗鑛機(六貫目)	十本立一組	篩	
三區跳汰器(一臺長サ五尺)	三臺	尖函	一臺
圓汰盤	一臺	扇舟	一臺
汰盤	一臺	木製上射水車(徑十二尺)	一臺

運搬設備トシテハ本山ト山形縣ニ通スル縣道中ノ片貝部落間約一里半ヲ改修シ荷車ヲ使用シ得ルニ至レリ其他坑外設備トシテハ鑛夫長屋十三棟及役宅二棟ヲ新設セリ

持倉鑛山 金銀銅亞鉛 鑛業權者 新鴻縣東蒲原郡下條村 持倉鑛山合資會社

本鑛山ハ二年前鑛業權者外二名ノ合資組織トナシ持倉鑛山合資會社ト稱シ事業ヲ繼承セリ前年度ニ於テ開坑セル東華北星ノ兩坑ハ鑛勢益々優勢ニシテ更ニ中切坑ヲ開坑シ何レモ探掘坑

道トシテ新タニ鑿岩機九臺ヲ増加シ十二臺ヲ使用セル結果十月以降月産六拾萬貫ノ鑛量ヲ採掘シ得ルニ至レリ右鑿岩機ノ増加ニ伴ヒ空氣壓搾場ヲ設ケインガールランド製橫置空氣壓搾機一臺ヲ据付ケ動力ハ新潟水力電氣會社ト特約シ電力高壓一萬三千「ヴォルト」ノ供給ヲ受ケ之レヲ三千五百「ヴォルト」ニ低壓使用セリ

大面鑛山 石油

鑛業權者 新瀉縣南蒲原郡大面村
日本石油株式會社

大正三年二月中「ロータリー」式鑿井ヲ開始シ深度四百十二間ニ達シタルモ出水ノ爲メ遂ニ廢坑スルノ止ナキニ至レリ然ルニ油帶ノ關係上有望ナルヲ認メ四年九月中第二號井ノ掘鑿ニ著手シ爾來銳意掘鑿中本年五月深度四百七十五間四尺ニテ豐富ナル油層ニ逢著シ強烈ナル瓦斯ト共ニ一時日産三百餘石ヲ自噴シ今尙ホ九十石内外ヲ持續シ居レリ爲メ二年内ノ所産ハ實ニ一萬二千二百五十石ヲ算スルニ至レルヲ以テ引續キ第三號井及第四號井ヲ開坑シ本年末ニ於テ前者ハ深度五百三十間後者ハ五十七間ニ達セリ油質ハボーメー二十六度乃至二十九度トス

新津鑛山 石油

鑛業權者 新瀉縣中蒲原郡新津町外三
寶田石油株式會社

本鑛山ハ小口方面ニ於ケル深層油發見以來全力ヲ傾注シテ事業ノ進捗ニ努メタル爲メ近時著シキ盛況ヲ呈スルニ至リタルカ更ニ二層油ノ採油面積ヲ擴張シ東島荒山方面ニ發展シタル結果小口鑛場ノミニ於テ前年ニ比シ六萬七千餘石ノ激增ヲ見ルニ至レリ尙從來ノ東島油帶ニ深層油ノ存在スルコト分明シタルヲ以テ向後ハ該方面ノ發展ヲモ期待シ得ヘシ

西山鑛山 石油

鑛業權者 新瀉縣刈羽郡二田村外三
日本石油株式會社

本鑛山ニ於テ前年來開始セル天然揮發油採收事業ハ成績頗ル良好ニシテ採收機械三臺ニテ一日優ニ五十石内外ヲ採收シ得ルヲ以テ更ニ事業ヲ擴張スヘク目下採收機二臺増設準備中ナリ又附屬柏崎製油所ニ於テハ化學研究所ヲ特設シ米國ヨリ製油技師ヲ聘シ製品ノ進歩改良ニ就キ研究スルコトトセリ

朝日鑛山 石油

鑛業權者 新瀉縣中蒲原郡金津村
中央石油株式會社

本鑛山ニ於テハ近時銳意深層油ノ探究ニ努メタル結果前年以降著々成效ヲ告クルニ至リシヲ以テ更ニ事業ヲ擴張シ前年總坑數百四十六坑出油井百十六坑ナリシカ本年末ニ於テハ總坑數百七十八坑出油井百四十二坑ヲ算スルニ至リ出油量ニ於テモ二萬五千七百八十餘石ノ増産ヲ見ルニ至レリ因ニ出油深度ハ概ネ二百間内外ニシテ油質ハ「ボーメー」平均十七度トス

日立鑛山 金銀銅硫化鐵

鑛業權者 茨城縣多賀郡日立村
久原鑛業株式會社

採鑛ニアリテハ第一堅坑ニ於テ既設捲揚器ノ外更ニ同堅坑千尺地竝ニ捲揚機ヲ新設シ同堅坑ノ掘進ニ資シ右捲揚器運轉用トシテ三十馬力交流電動機一臺ヲ設置シ且ツ同堅坑八百尺及千尺坑道ニ唧筒四臺竝ニ其運轉用二十馬力交流電動機四臺ヲ新設セリ第五堅坑ニ於テハ掘進用捲揚機ヲ撤廢シ更ニ同堅坑二百尺地竝ニ捲揚機ヲ設ケ人ノ昇降用ニ供シ二十馬力交流電動機一臺ヲ設置シ之レカ運轉ヲナセリ猶昨年一月掘下ニ著手セル第六堅坑ニ於テハ二百馬力捲揚機据付ケノ目的ヲ以テ機械場切擴中ナリ而シテ本堅坑ハ本年度中百尺ヲ掘下ケ全長三百尺ニ達セリ大正三年二月使用開始ノ坑外電動インクラインハ三月之レヲ撤廢シ同時ニ第一複式鐵索停車場地竝ヨリ中盛零尺地竝マテ百十六尺ノ電動インクラインヲ設置シ二十馬力交流電動機一臺ヲ据付ケ運轉ノ用ニ供シ又筐目中盛ノ上三百三十尺坑道以上ノ鑛石搬出ノ爲メ中盛上二百十尺地竝

ヨリ同三百三十尺地竝マテ百七十三尺ノ自動インクラインヲ設置セリ
鑿岩機使用増加ノ爲メ採鑛所見張前ノ空氣壓搾機室内ニ四百馬力空氣壓搾機及四百五十馬力交
流電動機各一臺ヲ増設セリ
製鍊ニアリテハ粉鑛處理ノ目的ヲ以テ第二製鍊場東側ニ一箇月十一萬五千貫ヲ取扱ヒ得ヘキ第
二焙燒場ヲ新設セリ本焙燒場ハ焙燒爐建家一棟粉鑛舍二棟送風機建家一棟ヨリナリ其設備左ノ
如シ

焙燒壺	八座	「フキーダー」	七個
「ベルトコンベアー」	一本	「トリッパ」	一個
「エレベーター」	二臺	「ミキザ」	二個
電磁槌	一個	燒粉鑛篩別裝置	二臺
起重機(三十噸)	二臺	「ルーッ」式送風器	三臺
交流電動機	一三臺		

既設第一製鍊場ハ操業上狹隘ヲ感スルニ至リタルヲ以テ其東南端ニ長サ二十八尺三寸幅四十六
尺ヲ増築シ且ツ同製鍊場内第四號鑛爐ヲ羽口準ニ於テ長サ二十四呎幅四呎ニ改造シテ一箇月
粗鉋其他百九十萬貫ヲ取扱ヒ得ルニ至ラシメ同時ニ長サ百十五尺ノ同爐用コンベアーヲ新設シ
又鑛爐ノ燃料用重油ヲ溫ムル水槽ニ蒸氣ヲ給スル爲メ鑿形クロスチューブ付汽罐一臺ヲ新設
セリ

前年十月以來繼續工事中ナリシ電鍊場増設工事ハ五月中旬全部完成使用ヲ開始セリ又硫酸銅溶
液ヲ溫ムルタメ水管式「バブコック」エンド、ウエルコック型汽罐一基ヲ設置セリ

運搬設備ニアリテハ第二焙燒場へ粉鑛ヲ供給スル爲メニ本山採鑛所大雄院製鍊場間鐵索ヲ九百
七十尺延長シ本山採鑛所原動所ヨリ一萬六百七十尺ノ地點ニ被動所ヲ移轉シ又石灰石採掘ヨリ
生スル土砂運搬用ニ供スル爲メ延長二千六百四十九尺ノ單式鐵索ヲ架設セントシ目下其工事中
ナリ右鐵索運轉用トシテ四十馬力交流電動機一臺ヲ設置スヘシ

原動設備ニアリテハ從來ノ第二變電所ニテハ使用電力ノ増加ニ伴フ需用ニ應スル事能ハサルヲ
以テ新タニ變電所ヲ舊變電所ノ北隣ニ建設十二月下旬工事完成シ一月ヨリ使用開始ノ筈ナリ其
要項左ノ如シ

煉瓦造建家

一棟

出力 七千二百二十五キロワットアンペール

變壓機 一、〇〇〇キロワットアンペール 三六 九臺

電動發電機 二、〇〇〇キロワットアンペール 二一 三臺

前年度ヨリ繼續中ナリシ火力發電所工事ハ一月中旬ニ至リ三七五馬力吸入瓦斯發動機及二四〇
「キロワット」交流發電機各一臺ノ据付ヲ了シ之レニテ全部完成直チニ其使用ヲ開始セリ

高取鑛山

金、銀、銅、鐵、錫、重石、鑛業權者、茨城縣東茨城郡船村外一
硫化鐵、錫、重石、鑛業權者、三菱、合資、會社

大正三年中起業シタルモ歐洲戰亂ノ爲メ一時中止セシ赤木毛方面ニ於ケル第三通洞ノ開鑿ヲ再
始シ本山方面ニ於ケル相ノ澤疏水道準下百尺ノ地竝ニ於テ各鑛床ノ下底ヲ探鑛セントシ又本山
選鑛場ニ六十二坪ノ増築ヲ行ヒ磨鑛鍋徑五呎四吋一、ドル濃泥機徑十呎高八呎一、フレニトア式
揚砂唧筒徑五呎四吋幅一尺一、三號型ウキルフレ一、テーブル一ヲ設置シテ砂鑛ノ處理ニ便シ且ツ
精鑛场内ニ「ロー」ルジョウ、クラッシャー「五吋半×三吋半」一ヲ設置シタリ

其他赤木毛方面ニ於テ前年設ケタル選礦場ノ改築ヲ行ヒ新タニ三聯「ハンドジッガー」三呎×六呎、二ヲ設置シ從來貯藏セル炭揚ノ鑛滓ヲ處理スルニ至レリ

久慈川鑛山 金銀 鑛業權者 茨城縣那珂郡山方村 常盤鑛業株式會社

從來鑛石ノ運搬ハ人力ニ依リタルカ年初ヨリ斜運搬坑道ノ開鑿ヲ計畫シ十月二十五馬力吸入瓦斯機關ヲ動力トセル捲揚機械ヲ新設シ以來銳意坑道ノ掘進ニ從事シツツアリ

重内炭鑛 石炭 鑛業權者 茨城縣多賀郡北中郷村外一 茨城探炭株式會社

本炭鑛ニ於テハ坑道ノ延長ニ伴ヒ漸次運搬力ヲ減殺スルニ至リタルヲ以テ八月左八坑道第一電卸第二電卸間ニ「エンドレス」十馬力電捲機ヲ据付ケ捲綱ノ延長三百間第二電卸ノ運搬力ヲ補ヘリ第一電卸以南採掘炭ノ運搬力ヲ補ハンカタメ右九坑道ヨリ第三電卸斜坑道開鑿中ニアリ該坑道竣工ノ上ハ右九坑ニ電氣捲揚機械ヲ据付ケル豫定ナリ又繼續掘下中ナリシ堅坑ハ八月迄ニ深長百十尺ノ掘鑿ヲナシタルモ出水頓ニ増加シタルヲ以テ一時中止シタリ而シテ新ニ一分間排水量十立方尺ノ唧筒据付設計中ナレハ之レカ完成ノ上ハ更ニ掘進ヲ繼續スヘシ

山口無煙炭鑛 石炭 鑛業權者 茨城縣多賀郡北中郷村 山口無煙炭鑛合資會社

本炭鑛ハ鑛區ノ北部方面ニ殘存セル約一萬坪餘ノ含炭區域採掘ノ目的ヲ以テ新坑(橫坑)ヲ開鑿シ「コルニツシユ」汽罐(徑三呎長十五呎)一臺捲揚機(汽筒徑四吋)一臺ヲ設置セリ本坑ニ於テハ左四坑道奥部昇方面運炭改良トシテ自動捲下機一臺坑外捨石汽罐焚滓ガス其他廢物運搬用トシテ「エンドレス」曳揚機一臺坑内排水用トシテ二十馬力電動「タービン」一臺及坑夫長屋十二棟等ヲ増設シ著々事業ノ進捗ヲ計畫シツツアリ

茨城無煙炭鑛 石炭 鑛業權者 茨城縣多賀郡南中郷村外一 茨城無煙炭鑛株式會社

小豆煙第一坑ニ於テハ漸次深部ノ探鑛ヲナスニ至リタル爲ニ運搬力ニ不足ヲ告クルニ至レルヲ以テ從來使用シ來レル六十馬力坑内「エンドレス」ループヲ百三十馬力ニ變更ノタメ運搬坑道ノ切替及機械室ノ擴張工事ヲ竣リ既ニ機械ノ据付中ナリ以上設備變更ニ伴フ動力増加ノ必要上百馬力多管式汽罐一基ヲ増設シ從來ノ四十五「キロ」火力發電機ヲ百「キロ」發電機ト据替ヲナシタリ日棚方三坑ニ於テハ前年末來著々事業ノ進捗ヲ計リ運搬斜坑道掘進百六十七間排氣坑道掘進八十間等ノ掘進ヲ急キ傍ラ水準坑道ノ掘進ヲ企テ十一月ヨリ水準上ノ採掘ヲ開始セリ坑外ニ於テハ前年末來交渉中ナリシ鑛業敷地ノ買収ヲ了シ山許ヨリ南中郷驛ニ至ル延長二千百間ノ單線軌道ノ布設及驛前石炭積込場等ヲ完成シ十二月來馬匹ヲ以テ運炭ヲ開始セリ本軌道ハ將來複線トナシ之レヲ「エンドレス」ループ「運炭法」ニ改造スル計畫ヲ有セリ斜坑運炭ニハ八吋橫置式單汽笛蒸汽捲揚機ヲ据付ケ之レカ原動力トシテ「コルニツシユ」汽罐一臺ヲ設備セリ

其ノ他手選炭場事務所、病院、倉庫用度部、社宅、鑛夫長屋等約三十棟(七百坪)ヲ新設シ専ラ事業ノ刷新ニ意ヲ致セリ

千代田炭鑛 石炭 鑛業權者 茨城縣多賀郡松岡村外一 千代田炭鑛株式會社

本炭鑛ハ元清田炭鑛株式會社ノ經營ナリシカ十月同會社清田炭鑛全部ト茨城探炭株式會社鑛區ノ一部ト合併協定成立シ千代田炭鑛株式會社ヲ組織スルニ至リ爾來事業ノ進捗ニ意ヲ致シ十月末第一斜坑口ヲ去ル南凡百間餘ノ地點ニ人道卸同三百六十間餘ノ地點ニ第二斜坑ノ開鑿ニ著手セリ

人道卸坑ヨリハ多少出炭スルニ至レルモ第二斜坑ハ未タ著炭セス

茨城炭礦

石炭 鐵業權者 茨城縣多賀郡松原町 茨城炭礦株式會社

本炭礦ハ從來第一、二坑ニ依テ操業シ來リタルカ八月ヨリ新ニ第三坑、第四坑ノ開鑿ニ著手シ銳意坑内外ノ改善ヲ計リ左ノ諸設備ヲ施行スルニ至レリ

第一坑ニ於テハ前年掘進シタル個所ノ探炭退部ヲ開始シ第二坑ニ於テハ前年ノ計畫ニ基キ本卸連卸及右又卸坑道等ノ掘進ニ努メタルカ八月二十三日不時ノ出水ニ會シ左一坑道ヲ除ク外全部水没スルニ及ヒ十二月中旬ヨリ漸ク左二坑道ノ探炭退部ヲ始ムルニ至レリ第一、二坑ニ於テ増設セル諸機械左ノ如シ

「コルニツシユボイラー」 (汽壓八十封度)

各一臺

「ランカシャーボイラー」 (汽壓八十封度)

二臺

鐵製煙突 (徑三呎九吋、高九十二呎)

一臺

曳揚機 (汽筒徑十吋、行程十六吋、三十六馬力、但本機ハ從來一坑ノ曳揚機ヲ廢シ之ニ替リタルモノ)

一臺

「ジムマ式」セーキングスクリーン (ジーンカー長三十四呎、幅五呎)

一臺

第三坑ニ於テハ第二坑口ヲ去ル東北三百五十四間ノ地點ニ本卸鐵管卸坑道ヲ開鑿シ著炭豫定百二十間ニシテ目下掘進七十間餘左ノ諸機械ヲ新設セリ

「バーチカルボイラー」 (汽壓八十封度)

二臺

「コルニツシユボイラー」 (汽壓七十五封度)

二臺一臺ハ新設中)

鐵製煙突 (徑三呎、高六十三呎)

一臺

曳揚機 (汽筒徑十吋、行程十八吋)

一臺

「スペシヤルポンプ」 (徑十吋、行程八吋)

一臺

第四坑ニ於テハ第一坑口ヲ去ル南東百六十一間ノ地點ニ本卸鐵管卸坑道ヲ開鑿シ著炭豫定百二十間ニシテ目下掘進五十間餘左ノ諸機械ヲ新設セリ

曳揚機 (汽筒徑十二吋、行程八十五馬力)

一臺

「スペシヤルポンプ」 (徑十二吋、行程八吋)

一臺

足尾銅山

金銀銅

鐵業權者 栃木縣上都賀郡足尾町 古河合名會社

坑内電車鐵道ハ通洞地竝横一停車場ヨリ横二停車場ニ至ル單線軌道延長二千二百三十尺ヲ増設セリ堅坑掘下ハ光盛前鑛坑堅坑ニ於テハ下十番坑及下十一番坑間百五十尺ヲ竣成シ通洞地竝以下十一番坑ニ至ル千三百三十尺間ハ捲揚機ノ運轉ヲ開始シ猶掘下工事ヲ續行シ十一月末日十一番坑以下四十二尺ニ達セリ又光盛第二堅坑ハ前年來繼續中ナリシ下四番坑以下六番坑間二百十五尺ノ延長工事ヲ完成シ通洞地竝以下六番坑ニ至ル六百三十四尺間ノ捲揚機ヲ運轉スルニ至リ更ニ下六番坑以下八番坑間百二尺ノ掘下工事ヲ開始セリ

捲揚裝置ノ變更及増設ハ横間歩第二堅坑ハ將來一日六百噸以上ノ搬出物アルヲ豫想シ現在ノ捲揚機ヲ取拂ヒ新ニ三百馬力新捲揚機ヲ取付ケ通洞上二番坑通洞地竝通洞下二番坑通洞下四番坑及通洞下六番坑ニボケットヲ開鑿シスキップ式ニヨリ捲揚ル計畫ニシテ本年二月其開鑿ニ著手シ又前鉈堅坑ニハ從來一ノ捲揚機ヲ使用シ堅坑四間ノ内二間ノミヲ使用セシカ搬出物ノ増加ニ伴ヒ一機ヲ増設シ他ノ二間ヲ利用スルニ決セリ而シテ前者ハ捲揚機ヲ米國ソードパーク會社ニ後者ハ東京石川島製作所ニ各其製作ヲ依頼シ前鉈堅坑捲揚機ハ十二月中大部分到著シ早々据付ノ見込ナリ

扇風機及壓氣機設置坑内通氣ヲ一層良好ナラシムル目的ヲ以テ文象坑口ニ百二十馬力毎分吸風量十萬立方尺ノ「シロッコ」式扇風機ヲ又小瀧坑口附近ニ「インガーソール」會社製「ローグラール」型壓氣機各五百馬力二千六百立方尺三臺ヲ新設セントシ前者ハ前年十二月其据付ニ著手シ四月下旬完成シ後者ハ前年末其基礎工事ニ著手セシカ十二月末其据付ヲ完成セリ

探鑛坑道ノ延長 鑛源開發ノ目的ヲ以テ三十五箇所ノ探鑛坑道ヲ開鑿シ延長合計一萬六千三百三十八尺ニ達シ其成績良好ナリ

鑿岩機工場 鑿岩機ノ使用増加ニ伴ヒ一々之ヲ海外ニ仰クノ不利不便ヲ避ケンカ爲メ鑿岩機工場ヲ設置シ本年末略竣工シタリ本工場一箇月製造能力ハ大約左ノ如シ

約百臺

足尾式鑿岩機

約三十臺

十八番型程度ノモノ

約二十五臺

二十六番型若クハ「ジックハンマー」程度ノモノ

約二十臺

「カーバイト」工場 戰時「カーバイト」ノ價格騰貴ト本山ノ需要トニ鑑ミ一箇月製造能力六千五百貫ノ「カーバイト」工場ヲ新設シ四月下旬工事ニ著手シ十月末日竣工セリ而シテ本工場ハ爐室及變壓機室ヨリ成ル

動力ニ關シテハ前年來工事中ナリシ油力發電所ハ六月竣工シ八月使用認可ヲ得タリ又從來細尾發電所ヨリ足尾方面ヘ送電線容量ハ一萬一千「ボルト」四千「キロワット」ノ設計ナリシニ其需用能力増加セシ爲メ容量ニ不足ヲ生シ六千「キロワット」送電ノ設計ニ改メ從テ送電線電壓ヲ一萬九千「ボルト」トナシ之ニ附隨シテ細尾發電所内ニ二千「キロワット」變壓機四臺内一臺豫備ヲ新設ノ計畫ニ

シテ猶動力ノ需要増加ニ伴ヒ足尾方面各變電所擴張ノ必要ヲ生シ左記各變電所ノ變更或ハ増設ヲナス事トシ前者ト共ニ認可申請書ヲ遞信省ニ提出セリ

間藤變電所ハ從來六百「キロワット」容量ナリシモ送電線電壓變更ト本山變電所擴張ニ伴ヒ之ヲ單ニ開閉所トス

本山變電所ハ從來三千三百「キロワット」ノ容量ナリシヲ間藤變電所ト合併シテ之レヲ四千五百「キロワット」容量ニ擴張セリ

小瀧變電所ハ從來九百「キロワット」容量ナリシヲ擴張シテ二千一百「キロワット」容量ノモノトス
簗子橋變電所ハ從來六百「キロワット」容量ナリシヲ送電線電壓變更ニ伴ヒ之ヲ廢シテ通洞變電所及本山變電所ヲ併合シ單ニ開閉所トシテ存スル計畫ナリ

通洞變電所ハ從來一千二百「キロワット」容量ナリシヲ擴張シ且ツ簗子橋變電所ヲ併合シテ其容量ヲ二倍ニスル計畫ナリ

引田鑛山 金銀銅亞 鑛業權者 枋木縣上郡賀那東大芦村 鋸木縣上郡賀那東大芦村 引田鑛山株式會社

昨年度ヨリ建設中ノ「ハルツ」シツガー「四臺」ハ二月中完成シタルカ猶原動用水力發電所ヲ企畫シ二十五馬力發電機ト共ニ工事中ニ屬ス

幸鑛山 金銀銅 鑛業權者 枋木縣鹽谷郡船生村 兵頭正通

本鑛山ハ前年來順次事業ノ改善擴張ヲ計リ探鑛場ノ増設ヲ行ヒ七月ニ至リ貧鑛處理ノ目的ヲ以テ溶鑛爐「ピルツ」型水筒式圓形徑三十六吋高十一呎一座送風器「ルーツ」式三番型一座ヲ有スル製鍊場ヲ新設セリ

高田高德金山 金銀銅 鑛業權者 枋木縣鹽谷郡藤原村 高田田貞三郎

前年來ノ繼續事業タリシ第三通洞ハ十一月延長四百三十尺ヲ以テ山神鑛ニ達シタルヲ以テ直ニ第二通洞トノ連絡工事ニ著手シ第三通洞引立ハ休止中ノ主要鑛床一號鑛下底探鑛ノ目的ヲ以テ引續キ北進シ豫定延長一千四十尺ノ開鑿工事ニ著手セリ

第三通洞ハ掘進ノ途中四號鑛ニ會シ其鑛況非常ニ佳良ナルヲ認メタルヲ以テ六月以來左右ニ鑛押掘進ヲ爲シ既ニ三百尺ニ達シタルニ益々好況ヲ持續スルヲ以テ九月以來ハ上部ノ探鑛ニ著手シ別ニ本脈下底探究ノ目的ヲ以テ七十尺ノ掘下ケ工事ニ著手スル等銳意事業ノ擴張ヲ企圖シツアリ

又選鑛場ハ從來梅ヶ澤疏水坑口ノミニ設ケタリシカ各通洞ノ發展ニヨリ新ニ第二通洞、第三通洞ノ坑口ニ手選鑛場各一棟ヲ開設シ所屬方面ノ出鑛ヲ處理スルニ便セリ

高德金山 金銀鉛 鑛業權者 栃木縣鹽谷郡藤原村 播磨辰次郎

本鑛山ハ小規模ナル機械選鑛場ヲ新設シ專ラ手選鑛ヲ補足シツツアリ其設備左ノ如シ

八馬力「ボイラー」 一臺 五馬力「エンヂン」 一臺

輕便「ウイルフレー」(自製) 二臺

西澤金山 金銀銅鉛 鑛業權者 栃木縣鹽谷郡栗山村 西澤金山探鑛株式會社

運搬設備ニ付キ本山ヨリ戰場ヶ原及瓜生坂ヲ經テ日光ニ至ルノ間延長九千二百六十六間七分八厘(一〇哩四七)ノ單線無端循環式架空索道工事ヲ五月ヨリ著手セリ竣工期ハ三月ヲ以テ完成ニ至ル豫定ニシテ其搬出量ハ十時間四十噸ヲ扱フモノトス右設備ニ伴ヒ第二發電所増設起業工事ニ著手シ完成ノ上ハ三百「キロワット」ヲ有シ現在ノ七十五「キロワット」ト合シテ諸般ノ作業益々發展ヲ見ルニ至ルヘシ

木戸ヶ澤鑛山 銅 鑛業權者 栃木縣鹽谷郡藤原村 木戸ヶ澤鑛山株式會社

探鑛ニ就テハ五月六番坑、九番坑間ニ第三斜坑二百尺ヲ新設シ六番坑ニ單胴式五馬力電氣捲揚機ヲ据付ケ運搬ニ便シ又八月以來採鑛開坑ニ鑿岩機ヲ併用シテ著シク事業ノ進捗ヲ來スニ至レリ鑿岩機設備左ノ如シ

壓搾機械(ハインガソール式腹胴インベリアルタイプ十號 壓氣量毎分五百九十九立方尺 壓入十封度乃至百封度) 一臺
「インガソールウォータライナー」(十八番型) 八臺

同上 (二十六番型) 四臺

BCR、四三「ジャックハンマードリル」 二臺

BAR、三三「ジャックハンマードリル」 五臺

「ロックドリルストーパー」 一臺

其他通洞八番坑ノ間ニ斜人道ヲ新設シ一般通行ノ便ヲ計リタリ

製鍊ニ於テハ從來ノ設備ヲ變更シ四月ヨリ左記鑄鑛爐ニ依リテ操業セリ

長方型爐 高九呎二吋 幅五呎八吋 一座

丸型爐 高十呎 內徑三呎八吋 一座

以上諸設備ノ擴張ニヨリ從來鬼怒川水力電氣株式會社ヨリ供給ヲ受ケタリシ電力不足ヲ來シタルヲ以テ之レカ増給ヲ受ケ現在ニ於テハ鑛山變壓所ニテ六〇「キロワット」變壓器三臺ヲ据付ケ其二十三馬力ヲ捲揚機、三十五馬力ヲ排水唧筒、五十馬力ヲ製鍊用送風機、百二十五馬力ヲ空氣壓搾機ニ、三馬力ヲ鍛冶用送風機ニ配給セリ

日光鑛山 金銀銅 鑛業權者 栃木縣鹽谷郡船生村 安藤藤之助

第七章 鑛山事業ノ概況 (事業ヲ擴張シ又ハ擴張ニ著手シタル鑛山)

前年末繼續掘下中ノ大堅坑ハ三番坑以下五番坑迄百二十八尺ノ工事ヲ完成シ五番坑ノ掘進ヲ急
キ一號二號等ノ探鑛ニ努力セリ

選鑛ニ就テハ從來ノ機械選鑛場ヲ改善シ取扱鑛量ノ増進ニ努メ左記ノ機械ヲ設置セリ

- | | | | |
|---------------|---|--------------|---|
| 手選帶 | 二 | 「パンチントンミル」 | 一 |
| 「ブレイキクラッシュヤ」 | 三 | 「クロームロール」 | 二 |
| 「エレベーター」 | 三 | 「ドロムメル」 | 八 |
| 自然分粒器 | 一 | 水壓分粒器 | 三 |
| 「ハルツフアインヂッガア」 | 二 | 「ハルツコースチアガア」 | 二 |
| 「ウイルフレイ」汰盤 | 三 | | |

玉ヶ澤鑛山 金銀銅鉛 鑛業權者 栃木縣鹽谷郡藤原村 高橋源三郎

通洞完成後九六大吉鑛ヲ掘進シ通洞地竝ヨリ八十尺ヲ掘下ケ二番坑道ヲ設ケ之レカ掘進中ニア
リ

日向鑛山 銀銅 鑛業權者 栃木縣鹽谷郡栗山村 淺野合資會社

本鑛山ハ五月淺野合資會社ノ有ニ歸シ事業ヲ刷新シ九月第二通洞ノ開鑿ニ著手シテ既ニ二百尺
餘ヲ掘進セリ今後一千尺餘ニシテ目的鑛床ニ達スヘシ

蓮臺寺鑛山 金銀銅滿俺 鑛業權者 靜岡縣賀茂郡生澤村外一 久原鑛業株式會社

前年來重要探鑛個所ニハ二臺ノ空氣壓搾機ニ依リ鑿岩機ヲ使用シ其進捗ヲ圖リツツアリシカ探
鑛個所ノ發展ニ伴ヒ動力ノ不足ヲ來シタルヲ以テ九月中更ニ六十馬力空氣壓搾器一臺ノ増設ニ
著手シ十二月ヨリ運轉ヲ開始シ鑛況ハ益良好ナリ

須崎鑛山 金銀銅 鑛業權者 靜岡縣賀茂郡須崎村 久原鑛業株式會社

前年來銳意探鑛ニ努メタル結果尾竹坑ニ於テ一大鑛床ヲ發見シ探鑛ニ著手スルト同時ニ「ダイヤ
モンド」試錐及上總式試錐ニ依リ銳意其下底ノ探究ニ努メツツアリ

探鑛場ハ漸次好況ヲ呈シ異常ノ發達ヲ爲セリ

奥山鑛山 金銀銅 鑛業權者 靜岡縣賀茂郡南上村外一 三菱合資會社

本山ノ探鑛區域三方面中第一區山下方面ニ於テハ鷹ノ巢坑道地竝ヨリ堅坑ノ開鑿ニ著手シ運鑛
排水ノ爲メ七馬力電氣捲揚機一臺及三十五馬力シンキングタービンポンプヲ設置スヘク準備中
ナリ

第二區第一等方面竝ニ第三區新盛方面ニ於ケル兩通洞ハ前年著脈以來引續探鑛ヲ兼ネ開坑中ナ
リ

- | | | | |
|---------------|----|---------------|----|
| 「ロック」洗滌機 | 一臺 | 鐵格子 | 二臺 |
| 「ブレイキ」式嚙鑛機 | 二臺 | 圓筒篩 | 六臺 |
| 手選臺 | 一臺 | 手選運鑛帶 | 二臺 |
| 「ハルツ」式跳汰機 | 二臺 | 「ハンチントン」磨鑛器 | 二臺 |
| 水壓分粒器 | 二臺 | 「カローコーン」 | 四臺 |
| 六番形「ウイルフレイ」汰盤 | 二臺 | 三番形「ウイルフレイ」汰盤 | 二臺 |
| 「ダイスター」汰盤 | 一臺 | 揚鑛機 | 一臺 |

「ドアー、スライム、シツクナー」 内徑十二尺 一臺 電動機(五〇馬力、二五) 三臺
附屬沈澱池面積二百五十坪(二區ニ分シ) 一個

尙浮遊鑛ノ試験工場ヲ設ケ二十馬力電動機一臺ヲ据付タリ所要電力ノ一部ハ從來他ノ供給ニ俟
チタリシカ其ノ不足ヲ補フカ爲ニ火力發電所ヲ新設シタリ其設備次ノ如シ

「オット」吸入瓦斯發生器 一組 「オット」吸入瓦斯發動機(五〇馬力) 一臺

三相交流發電機(三五キロ) 一臺 石油發動機(三馬力) 一臺

空氣壓搾機 一臺

土肥鑛山 金銀 鑛業權者 靜岡縣田方郡土肥村

從來稼行中ナル小山前鑛小山前鑛小山第三脈及檜澤牛間歩鑛ノ四條ノ外新ニ楠脈ノ開坑ニ著手
シ鑛入坑百五尺ヲ以テ本脈ヲ串通シ目下鑛押ヲ以テ採鑛ヲ兼ネ探鑛中ナリ本脈露頭部ノ延長ハ
約千四百尺餘ニ達シ幅員平均三尺ヲ有ス鑛石ノ品位ハ金十萬分ノ二、三銀萬分ノ一、二ヲ示シ鑛況
優良ナリ

又小山坑ニ於ケル鑛床ノ下底探究ノ目的ヲ以テ坑内豎坑ノ開鑿ニ著手シ深度八十五尺ヲ竣工セ
リ而シテ其開鑿位置ハ中鑛ニ沿フテ掘下セルモノニシテ深度百二十尺ニ到達セハ此坑底ヨリ前
鑛及第三脈ニ向ヒ鑛入坑ヲ以テ貫通ノ豫定ナリ

小山坑ハ海岸ニ近ク至便ノ位置ヲ占ムルモ牛間歩坑及新ニ開坑セル楠坑ハ小山坑ト約二十町ヲ
隔テテ散在シ運搬其ノ他ノ不便尠カラサルヲ以テ是等各坑道ヲ連絡スルノ目的ヲ以テ小山第三
脈南端ノ鑛押坑道ヲ六、七ノ加脊ニ擴大シ且ツ其掘進ヲ急キ右兩坑道ノ下底ニ達スヘク目下進行
中ナリ

小山坑々内豎坑開鑿ニ伴ヒ左記排水設備ヲ完成シタリ

「ラストン」型吸入瓦斯發生器及機關(三〇馬力) 一組 低壓直流發電機 十二臺

電動器直結三聯式圓壩唧筒 一臺

峰之澤鑛山 銀銅 鑛業權者 靜岡縣磐田郡龍山村外一

久根鑛山 銅 鑛業權者 靜岡縣磐田郡佐久間村外一

前年來續行中ノ天城坑開鑿工事ハ益々進捗シ總延長千八百八十六尺ニ達セリ著鑛ノ曉鑛況ノ良好
ナルニ於テハ鑛岩機ヲ使用シ其ノ探鑛ヲ速進セシムルノ計畫ナリ

久根鑛山 銅 鑛業權者 靜岡縣磐田郡佐久間村外一

前年度ニ於テ豫定ノ開鑿工事ヲ完成シタル西向大豎坑ハ第二期工事ニ移リ約二百尺ノ掘下リヲ
爲シ排水設備トシテ下三番坑道ニ四十馬力タービンポンプ一臺ヲ据付ケタリ
通洞選鑛場ニ於テハ從來三寸以下六分以上ノ中塊鑛ハ之ヲ手選ニ附シタリシカ其處理ヲ容易ナ
ラシムル目的ヲ以テ左記ノ機械ヲ新設シタリ

「エープロンコンベヤー」 二臺 「ベルトコンベヤー」 三臺

「トリッパ」 二臺 「バケットエレヴエーター」 一臺

十二馬式三相誘導電動機 一臺

尙貧鑛處理ノ目的ヲ以テ目下機械選鑛場新設ノ計畫中ナリ

寶鑛山 銅亞鉛硫化鐵 鑛業權者 山梨縣南都留郡寶村

三葉合資會社

前年來引續開鑿工事中ノ疏水道ハ既成延長五百九十尺ニ達シ今後百八十尺内外ヲ以テ目的地點
ニ到著ノ見込ナルヲ以テ之ト連絡スヘク二坑道ヨリ豎坑掘下ニ著手スルノ豫定ナリ

老平金山 金 鑛業權者 山梨縣南巨摩郡硯島村

助

本鑛山ハ大正二年三月採掘權ヲ設定シタルモノニシテ前身試掘時代ヨリ探鑛ニ努メタリシモ見ルヘキ施設ナク僅カニ稼行ヲ持續スルニ過キサリシカ大正四年六月探鑛ニ著手シタル新坑ニ於テ非常ニ良鑛床ヲ發見シ茲ニ前途ノ光明ヲ認ムルニ至レリ然レトモ資金ノ關係上充分ノ探鑛ヲナスコト能ハス坑夫數人ヲ使役シ鑛押探鑛ヲ爲シ傍ラ薩摩式搗鑛機ニ依リ姑息的ニ混淆製鍊ヲ施シ一晝夜鑛量五百貫内外ヲ處理シ大正四年中ニ於テ金一貫六百九十匁銀四百二十匁ヲ產出シタリ爾來益鑛況良好ニシテ世人ノ注意ヲ惹キ十月現鑛業權者ノ買收スル所トナリタリ

鑛床ハ古生層ノ粘板岩砂岩中ニ胚胎セル合金銀石英脈ニシテ走向三百三十度傾斜西六十度ヲ示シ其幅一尺乃至五尺ヲ算シ鑛押延長二百尺内外ニ過キス其ノ一部分ニ於テ二十尺以内ノ掘上リ掘下リヲ以テ探鑛セシ個所アリ其ノ引立附近ニ於テハ一小斷層ノ影響ヲ蒙リ鑛況ノ不良トナリタルモアリテ其後ノ狀況詳カナラスト雖モ其進スルニ從ヒ鑛況恢復スヘキモノト認メラル合金銀品位ハ金十萬分ノ六、銀十萬分ノ一ヲ降ラス時トシテハ合金量萬分ノ三ニ達スルモノアリ年內ニ於ケル產出高ハ金八貫七百五十二匁、銀一貫五百二十七匁ニシテ今後探鑛ノ進捗ニ伴ヒ或ハ有數ノ金山タルニ至ルコトナキヲ保セス

神岡鑛山 金銀銅鉛鋅亞鉛 位置 富山縣上新川郡福澤村外三
若鉛重石砒 鑛業權者 三井鑛山株式會社

採鑛 蛇腹及南谷坑下底ニ於ケル内部ノ關係ヲ確ムル目的ヲ以テ前年來引續開鑿工事中ナル鹿間谷新口坑ニ對シ作業ノ進捗ヲ計ル爲メ鑿岩機ヲ使用スヘク「カードナーガバナー」會社製空氣壓搾機一臺ノ設置工事を了リ又下ノ本坑四番坑道ノ下底ニ開鑿中ノ通洞坑ハ其ノ豫定延長五千尺ニシテ之レカ工程ヲ速進セシムルノ目的ヲ以テ鑿岩機ヲ使用スヘク「インガーソル」ラント會社製空氣壓搾機一臺ノ設置工事を了リタリ

選鑛 朽洞選鑛場ニ於テハ從來二臺ノ手選臺ヲ使用シ來リシモ選鑛不充分ナルヲ以テ更ニ一臺ヲ増設シタリ
從來鹿間選鑛場ヨリ產出セル鉛精鑛ハ尙一〇乃至一二%ノ亞鉛ヲ伴ヒ亞鉛精鑛モ亦三乃至四%ノ鉛ヲ伴ヒ相互ノ熔煉ニ不良ノ結果ヲ來スヲ以テ更ニ之ヲ粉碎陶汰シテ其品位ヲ高メ實收ヲ増加スル目的ヲ以テ前年來設置工事中ナリシ再選工場ハ二月完成シ直ニ作業ヲ開始シタリ其設備左ノ如シ

「ドッヂブレーカー」	一臺	「ロール」	三臺
「ハンチントンミル」	三臺	「トロムメル」	三臺
尖函	十四個	「ハルツジツガー」	八臺
「ウキルフレイ」汰盤	八臺	圓汰盤	二臺
「ベルトン」水車	二臺		

茂住方面各坑ノ出鑛量増加ニ伴ヒ茂住選鑛場ニ於ケル從來ノ設備ニテハ不足ヲ告ケ中鑛ノ反覆作業不充分ナルヲ以テ「ウキルフレイ」汰盤一臺及圓汰盤二臺ヲ増設セリ
製鍊 時局ニ依ル海外ノ輸入鑛ヲ處理スル目的ヲ以テ前年來擴張工事を著手シタル製鍊設備ハ其工事ヲ完成シ爾來噸ニ產額増加ヲ見ルニ至レリ其ノ設備左ノ如シ

燒鑛壺(半球形徑八尺)	一四基	精鉛鑛	五座
「パークス」鍋	四個	流鉛鑛	一座
蒸餾鑛	一座		

製鍊設備ノ擴大ニ伴ヒ排煙量増加ノ結果煙塵ノ採收及煙害豫防ノ爲メ從來ノ煙塵室ノ外更ニ煉

瓦積幅十八尺、高七尺、長九十六尺ノ煙室ヲ三區ニ區分シ上部ヨリ無數ノ鐵線ヲ釣り下ケ煙塵ヲ採收スヘキ裝置トナシ既ニ其工ヲ了ヘタリ

前年來計畫セシ亞砒酸採收場ハ下季其工事ヲ完成シ操業ヲ開始セリ

當山產出ノ金銀ハ從來合金銀塊トシテ市場ニ出セシカ近ク電氣精製ヲ實施スル計畫ニシテ之レカ工事中ナリ

其他前年來繼續工事中ナリシ跡津川水力發電所工事ハ著手以來順調ニ進捗シ年末迄ニ土木工事ノ殆ト全部ヲ終レリ又右發電所工事完成ニ先チ動力ノ不足ニ對シ焦眉ノ急ニ應スルノ目的ヲ以テ起工シタル切雲谷發電所工事ハ其ノ工ヲ終ヘタリ其ノ設計左ノ如シ

水路延長	七三四間	使用水量	三個
有效落差	一三五〇尺	理論馬力	四五九馬力

發電力 二四〇キロワット

從來點燈用及金屬熔接用ニ使用セル「カーバイト」ハ近時市場ノ供給不充分ニシテ價格モ從フテ騰貴シ延テ坑夫ノ賃金ニ影響ヲ來スノ虞レアルヲ以テ前記切雲谷水力電氣ヲ利用シ自家製造ヲ爲スヘク計畫シ既ニ工事ノ大半ヲ了レリ

鑛產額ハ海外輸入銀鉛鑛増加ト鹿間ニ於ケル亞鉛精鑛再選ノ結果銀鉛ニ於テ著シク其ノ量ヲ増加セリ

惠比壽鑛山 銅、鉛、錫 鑛業權者 岐阜縣惠那郡經川村

港山坑ニ於テ坑内堅坑ノ開鑿ニ著手シ五馬力電氣捲揚機一臺及「ブランジャー」式五馬力電氣「ポンプ」一臺ヲ設置シタリ

從來ノ選鑛設備不足ノ爲メ選鑛場二棟ヲ増設シタリ其ノ設備次ノ如シ

「ハンチントン」ミル(三呎半)一臺	「ダイスター」汰盤	一臺
「ウイルフレ」汰盤	三臺	十五馬力吸入瓦斯機關 一臺
二十馬力吸入瓦斯機關	一臺(豫備)	十キロワット發電機 一臺

黒川鑛山 銀銅 鑛業權者 岐阜縣加茂郡黒川村

從來ノ選鑛場ノ外新ニ三十五坪ノ手選鑛場ヲ増設シ又曩ニ古鑛ノ製鍊ヲ主ナル目的トシテ設置シタル鎔鑛爐ヲ改築スルノ計畫ニシテ其準備トシテ延長三百二十間ノ煙道敷設工事ニ著手シ引續キ進捗中ナリ

鹽待鑛山 銀銅 鑛業權者 兵庫縣川邊郡東谷村

通洞地竝以上ハ既ニ採掘ヲ了リ曩ニ通洞會脈點ヨリ北方約三百五十尺ノ地點ニ於テ同地竝以下約五十尺ヲ掘下ケ鑛石ノ存在ヲ確認シタルモ排水及運搬設備之ニ伴ハス爲ニ掘下リヲ中止シ前年末ヨリ更ニ下底ノ探鑛ヲ企劃シ右舊堅坑内ニ排水用十馬力電力「タービン」式唧筒一臺同堅坑口ニ素石運搬用五馬力電力捲揚機一臺ヲ設置シ之ニ要スル電力ハ猪名川水力電氣株式會社ヨリ購入シ以テ二月ヨリ何レモ運轉ヲ開始セリ

年末ニ於ケル堅坑掘下リハ通洞地竝以下約百尺ニ達シ其下底ニ於テ南方ニ横坑約百五十尺ヲ掘進シ堅坑ハ今後更ニ百五十尺ヲ掘下クルノ計畫ナリ

生野鑛山 金、銀、銅、鉛、鐵 鑛業權者 兵庫縣朝來郡生野町

本鑛山ニ於ケル太盛銅脈ハ坑道ノ掘進大ニ進ミ六番坑道ノ延伸延長ハ已ニ千三四百尺ニ達シ多量ノ安全鑛量ヲ認ムルニ至リタルヲ以テ來年度ニハ三番坑道準ヨリ六番坑道ニ至ル盛德新堅坑

竝ニ同堅坑中ヨリ直ニ選鑛場ニ達スル横坑道即チ通洞(アヂット)開鑿ノ外二百馬力壓氣機一臺ヲ据附ケ鑿岩機ノ使用ヲ開始スル計畫アリ

金香瀨坑ハ五井堅坑ハ十一番坑道ニテ其操業ヲ中止シ各坑道ヲ鑛押ニ探鑛中ナリ

大正三年以來掘下中ナリシ光榮新堅坑ハ其深サ三百六十尺ニ達セルカ本年二月二百二十尺ノ箇所ニ於テ大丸二番坑道ト貫通シタルヲ以テ探掘セル鑛石ハ直ニ本堅坑ヨリ之ヲ搬出シ得ルニ至レリ來年度ニ於テハ新ニ第十二坑井ニ新堅坑ノ開鑿ニ著手シ目下増設中ナル四十馬力壓氣機一臺ノ取付工事ヲ完成シテ鑿岩機ヲ増加セシムルノ豫定ナリ

又來年度ニ於テハ更ニ本山銅選鑛場改築ノ計畫アリ

銅製鍊ハ昨年來改築中ナリシニ號熔鑛爐三月中其工事全ク完成シ十一月更ニ七噸壺燒爐二臺眞吹床十四臺及「ラト」式五十馬力送風機一臺ヲ増設シ從來ノ眞吹床ハ全部之ヲ廢止セリ

尙錫精製ノ爲メ豫テ研究中ナリシ電氣製鍊ハ愈々之ヲ實施スルコトナリ電解槽五十六個ヲ新設シ本年七月ヨリ操業ヲ開始シテ現ニ好成績ヲ收メツツアリ

錫製鍊滓中ノ「タングステン」ハ更ニ濕式法ニテ之ヲ採取センカ爲メ從來錫製鍊ニ使用シ居タル反射爐ヲ改築シ熔解爐乾澱爐壓搾漏過機各一臺ヲ設置シテ十一月操業ヲ開始シ現ニ石灰化合物トシテ六〇%ノ「タングステン」ヲ製出シツツアルカ其成績良好ナラス

前年六月以來開設中ナリシ三百「キログオルト」アムペヤー「火力發電所」ハ本年四月完成シ尙明年度ニ於テ火力發電設備ヲ増加セシムルノ計畫ナリ

竹野鑛山

金銀 鑛業權者 兵庫縣城崎郡中竹野村 久原鑛業株式會社

本坑ハ四番坑道ノ「鑛押」掘鑿已ニ三百尺ニ達シ又大堅坑ハ四番以下七十尺ニ及ヒ目下四番坑道ノ

探鑛準備中トス

四番坑竝ニ於テハ鑛況甚タ良好ナルヲ以テ將來ハ更ニ五番及六番坑道ヲ順次開鑿スルノ目的ニテ堅坑ノ掘下ニ努ムルト同時ニ一方湧水量ノ激増ヲ慮リ本年五月四番坑道ニ二十馬力三聯成「ランジャヤ」ポンプ一臺十一月五十馬力「ランジャヤ」ポンプ一臺ヲ据付ケ又動力ノ豫備トシテ八月百馬力吸入瓦斯發動機竝ニ八十「キログオルト」アンペヤー「發電機」ヲ増設セリ六番坑道以下ニ於ケル湧水ハ更ニ激増スヘキ見込ナルヲ以テ六年度内ニ七十五馬力堅型「ランジャヤ」ポンプ一臺五十馬力横軸「タービン」ポンプ二臺二十五馬力掘下用堅軸「タービン」ポンプ二臺ヲ増設シ且ツ將來出鑛量激増ノ計畫ニ基キ大堅坑捲揚機ヲ三十馬力「リッヂヤ」ウツド「式」捲揚機ニ變更ノ豫定ナリ鬼神谷坑ハ三番坑道地竝ヨリ堅坑ノ開鑿ニ著手シ百尺ニシテ四番坑道ヲ掘鑿シ更ニ之ヲ繼續シテ本年末ニハ三番地竝以下百六十三尺ニ達セリ而シテ四番坑道ノ鑛押延長ハ百八十尺ニ及ヒ鑛況頗ル良好ナルヲ以テ一部ハ已ニ探掘ヲ開始スルニ至レリ幸ニモ坑内湧水ハ本坑ニ比シ甚タ僅少ナルヲ以テ從來ノ五馬力堅型「ランジャヤ」ポンプ三臺ノ内二臺ヲ廢シテ十一月据置式十五馬力三聯「ランジャヤ」ポンプ一臺ヲ四番坑道ニ開設シ以テ全坑水ノ排水ニ供セリ而シテ四番坑以下ノ坑内水排水ニ對シテハ來年度中更ニ二十馬力堅型三聯「ランジャヤ」ポンプ一臺ヲ増設シ一方堅坑ノ改修ヲ行ヒ十馬力捲揚機ヲ設置スル豫定ナリ

動力ノ全部ハ瓦斯力發電(百五十「キログワット」)ニ據レルカ故障ノ爲メ排水ニ支障ヲ來ス場合少カラス加之將來發展上動力設備ノ擴張ヲ要スルニ至ルヘクサレハ縣下美方郡射添川筋ニ於テ新ニ水力發電所ヲ興サントノ計畫アリト云フ

南谷鑛山

金銀銅 鑛業權者 兵庫縣養父郡南谷村 三菱合資會社

本鑛山ノ銅鑛床ハ鑛層狀ヲナシ其周縁ハ多ク斷層ニテ截斷セラレアルヲ以テ之カ鑛先探鑛ノ目的ヲ以テ本年五月ダイアモンド、ボーリング、竝ニ上總掘法ヲ開始シ四箇所ニ試鑛ヲ爲シタルモ未タ優良ナル成績ヲ得ス

明延鑛山 金銀銅 鑛位 置 兵庫縣養父郡南谷村 鉛錫重石 鑛業權者 三變合資會社

大仙鑛ト龜盛鑛トハ八月相貫通シ全ク同一鑛脈ナルコトヲ確ムルニ至リ其延長既ニ二千尺以上ニ達シタリ而シテ本仙本坑北向堅入ハ二本松鑛ヲ貫通シテ本年末赤榮鑛ニ達セリ其他大洞、百間、頌德、大壽等ノ諸鑛脈モ探鑛ノ進捗トトモニ鑛況益々良好トナリタルヲ以テ赤榮本坑ニ三馬力唧筒一臺ト捲揚機一臺及大仙上部ヨリ鐵索停車場ニ到ル延長千二百尺ノ自働鐵索ヲ新設シ又前年來繼續工事中ナリシ橫行水力發電所ハ年末完成スルニ至リシヲ以テ來年度ニハ大仙本坑口ニ二百馬力ノ壓氣機一臺ヲ増設シ二十餘臺ノ鑛岩機ヲ増加スル豫定ナリ尙來年中ニハ大仙本坑五井ニ堅坑ヲ開鑿シ神子畑ニ錫選鑛場ヲ新設シ更ニ橫行發電所ノ擴張現在ノ水車四百馬力發電機二百「キロワット」ヲ倍加スル筈ヲ行フノ計畫アリ

榎ノ木鑛山 銀銅 鑛位 置 兵庫縣川邊郡東谷村 鑛業權者 平安邦太郎

數百年來殘存セル舊鑛吹キ返ノ目的ヲ以テ字山下ニ於ケル在來ノ製鍊設備ヲ廢止シ新ニ幅三尺長十尺ノ角型熔鑛爐一臺、四番型「ルーツ」送風機一臺、三十馬力吸入瓦斯發動機一臺ヲ開設セリ

福谷鑛山 銀銅 鑛位 置 兵庫縣多可郡松井庄村 鑛業權者 坂本威成

三月第六號鑛中ニ於テ富鑛部ヲ發見セリ而シテ從來ノ探鑛ノ結果ニヨレハ富鑛部ノ走向延長ハ約一百尺餘ニシテ傾斜ニ沿ヒ既ニ約一百尺餘ヲ掘下ケシモ富鑛部ハ猶ホ下部ニ連互セルモノノ如シ其幅員ハ二尺乃至十尺ニシテ其品位頗ル高ク含銀品位萬分ノ四、含銅約七八「パーセント」ノ間

ニアリ

此外坑外ニハ古來ノ舊鑛約三百五十萬貫ヲ存シニ「パーセント」内外ノ銅分ヲ含ミ尙舊坑内ノ充填物中ニモ多量ノ鑛石混在セルヲ以テ更ニ此等ヲモ併セテ處理スル計畫ナリ

龍盛鑛山 銀銅 鑛位 置 兵庫縣神崎郡越智谷村 鑛業權者 加藤武左衛門

本鑛山ハ神崎郡鶴居驛ヲ距ル六里餘ノ所ニアリ坑口マテ平坦ナル道路ヲ通ス鑛床ハ石英粗面岩中ノ裂罅ヲ充填スル銀銅鑛脈ニシテ走向七十四度、傾斜八十五度北ナリ

本鑛山ノ沿革ハ極メテ古ク明治初年ノ頃一度之ヲ探鑛セシ者アリシモ爾來全ク休業中ナリシカ大正三年六月ヨリ再ヒ事業ニ著手シ舊堅坑ノ取リ明ケニ從ヒ其下底ニ於テ幅員二尺乃至四尺ノ黃銅鑛、方鉛鑛、閃亞鉛鑛及少量ノ自然銀ヲ伴ヘル良鑛ノ存在セルヲ確メタリ然ルニ舊堅坑ハ坑内水多クシテ稼行容易ナラサルヲ以テ其翌四年堅坑坑口準ヨリ百二十尺下部ニ當レル福畑村池ヶ谷ノ南岸ヨリ延長約三百六十五尺ノ鑛入坑道ヲ開鑿シ目下其延長約百五十尺内外ニ及ヘルカ明年七月頃マテニハ完成スヘキ見込ナリ

大身谷鑛山 金銀銅 鑛位 置 兵庫縣栗原郡繁盛村 鑛業權者 合名會社 藤田組

福盛脈ハ現時第一坑道、第二坑道及第三坑道ニヨリテ走向ニ沿ヒ約千百尺傾斜ニ沿ヒ露頭ヨリ約三百尺探鑛セラレタルカ鑛脈ハ此間依然トシテ相連續シ鉛幅平均五尺、含金品位百萬分ノ三、含銀品位萬分ノ六ニシテ鑛況益々良好ナリ爲ニ前年中僅ニ月產額精鑛ニテ約二萬貫ナリシモノ十月以來三十萬貫内外ノ劇増ヲ見ルニ至レリ

高津鑛山・安賀母尼 鑛位 置 奈良縣吉野郡十津川村 鑛業權者 栗山藤作

前年ヨリ坑内運搬機關設置計畫中ナリシカ疏水坑道内斜坑口ニ五馬力電力捲揚機一臺又坑外ニ

十馬力石油發動機及七五キロワット直流發電機各一臺ヲ設置シ十一月ヨリ何レモ之カ運轉ヲ開始セリ。

楊枝川鑛山 金銀銅 鑛業權者 三重縣南牟婁郡上川村 宮田恒五郎

多年休業中ナリシ本鑛山ハ前年六月取開ケニ著手シ一月更ニ探掘ヲ開始セリ鑛脈ハ砂岩粘板岩内ニ生成シ脈石ハ方解石ニシテ元來銅鑛ノミヲ産セシモ今同本坑引立ニテ新ニ金銀ヲ含メル支脈ヲ發見セリ同脈ハ著シク石英質ニシテ更ニ數條ノ細脈ニ分裂ス其品位ハ甚タ不同ナレトモ大凡金十萬分ノ五、銀萬分ノ一内外ナリ

上川鑛山 銅 鑛業權者 三重縣南牟婁郡上川村 合名會社 藤田組

本鑛山ノ創業ハ約二百年以前ニ屬シ新宮藩主水野家之ヲ經營シ其當時ニアリテハ非常ナル盛況ヲ呈セシト云フ其後明治初年取明ニ從事セシ以來全ク放棄シアリシヲ前年七月取開ケニ著手シ四五月頃ヨリ探掘ヲ開始セリ

鑛床ハ粘板岩砂岩中ニ生成シタル石英質鑛脈ニシテ主脈三條相並行シ鑛脈ノ性質殆ント相同シ之ヲ南方ヨリ順次一分鑛本鑛木矢谷樋ト稱ス脈幅ハ一尺内外ニ過キサレトモ延長甚大ナルカ如シ舊坑道ハ狹隘ナルヲ以テ探掘旁々主坑道ノミ切擴ケ中ナリ下半年期ニ於ケル產出鑛量ハ毎月約二萬貫内外品位五五%ナルモ來年度ハ之ヲ四五萬貫ニ増加スヘキ豫定ナリ

牧谷鑛山 銀銅亞鉛 鑛業權者 福井縣南條郡山田村 榎尾長右衛門

亞鉛ノ市價騰貴ニ伴ヒ亞鉛鑛販賣ノ目的ヲ以テ五月手選鑛場一棟ヲ建設シ舊選鑛場ヲ廢止セリ銅鑛石ハ新ニ製鍊場ヲ開設シ燒鑛爐四座山下爐一座ヲ開設シテ本年下半年期ヨリ愈々製鍊ヲ開始セリ

尙選鑛場及製鍊場ノ動力及電燈用トシテ二十五馬力吸入瓦斯發動機一臺及三キロワット直流發電機一臺ヲ設置シタリ

竹田鑛山 銅 鑛業權者 福井縣坂井郡竹田村 伊藤藤光孝

前年ヨリ工事ナリシ坑内堅坑捲揚機及排水唧筒ハ五月竣工セシモ疏水坑道以下ノ鑛況良好ナルヲ以テ更ニ機械選鑛場及坑内外ノ動力用瓦斯力發電機施設ノ計畫中ナリ

尾小屋鑛山 金銅鉛 鑛業權者 石川縣能美郡西尾村 合名會社 橫山鑛業部

本山第六脈ハ鑛況益々良好ニシテ現今第一番坑ハ二千五百尺、第二番坑ハ一千八百五十尺、第三番坑ハ一千五百尺、厚身地竝ニ於テハ一千七百尺、太田坑ニ於テハ第一番坑一千五百尺、第二番坑七百五十尺、第三番坑三千尺ノ掘進延長ヲ見何レモ鑛幅四五寸ヨリ五尺ノ間ニ膨縮シ其含銅品位ハ二「パーセント」乃至三「パーセント」ノ間ニアリ波佐羅ニ於テハ五十谷第四脈最モ優良ニシテ其肥大セラル所ハ優ニ四尺ノ厚サヲ有シ縮少スルモ尙五寸ヲ下ラス而シテ坑道ハ五十谷坑地竝ニ於テ千二百尺中切ニ於テ八百尺舊坑地竝ニ於テ一千二百尺ノ延長ヲ有シ鑛石其間ニ連續存在セルヲ以テ今後大ニ望ヲ屬スヘキモノアリ坑外ノ設備トシテハ波佐羅第六番坑ノ產出鑛石ヲ波佐羅選鑛場上部ニ運搬スル爲メ二月捲揚機一臺ヲ設置シタルカ尙同第四番坑準ヨリ第五番坑準ニ至ル捲下機一臺ヲ施設中ナリ更ニ本山選鑛場ノ改築ニ著手シ目下敷地工事中ナルカ明年十二月迄ニハ全部竣成スヘキ豫定ニシテ左記選鑛機械ヲ設置シ毎月鑛石約百萬貫ヲ處理スヘキ豫定ナリ

鐵格子

四 「ブレーキクラッシュヤ」

三五ミリトロンメル

一 「一八ミリトロンメル」

圓形回轉手選盤

五 選鑛帶

自動給鑛機

四	「アリスチャルマー」型「ロール」	一
一	「二ミリトロンメル」	二
一	「ハランズドロール」	二
一	「バンピングスクリーン」	二
四	「十番型」ウイル「ラレ」汰盤	一
二	「オーバストローム」汰盤	二
三	「ドーア式」シツクナー	三
三	「フリーバー」式浮鑛機	三

而シテ前年ニ於テ計畫中ナリシ太田川丸山發電所ハ二月ヨリ工事ニ著手シ明年中ニハ落成スヘキ豫定ニシテ竣成後七百五十「キロワット」ノ電力ヲ本山ニ送電シ又本鋪坑ヲ複線トナシ電車運轉ノ計畫ヲ以テ目下坑道取リ擴ゲ中ナリ尙ホ小松町ヨリ本山迄輕便鐵道十哩半ヲ布設スルノ計畫ニシテ目下土地所有者トノ間ニ交渉中ナリ

尾小屋大谷鑛山

金銀銅 鑛業權者 石川縣能美郡金野村
鉛 鑛業權者 合名社 横山鑛業部

鑛況順調ニ進展シ現時專ラ新竝行脈ヲ探鑛シツツアリ近來排水量増加シ來リ特ニ地表水ノ影響著シク雨季ニ於テハ平均一分時五十五立方尺ヲ算ス依テ五月第三番坑道ニ常用五十馬力「タービン」式唧筒一分時ノ排水量六十立方尺水頭二百三十尺及豫備「ウオシントン」式 $10'' \times 6'' \times 10''$ 各一臺ヲ増設シ坑外ニアリテハ機械選鑛場ノ豫備原動力トシテ二月二十二馬力吸入瓦斯發動機一臺ヲ設置シ九月ニハ更ニ「ドーア」シツクナー「徑三十尺深サ十尺」一個ヲ設置セリ

遊泉寺鑛山

銅 鑛業權者 石川縣能美郡國府村外一
竹内鑛業株式會社

本山坑内ハ六番坑道以上ハ依然トシテ變化ナク昨年ヨリ繼續中ナリシ七番坑道ノ掘進(堅坑口ヨリ一千三十尺下底)モ著シク進捗シ來リ本年三月堅坑ヨリ九十五尺ニシテ錦鑛ニ會シ百二十尺ニシテ四ツ春鑛ニ逢著シ共ニ川上ニ向ツテ掘進ヲ繼續シツツアリ而シテ何レモ鑛況良好ニシテ目下ノ處鑛幅一尺内外ヲ示セリ坑内排水唧筒ハ三聯「プランジャ」式ヲ使用セシモ今後漸次「タービン」式ニ改設スル方針ニシテ六月第三番坑ニ五十馬力「タービン」式唧筒二臺ヲ設置セリ又舊坑弘盛谷ノ開發ニ著手シ九月坑内堅坑口ニ十馬力電力捲揚機一臺ヲ設置スルニ至レリ而シテ坑外ニ於テハ一箇月粗鑛七百萬斤ヲ處分スルノ目的ヲ以テ更ニ選鑛場ヲ増設スルト共ニ左ノ選鑛機械ヲ設置シ九月ヨリ之ヲ運轉ヲ開始セリ

「トロンメル」	十六個	「リデットロール」	一臺
「ハルツ式」デツカー	二十臺	水壓分粒器	二臺
徑五呎「ハンチントン」ミル	四臺	「ベルトエレベーター」	四臺
三十「キロ」同期電動機	一臺		

製鍊場ニ於テハ前年ヨリ工事中ナリシ電氣分銅ハ五月竣成スルト同時ニ直ニ操業ヲ開始セリ目下試驗時代ナルモ其成績極メテ良好ナリ分銅所ニハ電槽七十五槽六十「キロワット」電動發動機一臺、暖房用横置多管式汽罐一臺及英式分銅爐一座ヲ設置セリ

金平鑛山

金銅鉛鋁 鑛業權者 石川縣能美郡金野村
代表者 關戸又助

本山三昧鑛ハ本坑地竝ヨリ約九十尺下底ニ至ルモ鑛況良好ナルヲ以テ運搬及排水用トシテ新ニ縣道地竝ヨリ南向ニ通洞坑ヲ開鑿セリ本年末ニ於テ約七十間ノ延長ヲ有シ今後百二十間ヲ掘進スルニ於テハ鑛脈ニ到著シ得ヘキ豫定ナリ次テ四ツ留鑛ハ本坑地竝ヨリ六十尺下部ニ達シ下底

ニ於テハ約七八寸ノ鉋幅ヲ保チ銅鑛六、亞鉛鑛三、鉛一ノ割合ニ存在シ前途望ヲ屬スルニ足レリ龍門鑛ハ八月ヨリ事業ニ著手シ五十尺ノ下部ヲ探鑛中ナルカ鉋幅一尺アリテ合金十萬分ノ七銅四%其他少量ノ亞鉛及鉛ヲ含有シ鑛況良好ナリ生水鑛亦六十尺下部ヲ探鑛中ナルカ一尺ノ鉋幅ヲ有セリ初音鑛ハ從來坑内滯水シテ稼行不可能ナリシモ七月該堅坑ニ電力タービン式唧筒七馬力半一臺、同二馬力半一臺及四馬力一臺合計三臺ヲ設置シ排水ニ從事シ八月ヨリ探鑛ニ著手セリ

岩淵鑛山

銅亞鉛

鑛業權者

石川縣能美郡中海村外一塚榮吉

鑛脈ハ第三番坑地竝即チ疏水坑道準ヨリ百五十尺下底ナル第五番坑道ニ於テ最モ肥大ナル所約四尺ノ鉋幅ヲ有シ北東向引立亦約二尺ノ鉋幅ヲ示シ鑛況益々良好ナリ而シテ前年ヨリ工事中ナリシ機械選鑛場ハ七月竣成シ直ニ操業ヲ開始セリ其結果產額ハ前年ニ比シ銅鑛約七割、亞鉛鑛ハ八倍ノ増加ヲ示スニ至レリ

若松鑛山

格魯謨鐵

鑛業權者

鳥取縣日野郡多里村三好榮三郎

從來五箇ノ鑛塊中一號鑛塊ハ殆ント探鑛シツアリ四號鑛塊ハ昨年發見セシモノニシテ鑛況佳良ナリ格魯謨鐵市價ノ騰貴ニ加ヘ鑛況良好ナル爲メ五割強ノ増額ヲ見ルニ至レリ

荒金鑛山

銅

鑛業權者

鳥取縣岩美郡新宮村板垣仁吉

從來開鑿中ナリシ大切坑ハ九百尺ニシテ鑛脈ニ會シ現ニ左右ニ向ツテ鉋押探鑛中ナルカ鑛況良好ナリ

鰐淵鑛山

銀銅亞鉛

鑛業權者

鳥根縣鏡川郡鰐淵村鰐淵鑛業合資會社

本鑛山ノ鑛石ハ亞鉛鑛及銅鑛ノ互ニ夾雜セルモノニシテ大正四年度迄ハ亞鉛鑛モ多クハ之ヲ銅鑛トシテ處理セシモ亞鉛鑛ノ價格昂騰セシ爲メ極力之ヲ分離採取スルコトニ努メタル結果トシ

テ銅鑛產額ハ三割五分ヲ減少セシモ亞鉛鑛ハ之ニ反シ二十六割ノ劇増ヲ見ルニ至レリ尙本鑛山ニ於テ特ニ注意スヘキハ近年坑内各所ヨリ石油ノ湧出スルコトニシテ就中三號坑奧硅酸鑛ノ罅隙ヨリ湧出スルモノハ其量一日約三斗内外トス

因ニ曩ニ隣接試掘鑛區ニ於テ數箇所ニ網掘式試錐ヲ數箇所ニ行ヒタルコトアルモ其際ニ於テハ毫モ油氣ヲ認ムルコトナカリキ

山佐鑛山

水鉛

鑛業權者

鳥根縣能美郡山佐村竹内實義

在來選鑛場ニ使用セシ石油發動機ヲ廢止シ五月三十馬力船用笛形式汽罐一臺及直立不凝縮單式汽機一臺ヲ設置シテ舊來ノ貯鑛ヲ處分セリ又坑内ニ於テハ湧水量漸次増加スルニ至リタルヲ以テ坑内滯水中ノ處五月排水用トシテ七馬力スヘッシャル式唧筒一臺ヲ新設シ現ニ探鑛ニ從事シツツアリ

大森鑛山

金銀銅鉛

鑛業權者

鳥根縣能美郡大森町合名會社藤田組

永久坑内佐藤鑛ノ下底永久坑道準ヨリ約千尺ノ下部ニ於テ良鑛ヲ掘リ當テ現時主要探鑛場ハ多ク此部ニ存在ス前年來改設工事中ナリシ百馬力電氣捲揚機ハ其完成ト共ニ八月以來永久八番兩坑道間上下八百尺ノ運搬ヲ行ヒツツアリ猶ホ本堅坑ハ永久坑道準以下千二百尺マテ降下スル豫定ナルモ此際特ニ工事を急カンカ爲メ五十馬力空氣壓搾機ヲ新設シ鑿岩機五臺ヲ使用スルノ計畫中ナリトス

試掘鑛登錄第三三五號

鉛亞鉛蒼鉛

鑛業權者

鳥根縣能美郡赤屋村外一森西ウイリアムス合資會社

鑛床ハ花崗岩中ニ胚胎セル正規鑛脈ニシテ走向北六十度東南ニ約四十度南東ニ斜下シ鉋幅約一尺トス而シテ鑛石ハ閃亞鉛鑛及黃鐵鑛ヨリ成ル

五月新ニ機械選鑛場ヲ開設シ之カ動力トシテ十五馬力吸入瓦斯機關ヲ据付ケ九月一萬〇五百二十一貫ノ亞鉛鑛ヲ處分セリ

試掘鑛登録 銀銅亞鉛 鑛業權者 島根縣鏡川郡鰐淵村 代表者 長 與 程 三

前年十一月頃ヨリ堅坑ノ開鑿ニ著手シ一月六馬力汽力捲揚機ヲ据付ケ採鑛ニ著手セリ

堅坑ハ現ニ深サ約九十尺ニ達セリ

第七番坑ノ鑛況良好ニシテ六月同坑四號下リニ五馬力電力捲揚機一臺ヲ増設シ鑛石運搬ノ便ヲ加ヘタルカ本鑛山ノ經營方針ハ命脈ノ永續ヲ圖ルニアレハ此際特ニ該富鑛部ノ採掘ニ努ムルカ如キコトナク寧ロ從來採掘ノ價值ナカリシ第四番坑以上ニ於ケル品位劣等ナル酸化粉鑛ノ產出ニ努メツツアリ而シテ一面安價ナル水力電氣購入ノ便ヲ得テ原動力ノ供給意ノ如クナリタルヲ以テ前年開坑シタル堤迫堅坑ニ排水用トシテ四百十馬力「ブランジャ」式唧筒一臺ヲ設置シ尙第七番坑方面ニ於テハ今後鑿岩機ヲ使用スル計畫ニテ現ニ六十馬力空氣壓搾機一臺ヲ据付ケツツアリ又粉鑛ノ產出増加シ來リタル爲メ製團機一臺、生鑛吹十尺爐一座、附屬煙突一基増設ノ計畫アリ明年度ハ本鑛區ノ西部長野方面ニ於テ更ニ金剛試錐ヲ爲ス豫定ナリ

山手鑛山 銀銅亞鉛 鑛業權者 岡山縣久米郡神目村 田 源 三 郎

新堅坑方面ノ取開ケ殆シト終了セルヲ以テ六月十一番坑道ト大堅坑下部トヲ貫通セシメ更ニ大堅坑方面ノ取開ヲ開始シタリ尙前年度ヨリ繼續開鑿中ナル大切坑ハ目下同坑竝ニ十一番坑道ノ兩方面ヨリ掘進中ナルカ其間猶ホ餘ス所七八百尺内外ヲ存セリ二月五番坑口西北方ナル舊坑三八坑ノ取開ヲ行ヒシニ其結果幸ニ意外ノ良鑛ヲ發見シ鑛產額ハ前年ニ比シ七八割ノ増加ヲ見タ

リサレハ新ニ二十五馬力吸入瓦斯發動機及十五「キロワット」發電機各一臺ヲ設置シ此外三八堅坑ニ三馬力電氣捲揚機一臺、十一番坑道ニ三馬力電氣捲揚機二臺、七馬力半「タービン」唧筒一臺ヲ増加セリ將來ハ更ニ新堅坑ヲ二百尺延長シ以テ大堅坑大座元トノ貫通ヲ計リ其掘鑿ニハ鑿岩機ヲ使用シ益々下部ノ發展ヲ期ス

坪井鑛山 銀銅 鑛業權者 岡山縣久米郡大井西村 荒手鑛業株式會社

十數年以前ニアリテハ縣下屈指ノ鑛山ナリシカ下部ノ鑛況思ハシカラス爲ニ一時事業中止ノ已ムナキニ至リタルモ前年末再ニ事業ニ著手シ今回ハ主トシテ上部ニ著眼シ數個ノ新坑ヲ開鑿シ尙舊坑ノ取開ニ從ヒ幸ニモ數個ノ小富鑛部ヲ發見セシカ鑛況概シテ良好ナリ

茂美尾鑛山 銀銅亞鉛 鑛業權者 岡山縣眞庭郡美和村 日下部合資會社

本鑛山ハ現鑛主ノ買收以來從來ノ姑息ナル操業方法ヲ廢シ積極的ノ操業ニ移ルト共ニ新坑々内上部ニ中段坑道ヲ開鑿シ下部掘リ下リ探鑛等著々坑内ノ進展ヲ計リテ各所ニ富鑛部ヲ發見シ爲メニ一箇月產出鑛量一萬貫内外(品位七—八%)ニ達シ大ニ好成績ヲ收ムルニ至レリ

別所鑛山 銀銅 鑛業權者 岡山縣上房郡皆部村 荒手鑛業株式會社

前年度ハ龍王坑ノ全盛時代ニシテ一躍重要鑛山ノ列ニ入りシモ從來ノ鑛床ハ殆ント掘リ盡シタルヲ以テ專ラ別所坑草谷坑及金尾坑等各舊坑ノ取明及探鑛ニ從ヘリ此等ノ鑛床ハ何レモ粘板岩中ニ生成シタル正規鑛脈ニシテ比較的長キ延長ヲ有シ嚮望ノ價值アルモノト察セラル就中別所坑ハ嘗テ相當ノ出鑛ヲ見又金尾坑モ坑内頗ル廣クシテ昔時盛ニ稼行セシモノノ如シ舊坑排水用トシテ十二月五馬力直立式汽罐及唧筒各一臺設置ニ著手シタリ

金生鑛山 銅 鑛業權者 岡山縣英田郡吉野村外一 伊 之 助

前年家探鑛中ナル櫻坑第四番坑道ニ於ケル新鑛床ヲ發見シ鑛況漸次良好ニ向ヒ前年度ニ比シ約二倍ノ鑛產額ヲ見ルニ至レリ運搬設備ニ於テハ九月三番坑々口ニ斜面馬捲揚ヲ開設シ一日約三千貫ノ揚鑛ヲ爲ス

來年度ニ於テハ第三番坑ト夫ヨリ百四十尺ノ下部ニ存スル第四番坑道トヲ連絡セシメテ更ニ第四番坑南引立ヲ探リ又現在ノ馬捲揚ヲ機械力ニ改メ出鑛量ヲ増加セシムル計畫ナリ

佐野鑛山 銀銅鉛鋅 鑛位 置 岡山縣赤松郡美村外二 鉛硫化鐵 鑛業者 三井鑛山株式會社

本鑛山從來ノ操業ハ單ニ磁硫鐵鑛ノ採掘ニ止マリシモ前年來亞鉛鑛ノ市價好況ナルヲ以テ三月新ニ亞鉛鑛採取ノ計畫ヲ立テ五月ヨリ其工事ニ著手シ十二月之レカ完成ヲ見ルニ至リタルヲ以テ來年度ニ於テハ一日四十噸ノ含亞鉛銅鑛ヲ處理スル豫定ナリ新設工作物左ノ如シ

鐵鞍クリップ式架空索道

探鑛場ト選鑛場間ノ運鑛用ニシテ延長六、三〇〇尺運搬鑛量一〇時間四〇噸

機械選鑛場

「ブレイキクラッシャ」	一臺	回轉手選臺	一臺
鐵格子	一臺	「ベルトロール」	一臺
「ハンチントンミル」	一臺	「ウイルフレイ」汰盤	六臺
「ハルツ」式汰機	四臺	「バットル」	二臺
尖箱	五個	「ジングス」磁選鑛機	一臺

以上機械選鑛ニ於テウキルフレー及ヒ圓汰盤ヨリ產出スル含鐵亞鉛鑛ハ浮流選鑛場ニ送り選別スルモノニシテ其設備ハ

分離函	一個	亞鉛沈澱槽	一個
硫酸石灰沈澱槽	一個	母液槽	一個
貯液槽			

以上諸設備ノ原動力トシテ百十五馬力吸入瓦斯機關一臺三相交流七十五「キロボルトアンペア」發電機一臺ヲ設置シ選鑛機械運轉用トシテ二十五馬力誘導電機一臺磁選用トシテ五馬力直流發電機一臺選鑛用水繰返シ用及乾鑛用トシテ堅型汽罐一臺ヲ新設セリ

吉岡鑛山 銀銅鉛鋅 鑛位 置 岡山縣川上郡吹矢町 砒化鐵 鑛業者 三菱合資會社

本鑛山ノ本山ニ於テ稼行スル鑛脈ハ本鑛東車道鑛冠替鑛五年鑛千代鑛千歲鑛及ヒ藤鑛等ニシテ就中冠替鑛五年鑛千歲鑛ノ三條ハ現今最モ主要ナルモノニシテ本山現產額ノ大半ハ主トシテ之レヨリ出テ冠替鑛及ヒ千歲鑛ハ共ニ鑛入運搬坑道準ヨリ三百七十五尺ノ下底ニ於テ何レモ幅員八寸乃至一尺含銅品位約四「パーセント」ヲ示シ鑛況依然良好ナリ

又五年鑛ハ二月第四番坑道準ノ冠替鑛上磐ニ於テ新ニ發見シタルモノニシテ既ニ走向ニ沿ヒテ約二百尺傾斜ニ沿ヒテ四番坑道準以上約百二十五尺ノ間明カニ其存在ヲ確認セリ走向約東西傾斜北六十度幅員平均一尺五寸含銅品位約五「パーセント」ニシテ現時最上鑛ヲ產出ス第四番坑道準及ヒ各切上リノ狀況ヨリ之ヲ推ストキハ今後尙相當ノ鑛況ヲ維持シ各鑛脈中依然重要ナル地步ヲ占ムヘキモノト察セラル

第二鑛坑々口ニ据付計畫中ナル百二十馬力空氣壓搾機ハ明年三月頃迄ニ之レヲ完成シテ鑛岩機十五臺ヲ運轉セシメ明年度ハ少シク出鑛量ヲ増加スル豫定ナリ

又選鑛ニ於テハ現ニ「ダキスター」淘汰盤ニテ處理シツツアル細粉鑛ヲハ明年ハ之ヲ浮游選鑛法ニ

考

空氣壓搾機用

ドア・シックナー」及「サンド

從來送風用ノ七番型ルーツブロワーニ臺ヲ百馬力タボーブローワーニ改

ルヲ以テ明年三月以降百馬力「タボーブロワー」ハ熔鑛爐ノミニ之ヲ使用シ眞吹床及燒鑛用ニハ別ニ七番型「ルーツブロワー」一臺ヲ設置スル豫定ナリ

而シテ現在鑛產額ハ平均素銅月産六十八佛噸ナルモ明年度ハ之ヲ八十三佛噸ニ増加スル豫定ナリ尙ホ本鑛山附屬製鍊所トシテ本鑛山及幸盛鑛山ノ鑛石三千佛噸ヲ主トシ靜岡縣奥山鑛山、山梨

縣寶鑛山茨城縣高取鑛山、静岡縣龍川鑛山、兵庫縣生野鑛山產出ノモノ及ヒ多少ノ買鑛ヲモ製鍊スルノ目的ヲ以テ明年新ニ香川縣香川郡直島村風戸浦ニ一箇月金、銀、銅鑛五千七百佛噸鉛鑛三百佛噸ヲ處理シ金五貫、銀百五十貫、銅四十萬斤、鉛十五萬斤ヲ製出スヘキ製鍊所ヲ開設スル豫定ナリ其設備ノ大要ヲ舉クレハ左ノ如シ

原動機

原動力ハ反射爐ノ餘熱ヲ利用シ汽罐型式未定三百五十馬力ノモノ三座ヲ据付ケ内二座ヲ常用トシ一座ヲ豫備トシ機關ハ「カーチス」式蒸氣「タービン」トシ五十「サイクル」二千二百「ボルト」容量五百「キ

ロ交流發電機ニ直結セシメ又起重機及電車等ヲ運轉スル爲メ二千二百ボルト百二十馬力誘導電動機ニヨリ二百二十五ボルト容量七十五キロノ直流發電機ヲ運轉セシムル計畫ナリ

幸盛鑛山 銀銅 鑛業權者 岡山縣川上郡吹矢町 三菱合資會社

本鑛山ノ鑛床ハ東西ニ相竝行セル三大鑛塊ヨリ成リ各鑛塊ハ其中走向ニ沿ヒ約二百尺幅員最大部ニ於テ四十尺ノ間明カニ鑛石ノ存在ヲ認ムヘク而シテ其合銅品位ハ一・八%内外ニシテ現時ノ最下底ナル三番坑道ニ鑛入坑道準以下三百四十尺ニ於テモ各鑛塊ハ其幅員合銅品位及ヒ延長等毫モ減少ノ傾向ナク既知安全鑛量已ニ約三十六萬佛噸ニ達シ將ニ本山タル吉岡鑛山ト主客其位置ヲ顛倒セントスルノ勢力ヲ示シツアリ現ニ幸盛坑口ニ据付計畫中ナル百二十馬力空氣壓搾機ハ明年三月頃迄ニ之ヲ完成セシメ以テ鑛岩機十一臺ヲ運轉シ現在平均月額粗鑛(平均合銅品位一・八パーセント)八百佛噸ハ明年之ヲ千佛噸ニ増加セシムヘキ豫定ナリ

日吉鑛山 銀銅 鑛業權者 岡山縣後月郡野村 伊之助

本山現時ノ稼行箇所ハ捲揚坑口ヨリ既ニ三百六十餘尺ノ下底ニシテ排水及運搬上不便渺カラサルヲ以テ明年三月ヨリ約三箇年間ノ豫定ヲ以テ井原町小田川東岸ヨリ新ニ延長約三千六百尺ノ橫坑道ヲ開鑿スル豫定ナリ而シテ本坑道ハ單ニ現稼行地ノ排水及ヒ運搬便ヲ計ルノミナラス大著本鑛ヲ追窮シ以テ日吉本鑛ノ探鑛ヲ兼スルモノトス

三原鑛山 金銀銅 鑛業權者 岡山縣後月郡三原村 合名會社 宇部宮鐵業本部

既設瓦斯力二十馬力捲揚機ハ四月之ヲ改造シ同捲揚車道ハ第五番坑道以下第六番坑道マテ之ヲ延長スル目的ニシテ現ニ其工事中ナルカ一月中ニハ貫通スヘキ見込ナリ尙下底ノ探鑛ニ努メ目下第七番坑道ヲ開鑿シテ東西ニ探鑛シツアリ而シテ明年度ニ於テハ一方坑内ノ各部ニ殘留ス

ル貧鑛ノ探掘ニ努ムルト共ニ他方更ニ坑外ニ堆積アル廢石中ヨリ合銅品位一・六%以上ノ鑛石ヲ盛ニ拾收スル計畫ナリ

大弘鑛山 銅 鑛業權者 岡山縣英田郡江見村 日本金屬株式會社

十一月現鑛業權者讓受後坑内外ノ整理ニ著手シ四月前權業者ニ於テ据付ケタル斜面捲揚機ヲ廢止スルノ目的ヲ以テ新ニ鑛坑ノ開鑿ニ著手シ掘進已ニ百尺ニ及ヒ全延長四百尺ヲ以テ著鑛ノ豫定ナルカ大正六年上半年中之ヲ完成セシメ其捲揚動力用トシテ三十馬力吸入瓦斯機關一臺ヲ据付ケ從來ノ斜面捲揚坑道ハ之ヲ人道ニ使用スル豫定ナリ

瀬戸鑛山 銅 鑛業權者 岡山縣英田郡江見村 合名會社 藤田組

本鑛山ハ十一月現鑛業權者ノ有ニ歸シタルモノニシテ操業方法等未タ確定セサルモ既設坑道ノ大部ハ降雨或ハ出水ニ會シテ地表水ノ滲透甚ダシク排水容易ナラサルヲ以テ讓受後直ニ舊大坑道ノ取開ケニ著手シ其完成ヲ待ツテ同坑道準以下ノ探鑛ニ著手スル豫定ナリ

探鑛ハ目下本坑北福及東坑ノ三箇所ニ於テ之ヲ行フ北福鑛ハ現今鑛況最モ佳良ニシテ北幅六尺ニ近ク今後尙望ヲ屬スルニ足ルモノノ如シ

帶江鑛山 銀銅鉛 鑛業權者 岡山縣都窪郡中庄村 合名會社 藤田組

本鑛山ノ出鑛量ハ前年ニ比シ約二割ヲ減セルモ附屬大島製鍊場ニアリテハ支山ナル大身谷鑛山及棚原鑛山ノ出鑛並ニ買鑛量ノ増加セルカ爲メ其取扱鑛量却テ前年ノ一倍半強ニ達シ產銅額ハ二倍強ニ増加スルニ至レリ

支山金盛鑛山ハ久シク休業中ナリシモ新ニ鑛坑ヲ開鑿シ十月同鑛坑ニ五馬力電力捲揚機及五馬力電力吊下唧筒各一臺ヲ設置シ探鑛中ナリ

前年來工事中ナリシ製鍊場擴張設備ハ熔鑛爐及送風機等既ニ竣工セシモ其原動機關ノミ獨リ輸入延著ノ爲メ今猶ホ工事中ニ屬セリサレト明年二月中ニハ全部完成スヘキ見込ナリ

檜銀井谷鑛山 銀銅 鑛業權者 岡山縣和氣郡神根村 上田源三郎

前年ヨリ繼續セル取開工事ハ漸次進捗シ鑛坑ニ於テハ其下底既ニ二百十尺迄ノ取開ヲ終リ今後更ニ六十尺ヲ掘進シテ新ニ四番坑道ヲ開鑿スヘキ計畫ニテ目下銳意之ニ從事シツツアリ

又三番坑道ニ於テハ北部五百尺ノ取リ開ケヲ完了シ引續キ更ニ四百尺ヲ掘進シ終リ將來之ヲ舊天盛鑛ニ連絡セシメ以テ一號鉋及粘土鉋ヲ採鑛スヘキ豫定ナリ

廣岡鑛山 銅 鑛業權者 廣島縣深安郡中條村 宇部宮鐵業本部

休山中ナリシカ銅價騰貴ノ爲メ前年末再ヒ事業ニ著手シ舊殘鑛ノ採鑛及探鑛ニ從事シ二三ノ鑛塊ヲ發見シテ鑛泥稍良好ナリ尙ホ四番坑道以下ハ水没中ニ屬スルヲ以テ目下之カ取開ケ準備中ナリ

千人原鑛山 銀銅亞鉛 鑛業權者 廣島縣甲奴郡吉野村 大阪亞鉛鑛業株式會社

十二月現鑛業權者買收以來銳意探鑛并ニ採鑛準備ニ努メツツアリ鑛泥稍佳良ナルカ故ニ來年三月頃迄ニハ更ニ簡單ナル機械選鑛場ヲ開設セン豫定ナリト云フ

坂田鑛山 銅 鑛業權者 廣島縣神石郡來見村 石原廣道

坑内排水用トシテ二月二十五馬力瓦斯發動機十五キロワット發電機十馬力タービン唧筒各一臺ヲ新設シ銳意下部ノ探掘ニ努メタルノ結果鑛量前年ヨリ二乃至三割ヲ増加スルニ至レリ來年中ニハ五馬力タービン唧筒五馬力輕便捲揚機各一臺設置ノ豫定ナリ

奈賀野鑛山 銀銅鉛 鑛業權者 廣島縣神石郡永渡村 弓削田千吉

本鑛山ハ將來製鍊ヲ開始スルノ目的ヲ以テ目下山下吹床一座開設中ナリ

飯盛鑛山 銅硫化鐵 鑛業權者 和歌山縣那賀郡麻生村 中江種造

銅價暴騰以來鑛況亦佳良ニシテ其鑛產額ハ前年ニ比シ著シキ増加ヲ示セリ
第三坑道準以上ハ既ニ過半其採鑛ヲ終リタレハ現時ハ主トシテ殘鑛探掘中ニ屬シ主要採鑛場ハ寧ロ第三坑道以下ニ在リトス

前年ニ於テ著手セシ第四坑道ヨリスル鑛坑ノ開鑿ハ新ニ鑛岩機使用ノ計畫ニテ一時之ヲ中止シ下半年ニ於テハ專ラ送電線ノ引キ込ミ其他機械据付ケノ準備工事ニ從ヘルカ明年度ニ於テハ別子式鑛岩機三臺ヲ試用シ再ヒ事業ニ著手スル豫定ナリ

此外前年末以來工事中ナリシ鑛山ト院線名手驛間ノ架空索道ハ二月之ヲ完成シ紀ノ川水運ト相俟ツテ本山運鑛上多大ノ便益ヲ得ルニ至リタリ

東山鑛山 銅硫化鐵 鑛業權者 德島縣麻植郡東山村外三 久原鐵業株式會社

本鑛山ノ全盛時代ハ已ニ經過シタルカ如クナルモ持部廣石及本山ノ各坑ヲ通シ延長約二里ニ互ル鑛床中未知ノ部分尙尠カサルヲ以テ年末五十馬力インガートンランド空氣壓搾機一臺ヲ増設其結果空氣壓搾機總計馬力數二百五ヲ算スシテ鑛岩機ノ使用ヲ増加シ探鑛ノ進捗ヲ圖ルト共ニ採鑛區域ヲ擴張シ更ニ敷地疏水坑口(本山七番坑道準附近ニ鑛夫長屋ヲ新設シ本山ノ下底ニ操業スル坑夫ヲシテ同坑口ヨリ出入スルノ便ヲ得セシメ以テ明年ハ本年ニ比シ月產鑛量約十萬貫ヲ増シテ六十萬貫ヲ產出セシム豫定ナリトス

高越鑛山 銅硫化鐵 鑛業權者 德島縣麻植郡三山村 合名會社 高田商會

二月鑛業權移轉後銳意探鑛ノ結果鑛況益佳良ナルヲ確メタレハ急速ニ選鑛場ノ改築及坑外運搬

道路ノ開鑿既設里道ヲ介シ湯立驛ニ連絡スル延長一里六町ノ車道ヲ行ヒ十一月ニハ月産鑛量一躍四十萬貫ノ多キニ達シ同月更ニ坑内ニ於テ「ダイヤモンド」式試錐ヲ開始スルト共ニ新ニ選鑛場ヨリ湯立驛ニ至ル延長約三哩ノ架空索道及鑿岩機其他動力用水力發電所設置ノ計畫ヲ爲スニ至レリ

中西鑛山 銅硫化鐵

位 置 德島縣三好郡三繩村
鑛業權者 大日本人造肥料株式會社

坑内排水及捲揚用原動力ハ十二月ヨリ四國水力電氣株式會社ヨリ其供給ヲ仰クニ至リタルニヨリ自家用發電機關ハ之ヲ廢止セリ

產出鑛量ハ下半季ニ於テ右設備變更ノ爲メ一時減少セルモ明年度ハ月産鑛量ヲ十萬貫以上ニ増加セシムル方針ナリ

三好鑛山 銅硫化鐵

位 置 德島縣三好郡三繩村
鑛業權者 坂本威郎

本鑛山ノ鑛床ハ結晶片岩中ニ於ケル層狀鑛脈ニシテ走向ニ沿ヒ延長甚タ長ク品位亦良好ナルモ脈幅僅ニ二寸内外ニ過キス現今三箇ノ坑道中三好坑ハ六百尺ニシテ鑛脈ニ會シ之ニ沿ヒ東ニ六百尺西ニ三百尺ヲ掘進シ二番坑ハ七百尺ニテ同シク鑛脈ニ會シ東ニ二百尺西ニ三百尺ヲ掘進セリ三番坑ハ六月二番坑地竝ヨリ四百尺ノ下底ニ新ニ開坑シタル新坑ニシテ千三百五十尺ニシテ鑛脈ニ會スヘキ見込ナルモ既ニ八百五十尺ヲ掘進セルヲ以テ來年三月頃ニハ著鑛ノ豫定ナリ六月五十馬力瓦斯發動機空氣壓搾機及「ライナー」鑿岩機各一臺ヲ開設シ二番坑ニ使用セシカ八月之ヲ三番坑ニ移シ十月更ニ鑿岩機一臺ヲ増設セリ

金山鑛山 銅硫化鐵

位 置 愛媛縣喜多郡出海村
鑛業權者 三菱合資會社

本鑛ハ其殘存鑛量既ニ殆ント盡キタルモ其竝行脈タル大島鍾ハ漸ク發展シ來リタルヲ以テ十一

月其掘下リ斜鑛ニ五馬力捲揚機一臺及三馬力排水唧筒一臺ヲ設置シテ採鑛ヲ開始セリ右大島鍾ト舊三號坑ノ鑛床トハ其間約千二百間ヲ隔ツルモ其走向及本鍾トノ關係略相一致セルニヨリ其間鑛床ノ存在ヲ期シ一意専心採鑛ニ努メツツアリ

西ノ川鑛山 銅

位 置 愛媛縣新居郡大保木村
鑛業權者 住友左衛門

前年ヨリ開鑿中ニ係ル榮新坑内斜坑口ニ於テ鑛石搬出用水衝式捲物機一臺ヲ設置シ下半季ヨリ之ヲ運轉スルニ至レリ其用水ハ坑内水ヲ以テ之ニ充ツ

製鍊送風用動力不足ノ爲メ五月水力發電所ニ於テ六十八馬力「ペルトン」式水車一臺ヲ増設シ既設水車ヲ豫備トナセリ

二見鑛山 銅

位 置 愛媛縣西宇和郡町見村
鑛業權者 田中兵衛

坑内ハ前年ニ比シテ鑛況益良好ナル爲メ運搬力ヲ増加シ且ツ通氣ヲ佳良ナラシムル爲メ「ライナ」式鑿岩機ニ依リ小字道十ヨリ新ニ長富坑ヲ開鑿シ年末六百三十二尺ニシテ本坑ト貫通セリ尙坑内探鑛ニ鑿岩機一臺又地表探鑛ニ「ダイヤモンド」ボーリング一臺ヲ使用スルニ至レリ

右鑿岩用原動力トシテ六月五十馬力可搬式汽力機關一臺及三十馬力空氣壓搾機一臺ヲ設置シタリ

梶谷鑛山 銅硫化鐵

位 置 愛媛縣西宇和郡日土村外一
鑛業權者 明治製煉株式會社

大坑坑道以上ニ於テ盛ニ採鑛シタルモ丸尾鑛帶ハ底部湧水甚タシク爲ニ之ヲ採鑛セサリシモ排水設備整ヒ探鑛ノ結果一番坑道北向ニ於テ其厚サ一尺幅員二百尺ニ達シ前途多大ノ望ヲ屬スヘキモノアルヲ知ルニ至リタレハ大堅坑六十尺ヲ掘下シテ二番坑道ヲ開鑿シ之ヨリ丸尾鑛帶ニ向テ掘進中ナリ而シテ在來ノ排水及捲揚用石油發動機ハ之ヲ廢止シ吸入瓦斯發動機及發電機ヲ据

付ケ捲揚及ヒ排水ノ動力ハ全部電力ニ變更スル計畫ナリ

出石寺鑛山 銅硫化鐵

位 置 愛媛縣喜多郡豐茂村
鑛業權者 石原久之助

鑛況益々良好ナルニ依リ更ニ鑛帶ノ下部ヲ探鑛センカ爲メ本坑ノ西方ニ當リ本坑地竝ヨリ二百尺ヲ下リ疏水坑道ノ開鑿ニ著手シ九月ヨリ鑛岩機一臺ヲ使用シテ之ニ從ヒ年末ニ於テ既ニ約五十間ヲ掘進セリ今後八十五間ニシテ鑛帶ニ達スヘキ豫定ナリ

高浦鑛山 銅硫化鐵

位 置 愛媛縣西宇和郡三崎町
鑛業權者 久原鐵業株式會社

前年ヨリ引キ續キ探鑛中ナル沼浦鑛ハ鑛況良好ニシテ其厚サ肥大ナル所ニアリテハ優ニ六尺五寸ヲ存シ平均四尺五寸トス含銅品位ハ一七五%乃至二六五%ノ間ニアリテ其質本坑内鑛帶ト同シク硫酸鑛ナリ此高浦鑛床ヲ探掘センカ爲メ地表ヨリ第三堅坑ヲ開鑿シ本坑三番坑道地竝以下百尺ニ達シテ茲ニ百尺坑道ヲ開坑シ鑛入ニ進ムコト七十尺ニシテ鑛床ニ會シ更ニ錘押シニ三百尺ヲ掘進セリ又本鑛床ニ沿フテ掘鑿シタル第四斜坑ハ延長二百五十尺ニシテ百尺坑道ニ貫通シ尙ホ掘下リ掘鑿中ナリ其他本鑛床ニ向テハ目下頻リニ探鑛中ナルカ鑛帶ノ上部ニ於テハ鑛入坑道ヲ開鑿シ五十尺ニシテ著鑛シ更ニ錘押シニ二百五十尺ヲ延長シ現ニ其引立ヲ掘進シツツアリ坑外設備ニアリテハ五月鑛石及廢石捲揚用トシテ第三堅坑ニ五馬力單胴捲揚機第四斜坑ニ同型ノ捲揚機各一臺ヲ設置シ年末第二發電所ヲ新設シ原動用五十馬力瓦斯發動機一臺及三十七キロワット半ノ發電機一臺ヲ据付ケ更ニ坑内百尺坑道ニハ五馬力定置三聯「ブランジャー」式唧筒一臺五馬力吊下二聯「ブランジャー」唧筒一臺ヲ新設セリ尙ホ明年度ハ坑道開鑿用トシテ新ニ「ライナー」七番型鑿岩機二臺ジャックハンマードリル二臺及其原動力トシテ五十馬力空氣壓搾機一臺ヲ設置シ第四斜坑ニ十五馬力複胴捲揚機一臺第五斜坑ニ五馬力單胴捲揚機一臺及第一五坑道ニ定置

三聯「ブランジャー」ポンプ一臺ヲ設置スル豫定ニシテ明年度ニ於テハ千百萬貫ノ鑛石ヲ產出スル豫定ナリ

大峯鑛山 銅硫化鐵

位 置 愛媛縣西宇和郡川之石町
鑛業權者 明治製煉株式會社

第五層ノ探鑛ニ著手シタルヲ以テ產額前年ニ比シ約三割七分ノ増加ヲ示セリ更ニ其北部ニ於テ新鑛帶發見ノ目的ヲ以テ第四通洞坑ヲ掘進セルカ其延長約七百尺ニシテ坑口ヨリノ總延長ハ既ニ三千五百尺ノ長キニ達セリ其引立ハ厚サ約四尺ノ縞狀硫化鐵鑛ニシテ鑛況益々良好ナルカ故ニ第四通洞坑奥部ハ複線軌條トナシテ大ニ運搬ノ便ヲ圖リ且ツ斜坑索道ヲ延長シテ之ヲ六番坑道ニ達セシメタリ

又近來坑内湧水量漸ク増加シ來リタルヲ以テ五番坑道ニ十馬力電氣三聯式「ブランジャー」唧筒一臺六番坑道ニ四馬力電氣「タービン」唧筒一臺ヲ設置スルニ至レリ尙明年度ハ更ニ第四通洞ヲ延長シ下底ニ於テハ新ニ第七番坑道ヲ開鑿シ尙第六番坑道附近ノ鑛石及廢石捲揚用トシテ六番坑道ニ電氣捲揚機ヲ設置スルノ計畫ニシテ一箇年五百萬貫内外ノ鑛石ヲ產出スル豫定ナリ

柳谷鑛山 銅

位 置 愛媛縣西宇和郡喜來村
鑛業權者 矢野三郎

本鑛山ニハ數個ノ舊坑ヲ存シ明治四十年頃一兩年間稼業ヲ試ミ舊堅坑ノ西方縣道附近ニ於テ金剛試錐ヲ行ヒ深サ二百二十尺ニシテ厚サ約一尺五寸品位三%乃至四%ノ鑛床ヲ確認セシモ其後鑛業界ノ不況ニ會シテ全ク休業中ナリシカ三月復タ取開ニ著手シ既設「コルニッシュ」式汽罐二臺ヲ修理シテ舊堅坑口ニ十二馬力汽力捲揚機一臺同堅坑内ニ九馬力「ウォシントン」式唧筒二臺ヲ設置シテ舊坑ノ取開ケ及堅坑ノ掘下ケニ從ヒ十月ヨリ多少ノ出鑛ヲ見ルニ至リタリ尙明年ハ二十「キロワット」瓦斯力發電所ヲ設置シテ動力ハ悉ク之ヲ電力ニ變更セシムル豫定ナリ

市ノ川鑛山

安質母尼

位 置 愛媛縣新居郡大生院村
鑛業權者 株式會社 市ノ川鑛業所

安質母尼ノ市價依然好況ヲ維持セシヲ以テ前年ニ比シ殆ント二倍ノ精製安質母尼ヲ產出スルニ至レリト雖モ下半年期ニアリテハ鑛況不況ニ陥リ爲ニ舊採掘跡ニ充填セシ廢石ヲ二番粗鑛トシテ處理スルノ已ムナキニ至リ而カモ猶ホ豫定ノ處理鑛量ヲ得サルヨリ支那鑛石ヲ購入シテ製鍊ニ附シ以テ其缺ヲ補ヘリ

前年來繼續中ナル大盛坑内掘下リ探鑛ハ下底百二十尺ノ開鑿ヲ終リ更ニ之ヨリ東西ニ掘進中ナルカ之レカ捲揚及排水用トシテ二十五馬力電氣捲揚機及二十馬力大塚式電氣唧筒各一臺ヲ設置セリ

又前年度ニ於テ計畫セル機械選鑛場ハ十月完成セルカ設備ノ概要ヲ舉クレハ大略左ノ如シ

嚙鑛機

「クロームロール」

一

「トロンメル」

跳汰機

二

「オイルフレイ」汰盤

「オバーストローム」汰盤

一

森田式汰盤

一

尙ホ手選鑛滓并ニ機械選鑛場ヨリ出スル鑛尾ハ其品位二番粗鑛ニ匹敵スヘキモノアルヲ以テ十二月更ニ油選鑛場ヲ開設シテ目下之カ試驗中ニ屬セリ
而シテ之等諸設備ノ原動用トシテ四十七馬力「ペルトン」水車二臺及ヒ三十五「キロワット」發電機一臺ヲ設置セリ

尙製鍊ニ就テハ前年中處理鑛量ノ増加ニ伴ヒ熔鑛爐二座、反射爐一座、精製爐一座及ヒ之カ送風用トシテ七馬力半扇風機一臺ヲ増設セルモ年末ニ於テハ市價ノ暴落セルト原鑛ノ供給充分ナラサ

ルトニ因リ僅ニ熔鑛爐二座、反射爐一座及精製爐一座ヲ使用シ居ルニ過キス
別子銅山 銅 位 置 愛媛縣宇摩郡別子山村
鑛業權者 住友 吉 左 衛 門

本鑛山ノ探鑛ハ目下第三通洞ヲ中心トシ其下部八番、九番兩坑道ヲ最モ主要ナルモノトシ明年度ニ於テハ全產額ノ約四分ノ一ハ之ヨリ產出セシムル豫定ニシテ第九番坑下部ニ向テハ目下探鑛準備中ナリ

第十四番坑道ハ探鑛ヲ兼ネ探鑛準備ノ目的ヲ以テ第四通洞ヨリ東部約三千尺ヲ掘進セルカ來年度ニ於テハ現在著手中ノ同坑切リ上リヲ上部十三番坑道ニ連絡セシメ更ニ十四番坑道ヨリ掘下リ新坑道ヲ開鑿シテ下部ノ探鑛ニ著手セントス

永ク休坑ニ委シタル復津坑ハ年末ヨリ二番坑道ノ取開ケニ著手セルカ明年度ハ坑口ヨリ二百五十尺ノ地點ニ於テ四百二十尺ノ掘下リヲ行ヒ鑛追ニ探鑛ヲ行フ計畫ナリ

探鑛法トシテハ新ニ長壁法ヲ加味セル新法ヲ開始シ鑛岩機ノ使用ト相俟ツテ著シク探鑛費ノ低減ヲ見ルニ至リ明年度ハ更ニ別子式鑛岩機六十臺ヲ増加シ愈鑛岩機ノ利用ヲ盛ナラシメントス
又年末ヨリ探掘跡充填法トシテ第八番坑道ニ於テ先ツ試驗的ニ山取坪探掘ヲ開始シ以テ大ニ充填費ノ節減ヲ期セントス

前年竣成セル大堅坑ハ既ニ第十番坑道迄本式摺セ工事ヲ完成セルカ尙ホ上部ニ向ツテ工事繼續中ナリ其他坑内設備トシテ十馬力電氣捲揚機第十一番坑第五號掘下リ鑛石及揚水用自働捲下機(郡坑ト第三番坑間連鑛用及扇風機第十四番坑道換氣用)ヲ設置セリ

製鍊ニ於テハ生鑛處理ノ増加ニ伴ヒ粉鑛量ノ増加ヲ見ルニ至リタルヲ以テ八月燒鑛鍋二座ヲ増設シ尙ホ前年來工事中ナリシ東北熔鑛爐三座幅六尺長二十四尺同型モノハ二月完成セルカ之カ

附屬設備トシテ更ニ三十馬力電力捲揚機一臺、五十馬力水胴用電氣唧筒一臺、十馬力「マツトコムペアー」一臺及五十馬力鑛煙稀釋用電力扇風機一臺ヲ新設シ此等諸設備ノ原動用トシテ五百馬力「バブコック、エント、ウイル」コックス「水管式汽罐」一臺ヲ増設セルモ未タ以テ足レリトセス明年度ハ更ニ七百五十「キロワット」汽力發電機關一臺ヲ増設スル豫定ナリコットレル式鑛煙脫塵法ハ從來百立方尺ニ對スル設備ヲ以テ試驗中ナリシモ前年末之ヲ一萬立方尺ノ設備ニ改メ引續キ目下盛ニ試驗ヲ繼續シツツアリ

此外現ニ計畫中ノモノハ目下掘進中ナル十四番坑道ヨリ產スル鑛石ヲ處理センカ爲メ端出場山ニ假選鑛場ヲ設ケ尙本山產出デカワ鑛選鑛ノ目的ヲ以テ東平ニ油選鑛場ヲ開設シ以テ一日約一萬貫ノ鑛石ヲ處理セントスルニアリ

次ニ磷酸肥料製造工場ハ全ク第二期工事ノ完成ヲ告ケ現在一箇月鑛石二十七萬貫ヲ使用シ過磷酸肥料九萬俵、配合肥料六萬俵ヲ製出シツツアリ

新居鑛山 銅 位 置 愛媛縣新居郡加茂村 鑛業權者 久原鑛業株式會社

前年末改設シタル製鍊設備ハ二月ヨリ其操業稍順調ニ向ヒ年末ニ於テハ粗銅月產額一萬斤以上ニ達セルヲ以テ來年度ハ更ニ容量二千貫、燒鑛鍋一座、二十五馬力吸入瓦斯機關一臺、四番型送風機一臺ヲ増設スル豫定ナリ

龍王鑛山 銅 位 置 愛媛縣新居郡大保木村 鑛業權者 靜

第四坑道下部ノ探鑛ヲ開始シ約百二十尺ノ斜掘下リヲ行ヒ尙引キ續キ掘進中ナルカ明年度ハ四坑道ノ下部ニ第五坑道ヲ開鑿シ鑿岩機ヲ使用スル豫定ナリ

探鑛ハ五月ヨリ第三坑道及第四坑道間三十五尺ノ間ニ於テ之ヲ行ヒ既ニ鑛石百三十萬貫ヲ採掘

セリ

前年中起工セル鑛山新兵衛港間二萬五千尺ノ安全索道竝ニ選鑛場索道終點間ノ補助自動索道ハ共ニ十月ニ至リテ竣工シ又之レカ動力トシテ新兵衛港ニ五十馬力瓦斯機關一臺ヲ設置セルカ是亦同時ニ竣工セルヨリ同月直ニ運轉ヲ開始セリ

白瀧鑛山 銅 位 置 高知縣土佐郡大川村 鑛業權者 宇生合名會社

前年起工セシ本山支山(大川及樅ノ木鑛區)間ノ安全クリップ式延長約二哩及輕便式延長約八百尺ノ各架空索道竝ニ延長約六百間ノ軌道ハ何レモ年末竣工ヲ告ケタルヲ以テ明年ヨリ大川鑛區ニ於テ毎月約二十萬貫ヲ出鑛セシムヘキ豫定ナリ

尙三島索道株式會社ト提携シテ本鑛山ヨリ銅山川筋ヲ經テ西豫海岸三島町ニ至ル通計延長約十四哩ノ架空索道ヲハ明年上半期中ニ新設開通セシメ以テ大ニ鑛產物及需給品ノ運搬費ヲ節減シ尙ホ鑛產額ノ増加ニ伴ヒ多少賣鑛ヲ行フ方針ナリ

赤金鑛山 銀銅 位 置 兵庫縣栗原郡繁盛村 鑛業權者 石原久之助

製鍊休止中ナリシカ再ヒ製鍊ヲ開始セリ

高島炭鑛 石炭 位 置 長崎縣西彼杵郡高島村外一 鑛業權者 三菱合資會社

蠣瀬坑 砥先方面ノ發展ニ伴ヒ運搬施設ノ變更改善ヲ促カサレ在來ノ捲揚機械ニ更フルカ爲一、月戸前十八尺層上一片四卸ニ交流五十馬力電動機及捲揚機械一臺、四月砥先二十九卸ニ五十馬力電氣捲揚機械一臺及六月砥先水平坑道ニ三十馬力電動「エンドレス」機ノ据付ヲ了リ運搬ノ利便ヲ増セリ又採掘區域ノ擴大ニ依リ年初ニ於テ扇風機竝ニ排水唧筒ノ改設ヲ行フ等擴張的施設尠カラサルモ不幸ニシテ七月當時ノ採掘場タル砥先方面ニ坑内火災起リ同方面ノ大部分ヲ密閉スル

ノ止ムナキニ至リ爲ニ出炭ノ激減ヲ來セリ而シテ火災個所取明ケ工事ハ明年ニ入り著手ノ豫定ナリ

二子坑 坑内主要運搬機トシテ前年末ヨリ胡麻上二片ニ起工セシ百馬力電氣捲揚機ハ一月完成シテ二卸五卸方面ノ運炭至便トナレリ又胡麻六卸方面採炭區域ノ發展ニ伴ヒ從來ノ「ウインチ」ニテハ不充分ナルニ至リシヲ以テ之ヲ三十馬力電氣捲揚機ニ改ムルコトトシ十月据付ニ著手シ年末完成運轉ヲ開始セリ

前年ニ於チ「マーカス」式炭篩機一臺ヲ据付選炭ノ便ヲ圖リシカ四月更ニ八時直立單汽笛汽機付「デッカード」式水洗機一臺ヲ増設シテ操業ノ便ヲ増セリ尙將來ノ發展ニ應スル爲明年初ニ於テ大型「マーカー」式一臺ノ据付工事ヲ起ス豫定ニシテ竣工ノ曉ハ選炭上ニ多大ノ效果ヲ來スヘシ以上ノ外主要水平坑道ト同一地竝ニ於テ端島坑ト連絡シ運搬ノ便ヲ得ヘク十月全長三百六十間ノ豫定ヲ以テ坑道二條ノ開鑿ニ著手シ年末四十五間ヲ進工セリ

尙發電所ノ出力ハ現在直流二百五十「キロ」三臺、交流五百「キロ」二臺ナルモ端島坑内外ノ電力ヲ海底「ケーブル」ニヨリ二子ヨリ送電スル計畫ナルヲ以テ明年更ニ交流千「キロ」發電機ヲ増設シ之ニ附屬スル一切ノ汽鑛、汽機等ノ設備ヲ完成セントス此工事ニシテ完成ノ曉ハ所謂動力集中ノ實ヲ擧ケ操業上多大ノ效果アルヘキヲ疑ハス又坑内ノ發展ニ伴ヒ漸次風量ノ不足ヲ來スヘキヲ以テ近ク四百馬力扇風機一臺ヲ増設シ且運搬力ヲ増大ナラシムルノ目的ヲ以テ胡麻卸及十八尺層ニ百馬力電氣捲揚機各一臺新五尺層其他採掘用トシテ五十馬力捲揚機械一臺ヲ新設シ且選炭力ノ増加ヲ圖ランカ爲二百五十噸能力ヲ有スル選炭機一臺ヲ新設セントス

端島坑 前年九月十二尺層ノ下位ニ厚サ一尺二寸、二尺、二尺三寸、二尺七寸ノ四枚ヨリ成ル新炭層

ヲ發見シタルヲ以テ十二尺層上一片、一片ヨリ切下リ坑道ヲ開鑿シ何レモ著炭七月ヨリ一部ノ採掘ヲ開始セリ而シテ該開鑿工事竝ニ斷層涉等ノ爲三月百立方呎ノ「インガン」ランド空氣壓搾機ヲ設置シ鑿岩機ヲ使用セリ尙大正六年ニ於テ戸先胡麻五尺層採掘ノ目的ヲ以テ切昇リ坑道ヲ開鑿シ著炭ノ上ハ百馬力捲揚機ヲ設置スヘク又坑内外ニ用フル電力ハ之ヲ二子交流發電所ヨリ海底送電線ヲ布設シテ給電ヲ受クルコトトシ落成ノ上ハ從來ノ發電機ヲ撤シ交流電動機ヲ据替フヘク明年六月竣工ノ豫定ナリ

崎戸炭礦 石炭

位置、置 長崎縣西彼杵郡崎戸村
鑛業權者 九州炭礦汽船株式會社

福浦坑ニ於テハ戸先方面採掘區域ノ發展ニ伴ヒ從來ノ捲揚機ニテハ能力不足ナルヲ以テ坑内三箇所ニ三十馬力電氣捲揚機械各一臺ヲ新設シ又十片以下排水ノ便ヲ圖ル爲又卸左十七片ニ六十馬力電氣唧筒ヲ設置シ從來四箇所ニ散在セシ唧筒座ヲ撤廢セリ尙千「キロワット」「バーソン」式蒸汽「タービン」一基ヲ設置シ九月ヨリ運轉開始ノ運ニ至リシノミナラス同機増設ニ伴ヒ海岸唧筒座ニ五十馬力電氣渦卷循環式唧筒一臺ヲ増設シ此處ヨリ發電所ニ至ル間ニ内徑一尺五寸ノ鐵筋「コンクリート」管一線ヲ布設シ從來使用中ノ八吋管二線ト共ニ冷汽機ニ給水セリ

淺浦坑ニ於テハ前年來繼續施工中ノ上風堅坑開鑿ハ一月初六百四十四尺餘ニシテ著炭シ二月初ニ至リ豫定ノ深サ六百八十二尺ニ達シ九月築壁工事ヲ終レリ而シテ上風堅坑ノ著炭前既ニ下風堅坑々底ヨリ上風堅坑々底ニ向ヒ石炭層中ニ目貫開鑿ヲ始メ上風堅坑ノ竣工ト共ニ貫通シ爾來主要坑道ヲ掘進シ年末ノ總延長約六百二十間ニ達セリ

松島炭礦 石炭

位置、置 長崎縣西彼杵郡松島村
鑛業權者 松島炭礦株式會社

大正三年著手シタル外浦堅坑開鑿工事ハ「セメンテーション」法ノ成績良好ニシテ第一、第二堅坑共

全部開鑿及煉瓦巻工事ヲ完成シ以來兩坑共坑道ノ掘進中ニシテ明年ニ於テ捲揚裝置、選炭機据付工事ヲ了リ一日千五百噸ヲ產出セントス

内浦方面ニ於テハ第一坑山ノ神區域ノ五尺層探掘ノ目的ヲ以テ二月ヨリ運搬通氣ノ兩坑道開鑿ヲ行ヒ十二月末五尺層ニ到達シ又第二坑三尺層及第三坑三四尺層殘炭柱探掘ノ目的ニテ十月水力土砂充填設備ニ著手シ明年一月末完成ノ豫定ナリ

福島炭鑛

石炭

鑛業權者

長崎縣北松浦郡福島村
村井炭礦合名會社

本卸及又卸ノ延長今ヤ八百間ニ及ハントシ此上掘進スルニ於テハ汽力排水困難ヲ來スノミナラス坑外ニ於ケル夜間作業ノ便ヲ啓キ且納屋、社宅等ノ火災ノ危險ヲ尠カラシメンカ爲坑内外ニ電氣設備ヲ行フコトトシ六月發電所基礎工事ヲ起シ其竣工ヲ俟テ直ニ百二十馬力ハイネ水管式汽罐二基(口徑三呎九吋高サ百二十呎鐵板煙突附屬)二百五十馬力堅型複式汽機一臺、百六十KV A三相交流發電機(電壓〇・二〇V、電流四二・二、周波數六〇)一臺其他發電用諸機械ヲ据付ケ又卸ニ四十馬力高壓電動タービン唧筒二臺十馬力五馬力電動タービン唧筒各一臺本卸ニ三馬力電動トラックブランチヤー唧筒一臺ヲ設置シ又坑外ニ在リテハ洗炭用トシテ十馬力電動タービン唧筒一臺ヲ設置シ坑外事業用及社宅納屋用トシテ三十二燭光乃至十六燭光電燈六百五十個ヲ架設シ十二月中全部ノ工事ヲ竣成セリ

玖珂鑛山

金銀銅重石

鑛業權者

山口縣玖珂郡桑根村
田中鑛業株式會社

前年ニ於テ選鑛場ニ各種ノ機械ヲ増設シ能力ノ増大ヲ圖リシカ重石鑛ノ市況益々活氣ヲ呈シタルニ促カサレ更ニ其規模ヲ擴張スルノ機運ニ際會シタルヲ以テ左ノ機械増設、沈澱池築造工事ヲ行フコトトシ三月起工七月完成爾來本規模ニ依リテ操業シタル結果處理鑛量著シク増加シ前年ニ比シ四倍強ノ產額ヲ見ルニ至レリ尙選鑛場ニ用フル動力ニ補給センカ爲近ク根笠川上流ニ約

八十馬力ノ水力發電所ヲ設置スルノ計畫ヲ立テ目下其ノ設計中ニ屬ス

磁選機

一臺

10' x 4' プレーキクラッシャー 一臺

10' x 7' プレーキクラッシャー 一臺

三十四馬力瓦斯「エンデン」 一臺

三十五馬力瓦斯「エンデン」 一臺

三呎六吋徑「ハンチングトンミル」 四個

大形「フレリステーブル」 四臺

小形「フレリステーブル」 三臺

五「キロ」直流「ダイナモ」 一臺

燒鑛爐 一基

喜和田鑛山

銅錫重石

鑛業權者

山口縣玖珂郡北河内村
栗村敏顯

前年以來選鑛場ノ設備著々充實シ著シク重石選鑛能力ヲ増進シタルシカ尙不充分ノ點アリ種々考究ノ結果更ニ左ノ機械ヲ設置シ之カ爲從來流出シタル細微ノ鑛粒モ多クハ採取シ得ルニ至リ操業上利セシ所尠カラス

仕上「ジッガー」

一臺

「グライインディングバン」 三臺

乾鑛爐(反形射)

一基

西山式船用吸入瓦斯發動機(純正馬力二) 一基

尙前記機械ノ外長五十四尺幅十八尺深四尺八寸ノ沈澱池ヲ築設セリ

金越鑛山

銅重石

鑛業權者

山口縣玖珂郡桑根村
代表者 稻村乙助

從來ノ選鑛場ニ於テ使用ノ原動力ハ三十五馬力吸入瓦斯發動機ニ依リシカ故障續發シ他ノ機械ニ在リテモ屢々修繕ノ必要ヲ生シ爲ニ操業意ノ如クナラサリシヲ以テ更ニ吸入瓦斯發動機(五十馬力)一臺ヲ据付ケ且ツ「プレー」ヲブリーカー「一臺、六呎「ハンチングトンミル」一臺ヲ増設シ大ニ操業ノ利便ヲ増セリ

川井山鑛山

銅鉛亞鉛

鑛業權者

山口縣阿武郡生雲村
古河合名會社

六月現鑛業人ノ經營ニ移リシ以來探鑛竝ニ探鑛ノ目的ヲ以テ四番坑道下底六十三尺ノ所ニ新ニ五番坑道ノ開鑿工事ヲ起シ延長約二百尺ニシテ所期ノ鑛床ニ到著シ又動力ノ改良ヲ企テ從來ノ汽力ヲ廢シ山口電燈株式會社大井發電所ノ給電ヲ用ヒ之ニ伴テ四番坑道ニ容量三千立方尺ノ水溜ヲ新設シ新ニ四十五馬力電氣タービン唧筒二臺ヲ据付クルニ及ヒ大ニ排水能力ヲ増加シ且製鍊送風ノ爲亦三十五馬力電動機ヲ改設運轉スルニ至レリ此他新ニ手選臺ヲ設ケテ精鑛品位ヲ高メ且ツ亞鉛鑛選別ノ利便ヲ増セシコト大ナル等各般ノ施設ニ互リ改善セラレタルモノ尠カラス爲ニ鑛產類ハ前年ニ比シ約三倍ノ増加ヲ見ルニ至レリ尙明年ニ於テ現今稼行中ノ川井山四番坑道ノ東西各二千尺ノ探鑛坑道ヲ開鑿シ川井山ノ東西ニ併行スル數條ノ新鑛脈ヲ探ラントスルノ計畫アリ之カ開鑿工事竝ニ探鑛上使スル鑛岩機ノ動力トシテ近クインガール、ランド、會社製六十馬力壓氣機ヲ新設セントシ又製鍊現設備ノ豫備竝ニ増產ノ目的ヲ以テ徑三尺五寸ノ熔鑛爐壹臺及真吹爐二座ヲ増設シ此送風機關トシテルーツ式六番形送風機一臺及五十馬力電動機一臺ヲ新設セントスルノ計畫アリ之等工事ノ竣工豫定期ハ明年五月ニシテ完成ノ上ハ大ニ本鑛山ノ面目ヲ一新スルニ至ルヘシ

重德鑛山 銅重石

鑛業權者 山口縣大津郡日置村
代表者 池内聰一郎

從來選鑛操業ハ總テ手選ニ依リシ爲坑内ノ發展ト共ニ全部ノ鑛石ヲ處理スルコト能ハサルニ至リシヲ以テ前年末機械選鑛場ノ設置ニ著手シ二月一ト通リノ設備完成運轉ヲ開始スルニ至リシカ處理鑛物ノ好況ハ此設備ヲ以テスルモ尙能力ノ不足ヲ感スルニ至リ五月更ニ原動機竝ニ選鑛機械ノ増設ヲ行ヒ九月完成セリ而シテ各坑内ノ主要坑道ヨリ研捨場及精鑛場ニ至ル軌道延長九百四十間ヲ敷設シ大ニ操業ノ利便ヲ増シタル結果產額ノ激增ヲ見ルニ至レリ

東見初炭礦 石炭

鑛業權者 山口縣厚狹郡宇部村
鑛業權者 藤本 閑作

前年來施工中新斜坑五ツ段坑道ハ豫定ノ開鑿ヲ終リ該坑道ヨリ分岐スル大派坑道モ二百五十間ヲ開鑿シ明年四月中著炭ノ豫定ナリ而シテ新斜坑方面ノ發展ニ備ヘンカ爲從來ノ蒸汽唧筒ヲ撤廢シ五十馬力電氣タービン唧筒二臺ヲ据付ケ之ヲ主腦唧筒トナシ局部排水用トシテ尙十五馬力五馬力電動唧筒各四五臺ヲ設ケ又五ツ段坑道ト大派坑道トノ分岐點ニ五十馬力電氣エンドレス捲機ヲ据付ケ五ツ段炭ノ運搬ニ供シ且ツ大派坑道著炭ノ上ハ更ニ同様ノ設備ヲ爲シテ大派炭ノ運搬ニ便スル豫定ナリ之等工事完成ノ曉ハ從前ニ比シ出炭倍加ヲ見ルニ至ルヘシ以上ノ外堅坑方面ニ於テモ大派層中段ノ蒸汽唧筒ヲ廢シ各百二十馬力ノ電氣タービン唧筒二臺(内一臺ハ豫備トス)ヲ据付工事ヲ行ヒ明年一月運轉ヲ開始スルニ至ルヘク又五ツ段本卸左十四片前ニテールロープ式十三吋蒸汽捲揚機ヲ据付ケ且ツ上層大派左十六片下ニ十二吋蒸汽エンドレス捲機竝ニ第二斜坑口ニ九吋蒸汽捲揚機ヲ増設シ運搬ニ便セリ

第二沖ノ山炭礦 石炭

鑛業權者 山口縣厚狹郡宇部村
鑛業權者 渡部 祐策

近來漸次採掘場ノ擴張スルニ伴ヒ坑内運炭竝ニ排水施設ニ不便ヲ感スルニ至リシヲ以テ坑外ニ十五吋橫置式捲揚機一臺坑内ニ大派用十四吋雙汽笛橫置式エンドレス捲機一臺五ツ段用雙汽笛橫置式エンドレス捲機一臺ヲ新設シ大派坑内ニ於テ二臺ノ蒸汽唧筒ヲ廢シテ十五馬力五馬力三馬力ノ各「ブランドレス」捲機一臺竝ニ豫備トシテ十五馬力電氣タービン唧筒一臺ヲ設置シ五ツ段坑内ニ於テモ蒸汽唧筒二臺ヲ撤シテ三馬力及一馬力ノ電氣ブランドンシャー唧筒各一臺ヲ据付ケ操業上ノ利便ヲ増セリ

尙創業以來繼續事業トシテ施工中ノ海面埋立工事ハ約二千二百坪ヲ埋立テ明年中ニハ既定第一

期計畫全部ヲ完了スル豫定ナリ

高田炭礦 石炭 鑛業權者 福岡縣粕屋郡勢門村外一

十一月勢門村附近ニ存在スル上層二組炭層(厚八寸六分)下層切土炭層(厚四寸)ノ兩層採掘ノ目的ヲ以テ新ニ運搬斜坑及排氣堅坑ヲ開坑シ斜坑ハ坑口ヨリ五間ニシテ切土炭層ニ著炭三十間餘掘進シ堅坑ハ深サ四十五尺ニテ切土炭層ニ到著シ之ヨリ炭層ノ傾斜ニ沿ヒ七間餘掘進セリ斯ノ如ク漸次事業ノ擴張スルニ伴ヒ七尺徑ランカシャ「式汽罐一基、十吋捲機一臺、十吋スペシアル「式蒸汽唧筒三臺ノ据付ケヲ見タリ

姪濱炭礦 石炭 鑛業權者 福岡縣早良郡姪濱町外二

本炭礦ハ大正三年開坑以來銳意坑内ノ發展ト設備ノ完成ニ努メ大正四年ニ於テ大體ノ施設一段落ヲ告ケシカ尙人道坑口ヨリ六十六尺ヲ隔テ之ト平行スル排氣坑道開鑿工事ヲ起シ明年六月竣工スヘク又選炭用原動機トシテ汽機二臺及ランカシャ「式汽罐(四百三十馬力)三臺ヲ据付ケ棧橋ノ増築ヲ行ヘリ以上ヲ以テ略事業上ノ第一期施設終了シタルヲ以テ遠カラス防波堤ノ築造、捲揚機械、扇風機ノ増設、病院ノ新設等ヲ行フ計畫ナリ

福岡炭礦 石炭 鑛業權者 福岡縣早良郡島崎村外三

本炭礦ハ大正三年五月開坑以來坑内外ノ施設諸工事ヲ行ヒ前年ヲ以テ一段落ヲ告ケタリ從テ特ニ顯著ナル工事ヲ認メサルモ第一坑本卸及斜卸坑道ニ於ケル斷層縫ニ努メ坑内ノ發展ヲ見ルニ至レリ

三井本洞炭礦 石炭 鑛業權者 福岡縣鞍手郡下境村外四

前年末起工ノ第二坑口ニ曳揚機械増設工事ハ二月完成シ八月坑口十片間約三百五十間ノ區間ニ

六人乘車輛八臺ヲ一列車トスル人車ノ運轉ヲ始メ大ニ稼働力ヲ増大セリ尙前年ニ於テ一時工事ヲ中止シ第二坑内十五片ニ二百馬力電氣捲揚機設置工事ハ据付位置ヲ變更シタルト諸般準備ノ爲進工ノ跡ナキモ明年ニ於テ全部完成ノ見込ナリ又第一坑ニ於テハ坑口ニ三百馬力「エンドレス」機ヲ据付ケ第一坑全部ノ出炭ヲ集中スルノ計畫ヲ以テ遠カラス之カ工事ヲ始メ同時ニ同坑内十四片ニ二百馬力電氣捲揚機械ヲ十三片ニ「エンドレス」機及百馬力電氣捲揚機ヲ増設スヘク諸般ノ準備中ニシテ明年中完成ノ豫定ナリ

大ノ浦炭礦 石炭 鑛業權者 福岡縣鞍手郡香井田村外四

滿ノ浦坑 第三坑ニ於テハ一月三尺層新排氣坑道ノ開鑿ニ著手シ斜距離百三十八間ニシテ同炭層排氣卸ニ貫通シ且全坑道ノ煉瓦卷工事ヲ施シ十二月完成セリ此他第三坑舊坑口ニ設置ノ二十吋雙汽笛捲揚機械ヲ新斜坑口ヨリ五十間ノ坑内ニ移設シ運炭上ニ非常ノ利便ヲ得第三坑排氣用「シロツコ」式扇風機(一分時二十立方呎)ニ對スル豫備蒸汽原動機据付工事ヲ行ヒ又舊坑附近ニ設置ノ汽罐中四基ハ之ヲ新坑口附近ニ移轉シ且同所ニ新ニ汽罐二基ヲ据付クルノ工事ヲ行ヒタルモ年内ニ完成ヲ見ルニ至ラス明三月中竣工ノ豫定ニシテ之ト共ニ煉瓦煙突(高百三十三呎)ヲ設置セリ尙明年ニ於テ二十吋捲揚機一臺ヲ新斜坑口ニ増設シ且新規開鑿ノ三尺層排氣坑口ニ二十萬立方呎ノ「シロツコ」式扇風機一臺ヲ増設スル計畫アリ

桐野坑 前年十一月ヨリ一時休業中ノ第一坑ハ十一月ヨリ再ヒ殘炭採掘ヲ開始シ又前年九月著手ノ第二坑々内土砂充填設備工事ハ二月全部完成シ三月ヨリ充填作業ヲ開始セリ
次ニ發電所擴張工事ハ時局ノ爲遲延セシカ注文ノ諸機械到著セシヲ以テ之カ据付ケヲ急キ十二月落成セリ

以上ノ外豫テ計畫中ノ發電所凝氣機給水設備工事ハ二月起工發電所大鳴川間五百五十間ニ内徑十八吋ノ鐵管ヲ布設シ七月竣工一分時四百五十立方呎ノ電氣唧筒ヲ以テ給水ヲ開始セリ又飲料雜用竝ニ汽罐用水ハ從來千石川ヨリ山上、バツクニ送り其儘各所ニ配付セシカ之ヲ濾過シテ配給スルコトトシ九月第一坑山上ニ徑十六呎高サ十呎、第二坑山上ニ徑二十二呎高サ十呎ノ濾過裝置設備ニ著手シ年末落成セリ

菅牟田坑 前年著炭セシ上風、下風ノ兩堅坑ハ四月末坑底ニ於ケル運炭坑道及唧筒座其他ノ設備工事完成セシヲ以テ坑底ノ左右ニ百馬力電氣捲揚機各一臺ヲ假設シ兩本卸ノ掘進ト共ニ採炭ヲ開始セリ而シテ前年著手ノ排氣專用堅坑開鑿工事ハ十二月七百六十尺ニテ山張炭層ニ著炭シ目下三尺炭層迄掘下リ工事中ニシテ明年二月排氣斜坑道ニ貫通スル豫定ナリ

次ニ前年起工ノ排氣竝ニ非常用人造斜坑開鑿工事ハ一時中止中ナリシカ九月ヨリ再ヒ掘進ヲ始メ岩石捲揚用七十馬力電氣捲揚機一臺局部通風用シロツコ式五千立方呎電氣扇風機一臺ヲ設置シテ操業シ年末ノ總延長九十間ニ及ヒ大正七年完成ノ豫定ナリ

三好炭礦 石炭 位 置 福岡縣遠賀郡折尾村外二 三 好 德 松 以上ノ外第三坑々底ニ電氣唧筒二臺ヲ据付ケ坑外ニ在リテモ學校ノ建築機械工場ノ設置ヲ見ル

從來三尺炭層ノミ採掘シ來リシカ上層五尺炭モ共ニ採掘スルノ目的ヲ以テ六月末三尺坑道右七片ノ下方ヨリ切り上リ坑道開鑿ニ著手シ年末九十三間進工明年著炭ノ豫定ニシテ該炭層ノ採掘ヲ開始セハ一箇月六千噸以上ノ出炭増加ヲ見ルニ至ルヘシ

高松炭礦 石炭 位 置 福岡縣遠賀郡長津村外二 三 好 德 松 第二坑本卸ノ斷層ハ豫想外ニ大ニシテ收支困難ヲ告ケ爲ニ九月ヨリ同坑ノ事業ヲ一時休止スル

ノ止ムナキニ至リシト雖モ第一坑ニ在リテハ右部採掘場擴張ノ爲七月左十片ヨリ新ニ八十間ノ見込ヲ以テ本卸坑道開鑿ニ著手シ年末迄ニ約七十間進工遠カラス完成スヘク其曉ニハ十片捲立テニ電氣捲揚機ヲ設備シ以テ從來ノ出炭ヲ維持スルト共ニ一面探登第九二五號鑛區ノ採炭ヲ目的トシ左八片ヨリ該鑛區ニ向フ坑道ノ開鑿ヲ計畫シ年末起工其完成ヲ待テ上記十片ニ於ケルカ如ク左八片ニモ電氣捲揚機ヲ設置シ該方面ノ運炭ニ供スヘク延テ出炭ノ増加ヲ來スヘシ

尙從來本坑ノ產出炭ハ水運ニ依リ若松港ニ輸送セシカ近時艤舟減少ノ爲運炭意ノ如クナラサルヲ以テ十二月本坑ト三好炭礦間千四百七十間ニ軌條布設ノ工事ヲ起シ完成ノ上ハ三好炭礦積場迄馬車輸送ヲ爲シ之ヨリ鐵道運搬ヲ爲ス豫定ナリ

中鶴炭礦

石炭 位 置 福岡縣遠賀郡長津村外三 大正鑛業株式會社

前年ヨリ繼續施工中ノ高江本卸ハ未タ著炭ヲ見ルニ至ラサルモ他ノ三五尺本卸、同人道卸及鐵管卸ハ何レモ五月迄ニ豫定ノ五尺炭ニ到著セリ

次ニ新坑ニ於ケル人車捲揚裝置竝ニ入氣增量ノ目的ヲ以テ十一月人車捲坑道開鑿ニ著手シ又新坑排氣ノ爲メ舊本坑内ニ深サ三百五十尺ノ堅坑開鑿ノ計畫ヲ以テ十一月排水用試錐孔ノ開孔ニ著手シ近ク堅坑ノ開鑿ヲ始ムヘク人車捲坑道、堅坑共大正七年四月完成ノ豫定ニシテ其曉ハ新坑ニ於ケル稼働力ヲ増大シ且ツ通氣量増加シテ操業上ノ利便ヲ増スコト大ナルヘシ此ノ他新坑三尺鐵管卸、斜三延三尺切昇同五延三尺切昇リ高江鐵管卸、高江人道卸ノ開鑿工事及坑内通氣用主要扇風機ニ用フル豫備原動機一臺、高江坑内、エンドレス捲機一臺据付ノ諸工事ヲ行ヒ又從來ノ堅坑捲ヲ廢シ新ニ捲揚斜坑ヲ開鑿シテ運炭能率ヲ増大セントスルヲ始メトシ各所ニ電氣、エンドレス捲機、電氣捲揚機、電動選炭機、扇風機等ノ据付ヲ行ハントスルノ計畫アリ孰レモ明年著手ノ豫定ナ

目尾炭礦 石炭

位置 福岡縣嘉穂郡飯塚町外二
鑛業權者 古河合名會社

前年八月著手シタル第二目尾坑第二排氣斜坑道開鑿工事ハ年末ノ延長二百六十五間ニ達セリ著炭迄更ニ約四十間明年三月頃竣工ノ豫定ニシテ此ノ工事ニ伴ヒ同坑第二扇風機トシテ六月シロ式徑九呎排氣量二十萬立方呎ノ扇風機及二百八十馬力ノ電氣原動機ノ据付ニ著手シ十一月竣工第二排氣道ノ完成ヲ俟テ運轉ヲ開始スヘク其曉ニハ第二目尾坑内ノ通氣大ニ順調トナリ探炭上ニ及ホス效果尠カラサルヘシ

次ニ第二目尾坑ニ接近セル舊勝野坑上部殘炭探掘ノ目的ヲ以テ八月新多坑ノ開坑ニ著手シ九月五尺層ニ著炭現今約三十噸ヲ出炭シ得ルニ至レリ又各金片ニ於ケル在來ノ二十四封度軌條ヲ十八封度ニ改メ二十四封度軌條ハ之ヲ運搬各斜坑道ニ敷設シ爲ニ運搬上ノ事故ヲ減シ且ツ能率増進ノ便ヲ得タリ

尙遠カラス第二目尾人道斜坑道五百餘間ヲ改修シ坑外ニ人車捲揚機ヲ設置シテ入坑者ノ稼働率ヲ増進セシメ且現在ノ捲揚機二臺ヲ廢シ之ニ代フルニ坑外ニ十八吋蒸汽エンジン捲機ヲ以テシ八百餘間ノ區間ヲ運轉シ更ニ左右四尺層六十四片附近ニ電動捲揚機二臺ヲ設置シ以下約四百間ノ運搬ニ供シ下底右部ノ探炭ニ便セントス

製鐵所二瀬炭礦 石炭

位置 福岡縣嘉穂郡飯塚町外四
鑛業權者 農商務省

高雄坑 第一坑ニ於テハ底三尺層探掘ノ目的ヲ以テ五月風坑右二延先ヨリ斷層開鑿ニ著手シ延長六十間ニシテ九月豫定炭層ニ到著セリ又前年十一月著手セシ粉炭積込用デスクコンベヤーハ豫定ノ通二月竣工セリ

第二坑ニ於テモ底三尺斷層先探炭ノ目的ヲ以テ四月斷層開鑿ニ著手シ又四尺炭層探掘ノ目的ヲ以テ五月上旬新鑿入坑道五尺炭層ヨリ坑道ヲ掘進シ前者ハ延長五十二間後者ハ延長四十三間ニシテ七月八月著炭セリ

次ニ前年八月著手引續キ開鑿中ノ風坑ハ百十五間ヲ掘進シ總延長二百十二間餘ニシテ六月豫定ノ位置ニ貫通シタルヲ以テ直ニ同坑口ニ「ギヤペル」式扇風機一臺(排氣量十五)ノ増設ニ著手シ七月上旬運轉上下層共通氣量大ニ増大セリ

中央坑 本坑ニ於テハ一月右一延九半卸及右一延九卸開鑿ニ著手シ前者ハ八月後者ハ七月豫定地點ニ達シ又一月右零延下添七月左零延ノ掘進ヲ始メ十月何レモ豫定ノ位置ニ達セリ之等工事完成ニ依リ從來ノ通氣方法ヲ改メ堅坑ヨリノ給氣ハ左右各個所ニ迅速完全ニ配給セラルルニ至リ通氣著シク良好トナレリ而シテ前年ニ於テ計畫セシ堅坑捲揚機一臺増設工事ハ四月著手八月竣工シ爲ニ從來ニ比シ運炭力二倍以上ノ増加ヲ來シ又貯炭運搬用索條運炭機設置工事ハ一月起工十一月竣工シ操業上多大ノ利便ヲ増セリ

忠隈炭礦 石炭

位置 福岡縣嘉穂郡飯塚町外一
鑛業權者 住友吉左衛門

三月第一坑通氣堅坑深六十五尺掘鑿工事ヲ起シ八月迄ニ掘リ下リテ竣ヘ爾來煉瓦卷キヲ行ヘリ而シテ之ニ伴テ八月該堅坑下ヨリ延長四十間ノ風道掘進工事ヲ始メ堅坑下十三間ノ所ヨリ二坑道ヲ分岐セシメ堅坑下二十間ノ區間ヲ煉瓦卷トナセリ又第一坑五延ト新鑿坑間ハ在來ノ主要坑道ニ平行シテ延長二百間ノ一風道ヲ新設スルコトトシ九月三箇所ヨリ同時ニ掘鑿ヲ始メ何レモ明年中ニ竣工ノ豫定ナリ

次ニ八尺炭層探掘ノ目的ヲ以テ前年中著手セル第一坑三尺層右十延ヨリノ八尺層水平坑道開鑿

工事ハ二月第一坑道、四月第二坑道共八尺層ニ著炭シタルヲ以テ此本卸坑道ハ五月連卸坑道ハ六月
月中夫々掘進ヲ開始シ以來本卸八十間連卸七十八間ヲ進工セリ又前年著手ノ第三坑本卸右十五
延八尺層水平斷層縫ハ四月八尺層ニ著炭シ爾後左右支坑道掘進中ニ屬ス而シテ八月更ニ第三坑
又卸右七延五尺車道ヨリ八尺層水平斷層縫ヲ起工シ四十間ヲ進工シ殘餘三十餘間ニシテ明年二
月著炭ノ豫定ナリ之等工事ノ爲第三坑内ニ空氣壓搾機ヲ据付ケ鑿岩機ヲ使用シ工事進捗ニ及ホ
セシ效果尠カラス

以上八尺炭層ノ採炭開始ニ促カサレテ第三坑本卸右十五延三尺車道ヨリ約三十間切上リノ八尺
層自轉車道開鑿ヲ行ヒ明春完成スヘク第一坑八尺層本卸ニ假捲揚機ヲ据付ケ更ニ近ク之ヲ百五
十馬力電氣捲揚機ニ改メントシ第一坑第三坑内通氣增大ノ計畫ヲ以テ近ク又十四萬立方尺ノシ
ロツコ式扇風機ヲ据付ケントスル外第三坑ニ新入氣壓坑開鑿電氣捲卸及自働車道ノ掘鑿ヲ開始
セントシ孰レモ明年春季完成ノ豫定ナリトス

餘田炭礦 石炭 位 置 福岡縣嘉穂郡飯塚町外三
營業權者 三菱合資會社

一月第五坑ニ粉炭水洗用トシテ容量二百噸ノ「デッガー」式水洗機設置ニ著手シ五月完成原動機ト
シテ十五馬力電動機ヲ使用シテ之ヲ運轉セリ尙近時出炭ノ増加ニ伴ヒ從來ノ鐵道院引込線九條
ニテハ積込ミ不便トナリシヲ以テ六月更ニ一線ノ増設工事ニ著手シ年末完成セリ此ノ他柳坑々
外ニ七吋蒸汽捲揚機一臺ヲ増設シ乙種鑛夫納屋全部ニ電燈設備工事ヲ行ヘリ

下山田炭礦 石炭 位 置 福岡縣嘉穂郡大隈町外二
營業權者 古河合名會社

第二坑ニ於テハ漸次坑内ノ發展スルニ伴ヒ從來ノ扇風機ニテハ漸ク通氣量ノ不足ヲ告クルニ至
リシヲ以テ坑外ニ排氣量十五萬立方尺ノ扇風機ヲ増設シ二百五十馬力交流電動機及三百馬力汽

機ヲ以テ之ヲ運轉スルコトトシ六月排氣道三百間ノ改修工事ヲ起シ八月扇風機ノ据付ニ著手シ
タリ而シテ排氣道改修工事ハ百三十間ヲ進工シ扇風機据付工事ハ基礎風道及上家ノ大部分ヲ竣
リ明年二月機械ノ据付ヲ終了シ六月排氣道完成ト共ニ運轉開始ノ豫定ナリ

第三坑ニ在リテハ新ニ運搬斜坑道二百五十間ヲ開鑿シテ捲揚兼入氣坑道ト爲スノ計畫ヲ以テ六
月開坑シ年内ニ五十五間ヲ進工シ又十二月四十馬力電氣捲揚機据付工事ヲ始メ年末迄ニ基礎工
事ヲ竣ヘタリ而シテ機械ノ据付ハ明年二月完成スヘキモ坑道ハ大正七年六月ヲ以テ竣工スヘキ
豫定ニシテ之等完成ノ曉ニハ大ニ運搬力ヲ増大スルニ至ルヘシ
以上ノ外本鑛山ハ九州水力電氣株式會社ノ給電ヲ受クルコトナリシヲ以テ今後各般ノ施設ニ
互リテ動力ノ變更ヲ行フヘキモノ多ク從テ坑道ノ開鑿、改修、排水場變更等ノ諸工事ヲ行ヒ明年ニ
於テモ電氣唧筒ノ据付ケ其他諸機械ノ新設改設ヲ爲ス計畫ナリトス

上山田炭坑 石炭 位 置 福岡縣嘉穂郡熊田村
營業權者 三菱合資會社

第一坑々内擴張ニ伴ヒ漸ク坑内外ノ運搬力ニ不足ヲ感スルニ至リシヲ以テ四月ヨリ六月迄ニ五
十馬力及百馬力電氣捲揚機械各一臺ヲ坑内ニ据付ケ又坑外ニ於テハ從來ノ十吋複汽笛橫置式捲
揚機械ヲ二十吋同式捲揚機ニ取換ヘ運炭上ノ利便ヲ増セリ此ノ他主要扇風機ノ移設、汽罐竝ニ烟
突ノ改設、排水唧筒ノ改良等事業上ノ施設ニシテ改善ノ跡アルモノ尠カラス而シテ尙近ク大ヤケ
炭層群ノ三尺炭層探掘ノ目的ヲ以テ新坑ヲ開鑿セントシ六尺層ノ上部約百二十尺ニ位スル四尺
層探掘ノ目的ヲ以テ第一坑内ヨリ延長約百間ノ切上リ坑道二條ノ開鑿ヲ始ントスルアリ之等坑
内ノ發展ニ備フル爲第一坑内ニ人車運轉及主要風道切廣ケ、扇風機増設等ノ工事ヲ行ハントスル
計畫アリ孰レモ明年中ニ完成ノ豫定ナリ

吉隈炭鑛 石炭 鑛業權者 福岡縣嘉穂郡雅井村外三吉
從來創業期ニ在リシ本炭坑ハ坑内漸ク發展シ操業期ニ入レリ從テ施設セル事項乏シカラス今其主ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

- 第二坑 「コルニツシユ」型汽罐 (實馬力) 四基 (三基ハ一月著手二月竣工)
- 第二坑 十四時兩汽笛捲揚機 (實馬力) 一臺 (二月起工三月竣工)
- 第四坑 八時同 (實馬力) 一臺 (四月中据付了ス)
- 第一坑 「トムソン」型汽罐 (實馬力) 二基 (九月著手十月竣工)

三池炭鑛 石炭 鑛業權者 福岡縣大牟田町外十一三井鐵山株式會社

七浦坑ニテハ第二堅坑ヲ利用シ前年九月ヨリ同坑内土砂充填實施中ナリシカ充填區域増大セシ爲土砂注入口ノ狹隘ヲ感シ四月新ニ第二堅坑口附近ニ土砂注入口ノ掘鑿工事ヲ起シ七月橫坑完成次テ坑外鐵道ノ布設土砂粉碎機等ノ据付了シ十一月ヨリ新設備ニ依ル作業ヲ開始セリ宮浦坑ニテハ明治四十一年以來同堅坑附近ニ土砂注入口ノ設備ヲ爲シ充填實施中ナリシカ坑内充填區域増大ノ爲狹隘トナリシヲ以テ之カ擴張ヲ企テ四月舊注入口ノ附近ニ新ニ注入「ピット」ノ掘鑿ヲ始メ年内ニ舊橫坑ニ連絡スル橫坑ノ掘鑿及土砂運搬鐵道ノ敷設了リ近ク新設備ニ依リ操業開始ノ筈ナリ尙事業ノ都合ニ依リ前年一月ヨリ一時中止セル萬田坑内土砂充填設備工事ハ明年上期ニ於テ其殘部ヲ完成シ充填作業ヲ開始セントス
次ニ大浦坑七浦坑間坑外八十一鎖ノ間ハ從來蒸汽「エンドレス」機ニ依リ運炭セシカ運輸力ヲ増加シ兼テ充填用土砂運搬ノ目的ヲ以テ之ヲ電氣鐵道ニ變更スルノ計畫ヲ立テ十一月著手目下土工中ニ屬シ明年五月完成ノ筈ナリ而シテ該電氣鐵道ノ運搬力ハ石炭一日六百噸充填土砂一日七百

二十八噸ノ豫定ナリ大型機械製作上ノ便ニ備フル爲一月鑄物工場ノ擴張ニ著手シ四月上家(建坪八坪)ノ建増シヲ終リ又三月組立工場ノ擴張ニ著手シ上家(建坪四百五十四坪)ノ増築ヲ行ヒ目下雜工事中ニ屬ス而シテ尙十月四ツ山分工場ニ機關車及貨車修繕工場上家(建坪二百坪)ヲ建設シ明年五月中内部ノ諸設備完成ノ豫定ナリ
尙事業ノ發展ニ伴ヒ漸ク動力ノ不足ヲ告グルニ至リシヲ以テ曩ニ時局ノ爲一時中止セル瓦斯發電機増設工事ヲ明年中ニ完成スルコトトシ既ニ發電機ノ購入ヲナシ三千馬力瓦斯機關ノ製作準備中ニ屬ス又近時工業用水、飲料水及其他ノ用水所要量激增セルヲ以テ從來ノ一分間三百立方呎ノ給水設備ヲ一分間七百五十立方呎ニ擴張セントシ新ニ萬田唧筒所、諏訪川唧筒所及濾過池工事ヲ起シ明年中ニ完成セシムヘク目下其準備中ナリ

方城炭鑛 石炭 鑛業權者 福岡縣田川郡神田村外二三菱會社

大正二年五月以來繼續施工中ノ第一斜坑開鑿工事ハ六百間ニシテ五月第二斜坑ハ五百八十間ニシテ十一月ニ何レモ豫定ノ如ク貫通シ又前年ヨリ引續キ掘進中ノ新十七卸先大斷層渡リ及右又二十九卸先斷層渡工事ハ何レモ目的炭層ニ著炭シタルヲ以テ今後ニ於ケル出炭額ヲ増大スルヲ得ヘシ

次ニ運搬力ノ増加ト運搬系統ノ刷新ヲ目的トシ前年秋冬ノ交著手セル下風坑底ヨリ新八片第二新又卸口ヲ經テ第三又卸ニ達スル「エンドレス」機設置工事ハ六月坑道ノ改修ヲ竣ヘ直ニ五十馬力電氣下綱式「エンドレス」捲機ヲ据付ケ七月ヨリ運轉ヲ開始シ曳馬運搬ヲ廢止スルニ至リ又下風坑底第三新又卸間「エンドレス」捲坑道開鑿工事ハ年末延長二百四十間ニ達シ明年五月終了スヘク大山卸右一片「エンドレス」捲坑道開鑿工事ハ年末延長二百三十間大正七年六月ヲ以テ完成ヲ見ルベ

ク同片「エンドレス」捲坑道延長工事モ延長二百三十間ニシテ年末完成一月ヨリ運轉開始ノ豫定ナリ之等工事完成ノ結果ハ坑内主要區域運搬上面目ヲ一新シ操業上利スル所大ナルヘシ以上ノ外前年中著手ノ發電所擴張工事ハ年末迄ニ全部落成シ更ニ十二月發電機運轉用トシテ「ホスドラム」水管式汽罐一基ノ設備ニ著手シ一月竣成ノ豫定ナリ

金田炭礦

石炭 鑛業權者 三井物産株式會社 福岡縣田川郡糸田村外二

五尺層捲揚坑道新設ノ目的ヲ以テ一月左十二卸開鑿ニ著手シ二十三片ヨリ四十八片迄完成シタルヲ以テ十月三十二片十二昇ニ六十馬力電氣捲揚機ヲ新設シ在來ノ十五馬力捲揚機械ヲ撤去セリ之カ爲八尺層殘柱拂ニ至大ノ利便ヲ得タルヘク又八尺層ノ下部約八尺ニ位セル盤下五尺層採掘ノ目的ヲ以テ六月左十二卸左三十六片ヨリ水平坑道開鑿ニ著手シ九月著炭セルノミナラス從來金片ノ肩澤ニ各一本ノ保護炭柱ヲ殘シ長壁式ニテ採炭シ來リタル四尺層採掘法ヲ改メ金片距離ヲ短縮シ保護炭柱ヲ殘ス事ナク金片間ノ石炭全部ヲ採掘シツツ進ムコトトナセシヲ以テ今後出炭ノ増加ヲ促スヘシ此ノ他右四尺層運搬方法改良ノ目的ヲ以テ十一月新ニ五尺層右二十四片ヨリ四尺層ニ至ル捲揚坑道右十卸ノ開鑿ニ著手シ明年十二月竣工ノ豫定ニシテ該工事完成ノ曉ハ雷ニ同層ノ運搬至便トナルノミナラス八尺層下部ノ殘柱採掘ニ多大ノ利便ヲ與フヘシ尙前年末坑内火災ヲ起シ一部密閉鎖火ヲ圖リシ箇所ノ取明ケ竝ニ復舊工事ハ四月以來著々進捗シ目下五尺層五十片以下ノ一小部分ト四尺層下部ヲ除クノ外全部終了シ作業上支障ナキニ至レリ

三井田川炭礦

石炭 鑛業權者 三井物産株式會社 福岡縣田川郡大任村外六

採掘法改良ノ目的ヲ以テ第一坑及伊田斜坑々内ニビックク、クイック截炭機三臺ヲ七月ヨリ試用シ

又五月以來「アイクホッフ」式電動切羽運炭機ノ使用ヲ第一坑内ニ於テ試ミ利便渺カラサルヲ認メタルヲ以テ九月更ニ二臺ヲ増設シ坑内運炭ノ便ヲ増セリ而シテ又第三坑内ニ土砂充填ヲ行フ爲一日ノ充填能力百立坪ノ設備ヲ計畫シ九月起工大正七年年上季ニ於テ完成ノ豫定ナリ次ニ坑内外ノ發展擴張ト共ニ從前ノ瓦斯發電設備ニテハ電力ノ不足ヲ告クルニ至リ更ニ千五百馬力瓦斯汽罐付一千四十キロワット三相交流發電機二基及之ニ附屬スル徑六尺長三十呎「ランカシャー」汽罐四基、三呎八吋徑高サ六十五尺鐵製煙突一基ヲ瓦斯發電所構内ニ新設シ且現在ノ瓦斯發電所ト百四十六坪ノ鐵筋コンクリート建築ヲ築造スルコトトシ附屬汽罐ノ据付ケ既ニ十一月ヲ以テ竣工ヲ告ケ瓦斯發電機ハ目下製作中ニ屬シ明年七月落成九月中据付ヲ了ルヘク建築家モ亦既ニ工事ニ著手シ明年三月竣工ノ豫定ナリ

以上ノ外危害豫防ノ目的ヲ以テ各種ノ通氣改良施設ヲ行ヒシト共ニ第三坑八尺坑内及四尺坑内ヨリ各一條ノ避難坑道ヲ開キ第二坑々内ト連絡シ萬一ノ變災ニ際シ相互交通ノ便ヲ啓キ一方ノ爆發ヲシテ他方ニ傳播セシメサルノ施設ヲ爲セリ

鯛生野鐵山

金銀 鑛業權者 大分縣日田郡中津江村 代表者 南郷鐵之助

本坑ヨリ新貴坑西走リ坑道ニ貫通セシメ將來ノ運搬坑道トナス目的ヲ以テ豫テ計畫セル本坑九坑道ノ東掘進坑ハ「カードナー」會社製空氣壓搾機一臺(每平方呎百封度、壓力毎分時百二十)ヲ据付ケ「ハイドロマックス」鑿岩機一臺及足立式鑿岩機二臺ヲ運轉シテ掘進セシヲ以テ工事上大ノ利便ヲ増セリ次ニ二月在來ノ製鍊裝置ヲ改メ全部青化泥鑛製鍊方法ニ依ル裝置ヲ爲スニ決シ之ニ伴フ原動力ノ不足ヲ補ハシカ爲從來ノ水力發電所ニ新ニ六十七坪ノ建築ヲ増築シ吸入瓦斯發動機(十馬力四聯直動電氣點)交流發電機(百十キロボルト「アレバ」三相交流發電機)各一臺ヲ増設シ製鍊工場其他ノ建築家ノ新築増築

ヲ行ヒ何レモ年内ニ竣工シ以來製鍊諸機械並ニ電動機等ノ据付中ニ屬ス本製鍊場ハ明年三月完成試運轉ノ運ニ至ルヘキ豫定ニシテ其曉ニ於テハ事業上至大ノ利便ヲ増スヘク從來ニ比シ處理鑛量四倍以上トナリ製鍊夫ハ三分ノ一ヲ以テ足ルカ故ニ生産額著シク低減シ得ルノミナラス泥鑛並ニ鑛液等ノ逸失流散殆ント絶無トナリ實收遙ニ高率ヲ示スヘク現時ニ比シ四倍以上ノ増產ヲ見ルニ至ルヘシ

佐賀關鑛山 銅 鑛業權者 大分縣北海郡佐賀關町 久原鑛業株式會社

前年來探鑛中ニシテ探掘事業ニ就テハ未ダ擴張ノ事蹟ヲ認メスト雖モ大製鍊場ノ開設ヲ見タリ今之カ狀況ヲ左ニ記述スヘシ

沿革 鑛業人ハ豫テ本邦西部ニ於テ經營スル諸鑛山ノ鑛產物處理上中國四國又ハ九州地方ニ一大製鍊場設置ノ必要ヲ感シ數年來踏査研究ヲ遂ケタル結果佐賀關町ハ其附近ニ本鑛山ノ外高浦鑛山等數多ノ自己所屬鑛山アリ本鑛山ノ如キハ數年來行ヒシ探鑛ニ依リテ前途相當ノ鑛量ヲ採掘シ得ヘキ見込ミ立チタルノミナラス同地ハ地勢上煙害ノ波及スル程度狹ク海陸ノ交通亦便ニシテ動力工場用水供給ノ利便ニ乏シカラサルヲ以テ自山產出鑛石ニ多少ノ買入鑛石及粗銅ヲ加ヘ一箇月百萬斤ノ電氣銅並ニ附隨生産物タル金銀混合地金五百餘貫ヲ產出スヘキ大規模ノ製鍊場ヲ佐賀關町ニ設置シテ之ヲ本鑛山ニ附屬セシムルコトトシ大正四年初メヨリ用地ノ借入又ハ買入レニ著手シ年末ヨリ工事ノ準備ヲナシ本年二月土工ヲ始メ三月ヨリ建家ノ建築機械ノ据付工事ヲ開始スルニ至レリ

海面埋立其他主要土工工事 製鍊場主要部ノ敷地ハ佐賀關北灣ニ面シ市街地ニ接シタル字藤生ニ於テ三面山岳ヲ繞ラシ一面海ニ蒞ミ細長ク東北ヨリ西南ニ互ル耕地部分ヲ主トシ之ニ沿岸ヲ

埋立テテ得タル土地ヲ加ヘ總面積十六萬三千坪ノ地域ヲ以テ之ニ充ツルノ計畫ニシテ此ノ他社宅鑛夫長屋道路等ノ用地トシテ土工並ニ海面埋立工事ヲ行フ計畫ノ面積亦甚タ廣シ而シテ鍊鑛場及電鍊場並ニ之等附屬ノ各鑛舍無極索道變電所煙道煙突等ニ必要ナル用地ノ大部分ハ山岳ヲ削リ田畑ヲ埋メテ作レルモノニシテ二月之カ工事ヲ起シ年末ニ於テ殆ント竣工シ明年一月ヲ以テ完成ノ豫定ナリ又海面埋立ノ豫定面積ハ四萬二千八百九十坪ニシテ之ヲ三區ニ別テ左表ノ通り施工スルノ計畫ヲ以テ年末夫々工事ニ著手セリ中第一埋立區ニ在リテハ埋立地ノ外端ヨリ長サ五十間ノ突堤ヲ築キテ約七萬坪ノ内港ヲ形成シ二箇所ノ船入場ヲ設クルコトトシ其一ハ長サ百間ノ防波堤ヲ海中ニ突出シ面積四千八百六十坪ニ築造スルモノニシテ他ノ一ハ埋立地ノ岩壁ヲ利用シ面積七百六十四坪ニ築造スル豫定ナリトス

埋立地域別	埋立面積	岸壁ノ延長	干潮時ニ於ケル岸壁水深	著手年月日	完成期限
第一埋立區	一四、八八八坪	一九六間	六尺——八尺	大正五年十二月二日	著手ノ日より一箇年以内
第二埋立區	九、八〇五坪	二〇〇間	八尺——十尺	大正五年十二月一日	二箇年以内
第三埋立區	一八、一九七坪	四三六間	六尺	大正五年十二月二日	同
計	四二、八九〇坪	八三二間			五箇年以内

右埋立地ハ二萬五千五百五十四坪ヲ工場用地ニ六千八百二十坪ヲ專用荷揚場ニ二千七百八十六坪ヲ道路及溝渠用地ニ使用シ殘餘七千七百三十坪ハ民家ノ移轉用宅地並ニ公共荷揚場ニ供用スルノ計畫ニシテ尙埋立岸壁ニハ十間毎ニ階段ヲ設ケテ三十噸乃至五百五十噸級ノ帆船ノ繫留ニ便ナラシメ棧橋ヲ架設シテ一千噸級汽船ノ直接荷役容易ナラシムルト共ニ岸壁ニ沿ヒ電車軌道ヲ

敷設シ工場内ノ電車線路ト接続セシメ素品及製品ノ運搬ニ便スルノ計畫ナリトス而シテ年末マ
テニ竣成セル埋立地ノ面積ハ約一萬坪ニシテ上記計畫ニ從ヒ既ニ夫々使用ヲ開始セリ
以上工事ノ經費ハ約五十八萬圓ノ豫定ニシテ内海面埋立工費四十萬餘圓ノ概算ナリトス
主要建家其ノ他ノ建造物建設工事 三月ヨリ主要建家其他ノ建造物建設工事ニ著手シ年内ニ竣
工及近ク竣成スヘキモノヲ舉クレハ左ノ如シ

鐵筋コンクリート建家類

名 稱	長	幅	高	坪數	着手年月	竣工年月	工費概算	記 事
熔鑪爐建家	二四	一三	梁下 三三	三三	五年五月	六年一月	四、五〇〇	壁ハ鐵筋「コンクリート」屋根組ハ鐵骨亞鉛引鐵板葺
電 解 室	六	一〇	三	六〇	三月	五年九月	八、七五〇	同前、瓦葺
反 射 爐 室	三	一〇	七	三〇	同	八月	四、五五〇	同前、亞鉛引鐵板葺
電 鍊 ポンプ 室	三	六	七	二	四月	七月	一、八七六	同前、「アスファルト」ルーフキング
分 銀 室	二	六	五	二	同	同	一、五〇七	同前、亞鉛引鐵板葺
發 電 室	九	七	三	六	同	六月	八、三八〇	壁屋根共全部鐵筋「コンクリート」造
同 電 底 室	六	七	三	六	同	同	一〇、九四五	壁屋根共全部鐵筋「コンクリート」造
變 電 所	八	七	四	五	五月	八月	六、二〇九	壁ハ鐵筋「コンクリート」屋根組ハ鐵骨亞鉛引鐵板葺
汽 罐 室	八	六	二	四	同	七月	二、三二七	同
合 計				一八〇				

木造建設物

名 稱	長	幅	高	坪數	着手年月	竣工年月	工費概算	記 事
眞吹爐建家	九三	九	梁下 二六	八七	五年七月	五年十月	一四、四九〇	木造ルーフキング葺
熔鑪爐鑛舍	二四	三	二〇	二六	九月	六年一月	三、五〇〇	同
ミ ル 場	一〇	四	一五	四	十一月	同	一、二七五	同
第一送風機場	一五	四	一五	六	同	同	七、九四〇	同
燒 粉 場	八	七	二四	二六	九月	同	七、五〇〇	同 二階建
同 鑛 舍	五	四	二〇	六	同	五年十二月	五、六〇〇	木造ルーフキング葺
第二送風機場	七	四	一五	六	同	九月	六、〇〇〇	同
電 鍊 倉 庫	三	六	一五	六	五月	六月	一、四五〇	木造亞鉛引鐵板葺
電 鍊 見 張 室	六	六	三	三	七月	十一月	七〇〇	木造ルーフキング葺
製 板 室	〇	六	三	六	八月	同	一、四一〇	同
丹 礬 場	二五	八	三十尺乃至 三十尺	二〇	三月	五月	六、七〇〇	同
鉛 工 場	五	八	一五	二〇	同	同	二、七四〇	同
銅 倉 庫	〇	六	三	六	五月	七月	一、〇〇〇	同
反射爐ミル場	〇	六	一五	二〇	六月	同	二、一六〇	同
職 工 脫 衣 室	〇	八	三	八	同	同	一、六五〇	同
鐵 工 場	二〇	五	三	一〇	四月	同	二、六〇〇	同
分 析 場	五	一〇	一〇	五	七月	九月	一、六二〇	同
事 務 所	八	四	九	三	同	同	五、〇〇〇	木造木羽葺

名	稱	大	サ	高	個數	著手年月	竣工年月	工費概算	記	事
篩別場		一五	三		四五	十一月	五年十一月	三、七〇〇	木造ルーフキング葺	
試驗場		一五	四		六〇	十月	六年十一月	一、六〇〇	同	
原料所		二〇	二		一〇〇	十二月	六年一月	六〇〇	同	
倉庫		二〇	四棟		五〇〇	二月	同	一、〇〇〇	木造木羽葺	
合計		二〇	四棟		三、〇九五			三、四七五		

煙突

名	稱	大	サ	高	個數	著手年月	竣工年月	工費概算	記	事
中央煙突		頂上内徑廿六呎三吋 基底内徑四十二吋	基礎上 五呎		一基	五年三月	六年一月	三、八〇〇	全部鐵筋コンクリート造	
反射煙突		頂上内徑八呎三吋 基底内徑七呎二吋	地表上 一〇呎		同	四月	五年六月	七、二七〇	同	
汽罐煙突		頂上内徑七呎六吋 基底内徑七呎六吋	同 一〇呎		同	同	同	六、九四一	同	
合計					三基					

煙道

名	稱	幅	高	長	著手年月	竣工年月	工費概算	記	事
登煙道		三〇	二五	二七	五年六月	六年一月	一四、二七五	全部鐵筋コンクリートニテ築造	
横煙道		三三	二〇	五〇	九月	同	二、六〇〇	上部供ハ鐵筋「コンクリート」兩側壁ハ石垣工	
真吹煙道		三三	九	二七	八月	五年十一月	四、四七五	同	
燒粉煙道		二五	二二	一〇五	九月	十二月	三、三三〇	同	
分銀煙道		二五	四	四〇	五月	六月	三、二七〇	全部鐵筋「コンクリート」造 地中埋沒	

汽罐煙道	内法	五	五	三	五月	同	七五	同	
反射煙道	内徑	六	六	三七	同	七月	七五二五	全部鐵筋コンクリート造架	
熔鑄爐附屬煙道	内徑	六	六	八	十月		一四、〇〇〇	全部鐵板造	
真吹爐附屬煙道		三	四	八〇	八月	十一月	五、七〇〇	全部鐵筋コンクリート造	
計							三、二八〇		

右ノ外工作場、土木機械修繕工場其他ニ使用スル建家病院及住宅ニシテ今後建設スヘキモノ、鈔カラサルモ既ニ竣工セシモノ亦多ク之等總坪數ヲ舉クレハ左ノ如シ

住宅	四千二百坪	病院	九十坪
工作場	三百十坪	其他	五百坪
合計	五千百坪		

主要機械工作物設置工事

燒粉爐 燒粉爐ハ其數十一個ニシテ鑄銅製トシ頂徑七尺五寸深サ假底以上三尺、假底ノ直徑六尺、容量鑄石千二百貫、一晝夜五回ノ操業ヲ爲スモノニシテ年末略竣成セリ
熔鑄爐 熔鑄爐ハ其數四座ニシテ何レモ羽口水準ニ於テ幅四尺長二十六尺トス、爐ノ基礎ハ混凝土ヲ敷キ其上ニ構成鐵柱四本ヲ建テ、爐體ヲ組立ツルモノニシテ爐解帶ノ部分ハ鐵板製水套ヲ廻ラシ羽口ハ口水套ノ頂邊ヨリ下四尺ノ所ニ設ク、爐壁ハ全部普通煉瓦ヲ以テ作り、坩堝部ハ内部ヲ耐火煉瓦外部ヲ普通煉瓦ニテ構成シ更ニ鑄鐵製水套ヲ以テ包圍ス而シテ一爐一晝夜ノ取扱高ハ鑄石四萬六千貫、熔劑及線返シ一萬四千貫ノ豫定ニシテ年内ニ一座ヲ完成シ他ハ明年初ニ竣工ノ豫定ナリ

眞吹爐 眞吹爐ハ直徑三尺二寸深サ一尺五寸トシ半球形ニシテ三十五座ヲ設ケ二十五座ヲ常用シ一箇月ノ產出豫定高粗銅八四、一五九貫(五二五、九九四斤)含銅八二、四七六貫(五一五、四七四斤)含金二四、七五〇匁含銀四五五、八〇〇匁ノ豫定ニシテ中十座ハ九月、二十座ハ十月、他ハ年末略完成セリ電鍊反射爐 爐ハ總テ三臺トシ(常用二臺、豫備一臺)各爐ノ火床ハ長六尺幅四尺五寸、本床ハ長十八尺幅十尺ニシテ何レモ混凝土基礎ノ上ニ耐火煉瓦ヲ以テ築キ工字鐵ヲ以テ充分緊締シ各個五千斤ノ銅ヲ一晝夜ニ溶解スルノ設計ニシテ中一臺ハ七月他ハ九月完成セリ

電解裝置　電槽ハ總數三百三十六個アリ之ヲ一組十四槽宛二十四列ニ配置ス木製ニシテ内部ニ一平方尺六封度ノ鉛板ヲ張り内法十尺八寸、幅二尺五寸、深サ右三尺五寸、左四尺ノ斜底トシ之ニ洗滌槽八個、給液槽二十六個附屬ス總テ九月完成セリ

分銀裝置 熔澱爐ト分銀爐ノ二種アリ熔澱爐ハ火床長四尺幅三尺、本床長十尺幅六尺、分銀爐ハ火床長三尺幅二尺四寸、本床長三尺五寸幅四尺五寸ニシテ何レモ混凝土基礎ノ上ニ耐火煉瓦ヲ以テ築キ工字鐵ヲ以テ充分ニ緊締ス一箇月ノ産額ハ金三萬、銀百四十貫ノ豫定ニシテ九月完成セリ

淨液裝置 淨液裝置トシテハ左ノ諸槽ヲ設ケ九月完成セリ

槽名	數	構造
脱酸槽	三	木製十二「ボンド」鉛板張り
蒸發槽	四	同
結晶槽	一二	「コンクリート」内側「アスフ

電氣型銅鑄造機 直徑二十二呎型ノ數九十六個、回轉速度一回轉五分ナル型銅鑄造機ヲ据付ケ九月完成セリ

送風裝置 熔鑛爐及眞吹爐ニ給風ノ爲メ「ターボ」式扇風機「ブロワー」一分間ノ排氣量三萬五千立方尺風壓四五「ミリメートル」三臺內二臺常用、一臺豫備及燒粉爐用トシテ同式扇風機內一臺ハ排氣量一萬五千立方尺百馬力、一臺ハ排氣量六千四百立方尺、五十馬力、一臺ハ排氣量四千立方尺、三十馬力ニシテ各個ノ風壓ハ四五「ミリメートル」トス三臺ヲ据付ケ中三臺ハ十月完成シ一臺ハ年末ニ於テ略ホ竣成シ他ハ明年初完成ノ豫定ナリ

汽罐（内一臺ハ徑七尺長二
十九呎三吋八分ノ三、一臺ハ徑六尺長二十四呎二吋八分ノ七）二臺ヲ据付ケ九月完成セリ

捲揚裝置 海岸篩別場ヨリ塊鑛及粉鑛ヲ熔鑛場燒粉場ニ運搬シ又熔鑛場ヨリ海岸埋立地迄鑛滓ヲ運搬スルカ爲メ、兩極約三百間ノ電動アンダーロープ無極索道ヲ設置シ、明年初完成ノ豫定ナリ。以上ノ外三月以來逐次工場各部ノ動力用トシテ發電機、電動機ノ設置セラレタルモノ甚タ多キモ、項ヲ更メ動力需給ノ狀況ヲ記スルニ當リテ之ヲ明ニスヘキヲ以テ此處ニ之ヲ列記セス。操業開始及原料鑛石粗銅 鍊鑛設備未タ完成ニ至ラサリシモ電鍊設備ハ九月略完成シタルヲ以テ十月ヨリ電氣製鍊ヲ開始シ引續キ年末迄操業セリ其取扱原料ハ左ノ如シ。

種別	數量	品		位
		金 %	銀 %	
愛媛縣新居嶺山產出粗銅	三六、六〇三斤	0.000六七	0.04五一九	九七、九三
買入粗銅	二、九二、三〇三斤	0.001三三	0.0三三三	九七、二五〇
板銅ヨリ製出セルモノ	七、五五、五六斤	0.000〇〇	0.0六四八四	九五、三四四

而シテ明年以後ニ於テハ佐賀關鑛山ノ外鑛業人所屬ノ愛媛縣下高浦鑛山、大瀬鑛山、徳島縣下東山

鑛山ノ銅鑛ヲ重ナルモノトシ兵庫縣下竹野鑛山ノ金銀鑛石其他買入金銀銅鑛及燒銅鑛ヲ以テ操業スルノ計畫ニシテ其一箇月ニ於ケル原料取扱見込額ハ左ノ如シ

種	類	種	別	數	量	品	位
銅	鑛	石	自山入	分	一、五〇〇、〇〇〇貫	生燒鑛	銅
金銀鑛	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	
銅	鑛	石	自山入	分	五〇〇、〇〇〇貫		銅
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、〇〇〇、〇〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三九、六五九貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	三七二、八六八斤		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一、四、五〇〇貫		金	
金銀粗銅	石	自山入	分	一五三、一二五斤		金	

動力需給ノ狀況 工場用動力ハ九州水力電氣株式會社ヨリ供給ヲ受クルノ計畫ニシテ大分縣下湯ノ平及篠原發電所ヨリ五萬三千ボルトヲ以テ送電シ(製鍊場所屬ノ變電所ニ於テ夫々三千三百ボルト四千四百ボルト及百ボルトニ變壓シテ使用ス)總計二千キロワットノ配給ヲ受ケ電燈電話ノ外左ノ諸原動機及諸機械ヲ運轉ス而シテ明年七月ヨリハ尙一千キロワットノ増給ヲ受クル豫定ナリ

誘導型電動機	補助發付機	方 式	箇 數	實 馬 力	設 置 場 所	使 用 目 的	摘 要
一	二			五〇〇 K.W.	電 鍊 發 電 室	電 氣 分 銅 用	他ヨリ電力ノ供給ヲ受ケ自家發電
四〇					海 岸 試 料 場	碎 鑛 用	

[illegible]

[illegible]

同期電動機	一	三〇	變電所	發電機	六噸車六臺分
直流直捲電動機	三	三五	變電所	發電機	
誘導型電動機	一	一〇	熔鑪前	電氣機關車	
同	一	五	熔鑪側	捲揚用	
同	一	五	ボツト	ポツト廻轉裝置	
同	一	五	變電所山ノ上	火防用ボン	
同	一	七五	篩別場	粉塊分鑛機運轉	
同	一	一〇	同	捲揚用	
補極付複捲發電機	一	一五	變電所	電氣鐵道用	電動機ニテ運轉

製鍊鑛夫 年末現在人員ハ男四百九十名、女五十六名ナリ之レ電氣製鍊及眞吹ノ一部分ノ操業ニ從事セルモノニシテ明年以後熔鑛爐、眞吹爐等全部ノ操業開始ニ至ラハ製鍊夫總計約八百人使役ノ豫定ナリ而シテ是等鑛夫ノ内一部分ハ日立鑛山ノ附屬製鍊所ニテ養成シタル者ヲ使役シ他ハ主トシテ地方人ヲ雇傭シ技能ヲ修得セシムルコトトセリ

種 類	種 別	製 出 高	平 均 品 位 %
電 氣 銅	持山ノ粗銅ヨリ	三五、五〇九 _斤 三	銅 九九、九二、六
同	買入粗銅ヨリ	一、一三八、三九六、二	同 九九、九三、六

[illegible]

電氣銅	一〇〇〇〇〇斤	%九九九
-----	---------	------

内持山ノ分
五五〇〇〇斤

買入ノ分
四五〇、〇〇〇斤

金銀塊 五二二六七〇 々
%
銀金 九四五六二七九一

内持山之分

四八〇、五五夕

買入ノ分

四三、一二分

將來ノ計畫 現在ノ通り兩三年間操業ヲ持續シタル後ニ於テ豫期セル通り煙害ノ影響尠キコトヲ確カメ得タル上ハ漸次取扱量ヲ増加シ電氣銅一箇月ニ付三百萬斤ヲ產出シ得ルノ設備ヲ爲シ併セテ附屬事業トシテ鑛業用、コークスノ製造及硫酸製造ヲ併施スルノ計畫アリ

相知炭礦 石炭 位置 佐賀縣東松浦郡相知村外一
三菱合資會社

五月五尺第一 卸左部ニ於テ三尺層ト五尺層トノ中間ニ在ル一枚物層ノ採掘ヲ開始シ年末迄ニ切

羽ノ延長百五十間ニ達シタルカ尙同層探掘ノ目的ヲ以テ三尺第二又卸右部ニ進掘ヲ始メ年末迄
ニ八十間ヲ開鑿シ明年ニ於テ殘部百間ヲ進工シ探掘ヲ始ムルニ至ルヘシ又前年ヨリ繼續工事中
ノ三尺第一又卸左通氣坑道開鑿工事ハ百八十間ヲ掘進シテ八月中竣工シ三尺第一卸右部及三尺
第一又卸全部ノ通氣量著シク増加シ操業上多大ノ利便ヲ得タリ
次ニ一月中洗炭機專用ノ目的ヲ以テ四十七馬力百立方揚水百五十呎ノタービン唧筒一臺据付ケ
發電用導水溝ヨリ分水送水スルノ施設工事ニ著手シ四月完成シ又粉炭洗滌用トシテ「エリオット」
式洗炭機一臺竝ニ洗滌粉炭ヨリ生スル沈澱粉ヲ更ニ洗滌優化スル目的ヲ以テ「カムメット」テーブ
ル一臺ノ据付工事ニ著手シ前者ハ四月後者ハ三月完成シタルカ之等施設ノ結果選炭上多大ノ利
便ヲ増セリ

向山炭礦 石炭 佐賀縣西松浦郡西山代村外一
位業權者置

事業ノ漸次發展セルニ伴ヒ汽力ノ不足ヲ來シタルヲ以テ五月コルニツシユ式汽罐一基ノ増設ニ着手シ六月完成使用ヲ開始セリ又十四吋坑内捲揚機械新設工事ヲ起シ近ク竣工ノ象定ナリ

橫峯鑛山 銅
鑛業權者置
宮崎縣東臼杵郡南浦村外三
三菱合資會社

中ノ東二番坑鑛層下磐約五百尺ニ存在セル波歸鑛層探鑛坑道開鑿工事ハ豫定ノ通進工シ切下リ
四百六十五尺水平坑道三百九十尺ニシテ十一月目的鑛層ニ到著シ之ニ伴ヒ東二番坑内ニ電氣捲
揚機ノ新設移轉電氣唧筒ノ据付ケ等ヲ行ヒシ外本年ヨリ三箇年間ノ繼續事業トシテ新ニ製鍊場
下流ニ二百五十馬力ノ發電所開設工事ヲ起シ又加良美鍾ノ東方ニ在ル鑛床ヲ探ラントスル三百
六十尺ノ探鑛坑道開鑿ヲ始メ豫定工程ノ三分ノ一ヲ進工シタル等鑛業上ノ施設ニ於テ發展ノ跡

アルヲ見ル

三井串木野鑛山 金銀 鑛業權者 鹿兒島縣日置郡串木野村 三井鑛山株式會社

前年來施行中ノ鑛坑開鑿工事ハ五月迄之ヲ行ヒ百二十九尺餘ヲ掘鑿シ總延長四百八十五尺餘ニ達セシカ工事ノ都合ニ依リ一時掘下ヲ中止シ五番坑道ヨリ坑井ヲ掘鑿シテ六番坑道ニ達セシメ同坑道準ニポンプ室ヲ開設シタリ而シテ之ニ目下製作中ノツルチエル式電氣唧筒二臺(馬力四十百二十五尺水頭)ヲ据付クル豫定ニシテ明年二月中ニ竣工スヘク其曉ハ再ヒ鑛坑開鑿ヲ續行シ五月迄ニ殘部五十尺ヲ掘下ク六番坑道ニ達セシメ以テ第一期計畫ヲ完成スヘキ豫定ナリ

西山坑ハ前年來行ヒシカ如ク採鑛ヲ主トシ傍ヲ探鑛ヲ爲シ三番坑道及四番坑道準ニ於テハ東西向ニ掘進シ總延長八千九百七十一尺ニ達セル外特ニ著シキ變化ナキモ羽島坑ニ在リテハ五月迄探鑛ヲ續行シ六月ヨリ採鑛作業ニ移リ傍ヲ大下鑛及坂下鑛疏水準以下及光瀬鑛ノ探鑛ヲ行ヒ掘鑿總延長二萬九百九十九尺ニ及ヒ坑内排水設備亦完成シ多量ノ鑛石ヲ探出シ得ヘキ狀況ニ進ミシト雖モ事業ノ都合ニ依リ豫定ヲ減シテ一日五千貫ヲ出鑛スルニ止メタリ而シテ此ノ出鑛ハ前年末起工セル玉村單線式架空索道架設工事ノ五月完成シタルヲ以テ之ニ依リテ製鍊場ニ送鑛シ操業上一段ノ利便ヲ増セリ次ニ豫テ計畫セル熔鑛製鍊設備ハ十月完成シ成績良好ナリ尙掘鑛量増加ノ目的ヲ以テ十二月徑四呎半長二十呎チューブミルニ臺増設工事ヲ起シ明年三月完成ノ豫定ナリトス

以上ノ外前年末著手セル周波變換設備工事ヲ十月落成十二月川内電氣株式會社ノ送電ヲ受クルニ至リ又在來ノ西山坑間配電線ノ擴張工事及羽島坑間電力線新設工事ヲ行ヒ殆ント年内ニ完成セリ

德ノ島鑛山 銅 鑛業權者 鹿兒島縣大島郡天城村 小林鑛業株式會社

四月現鑛業人ノ經營ニ移リシ以來事業ノ刷新擴張ニ努メ六月九十二馬力瓦斯發動機及四十二馬力空氣壓搾機各一臺ノ据付ニ著手シ八月竣成シタルヲ以テ爾來採鑛ニ五番型ライナーストーパ一鑛岩機二臺ヲ使用シテ作業ニ便シタルノミナラス四月ヨリ著手シタル現在ノ最底坑道下底部探鑛坑道(延長四千餘尺)開鑿工事ニモ亦八月ヨリC三十四番型ライナー、インガーソル鑛岩機二臺ヲ使用シタルヲ以テ工事大ニ進捗シ年末迄ニ四百四十尺ヲ掘進シ明年四月著鑛ノ豫定ナリ

ラサ島鑛山 燐礦 鑛業權者 沖繩縣島尻郡ラサ島 三井鑛山株式會社

前年來施行中ノ跳出シ棧橋架設工事ハ三月竣成シ海岸積出力ニ偉大ノ效果ヲ來タシタル外、鑛石乾燥場ヲ一箇所ニ集中シテ破碎器トノ連絡調和ヲ圖リ且ツ火力乾燥器(三十馬力)ヲ設置シ山元ヨリノ探鑛石ヲ運搬シ來リテ一旦之ニテ乾燥セシメ其含有水分ヲ除去シ以テ其品位ヲ佳良ナラシムト共ニ碎礦器一基ヲ据付ケテ前記ノ乾燥塊礦ヲ之ニテ破碎シ附屬昇礦器ヲ以テ適當ノ高サニ揚ケ礦車ニ積ミ込ムノ裝置ヲ爲シ操業上ノ利便ヲ増セシコト尠カラス此他探鑛場二箇所ヲ増加シ各礦區内ニハ十數條ノ分歧線路ヲ設ケテ運搬能率ヲ増進セシメ又北臺地ヲ橫斷スル深サ約五十尺ノ丘地ヲ切り抜キテ貫通線路ヲ設ケ以テ隣礦區ノ探鑛能率ヲ増進シ經費及使役人夫ノ節約ヲナシ得タリ